２０２５年度（令和７年度）

履 修 の 手 引 き

兵庫県立大学工学部

目　　次

第１章　履修の手引き

履修登録の流れ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１
令和７年度学年暦・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３
令和７年度開講科目時間割表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５
令和７年度工学部教務委員一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１３
オフィスアワー一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１４
１　授業・休講・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１７
２　履修に関すること・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２１
３　履修関係様式（「履修登録確認シート」「履修登録修正願（修正期間用）」
「履修登録修正願（取消期間用）」）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３１
４　定期試験等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３５
５　ディプロマポリシー・カリキュラムポリシー・・・・・・・・・・・・・・３８
６　カリキュラムマップ・カリキュラムマトリクス・・・・・・・・・・・・・４２
７　CAP制度・GPA制度について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５４
８　ユニバーサルパスポート操作マニュアル・・・・・・・・・・・・・・・・５５

第２章　履修関係規程

１　兵庫県立大学学則・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６３
２　兵庫県立大学工学部規程・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６７
３　兵庫県立大学工学部履修規程・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８６
４　兵庫県立大学他大学等における授業科目の履修規程・・・・・・・・・・・８７
５　兵庫県立大学試験の不正行為に対する処置規程・・・・・・・・・・・・・８７
６　兵庫県立大学定期試験を受験できない者に対する処置規程・・・・・・・・８８
７　兵庫県立大学ＧＰＡ制度要綱・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８９
８　兵庫県立大学副専攻規程・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９０
９　成績に対する確認及び不服申立てに関する要綱・・・・・・・・・・・・・９１
１０　全学共通科目及び教職課程科目に係る成績に対する確認
及び不服申立てに関する取扱・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９４
１１　工学部・工学研究科における専門基礎科目、専門教育科目
及び博士前期課程・後期課程授業科目にかかる成績に対する確認
及び不服申立てに関する取扱・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９４

第３章　資格関連ガイド

１　電気主任技術者・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９５
２　無線従事者・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９８
３　毒物劇物取扱責任者・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９８
４　教員免許・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９９

第１章　履修の手引き

前期履修登録の流れ

履修計画

詳細はユニバーサルパスポートで確認してください。

各学科オリエンテーションが行われます。
必ず参加してください。

前期 履修登録期間

4/3 ～ 4/11
9:00　23:59

前期科目の履修登録が可能です。
２年生以上で抽選希望申込の全学共通科目の登録が必要な学生は、「全学共通科目履修登録願(抽選希望申込用)」を学務課に提出してください。
4/3 再受験許可者発表
4/3～4/8　抽選希望申込（前期）
4/3～4/8　アンケート申込（前期）
4/14～4/17　アンケート申込（前期集中講義）

前期 授 業 開 始

4/7

教室が変更されている場合があります。
ユニバーサルパスポートを確認してください。

前期抽選希望申込･ｱﾝｹｰﾄ申込結果発表

4/11

結果発表後は、当選した授業に出席してください。
学務課で履修登録します。
※前期集中講義は後日発表

前期 履修修正期間

4/18 ～ 4/24
9:00　17:00

学務課へ「履修登録修正願(修正期間用)」を提出してください。
ただし、抽選・アンケート科目の削除はできません。
また、上限を超えた履修登録は認められません。

前期 履修取消期間

5/10 ～ 5/16
9:00　17:00

学務課へ「履修登録修正願（取消期間用)」を提出してください。
ただし、アンケート科目（集中講義）の削除はできません。

後期履修登録の流れ

前期　成績公開・確認

9/18（木）からユニバーサルパスポートで前期成績を公開します。
日程が前後することがあるので掲示に注意してください。
9/18～9/30　成績確認期間

履修計画

詳細はユニバーサルパスポートで確認してください。

後期 履修登録期間

9/25 ～ 10/7
9:00　　23:59

後期科目の履修登録が可能です。
２年生以上で抽選希望申込の全学共通科目の登録が必要な学生は、「全学共通科目履修登録願（抽選希望申込用）」を学務課に提出してください。
9/25～9/26　抽選希望申込（後期）
9/25～9/26　アンケート申込（後期）

後期 授 業 開 始

10/1

教室が変更されている場合があります。
ユニバーサルパスポートを確認してください。

後期 抽選希望申込･ｱﾝｹｰﾄ申込結果発表

10/1

結果を確認し、当選した授業に出席してください。
学務課で履修登録します。

後期 履修修正期間

10/16 ～ 10/21
9:00　　17:00

学務課へ「履修登録修正願（修正期間用）」を提出してください。
ただし、抽選・アンケート科目の削除はできません。
また、上限を超えた履修登録は認められません。

後期 履修取消期間

11/4 ～ 11/10
9:00　　17:00

学務課へ「履修登録修正願（取消期間用）」を提出してください。

令和7年度学年暦

【前　期】

	月	火	水	木	金	土	日	行　事
4月		1	2	3	4	5	6	4月4日　入学宣誓式　　4月7日　授業開始日
	7	8	9	10	11	12	13	
	14	15	16	17	18	19	20	
	21	22	23	24	25	26	27	
	28	29	30					4月29日　昭和の日
5月				1	2	3	4	5月3日　憲法記念日　・　5月4日　みどりの日
	5	6	7	8	9	10	11	5月5日　こどもの日　・　5月6日　振替休日
	12	13	14	15	16	17	18	
	19	20	21	22	23	24	25	5月10日～16日　履修取消期間
	26	27	28	29	30	31		5月18日　開学記念日(R7は日曜であるが平日の場合、平常授業あり)
6月							1	
	2	3	4	5	6	7	8	
	9	10	11	12	13	14	15	
	16	17	18	19	20	21	22	
	23	24	25	26	27	28	29	
	30							
7月		1	2	3	4	5	6	
	7	8	9	10	11	12	13	
	14	15	16	17	18	19	20	7月21日 海の日（平常授業あり）
	21	22	23	24	**25**	**26**	27	7月23日(水)は、5/3（土）の振替授業日
	28	**29**	**30**	**31**				7月24日(木)は、5/6（火）の振替授業日
8月					**1**	**2**	3	7月25日～8月7日補講・試験日
	4	**5**	**6**	**7**	8	9	10	8月11日　山の日
	11	12	13	14	15	16	17	
	18	19	20	21	22	23	24	
	25	26	27	28	29	30	31	
9月	1	2	3	4	5	6	7	
	8	9	10	11	12	13	14	
	15	16	17	18	19	20	21	9月15日　敬老の日　　9月23日　秋分の日
	22	23	24	25	26	27	28	9月25日　秋季学位記授与式
	29	30						

※授業日数は、各曜日とも15日（定期試験の日を除く）。
※二重線は振替授業日。
※防災リーダー教育プログラム（H29年度入学生以前は防災教育ユニット）専門科目は、原則土曜日開講。
□で表示。
なお、同一の科目を複数回開講する日もあり。また、前期は夏季集中講義による開講もあり。
※太字は補講・試験日。
※場合により、上記以外で休業日に授業を開講する場合もあり。

令和7年度学年暦

【後　期】

	月	火	水	木	金	土	日	行　事
10月			1	2	3	4	5	
	6	7	8	9	10	11	12	10月1日　後期の授業開始日
	13	14	15	16	17	18	19	10月13日　スポーツの日
	20	21	22	23	24	25	26	
	27	28	29	30	31			10月31日～11月2日　大学祭
11月						1	2	11月3日　文化の日
	3	4	5	6	7	8	9	11月8日9日　関西六公立大学総合競技大会（予定）
	10	11	12	13	14	15	16	11月4日～10日　履修取消期間
	17	18	19	20	21	22	23	11月23日　勤労感謝の日
	24	25	26	27	28	29	30	11月24日　振替休日（平常授業あり）
12月	1	2	3	4	5	6	7	
	8	9	10	11	12	13	14	
	15	16	17	18	19	20	21	12月25日～1月4日　冬季休業
	22	23	24	25	26	27	28	
	29	30	31					
令和8年1月				1	2	3	4	1月5日　授業再開、1月12日　成人の日
	5	6	7	8	9	10	11	1月16日　大学入学共通テスト準備
	12	13	14	15	16	17	18	1月17日・18日 大学入学共通テスト
	19	20	21	22	23	24	25	1/21(水)・1/27(火)・1/28(水)は、
	26	27	28	**29**	30	31		10/13(月)・10/31(金)・11/1(土)の振替授業日
令和8年2月							1	1月29日、2月3日～2月17日　　補講・試験日
	2	**3**	**4**	**5**	**6**	**7**	8	2月11日　　建国記念日
	9	**10**	**11**	**12**	**13**	**14**	15	2月23日　　天皇誕生日
	16	**17**	18	19	20	21	22	
	23	24	25	26	27	28		
令和8年3月							1	
	2	3	4	5	6	7	8	
	9	10	11	12	13	14	15	3月20日　春分の日
	16	17	18	19	20	21	22	3月26日　学位記授与式
	23	24	25	26	27	28	29	
	30	31						

※授業日数は、各曜日とも15日（定期試験の日を除く）。

※二重線は振替授業日。

※防災リーダー教育プログラム（H29年度入学生以前は防災教育ユニット）専門科目は、原則土曜日開講。

□で表示。

なお、同一の科目を複数回開講する日もあり。

※太字は補講・試験日。

※場合により、上記以外で休業日に授業を開講する場合もあり。

令和7年度　開講科目時間割
英語コア科目の講義教室部分

［前期］

配当年次		クラス	月			木		
			2	3	4	1	2	3
1	電気電子情報工学	L1	940500 W1 A203 ［ミラ］	940300 RD1 7102 ［ケイト］			940100 LS1 A203 ［川上］	
		L2	940501 W1 5104 ［スチュワート］	940301 RD1 5101 ［ロドリゲス］			940101 LS1 A102 ［﨑野］	
		L3	940502 W1 A207 ［石倉］	940302 RD1 A203 ［ミラ］			940102 LS1 A207 ［ケイト］	
		L4	940503 W1 A202 ［上原］	940303 RD1 A207 ［木津］			940103 LS1 5203 ［岡部］	
		L5	940504 W1 A206 ［高橋綾］	940304 RD1 A208 ［川上］			940104 LS1 5105 ［ロドリゲス］	
	機械・材料工学	K1	940505 W1 7102 ［バード］		940305 RD1 5104 ［スチュワート］	940105 LS1 5105 ［ロドリゲス］		
		K2	940506 W1 5103 ［谷川］		940306 RD1 A102 ［﨑川］	940106 LS1 A102 ［﨑野］		
		K3	940507 W1 A205 ［内山］		940307 RD1 7102 ［ケイト］	940107 LS1 A203 ［川上］		
		K4	940508 W1 A204 ［チュ］		940308 RD1 A207 ［木津］	940108 LS1 7102 ［上原］		
		K5	940509 W1 5203 ［糟屋］		940309 RD1 5101 ［ロドリゲス］	940109 LS1 A206 ［内山］		
	応用化学工学	O1	940110 LS1 5101 ［ロドリゲス］	940510 W1 A205 ［内山］			940310 RD1 7102 ［上原］	
		O2		940511 W1 5104 ［スチュワート］			940311 RD1 A206 ［内山］	940111 LS1 A207 ［ケイト］
		O3	940112 LS1 A208 ［川上］	940512 W1 A102 ［﨑川］			940312 RD1 A205 ［藤原］	
		O4		940513 W1 A202 ［上原］			940313 RD1 A202 ［﨑川］	940113 LS1 A206 ［スチュワート］

令和7年度工学部　前期　開講科目時間割表　Ｉ－1

英語コア科目の授業コード・教室は別紙で記載

☆は必修　※は通年　★はキャンパス間遠隔授業

配当年次		月 1	月 2	月 3	月 4	月 5	火 1	火 2	火 3	火 4	火 5	水 1	水 2	水 3	水 4	水 5	木 1	木 2	木 3	木 4	木 5	金 1	金 2	金 3	金 4	金 5
1	電気電子情報工学	904060 日本国憲法(A) A101 喜友名 904100 生活の中の法律 A102 竹内 谷本 913010 政治学 5203 柳下 913190 現代社会論 5103 井関 913240 福祉と社会 A208 竹端 904200 環境の社会学 A203 原田	☆ 英語 W1	☆ 英語 RD1	331211 代数学 I C102 枡田 331212 代数学 I 6232 山内	906101 国文学 (演劇) 5103 元田 906111 心理学 (A) A101 保坂 906112 心理学 (B) A102 神田 906140 日本史 A208 平良 906230 論理学 A202 伊藤 910250 芸術学 5105 横原 906010 哲学 5201 西村 ★ 920210 地球の営みと災害 A203 永野他	903030 生命体の科学 7102 水島 903121 生物科学 A202 宮澤 904030 社会統計学 A102 江口 905020 マテリアル科学への招待 A101 住友　他 905080 環境問題と国際協力 A203 増原 916130 医療と工学のフロンティア 5204 小橋　他 916150 宇宙科学 A208 石田	☆ 975060 情報処理基礎 7105 7201 7204 山添 新居 有川 森 福本 奥田	900101 健康・スポーツ科学演習1 森 藤井 岡田	ドイツ語 1 930001 毛利 5105 フランス語1 931001 白井 5203 中国語1 932001 金 A202 932003 沈 A204 932004 王 A205 932005 孟 A203 韓国・朝鮮語1 933000 黄 5103	920810 地域プロジェクト概論 A102 内平他	920261 キャリアデザイン入門(A) A102 前田 910240 環境芸術論 A202 竹田 920140 栄養健康科学入門 A208 村上他 903155 緑景観マネジメント論 A203 山本他 920190 グローバル科学入門 5202 河南	910160 宗教概論 A208 大島 910230 建築文化ツーリズム学 A202 三田村 920170 グローカルリーダー入門 A101 後藤他	920262 キャリアデザイン入門 (B) A202 戎 333437 基礎化学Ⅱ A101 中西	903110 人と自然の共生 A101 鈴木 (武) 他 ★ 913200 災害支援とボランティア A102 阪本他			☆ 英語 LS1	☆ 英語 LS1	☆333510 機械工作実習 工作センター 原田、土田、岡井、木村(真)、山口(義)、木村(文)、日下、工作センター職員	331221 解析学 I 5103 枡田 331222 解析学 I C102 西中		☆ 331521 電気回路基礎 A101 本多	331325 力学 A101 吉田 藤井	☆ 938000 基礎ゼミナール A101 日浦 上浦 菊池 古谷		
	機械・材料工学		☆ 英語 W1	☆ 333211 代数学 I 枡田 C102 ☆ 333212 代数学 I 守屋 6232	☆ 英語 RD1			☆ 333221 解析学 I A202 永安 ☆ 333222 解析学 I A203 加藤										☆ 938010 基礎ゼミナール 7105 木之下 ☆ 938011 基礎ゼミナール 7201 住友 ☆ 938012 基礎ゼミナール 7204 浮田	☆ 333322 力学Ⅰ 7102 河南	☆ 333332 力学Ⅰ 演習 7102 河南		☆333511 機械工作実習 工作センター 原田、土田、岡井、木村(真)、山口(義)、木村(文)、日下、工作センター職員		☆ 333321 力学Ⅰ 7102 **住友** ☆333512 機械工作実習 工作センター 原田、土田、岡井、木村(真)、山口(義)、木村(文)、日下、工作センター職員	☆ 333331 力学Ⅰ 演習 7102 **住友**	
	応用化学工学		☆ 英語 LS1	☆ 英語 W1	☆ 938020 基礎ゼミナール 5201 遊佐 田口			☆ 335211 代数学 I 5101 山内 ☆ 335212 代数学 I 5203 光明						☆ 335321 基礎物理学Ⅰ A102 松田 (聡)			☆ 英語 RD1	☆ 英語 LS1		☆ 975080 情報処理基礎 7201 7204 石澤 応用化学工学科全助教	☆ 335221 解析学 I 5103 枡田 ☆ 335222 解析学 I C102 西中	☆ 335158 化学工学概論 I A203 山本 (拓)	☆ 335431 応用化学概論 I A203 今高			
	共通							903160 地域資源の保全と活用 A101 三宅						920390 ひょうご地域課題概論 A203 山本他									916170 生命科学入門 5201 水島他		
2	共通					945190 科学技術英語1 7102 ケイト																		949100 TOEIC総合1 A205 木津 (※前半集中) 4月11日～5月30日		
	電気電子情報工学	331156 環境安全工学 B301 本多	331236 応用解析学Ⅰ A102 山内	331170 グローバルエンジニアリング 5204 遊佐 高垣 瀬戸浦			331351 熱・統計力学 5201 神田 (一)	331256 幾何学 5201 只野	331245 複素解析学 5201 加藤	331136 工学倫理 B301 本多 日浦	331146 工業経済学 A101 河野	☆ 331561 電磁気学 演習 A101 藤井 竹内 岡 森本(佳) 岡田 豊田	331381 量子力学 5202 中村 (龍)	☆ 331590 電気系基礎実験Ⅰ B301 B401 B414 岡田、森本(佳)、中嶋、森、森本(雅)、礒川、藤井、有川、瀬戸浦、大里、藤谷、大坂			☆ 331631 基礎電気電子計測 A101 古賀	331751 電気回路Ⅱ A101 堀田	331431 基礎化学 A208 西田 高田				331713 電磁気学Ⅰ 5202 福本	331816 プログラミング論 Ⅱ 5202 小橋 和田	☆ 331660 コンピュータ実習1 7105 7201 7204 新居 小橋 古谷 和田 星野	
	機械・材料工学	334404 基礎材料工学 Ⅰ A202 足立 ☆ 334405 基礎材料工学 Ⅰ A202 足立	☆ 333236 応用解析学Ⅰ 5202 保城	333170 グローバルエンジニアリング 5204 遊佐 高垣 瀬戸浦			☆ 333551 熱力学 Ⅰ 5202 木村 (文) 333552 熱力学 Ⅰ 5202 木村 (文)	333256 幾何学 A102 川久保		333245 複素解析学 A101 永安	333146 工業経済学 A101 河野	☆ 333366 電磁気学 5201 河合 ☆ 333367 電磁気学 C102 大河内	☆ 333531 材料力学 Ⅰ 5201 田中展				☆ 333542 流体力学Ⅰ 5103 高垣	333373 現代物理学 5202 乾	☆ 333560 機械設計製図Ⅰ C219 C319 5201 荒木、岡井、田中(一)、伊東、松本(直)、田中(芹)			334426 基礎材料工学 Ⅱ 5201 永瀬 ☆ 334427 基礎材料工学 Ⅱ 5201 永瀬	☆ 334217 物性物理Ⅰ 5103 住友		
	応用化学工学		☆ 335553 有機化学Ⅰ 5204 古山 ☆ 335554 有機化学Ⅰ 6232 岸	335170 グローバルエンジニアリング 5204 遊佐 高垣 瀬戸浦	☆ 335532 物理化学Ⅰ 5103 梅山		☆ 335542 無機化学Ⅰ C102 嶺重	☆ 335546 無機化学Ⅰ 5103 松尾	☆ 335817 製図学 7201 佐藤根	☆ 335533 物理化学Ⅰ 5204 山本 (宏)	335146 工業経済学 A101 河野	☆ 335572 分析化学Ⅰ 7101 稲本	☆ 336137 高分子化学Ⅰ C219 遊佐 ☆ 336575 工業数学 7105 飯村		☆ 336557 金属学 7102 野崎		☆ 336165 生物化学Ⅰ 7101 今高 ☆ 336407 化学工学 5103 前田	335396 電気電子工学 概論 A102 日浦	335327 基礎物理学Ⅲ 5204 松田 菊池 (丈)	335236 応用解析学Ⅰ A102 平野			☆ 335683 学生実験Ⅰ C207.C208.C219.C307.C308 稲本、鈴木(航)、新船、飯村、柿部、菊池(丈)、田口、中村(光)、西田、野崎、福室、松田(聡)、松本(歩 ☆ 336577 物理学実験 C207.C208.C219.C307.C308 菊池(丈)、新船、飯村、稲本、柿部、鈴木(航)、田口、中村(光)、西田、野崎、福室、松田(聡)、松本(歩)	

授業時間

1限	9:00～10:30
2限	10:40～12:10
3限	13:00～14:30
4限	14:40～16:10
5限	16:20～17:50
6限	18:00～19:30

令和7年度工学部　前期　開講科目時間割表　Ⅱ－1

☆は必修　　※は通年　　★はキャンパス間遠隔授業

配当年次		月 1	月 2	月 3	月 4	月 5	火 1	火 2	火 3	火 4	火 5	水 1	水 2	水 3	水 4	水 5	木 1	木 2	木 3	木 4	木 5	金 1	金 2	金 3	金 4	金 5
再履修	電気電子情報工学																									
	機械・材料工学							334646 ロボット工学 6223 布引																333323 力学Ⅰ 5103 比嘉		
	応用化学工学																									
		990065 数学科指導法Ⅲ 5424 吉田	990063 数学科指導法Ⅰ 5424 廣岡																							
3	電気電子情報工学	331836 情報回路 5201 長宗	331846 電力変換 5201 菊池	332346 電子回路Ⅱ A101 神田（健）	332116 高電圧・絶縁システム B301 上野	331190 インターンシップ 5104 堀田		332126 電気系材料工学 B301 堀田	332356 マイクロ波工学 A101 河合	331826 制御システムⅠ 5201 南	331860 電気電子計測 B301 藤井	332386 光波電子工学 B301 有川	331741 情報通信工学 A102 山本（真）	332136 電力輸送工学Ⅰ 5201 多田			332326 半導体デバイスⅠ B301 堀田	332216 電磁変換工学 B301 菊池（祐）	☆331701 電気工学思考型実験 星野,古賀,古谷,本多,南,吉田,上野,岡,菊池,多田,福本,堀田 ☆331736 電気工学知識探求型実験 星野,古賀,古谷,本多,南,吉田,上野,岡,菊池,多田,福本,堀田 ☆331706 電子工学実験 山本（真）,竹内,河合,豊田,藤澤,神田（健） ☆331746 情報工学実験 6331，6336 山添,小橋,上浦,和田,奥田			332316 電子物性論 C102 藤澤	332556 計算機アーキテクチャ 5201 新居	332580 コンピュータ実習3 6336 礒川 森本（雅）		
	機械・材料工学		333786 電気電子工学概論 B301 吉田 長宗	☆ 334140 機械工学実験 C207.C219. 6234.7105 日下，布引，高垣，山口，木村文，川口，阿保、木村真、廣川、角田				334420 鉄鋼材料学 5202 土田	☆ 334571 創造設計演習Ⅰ 7101、7102 阿保，比嘉，荒木				334236 固体力学 7102 日下	333286 数値解析 7201 山口（義）	333722 機械設計Ⅱ 5204 松本(直)			333816 制御工学Ⅱ 6232 佐藤孝雄		333190 インターンシップ 5104 河南 伊藤（省）	333188 シンクロトロン放射光工学（オムニバス） 5201 春山 他		333166 知的財産権 C102 原	333676 機械力学Ⅱ 5105 黒田（雅）		
				☆ 334431 材料工学実験Ⅱ C208 足立，部家，盛谷，伊東，岡井，大谷、天野，橋本，原田、山川，早勢，全准教授，全助教			334436 材料組織工学 5203 足立	☆ 334420 鉄鋼材料学 5202 土田	334666 計算材料学 7204 乾			334696 物理化学Ⅱ 5103 神田（一）	334466 物性物理Ⅲ 5105 菅					333776 結晶塑性学 C102 三浦				334488 量子磁性材料 C101 鈴木(隆)				
	応用化学工学		336716 物質計測化学 C102 村松				335641 無機化学Ⅲ 5105 潘	336226 生物工学 A208 武尾	☆ 335690 学生実験Ⅲ C307.C308 町田 応用化学コース全准教授 全助教			990073 理科指導法Ⅰ 5423 芦谷	336126 有機分光学 C102 高田・西田	☆ 335690 学生実験Ⅲ C307.C308 町田 応用化学コース全准教授 全助教			336676 粘性流体力学 5201 伊藤（和）	335661 有機化学Ⅲ 5103 中村		335188 シンクロトロン放射光工学（オムニバス） 5201 春山 他	336196 量子化学 5103 山名			990074 理科指導法Ⅱ 5105 壷阪	
		☆ 336336 物質創成工学Ⅰ 7102 山本（拓）		☆ 336381 化学工学実験 C307.C308 野崎、佐藤根、新船、飯村、伊藤（和）、柿部、菊池、岸、福室、松本（歩）、嶺重、八重、山本（拓）			336686 高分子材料工学 5103 岸						336616 材料力学 5103 松田	336636 金属伝熱物理 5103 新船					☆ 336316 化学熱力学 5105 山本(宏)				☆ 336386 電気化学(A) 7102 八重				
4	電気電子情報工学	☆ 331206 卒研 ※ 331196 卒論英語 古谷、上浦、瀬戸浦、山本						332196 電機設計 5204 中村（嘉）	332406 電波法規 B302 相河												331188 シンクロトロン放射光工学 5201 春山 他		331166 知的財産権 C102 原			
	機械・材料工学	☆ 333206 卒研 ※ 333196 卒論英語 機械工学コース全教員（筆頭：河南治）					334289 自動車工学 C302 木村（真）	334246 計測工学 6224 阿保		☆ 334170 機械工学演習 木之下																	
										☆ 333741 科学英語 5105 土田、全教授、全准教授						334477 プレゼンテーション演習 土田、全教授、全准教授										
	応用化学工学	☆ 335206 卒研 ※ 335196 卒論英語 梅山、町田								335741 科学英語 嶺重・全教授・全准教授														335166 知的財産権 C102 原			

3年次配当の電気化学(A)(B)のようにコース別に配当されているものは重複して履修できない

授業時間

1限	9:00～10:30
2限	10:40～12:10
3限	13:00～14:30
4限	14:40～16:10
5限	16:20～17:50
6限	18:00～19:30

令和7年度　工学部　前期　開講科目時間割表

＊時間割や教室等について別途掲示します。日程等変更の場合がありますので、必ず掲示を確認してください。

集中講義（全学共通教育科目）

科目名	授業コード	教員名	区分	対象	日程	教室
Intensive English 1	970101	宮下	選択英語	2年次生以上 （定員あり）	8/11～15	（A202教室）
Intensive English 2	970102	宮下	選択英語		8/18～22	（A202教室）
文化人類学（S）	906131	石川	人と文化	1年次生以上 （定員あり）	9/8～10	（A202教室）
教育学	910030	松本	人と文化		9/1～3	（A202教室）
地方公共団体の行政を学ぶ	920800	内平	地域課題探究科目		8/25～27	姫路環境人間キャンパス　F302
共生博物学	903152	高野他	地域課題探究科目		8/26～29	自然・環境科学研究所（県立人と自然の博物館内）
兵庫の里山	920161	大橋	地域課題探究科目		8/9～11	姫路環境人間キャンパス　A110
ジオパークと地域	920300	松原　他	地域課題探究科目		9/23～26	姫路環境人間キャンパスA312 A110
男女共同参画社会	913230	鴨谷	人と社会		8/25～28	神戸商科キャンパス
ひょうごの子育て支援	920400	濱田	人と社会		8/25～28	姫路環境人間キャンパス A401
法学	913073	砂川	人と社会		8/8～10	（A1O2教室）
生命倫理	908881	紀平	人と自然	2年次生以上	8/19～22	播磨理学キャンパス
播磨学	910200	宇那木	グローバル教育科目	1年次生以上 （定員28名）	8/18～21	（A203教室）
地域資源フィールドワーク （田園生態系の保全と再生）	920820	布野 他	地域課題探究科目	3年次 （定員12名）	9/2～5	豊岡ジオ・コウノトリキャンパス
地域資源フィールドワーク （ジオパークの地質と文化）	920830	佐野　他	地域課題探究科目	3年次 （定員10名）	9/18～20	豊岡ジオ・コウノトリキャンパス

※申込時期・方法は掲示により連絡します。定員を超えた場合の抽選発表等は掲示により連絡します。

集中講義（専門科目）

科目名	授業コード	教員名	区分	対象	日程	教室
集積回路	332366	三木	専門科目	電気電子情報工学科	9/24～26各日1～5限	（B301）

集中講義（教職課程科目）

★はキャンパス間遠隔授業

科目名	授業コード	教員名	区分	対象	日程	教室
教職論	990131	尾崎　他	教職科目	教職免許の取得を目指す1年次生	9/24・25・26	（A203教室）
日本国憲法（S）	990204	竹内 他	教職科目・人と社会	2年次生（教職課程希望者優先）	9/9・10・11	オンライン
道徳教育論	990091	谷田	教職科目	教職免許の取得を目指す2年次生	9/9・10・11	（A208教室）
教育心理学	990011	保坂	教職科目		9/12・22(オンライン)・30	（A203教室）
教育相談	990181	井上	教職科目		8/21(オンライン)・22・25	（A203教室）
教育制度論	990021	尾崎	教職科目		9/1・2(オンライン)・3	（A203教室）
★教育課程論	990701	池田	教職科目		8/11・18(オンライン)	オンライン
★総合的な学習の指導法	990801	八木	教職科目		8/19・20	（5201教室）
生徒指導論	990111	竹内	教職科目	教職免許の取得を目指す3年次生	9/16・17・18	（A203教室）
介護等体験	990241	保坂　他	教職科目		7日間、別途掲示	後日掲示
教育実習Ⅰ	990214	竹内　他	教職科目	高校教職免許の取得を目指す4年次生	2週間	
教育実習Ⅱ	990224	竹内　他	教職科目	中学教職免許の取得を目指す4年次生	3週間	
数学科指導法Ⅳ	990066	西川	教職科目	教職免許の取得を目指す4年次生	4/19(土)・26(土)、5/17(土)・24(土)、6/7(土)	姫路環境人間キャンパス 演習室P110
理科指導法Ⅳ	990076	壷阪	教職科目		8/20・21・22	播磨理学キャンパス
職業指導	990301	世良　他	教職科目		8/18・9/8・9・10・12・18・19・27・28	（7204教室）
教育実践体験	990251	竹内　他	教職科目	教職免許の取得を目指す2年次生 （2023年度以降の入学生）	通年集中 4/25,2/15他（詳細は4/25に）	後日掲示
生物学実験	335850	水島　他	専門科目	教員免許の取得を目指す4年次生 （応用化学工学科のみ）	9/2・3・4・5 各日1～5限 （初日9:30～）	（C棟C428）

注　卒業条件およびすべての許可条件の単位に含まない。（日本国憲法（S）は除く。）

地域創生リーダー教育プログラム（RREP）

科目名	授業コード	教員名	区分	対象	日程	教室
地域プロジェクト実践論	920412	岸本	地域課題探究科目	2年次生以上	後日掲示	後日掲示
地域インターンシップ演習	920520	内平　他	RREP関連科目	3年次生以上 （2022年度以降入学生）	後日掲示	後日掲示

注　RREP関連科目の単位は卒業条件およびすべての許可条件の単位に含まない。

防災専門科目

科目名	授業コード	教員名	区分	対象	日程	備考
まちづくりと減災復興（注2）	982001	澤田	防災専門科目	2年次生以上	（前期前半4/12～6/7 ）土曜1・2限	神戸防災キャンパス大教室
災害リスクマネジメント	982004	紅谷	防災専門科目	2年次生以上（2023年度以降入学生） 3年次生以上（2022年度以前入学生）	（前期前半4/12～6/7）土曜1・2限	神戸防災キャンパス中教室
防災の国際協力	983004	馬場	防災専門科目	3年次生以上（2022年度以前入学生）	（前期前半4/12～6/7）土曜1・2限	神戸防災キャンパス付属会議室
減災復興政策概論	983005	青田	防災専門科目	2年次生以上	（前期後半6/7～7/26）土曜1・2限	神戸防災キャンパス大教室
防災実践講座	983002	浦川	防災専門科目	2年次生以上	8/26～28	神戸防災キャンパス大教室＋野外
気象・気候変動と災害	981007	谷口	防災専門科目	2年次生以上（2023年度以降入学生）	（前期後半6/7～7/26）土曜1・2限	神戸防災キャンパス中教室
防災リーダー育成講座（注3）	984001	谷口 他	防災専門科目	2年次生以上	9/2～5	神戸防災キャンパス大教室
防災ゼミナールⅠ	984002	松川 他	防災専門科目	2年次生以上	前期土曜3限	神戸防災キャンパス中・大教室

注1　卒業条件およびすべての許可条件の単位に含まない。
2「まちづくりと減災復興」は「都市災害とまちづくり」の読替科目です。2022年度以前入学生で「都市災害とまちづくり」の履修を希望する場合は「まちづくりと減災復興」を履修してください。
3「防災リーダー育成講座」は「防災フィールドワーク」の読替科目です。2022年度以前入学生で「防災フィールドワーク」の履修を希望する場合は「防災リーダー育成講座」を履修してください。

グローバルリーダー教育プログラム（GLEP）

科目名	授業コード	教員名	区分	対象	日程	教室
グローバルプロジェクト入門（海外）(B)	920871	後藤　他	グローバル教育科目	2年次生以上 GLEP生優先	後日掲示	後日掲示
日本の思想と文化を学ぶ	920885	星山　他	グローバル教育科目	1年次生 GLEP生優先	後日掲示 通年集中	後日掲示
先端科学を学ぶ	920883	天野　他	グローバル教育科目	1年次生 GLEP生優先	後日掲示 通年集中	後日掲示
グローバルプロジェクト演習1	920873	後藤　他	GLEP専門科目	2年次生（2023年度以前入学生のみ） GLEP生のみ	後日掲示 通年集中	後日掲示
グローバルプロジェクト演習1A	920877	小野　他	GLEP専門科目	2年次生（2024年度以後入学生のみ） GLEP生のみ	後日掲示 集中	後日掲示
グローバルプロジェクト演習2	920872	小野　他	GLEP専門科目	3年次生 GLEP生のみ	後日掲示 通年集中	後日掲示
中級中国語Ⅰ	932021	川口	GLEP専門科目	2年次生以上 GLEP生優先	後日掲示 一部土曜1限	後日掲示
中級ドイツ語Ⅰ	930021	井口	GLEP専門科目	2年次生以上 GLEP生優先	後日掲示 一部土曜1限	後日掲示

注　GLEP専門科目は、卒業条件およびすべての許可条件の単位に含まない。

令和7年度　開講科目時間割
英語コア科目の講義教室部分

［後期］

配当年次		クラス	月		木			金		
			2	3	2	3	4	1	2	3
1	電気電子情報工学	L1	940600 W2 5105 ［上原］				940400 RD2 A206 ［内山］			940220 LS2 5105 ［川上］
		L2	940601 W2 A206 ［谷川］				940401 RD2 5105 ［岡部］			940221 LS2 5203 ［木津］
		L3	940602 W2 7102 ［ロドリゲス］				940402 RD2 A207 ［木津］			940222 LS2 A205 ［チュ］
		L4	940603 W2 A203 ［﨑川］				940403 RD2 5203 ［スチュワート］			940223 LS2 7101 ［石野］
		L5	940604 W2 A205 ［内山］				940404 RD2 A208 ［宮下］			940224 LS2 A202 ［﨑川］
	機械・材料工学	K1		940605 W2 5105 ［上原］		940405 RD2 A205 ［谷川］			940225 LS2 7101 ［石野］	
		K2		940606 W2 5203 ［スチュワート］		940406 RD2 5105 ［岡部］			940226 LS2 A208 ［上原］	
		K3		940607 W2 A203 ［﨑川］		940407 RD2 A208 ［宮下］			940227 LS2 A205 ［チュ］	
		K4		940608 W2 7102 ［ロドリゲス］		940408 RD2 7101 ［﨑川］			940228 LS2 5203 ［木津］	
		K5		940609 W2 A206 ［谷川］		940409 RD2 A206 ［内山］			940229 LS2 5105 ［川上］	
	応用化学工学	O1	940230 LS2 A202 ［川上］		940410 RD2 A208 ［宮下］			940610 W2 7205 ［内山］		
		O2	940231 LS2 A204 ［ミラ］		940411 RD2 A203 ［﨑野］			940611 W2 5105 ［川上］		
		O3	940232 LS2 5203 ［スチュワート］		940412 RD2 A206 ［内山］			940612 W2 7101 ［石野］		
		O4	940233 LS2 5104 ［ケイト］		940413 RD2 A205 ［谷川］			940613 W2 A208 ［上原］		

令和7年度工学部　後期　開講科目時間割表　Ⅲ－1

英語コア科目の授業コード・教室は別紙で記載

☆は必修　※は通年　★はキャンパス間遠隔授業

配当年次		月 1	月 2	月 3	月 4	月 5	火 1	火 2	火 3	火 4	火 5	水 1	水 2	水 3	水 4	水 5
1	電気電子情報工学	904081 社会学 A102 西牟田 906211 人文地理学概論 7101 杉山 913030 日本国憲法(C) A203 中川 吉谷 913031 日本国憲法(D) A208 竹内 913040 経営学 5202 西田 913150 環境と政治 A202 原田	☆ 英語 W2	☆ 331511 プログラミング論Ⅰ A102 日浦	☆ 331651 プログラミング演習 7201 7204 日浦 竹内 古賀 大坂 奥田	906102 国文学(小説) 5103 元田 906123 東洋史 5104 磯部 906132 文化人類学(A) A208 中谷 910180 食文化と環境 A101 坂本 他 910220 心理学(C) A102 井上(靖) 910221 心理学(D) A202 加納 906241 暮らしと道具 5201 本田			900102 健康・スポーツ科学演習2 野村 藤井 岡田	ドイツ語2 930011 毛利 5105 フランス語2 931011 白井 5203 中国語2 932011 金 A202 932013 沈 A204 932014 王 A205 932015 孟 A203 韓国・朝鮮語2 933001 黄 5103	920150 兵庫のものづくり A101 上浦他 929000 地域気候と住環境 5201 土川 ★ 904201 情報技術と現代社会 5105 玉置 ★ 920220 生活と防災 A102 浦川他 ★ 920910 地域社会と健康 A202 撫養	903020 分子生物学とバイオテクノロジー A204 山内 905100 放射光科学のフロンティア 5201 橋本他 905120 現代化学への招待 7102 武尾 他 908822 科学技術論 5204 鳥塚 他 916140 応用倫理 A208 伊藤 920292 一般有機化学 5104 山田	920260 キャリアデザイン入門(C) A202 戎 905130 化学と環境技術 A101 伊藤(和) 他 913151 現代都市社会とまちづくり 5201 太田 920860 グローバル社会と文化 A208 白井				☆ 331531 電気回路Ⅰ 5202 神田 (健)	☆ 331541 電気回路 演習 B304 C102 C204 C219 C319 C402 大里 神田(健) 森 豊田 藤谷 多田	331217 代数学Ⅱ A101 山内	☆ 英語 RD2	
	機械・材料工学		333217 代数学Ⅱ 5202 光明	☆ 英語 W2				☆ 333227 解析学Ⅱ 5103 永安 ☆ 333228 解析学Ⅱ A102 加藤				☆ 333327 力学Ⅱ A101 橋本	☆ 333335 力学Ⅱ 演習 A101 阿保 松本 (直)			333431 基礎化学Ⅰ 5201 伊藤 (省)	☆ 333530 機械・材料工学 概論 A101 住友、 全教員	☆ 英語 RD2	☆ 975100 情報処理基礎 7105 7201 7204 乾 佐藤 荒木	☆ 333261 プログラミング演習 7105 7201 7204 乾 佐藤 荒木		☆ 英語 LS	☆ 333520 機械・材料工学実験 C207.C208 6234.6336 黒田、岡井、三浦、鈴木(隆)、乾、盛谷、松本(直)、伊東、田中(芹)、山川、早勢	
	応用化学工学		☆ 英語 LS2	335217 代数学Ⅱ 5201 保城	335227 解析学Ⅱ 5103 西中 335228 解析学Ⅱ C102 土井			☆ 335346 化学工学概論Ⅱ A202 伊藤(和) 化学工学コース 全教授				☆ 335560 化学実験 C307、C308 石澤 応用化学工学科全准教授・全助教				☆ 英語 RD2	☆ 335561 化学実験 C307、C308 石澤 応用化学工学科全准教授・全助教			☆ 英語 W2	☆ 335377 応用化学概論Ⅱ A203 梅山 中村 (光)	☆ 335361 基礎物理学Ⅱ 5201 菊池 (丈)	
	共通		★ 920380 兵庫の歴史と自然災害史 A101 青田他		★(送受信) 903156 地域資源マネジメント概論 5204 内藤 他		920751 英語表現(B) (混合) (GLEP生優先) A102 スチュワート	★ 920840 社会特性と減災復興 A101 紅谷他		920780 英語実習(A) (混合) (GLEP生優先) A207 ケイト	920781 英語実習(B) (混合) (GLEP生優先) A207 ケイト		920740 グローバル教養概論 A205 (GLEP生優先) 鄭 他			920750 英語表現(A) (混合) A204 (GLEP生優先) ケイト								
2	共通										945200 科学技術英語2 5203 ミラ								949200 TOEIC総合2 A203 崎野 (※前半集中) 10月9日～11月27日					
	電気電子情報工学	331771 電気系数学 5201 岡	331761 電気回路Ⅲ 5201 古谷	331711 電磁気学Ⅱ 5202 豊田	331721 情報理論 A101 相河		331781 基礎電子物理 A208 藤澤	331116 地球システム科学 5201 後藤 (忠) 331126 生命科学 5202 山内 (大)		331731 離散数学 A101 上浦	331237 応用解析学Ⅱ 5202 永安		331176 科学・技術論 5203 武藤	☆ 331690 電気系基礎実験Ⅱ B301.B401.B414 岡田、森本(佳)、中嶋、森、森本(雅)、礒川、藤井、有川、瀬戸浦、大里、藤谷、大坂			331276 確率・統計 5202 守屋				331791 電子回路Ⅰ 5202 中嶋	332527 データ構造とアルゴリズム論 5202 上浦	331670 コンピュータ実習2 7105 7201 7204 小橋 山添 和田		【土曜3限】 331180 英語論文作成 名取
	機械・材料工学	☆ 334218 物性物理Ⅱ 5103 鈴木 (隆)	333276 確率・統計 A208 保城	☆ 333131 工学倫理 A101 柳谷	☆ 333806 制御工学Ⅰ 6232 佐藤 (孝)	☆ 333336 機械設計 演習 7102 田中(展) 木村 (文) 廣川	☆ 333641 機械力学Ⅰ 5201 黒田 333646 機械力学Ⅰ 5201 黒田	333116 地球システム科学 5201 後藤 (忠) 331126 生命科学 5202 山内 (大)	333712 機械設計Ⅰ A101 田中 (一)	333237 応用解析学Ⅱ 5202 加藤		333796 機械加工学 5202 布引	335600 基礎材料工学Ⅲ 7102 永瀬 ☆ 335600 基礎材料工学Ⅲ 7102 永瀬			333652 流体力学Ⅱ A202 山口 (義)	333661 熱力学Ⅱ A202 浮田 334676 X線回折学 5204 鈴木哲	☆ 333570 機械設計製図Ⅱ C219 河南、比嘉、角田 ☆ 334430 材料工学実験Ⅰ C208. 土田，鈴木，部家，三浦，伊東，大谷，全准教授，全助教		333346 振動・波動論 5203 原田	333611 材料力学Ⅱ C102 日下 ☆ 333627 物理化学Ⅰ 6224 山川			【土曜3限】 333180 英語論文作成 名取
	応用化学工学	☆ 335611 物理化学Ⅱ 7102 松尾 ☆ 335632 無機化学Ⅱ C102 徳重	☆ 336147 高分子化学Ⅱ 5103 近藤 ☆ 336572 化学工学プログラミング 7201 7204 新船 松本(歩)	335137 工学倫理 A101 柳谷			336578 構造解析学 5202 福室	335116 地球システム科学 5201 後藤 (忠) 331126 生命科学 5202 山内 (大)	☆ 335699 学生実験Ⅱ C307.C308 稲本 応用化学コース全准教授 全助教				☆ 335651 有機化学Ⅱ 5105 中村 西田 ☆ 335652 有機化学Ⅱ 5204 柿部		☆ 336327 反応工学 5201 飯村 柿部		☆ 336175 生物化学Ⅱ 5204 武尾	☆ 335543 無機化学Ⅱ 6232 梅山	336656 流体工学 5201 伊藤 (和)			☆ 335582 分析化学Ⅱ 5103 稲本 ☆ 335612 物理化学Ⅱ 7102 前田	336696 移動現象論 7102 新船			【土曜3限】 335180 英語論文作成 名取

授業時間
1限　9:00～10:30
2限　10:40～12:10
3限　13:00～14:30
4限　14:40～16:10
5限　16:20～17:50
6限　18:00～19:30

令和7年度工学部 後期 開講科目時間割表 Ⅳ－1

☆は必修　※は通年　★はキャンパス間遠隔授業

配当年次		月 1	月 2	月 3	月 4	月 5	火 1	火 2	火 3	火 4	火 5
再履修	電気電子情報工学										
	機械・材料工学										
	応用化学工学										
										990082 工業科指導法Ⅰ 7102 雨河 990083 工業科指導法Ⅱ 7102 雨河	
3	電気電子情報工学	332176 電力発生工学 6232 菊池（祐）	332546 オペレーティングシステム 7101 日浦	332156 制御システムⅡ B301 古谷	332616 システム設計言語 6336 新居	331183 実験英語 上浦	332516 デジタル通信システム B301 相河	332596 人工知能 6232 礒川	332336 半導体デバイスⅡ B301 吉田		
	機械・材料工学	333183 実験英語 上田 材料・放射光工学全教授	334626 メカトロニクス 6232 井上(非常勤)	☆ 334432 材料工学実験Ⅲ C208.C319 部家彰 春山雄一 橋本智 原田哲男 鈴木哲 中西康次 大河内拓雄 神田一浩 天野壮 山川進二 早勢直紀 足立大樹 鈴木隆史				334726 放射光科学 5204 春山	☆ 333156 材料強度学 5204 土田	334487 物理化学Ⅲ 5202 盛谷	☆ 334572 創造設計演習Ⅱ C207.6234 日下、阿保、 布引、川口	
	応用化学工学		336388 電気化学(B) 5204 松尾	☆ 336180 学生実験Ⅳ C307.C308 高田 応用化学コース全教員			335856 遺伝子工学 C102 町田	336156 有機材料化学 5104 川瀬 336626 分離工学 C102 佐藤根	336186 光化学 5204 川月	☆ 336706 化学工学設計演習 7105 前田・松田（聡）・佐藤根・田口	
4	電子情報電気工学	☆ 331206 卒研 ※ 331196 卒論英語 古谷、上浦、瀬戸浦、山本									
	機械・材料工学	☆ 333206 卒研 ※ 333196 卒論英語 河南、比嘉、高垣									
	応用化学工学	☆ 335206 卒研 ※ 335196 卒論英語 梅山、町田							335861 地学実験 地学実験室 後藤（忠） C428		

配当年次		水 1	水 2	水 3	水 4	水 5	木 1	木 2	木 3	木 4	木 5
再履修	電気電子情報工学										
	機械・材料工学							334288 エネルギー変換工学 C302 河南			
	応用化学工学						335156 量子論入門 A102 山名				
					990064 数学科指導法Ⅱ 5204 西川						
3	電気電子情報工学	332376 アンテナ電波伝搬 B301 山本（真）	332146 電力輸送工学Ⅱ B302 上野		332186 電力技術 5103 川原 中嶋 堺井			332416 フォトニクス工学 B301 有川 森本（佳）	☆331702 電気工学思考型実験 星野,古賀,古谷,本多,南,吉田,上野,岡,菊池,多田,福本,堀田 ☆331737 電気工学知識探求型実験 星野,古賀,古谷,本多,南,吉田,上野,岡,菊池,多田,福本,堀田 ☆331707 電子工学実験 山本（真）,竹内,河合,豊田,藤澤,神田（健） ☆331747 情報工学実験 6331, 6336 山添,小橋,上浦,和田,奥田	
	機械・材料工学			334226 伝熱工学 5201 木村（文）	334296 数値流体力学 7204 本田(非常勤)	333185 実験英語 山口（義）	334421 非鉄金属材料学 5103 永瀬	☆ 334282 総合機械工学 7102 木之下他	333777 機械材料学 5103 木之下		
				334476 半導体工学 C105 部家			☆ 334421 非鉄金属材料学 5103 永瀬	334686 バイオマイクロシステム工学 5201 内海	334736 生体材料計測工学 6232 住友		
	応用化学工学	336356 物質創成工学Ⅲ 5103 福室	336216 生物化学Ⅲ 5103 今高				335621 物理化学Ⅲ 5104 村松	336116 高分子材料化学 5103 高田 近藤 336646 粉粒体工学 6224 飯村	336396 固体表面科学 5204 八重	990075 理科指導法Ⅲ 5204 平松	335183 実験英語 梅山 町田
4	電子情報電気工学								990191 教職実践演習 竹内 （11～12月に4日 その他学校訪問1日） **※必ず、後期の履修登録期間中に履修登録をすること**		
	機械・材料工学		333176 科学・技術論 5203 武藤								
	応用化学工学		335176 科学・技術論 5203 武藤								

配当年次		金 1	金 2	金 3	金 4	金 5
再履修	電気電子情報工学					
	機械・材料工学					
	応用化学工学		336367 無機材料化学 5201 菊池(丈)			
3	電気電子情報工学		332586 画像メディア工学 B301 山添	332396 応用電子工学 B301 中嶋	332166 デジタル信号処理 5201 森本（雅）	
	機械・材料工学		334716 加速器科学 6232 橋本	☆ 334145 創造設計工作実習 C219.6224. 工作センター 木村(真),布引,田中(一),工作センター職員 334706 電気化学 5202 伊藤（省）		
	応用化学工学	336346 物質創成工学Ⅱ 5101 野崎	336366 無機材料化学 5201 菊池(丈)	☆ 336180 学生実験Ⅳ C307.C308 高田 応用化学コース全教員		
4	電子情報電気工学			332206 電気法規 5423 未定		
	機械・材料工学					
	応用化学工学					

3年次配当の電気化学(A)(B)のようにコース別に配当されているものは重複して履修できない。
R4年度以前入学の応用化学コースの学生が自コース科目として「無機材料化学」を履修する場合は再履修科目を履修すること

授業時間
1限　9:00～10:30
2限　10:40～12:10
3限　13:00～14:30
4限　14:40～16:10
5限　16:20～17:50
6限　18:00～19:30

令和7年度　工学部　後期　開講科目時間割表

＊時間割や教室等について別途掲示します。日程等変更の場合がありますので、必ず掲示を確認してください。

集中講義(教職課程科目)

科目名	授業コード	教員名	区分	対象	日程	教室
教育原論	990001	山口	教職科目	教職免許の取得を目指す 1年次生(2024年度以降入学生)・2年次生(2023年度以前入学生)	12/26・27・28	(A203教室)
特別活動論	990901	池田	教職科目	教職免許の取得を目指す2年次生	2/21(ｵﾝﾗｲﾝ)・26	姫路環境人間キャンパスA401
特別支援教育論	990601	古川	教職科目	教職免許の取得を目指す2年次生	2/19・20	オンライン
教育方法・情報通信技術活用論	990291	西川	教職科目	教職免許の取得を目指す2年次生	11/15(土)・12/6(土)・13(土)	(A203教室)

地域創生リーダー教育プログラム

科目名	授業コード	教員名	区分	対象	日程	教室
フィールドワーク基礎技術論	920414	山本　他	地域課題探究科目	1年次生以上 (2022年度以降入学生)	後日掲示	後日掲示
フィールドワーク基礎技術演習	920415	佐々木　他	地域課題探究科目	1年次生以上 (2022年度以降入学生)	後日掲示	後日掲示
地域プロジェクト演習	920413	岸本　他	地域課題探究科目	2年次生以上	後日掲示	後日掲示
地域インターンシップ実践論	920510	内平　他	RREP関連科目	2年次生以上 (2022年度以降入学生)	後日掲示	後日掲示

注　RREP関連科目の単位は卒業条件およびすべての許可条件の単位に含まない。

防災専門科目

科目名	授業コード	教員名	区分	対象	日程	教室
地震津波と防災・減災　(注2)	981004	平井	防災専門科目	2年次生以上	(後期後半11/29～1/31)土曜1・2限	神戸防災キャンパス大教室
防災教育とﾘｽｸｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ(注3)	982005	阪本	防災専門科目	2年次生以上(2023年度以降入学生) 3年次生以上(2022年度以前入学生)	(後期前半10/4～11/29)土曜1・2限	神戸防災キャンパス中教室
災害と人と健康	983001	松川	防災専門科目	2年次生以上	(後期前半10/4～11/29)土曜1・2限	神戸防災キャンパス大教室
自然災害と観光復興	981006	馬場	防災専門科目	2年次生以上(2023年度以降入学生)	(後期後半11/29～1/31)土曜1・2限	神戸防災キャンパス中教室
防災ゼミナールⅡ	984003	松川 他	防災専門科目	2年次生以上	後期土曜3限	神戸防災キャンパス中・大教室

注1　卒業条件およびすべての許可条件の単位に含まない。
　2「地震津波と防災・減災」は「自然災害と防災」の読替科目です。2022年度以前入学生で「自然災害と防災」の履修を希望する場合は「地震津波と防災・減災」を履修してください。
　3「防災教育とﾘｽｸｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ」は「防災教育と心のケア概論」の読替科目です。2022年度以前入学生で「防災教育と心のケア概論」の履修を希望する場合は「防災教育とﾘｽｸｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ」を履修してください。

グローバルリーダー教育プログラム(GLEP)

科目名	授業コード	教員名	区分	対象	日程	教室
グローバル社会を学ぶ	920884	易 他	グローバル教育科目	1年次生 GLEP生優先	後日掲示	後日掲示
グローバルプロジェクト入門(海外)(A)	920870	後藤	グローバル教育科目	1年次生以上 GLEP生優先	後日掲示	後日掲示
グローバルプロジェクト演習1B	920874	小野　他	GLEP専門科目	2年次生(2024年度以後入学生のみ) GLEP生のみ	後日掲示	後日掲示
中級中国語Ⅱ	932022	川口	GLEP専門科目	2年次生以上 GLEP生優先	後日掲示 一部土曜1限	後日掲示
中級ドイツ語Ⅱ	930022	井口	GLEP専門科目	2年次生以上 GLEP生優先	後日掲示 一部土曜1限	後日掲示

注　GLEP専門科目は、卒業条件およびすべての許可条件の単位に含まない。

令和７年度　工学部教務委員一覧

教務委員長　乾　徳夫　（教室　6404）

学科	コース	教務委員	教室
電気電子情報工学科	電気工学	古谷　栄光	B319
		瀬戸浦　健仁	B407
	電子情報工学	上浦　尚武	6202
		山本　真一郎	B612
機械・材料工学科	機械工学	髙垣　直尚	C232
		日下　正広	C131
	材料工学	土田　紀之	C123
		三浦　永理	C337
応用化学工学科	応用化学	梅山　有和	C619
		町田　幸大	C602
	化学工学	嶺重　温	C533
		柿部　剛史	C527

オフィスアワー一覧

教員氏名	研究室	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	連絡先
相　河　聡	B620研究室	随時(メールによる事前連絡が望ましい)	aikawa@eng.u-hyogo.ac.jp
足　立　大　樹	C335研究室	随時	adachi@eng.u-hyogo.ac.jp
阿　保　政　義	C132研究室	月曜日17:00~19:30 (メールによる事前連絡が望ましい)	abo@eng.u-hyogo.ac.jp
荒　木　望	6502研究室	随時(メールによる事前連絡が望ましい)	araki@eng.u-hyogo.ac.jp
新　船　幸　二	C403研究室	随時（メールにて事前に連絡・予約を取ること）	arafune@eng.u-hyogo.ac.jp
有　川　敬	B619研究室	随時 （要事前連絡）	arikawa@eng.u-hyogo.ac.jp
飯　村　健　次	C532研究室	月曜18:00	iimura@eng.u-hyogo.ac.jp
石　澤　秀　紘	C621研究室	随時（事前にメール連絡することが望ましい）	ishizawa@eng.u-hyogo.ac.jp
礒　川　悌　次　郎	6204研究室	金曜日10:40～12:10(メールによる事前連絡が望ましい)	isokawa@eng.u-hyogo.ac.jp
伊　東　篤　志	C125研究室	随時,月、火、木18：00-19：00	a_ito@eng.u-hyogo.ac.jp
伊　藤　和　宏	C406研究室	随時（メールによる事前連絡が望ましい）	itoh@eng.u-hyogo.ac.jp
伊　藤　省　吾	C334研究室	12:15-12:45(事前にﾒｰﾙ等で連絡をしておくことが望ましい)	itou@eng.u-hyogo.ac.jp
稲　本　純　一	C604研究室	随時(ﾒｰﾙによる事前連絡が望ましい)	j.inamoto@eng.u-hyogo.ac.jp
乾　徳　夫	6404研究室	随時	inui@eng.u-hyogo.ac.jp
井　上　尚　三	6505研究室	金曜16:00~18:00(ﾒｰﾙによる事前連絡が望ましい)	inoue@eng.u-hyogo.ac.jp
今　高　寛　晃	C601研究室	平日9:00-17:00	imataka@eng.u-hyogo.ac.jp
上　野　秀　樹	B203研究室	随時,講義終了後、教室にて	ueno@eng.u-hyogo.ac.jp
浮　田　芳　昭	C235研究室		ukita@eng.u-hyogo.ac.jp
梅　山　有　和	C619研究室	月曜日 16:30-18:00 (上記に限らず可能な限り対応する)	umeyama@eng.u-hyogo.ac.jp 079-267-4949
大　坂　藍	B510研究室	月～金　9:00~17:00 (メールによる事前連絡が望ましい)	osaka@eng.u-hyogo.ac.jp
大　里　辰　希	B206研究室		osato@eng.u-hyogo.ac.jp
大　谷　祐　貴	C333研究室		otani@eng.u-hyogo.ac.jp
岡　好　浩	B315研究室	随時	oka@eng.u-hyogo.ac.jp
岡　井　大　祐	C130研究室	12:00-13:00	okai@eng.u-hyogo.ac.jp
岡　田　翔	B303研究室	随時	okada@eng.u-hyogo.ac.jp
奥　田　萌　莉	6201研究室		okuda@eng.u-hyogo.ac.jp
柿　部　剛　史	C527研究室	随時	kakibet@eng.u-hyogo.ac.jp
角　田　祐　輔	6407研究室	随時 (事前にメールやクラスプロファイルで連絡・アポイントメントを取ること)	tsunoda@eng.u-hyogo.ac.jp
上　浦　尚　武	6202研究室	木曜10:40~12:10(ﾒｰﾙによる事前連絡が必要)	kamiura@eng.u-hyogo.ac.jp
河　合　正	B508研究室	随時 (ﾒｰﾙによる事前連絡が望ましい)	kawai@eng.u-hyogo.ac.jp
川　口　夏　樹	C236研究室	随時	kawaguchi@eng.u-hyogo.ac.jp
河　南　治	C231研究室	随時 事前のﾒｰﾙ連絡が望ましい 木曜日18:00～19:00	kawanami@eng.u-hyogo.ac.jp
神　田　健　介	B520研究室	水曜日 10:40~12:10	kanda@eng.u-hyogo.ac.jp
菊　池　丈　幸	C534研究室	随時(事前連絡が望ましい)	kikuchi@eng.u-hyogo.ac.jp
菊　池　祐　介	B207研究室	随時	ykikuchi@eng.u-hyogo.ac.jp
岸　肇	C525研究室	水曜18:00-19:30（事前連絡が望ましい）	kishi@eng.u-hyogo.ac.jp
木　之　下　博	C233研究室	15時から17時が望ましい。 (ﾒｰﾙによる事前連絡が望ましい)	kinoshita@eng.u-hyogo.ac.jp
木　村　文　義	C134研究室	月曜18:00~19:30	kimura@eng.u-hyogo.ac.jp
木　村　真　晃	C129研究室	随時	mkimura@eng.u-hyogo.ac.jp

教員氏名	研究室	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	連絡先
日下正広	C131研究室	(前期)火・水曜16:30~18:30、(後期)月曜5時(ﾒｰﾙによる事前連絡が望ましい)	kusaka@eng.u-hyogo.ac.jp
黒田雅治	6401研究室	事前にﾒｰﾙにて予約すること。	m-kuroda@eng.u-hyogo.ac.jp
古賀麻由子	B317研究室	随時(メールによる事前連絡が望ましい)	koga@eng.u-hyogo.ac.jp
小橋昌司	6313研究室	木曜日 12:10-13:00 研究室 or オンライン会議システム (ﾒｰﾙによる事前連絡が必要)	kobashi@eng.u-hyogo.ac.jp
近藤瑞穂	C631研究室	随時	mizuho-k@eng.u-hyogo.ac.jp
佐藤孝雄	6406研究室	随時	tsato@eng.u-hyogo.ac.jp
佐藤根大士	C531研究室	随時（メールによる事前連絡が必要）	satone@eng.u-hyogo.ac.jp
鈴木隆史	C331研究室	10:00-17:00	takafumi-s@eng.u-hyogo.ac.jp
鈴木航	C628研究室	随時（メールによる事前連絡が望ましい）	suzuki_w@eng.u-hyogo.ac.jp
住友弘二	C330研究室	随時 時間については,電子ﾒｰﾙ等で事前連絡が望ましい.	sumitomo@eng.u-hyogo.ac.jp
瀬戸浦健仁	B407研究室		setoura@eng.u-hyogo.ac.jp
高垣直尚	C232研究室	時間については、電子ﾒｰﾙ等で事前に連絡のこと。	takagaki@eng.u-hyogo.ac.jp
高田忠雄	C630研究室	随時（メールによる事前連絡が望ましい）	takada@eng.u-hyogo.ac.jp
田口翔悟	C530研究室	随時(事前に連絡することが望ましい)	taguchis@eng.u-hyogo.ac.jp
竹内雅耶	B605研究室	随時	m_takeuchi@eng.u-hyogo.ac.jp
武尾正弘	C623研究室	平日12:15~13:00, e-mailでの事前連絡が望ましい。	takeo@eng.u-hyogo.ac.jp
多田和也	B312研究室	水曜日12:00~13:00	tada@eng.u-hyogo.ac.jp
田中一平	C230研究室	随時	tanaka@eng.u-hyogo.ac.jp
田中芹奈	C228研究室	随時（メールによる事前連絡が望ましい）	serina134a@eng.u-hyogo.ac.jp
田中展	C238研究室	月曜18:00～19:30	htanaka@eng.u-hyogo.ac.jp
土田紀之	C123研究室	月曜日16:10~16:40	tsuchida@eng.u-hyogo.ac.jp
豊田紀章	B608研究室	随時	ntoyoda@eng.u-hyogo.ac.jp
中嶋誠二	B616研究室	随時 電子メールにて予約することが望ましい	nakashima@eng.u-hyogo.ac.jp
永瀬丈嗣	C329研究室	随時	E-mail : t-nagase@eng.u-hyogo.ac.jp TEL : 079-267-4903
長宗高樹	6208研究室	木曜日　12:20～12:50　6208室　OR　オンライン会議システム（メールによる事前連絡が必要）	nagamune@eng.u-hyogo.ac.jp
中村光伸	C632研究室	ﾒｰﾙによる事前連絡が望ましい	mitunobu@eng.u-hyogo.ac.jp
新居学	6206研究室	水曜日 12:10-13:00 (ﾒｰﾙ等での事前予約が望ましい)	nii@eng.u-hyogo.ac.jp
西田純一	C627研究室	随時 事前にメールで連絡することが望ましい	jnishida@eng.u-hyogo.ac.jp
布引雅之	6503研究室	火曜日5時限(前期)、水曜日5時限(後期)	nunobiki@eng.u-hyogo.ac.jp
野﨑安衣	C505研究室	火曜10:30~12:00	nozaki@eng.u-hyogo.ac.jp
原田泰典	C229研究室	水曜17:00~19:00	harada@eng.u-hyogo.ac.jp
潘振華	C625 研究室	平日12:00 ~ 18:00 （上記に限らず可能な限り対応する）	pan@eng.u-hyogo.ac.jp
日浦慎作	6203研究室	随時（メールによる事前連絡が望ましい）	hiura@eng.u-hyogo.ac.jp
比嘉昌	6504研究室	随時 時間については，電子メール等で事前連絡が望ましい.	higa@eng.u-hyogo.ac.jp
廣川智己	C118研究室	月曜18:00～19:30	hirokawa@eng.u-hyogo.ac.jp
福室直樹	C504研究室	可能な限り随時対応。事前に電子メールで連絡することが望ましい。	fukumuro@eng.u-hyogo.ac.jp
福本直之	B306研究室	水曜 12:10～13:00,金曜14:40~15:40	fukumotn@eng.u-hyogo.ac.jp
藤井俊治郎	B513研究室	随時	fujii@eng.u-hyogo.ac.jp
藤澤浩訓	B615研究室	随時 （メールによる事前連絡が望ましい）	fujisawa@eng.u-hyogo.ac.jp

教員氏名	研究室	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	連絡先
藤谷　海斗	B403研究室		fujitani@eng.u-hyogo.ac.jp
古谷　栄光	B319研究室	随時（メールによる事前連絡が望ましい）	furutani@eng.u-hyogo.ac.jp
古山　渓行	C606研究室		furuyama@eng.u-hyogo.ac.jp
部家　彰	C332研究室	金曜日11時-12時,（メール事前連絡が望ましい）	heya@eng.u-hyogo.ac.jp 079-267-4909
星野　光	B314研究室	随時	hoshino@eng.u-hyogo.ac.jp
堀田　育志	B406研究室	随時	hotta@eng.u-hyogo.ac.jp
本多　信一	B411研究室	随時	s-honda@eng.u-hyogo.ac.jp
前田　光治	C401研究室	水曜14:00~17:50	maeda@eng.u-hyogo.ac.jp
町田　幸大	C602研究室	平日9:00-17:00	machida@eng.u-hyogo.ac.jp
松尾　吉晃	C603研究室	水曜日17:00-18:00	ymatsuo@eng.u-hyogo.ac.jp
松田　聡	C528研究室	水曜14:30-15:30,随時（メールにて事前に連絡することが望ましい）	smatsuda@eng.u-hyogo.ac.jp
松本　歩	C506研究室	随時	matsumoto.ayumu@eng.u-hyogo.ac.jp
松本　直浩	C234研究室	随時（事前にメールによる連絡が望ましい）	matsumoto@eng.u-hyogo.ac.jp
三浦　永理	C337研究室	随時(要メールによる事前連絡)	emiura@eng.u-hyogo.ac.jp
南　裕樹	B416研究室	随時（メールによる事前連絡が望ましい）	minami@eng.u-hyogo.ac.jp
嶺　重温	C533研究室	随時 （メールによる事前連絡が望ましい）	mine@eng.u-hyogo.ac.jp
森　英喜	B505研究室	随時	mori@eng.u-hyogo.ac.jp
盛谷　浩右	6501研究室	12:00~13:00	moritani@eng.u-hyogo.ac.jp
森本　佳太	B618研究室	随時	keita.morimoto@eng.u-hyogo.ac.jp
森本　雅和	6207研究室	金曜5限	morimoto@eng.u-hyogo.ac.jp
八重　真治	C502研究室	随時（メールで事前に連絡して調整することが望ましい）	yae@eng.u-hyogo.ac.jp
山口　義幸	C133研究室	水,木曜･16:30-18:30	yamaguti@eng.u-hyogo.ac.jp
山添　大丈	6205研究室	月曜12:10～13:00,金曜12:10~13:00 (ﾒｰﾙによる事前連絡が必要)	yamazoe@eng.u-hyogo.ac.jp
山本真一郎	B612研究室	火曜13:00~14:30	yamamoto@eng.u-hyogo.ac.jp
山本　拓司	C529研究室	(火)13:00-17:00,	tyamamot@eng.u-hyogo.ac.jp
山本　宏明	C503研究室	火･木曜10:30~12:00	hyama@eng.u-hyogo.ac.jp
遊佐　真一	C634研究室	随時(事前に連絡することが望ましい)	yusa@eng.u-hyogo.ac.jp 079-267-4954
吉田　晴彦	B408研究室	水曜13:00~14:30	yoshida@eng.u-hyogo.ac.jp
和田　孝之	6506研究室		wada@eng.u-hyogo.ac.jp

1．授業・休講

1　授業について

● 教室

授業時間割には教室を指定していますが、受講者数の関係で変更されることがあります。

教室変更はユニバーサルパスポート及び A 棟 2 階掲示板で掲示しますので、よく注意して掲示を確認してください。

● 講義時間

本学では、次の時間割によって授業を行っています。

1時限	9:00～10:30
2 時限	10:40～12:10
3 時限	13:00～14:30
4 時限	14:40～16:10
5 時限	16:20～17:50
6 時限	18:00～19:30

2　授業における休講措置について

交通途絶や気象警報が発令された場合等における対面授業の取扱いを下記のとおりとします。

学生への連絡はユニバーサルパスポートへの掲示配信を原則としますので、こまめに確認するようにしてください。状況によっては、A棟2階掲示板への掲示や各学部・研究科のホームページでの案内等も行いますが、各自で情報を収集し、対応するように留意してください。

● 対面授業

（1）交通途絶の場合

区分	交通途絶の状況	授業の取扱
ア	午前7時までに解決	1時限目から授業（通常どおり）
イ	午前7時現在継続し、午前11時までに解決	午前中休講となり、3時限目から授業
ウ	午前11時を過ぎても解決しない	午後休講
エ	交通途絶が授業開始後に発生した場合	原則として、その時限の授業は平常どおり実施し、次の時限以降の授業は上記イからウのとおり

【休講に係る交通途絶の要件】

ア　姫路工学キャンパス、姫路環境人間キャンパス

次のいずれかに該当する場合

① 神姫バスが不通の場合

② JR 山陽本線及び山陽電鉄の各姫路駅を含む区間が共に不通の場合

イ　播磨理学キャンパス

次のいずれかに該当する場合

① 神姫バスが不通の場合

② JR 山陽本線（大阪－岡山間）が不通の場合

ウ　神戸商科キャンパス

神戸市営地下鉄が不通の場合又は大阪－姫路間で次のいずれかに該当する場合

① JR 線、阪急電鉄及び阪神電鉄が共に不通の場合

② JR 線、山陽電鉄が共に不通の場合

③ JR 線、神戸高速鉄道が共に不通の場合

エ　明石看護キャンパス
大阪－姫路間で次のいずれかに該当する場合
①　JR 線、阪急電鉄及び阪神電鉄が共に不通の場合
②　JR 線、山陽電鉄が共に不通の場合
オ　神戸防災キャンパス
※明石キャンパスの内容に加えて
③　JR 線、神戸高速鉄道及び神戸市営地下鉄が共に不通の場合
カ　神戸情報科学キャンパス
ポートライナーが不通の場合又は大阪 - 姫路間で次のいずれかに該当する場合
①　JR 線、阪急電鉄及び阪神電鉄が共に不通の場合
②　JR 線、山陽電鉄が共に不通の場合
③　JR 線、神戸高速鉄道及び神戸市営地下鉄が共に不通の場合
キ　淡路緑景観キャンパス
次のいずれかに該当する場合
①　明石海峡大橋（本州四国連絡道路）が不通の場合
②　JR 線、山陽電鉄が共に不通の場合
③　淡路ジェノバライン、淡路交通バス、神姫バス、山陽バス、本四海峡バス、JR バスが共に不通の場合
ク　豊岡ジオ・コウノトリキャンパス
次に該当する場合
①　全但バス（豊岡駅－キャンパス間）が不通の場合
※　学外実習の場合は、教員の指示に従ってください。

（2）気象警報発令の場合
①　種類
神戸地方気象台が発令する気象警報とし、以下の 7 種類を対象とします。
＜対象とする気象警報＞
【特別警報】「大雨特別警報」・「暴風特別警報」・「暴風雪特別警報」・「大雪特別警報」
【警　　報】「暴風警報」・「暴風雪警報」・「大雪警報」
②　休講に係る警報発令対象地域
ア　姫路工学キャンパス、姫路環境人間キャンパス
姫路市
イ　播磨理学キャンパス
姫路市、相生市、赤穂市、たつの市、太子町、上郡町のうちいずれかの市町
ウ　神戸商科キャンパス、神戸防災キャンパス及び神戸情報科学キャンパス
神戸市
エ　明石看護キャンパス
明石市又は神戸市
オ　淡路緑景観キャンパス
淡路市
カ　豊岡ジオ・コウノトリキャンパス
豊岡市
※　学外実習の場合は、教員の指示に従ってください。

③　基準時間

【前日判断】

判断目安	翌日の通勤・通学状況	翌日の授業の取扱い
午後５時まで	気象警報の発令や気象予測等に基づく公共交通機関の計画運休が発表されるなど、翌日の通勤・通学が困難であると判断できる場合	以下の取扱いのいずれかを判断 Ａ：【当日判断】の条件を適用する Ｂ：原則、終日オンライン授業に切り替えて実施（注記）

（注記）

・実習、実験科目などオンラインでの実施が困難な授業科目は、オンライン授業に切り替えずに休講とする場合があります。

・居住地域の気象状況や通信施設の被災等による通信不能、自宅から避難所等へ避難したなどの事情によりオンライン授業が受講できなかった場合は、教員に相談してください。

【当日判断】

区分	発令状況	授業の取扱い
ア	午前７時までに解除	１時限目から授業（通常どおり）
イ	午前７時現在発令中で、午前 11 時までに解除	午前中休講となり、３時限目から授業
ウ	午前 11 時を過ぎても解除されない	午後休講
エ	授業開始後に発令された場合	原則として、その時限の授業は平常どおり実施し、次の時限以降の授業は上記イからウのとおり ただし、当該授業の継続が困難な場合は、 各キャンパスの判断で授業を即座に中止することができる。

（３）その他

①　集中講義における取扱

・　交通途絶、気象警報発令時ともに、原則、前記（１）（２）と同様の取扱いとする。

・　翌日以降の日程については、教員が学生及びキャンパス経営部と協議する。また、異なるキャンパスの教室間を繋ぐ遠隔授業の場合は、キャンパス経営部間でも協議し必要に応じて大学本部事務局とも調整する。

②　定期試験における取扱

・　交通途絶時は基本的に上記対応表と同様とする。

・　気象警報発令時は以下のとおりとする。

区分	発令状況	試験の取扱い
ア	午前７時までに解除	１時限目から試験（通常どおり）
イ	午前７時現在発令中で、午前 11 時までに解除	１・２時限は中止、３時限以降は実施
ウ	午前 11 時を過ぎても解除されない	３時限以降も中止
エ	試験開始後に発令された場合	原則として、その時限の試験は平常どおり実施し、次の時限以降の試験は上記イからウのとおり ただし、当該試験の継続が困難な場合は、各キャンパスの判断で試験を即座に中止することができる。

・　アからエに該当しない場合であっても、定時に実施することにより、複数の学生に対し著しく不利益が生じると予測される場合は、各キャンパスの判断により、開始時間の繰り下げ、試験の延期等の措置を講じる場合がある。また、遠隔授業の場合は、他キャンパスの状況も考慮し措置を講じる。

③　異なるキャンパスの教室間を繋ぐ遠隔授業については、発信側と受信側のいずれかのキャンパスが休講となった場合には、原則、いずれのキャンパスも休講とする。必ずキャンパスに確認すること。

④　気象警報発令による休講の取扱については、対象外の警報であっても、「生命・身体に危険が生じる恐れがある」とキャンパスが判断した場合は、休講又はオンライン授業への切り替え措置を講じることがある。

⑤　上記の事情にかかわらず、キャンパス全体の授業実施に大きな支障をきたす恐れがあるとキャンパスが判断した場合は、休講又はオンライン授業への切り替えの措置を講じることがある。

● 対面形態によらない授業

オンライン配信やオンデマンド配信など、対面形態によらない授業における交通途絶、気象警報発令が発令された場合の取扱いを下記のとおりとします。

（1）オンライン配信による授業

原則、休講となる場合は以下のとおりです。

・　教員が移動中に交通途絶が発生し授業開始時間から 30 分以内に配信できない場合

・　気象警報による公共交通機関の計画運休や自治体からの避難指示等により、教員が授業開始時間から 30 分以内に配信できない場合

なお、居住地域の気象状況や通信施設の被災等による通信不能などにより、オンライン配信を視聴できなかった場合は、教員に相談してください。

（2）録画配信や課題等による授業

原則、授業を実施します。

2．履修に関すること

【概要】

1　履修の心構えについて

● 学則及び履修規程等に従い学習を進め、所定の単位を修得（これらを総じて履修という。）することによって卒業が可能となります。履修の方法や順序を誤って、留年することがありますので、注意してください。

● **必修科目はもちろん選択科目についても可能な限り配当学年に履修し、年間 40 単位以上の修得を心がけてください。**履修に際しては、学則及び履修規程等を遵守し、計画的に履修してください。

● 卒業及び卒業研究履修に必要な単位数、卒業所要単位に含めることができる科目（カリキュラム）は、 入学年度によって違う場合がありますので、入学年度・所属学科の別表２「２年次コース配属許可条件・卒業研究履修許可条件・卒業条件」（p. 74～79）を確認した上で履修してください。

　各科目の講義内容等は、ユニバーサルパスポートにて「シラバス」や「授業アンケート」を参照してください。

● 1 年生は、2 年次コース配属許可の条件を満たす履修登録を行ってください。

● 3 年生は、卒業研究履修許可条件を満たす履修登録を行ってください。そのためには条件区分毎の取得成績をよく点検し計画的に履修してください。**なお、進級には区分ごとに所要単位の条件があるので、入学年次の進級・卒業条件をよく確認して、前期から余裕のある単位修得を目指してください。**

● 4 年生は、卒業研究修了見込みであっても、卒業許可条件が 1 単位でも不足すれば卒業はできません。合計単位数だけでなく、科目分類ごとの必要最低単位数も必ず確認してください。

● 主専攻（所属学部の専攻）以外にも学びの機会を広げるため副専攻を提供しています。詳しくは、「副専攻履修の手引き」を参照してください。

2　履修について

● **年 2 回、4 月初め及び 9 月下旬の期間内に指定された方法で、登録してください。**

　「前期履修登録の流れ」（p. 1）及び「後期履修登録の流れ」（p. 2）を確認の上、申請・確認等の期限は厳守してください。

● **履修登録期間後の履修修正**は、**4 月下旬及び 10 月中旬の期間内に「履修登録修正願（修正期間用）」を学務課に提出してください。**

　ただし、抽選・アンケート科目の削除は認められません。また、「２年次コース配属許可条件・卒業研究履修許可条件・卒業条件」に記載の履修できる単位数の上限を超えた履修登録は認められません。

● **履修取消**は、**5 月中旬及び 11 月上旬の期間内に「履修登録修正願（取消期間用）」を学務課に提出してください。ただし、アンケート科目（集中講義）の取消は認められません。**

● 確認時期を掲示しますので、ユニバーサルパスポートの「学生時間割表」で自分の履修科目が正しく登録されているか、必ず確認をしてください。

　特に、この学生時間割表で**エラー表示がない場合においても、数学科目等では、授業コード誤りによる登録ミスがあれば、成績評価されません。**必ず、**授業コードと担当教員を確認**してください。

● **これらの手続きによらない履修は、認められず無効となりますので、授業に出席し、試験を受けたとしても、単位は認定されません。**

● 「集中講義」および「卒業所要単位に算入されない」授業科目等は、履修登録できる単位数の上限に含めませんが、ユニバーサルパスポートの学生時間割上にはこれらを含めて「履修登録前期〇単位以内」「履修登録後期〇単位以内」「履修登録年間〇単位以内」のエラーが表示されます。これらを除いて上限を超えない場合はエラー表示が出ていても問題ありません。上限を超えている場合は、学務課から掲示でお知らせします。

● 履修修正は、履修登録を確認修正し、履修授業科目を確定させるための届出です。細心の注意を払い、計画的な履修をしてください。

3　カリキュラムの変更、成績表・学生時間割表の科目記載について（読替科目）

● 年度によって、カリキュラムが変更されることがあります。

　不合格になった科目が翌年度に履修できるとは限らないので、配当年次に確実に単位を修得できるように心がけてください。

● カリキュラム変更等により、入学年度の科目（卒業所要単位に含めることができる科目）が開講されなくなった場合、読替科目が設定される場合があります。その場合、読替科目（新科目）を履修して単位を修得すると、入学年度のカリキュラムの科目（旧科目、旧区分）を修得したものとして取り扱われます。

● **成績表・学生時間割表に記載される科目名は、入学年度のカリキュラムの科目名（旧科目）を表示**しますので確認してください。

４　時間割の変更等について

学務課からの「お知らせ」は、ユニバーサルパスポートやＡ棟２階掲示板に掲示されます。

授業当日に急な変更がある場合もありますので、毎日、授業前にユニバーサルパスポートやＡ棟２階の掲示板を確認してください。

５　成績評価について

成績評価については、以下の基準により評価されます。
成績は 100 点を満点とし、60 点以上をもって合格とする。合格した科目には所定の単位を与える。
合格科目の成績は、S、A、B、C で表す。なお、不可は「D」で表す。

６　成績に対する確認等

学生が、自らの成績に関して確認及び不服申立てをすることができます。

７　再評価について

試験に合格し、既に単位を取得した科目については、再評価は行いません。

８　コース・研究室配属

希望と成績により各学科にて決定されます。
コース・研究室配属に関する質問等がある学生は、学科教務委員へ問い合わせてください。

９　秋季卒業について

4 年次以上在学して、卒業の要件を満たした者に 9 月末の卒業（秋季卒業）を認めています。

10　卒業研究早期着手制度について

教育的観点から、3 年次前期終了時点で卒業研究履修許可条件を満たした学生は、3 年次後期から卒業研究を開始できる制度を設けています。卒業研究は 3 年次後半および 4 年次の計 1 年半実施することになります。

11　転学部等について

一定の要件を満たせば転学部・転学科を認める場合があります。希望する学生は、学務課に問い合わせてください。

12　特別選抜について

3 年以上在学し 3 年次修了時までに修得可能な卒業単位の全てを修得見込みである者が、一定の条件を満たせば、大学院工学研究科特別選抜を受験できます。合格し大学院に入学する場合は、工学部は中途退学となります。

【履修手続】

１　履修登録について

● 「ユニバーサルパスポートで抽選希望申込をする科目」、「ユニバーサルパスポートでアンケート申込をする科目」、「英語」、「健康・スポーツ科学演習」以外は、登録期間内に各自パソコン等からユニバーサルパスポートにログインし、直接履修登録を行ってください。

● 全学共通科目について、2年生以上の学生で、単位不足のため1年次配当の科目の履修登録が必要な人は、ユニバーサルパスポートで直接履修登録を行ってください。

ただし、抽選科目は、期間内に「全学共通科目履修登録願(抽選希望申込用)」を提出してください。（定員割れの場合のみ履修を認めます。）

また、アンケート科目はアンケート申込により申込んでください。

２　履修に当たって抽選する科目について

● **「ユニバーサルパスポートで抽選希望申込をする科目」、「ユニバーサルパスポートでアンケート申込をする科目」は、**期間内に指定の方法によりユニバーサルパスポートで抽選希望申込やアンケート申込をしてください。**結果発表までは申込んだ科目（「日本国憲法」後期C・D、「心理学」は前期A・B、後期C・Dのいづれか）を受講してください。**

● 履修登録は学務課で行います。当該時限に別の科目を登録されている場合は学務課で削除します。

● **履修登録・履修修正期間中の削除は認められませんので、申し込みの際はご注意ください。集中講義は履修取消期間も削除できません。**

● **教科書は、抽選結果発表後に購入してください。**

3 「再受験」について

● 前年度不合格となり担当教員が許可した場合は、今年度履修せずに中間試験や定期試験を受け、それに合格することによって単位が認められます。事前に発表する「再受験許可者名簿」を必ず確認してください。

● 「再受験許可者名簿」に名前があり、再受験を希望する学生は各期の履修登録期間内に次の手続きを行ってください。

・前期　ユニバーサルパスポートで自ら登録

・後期　「再受験登録申請書」を学務課窓口まで提出

● 再受験許可のない科目の再受験は原則認められません。ただし、必修科目と重なる等のやむを得ない理由がある場合は、担当教員の許可を得た「再受験許可願」を学務課に提出してください。

● 全学共通科目、数学、物理科目の一部、実験、実習、演習、製図などは再受験許可科目ではありません。

● 再受験科目は、履修登録期間後は、原則として追加はできません。

4 他学部・他学科科目の履修許可について

● 履修を希望する学生は、他学部等の時間割やシラバスで履修を希望する科目を確認した上、履修登録期間内に学務課に「他学部等授業科目履修許可願」を提出してください。卒業所要単位に算入するか否かは、教授会で決定します。

5 その他

● 必修科目（1年生は英語コア科目、情報処理基礎、基礎ゼミナール、専門科目）は必ず受講してください。

● 同じ時間帯に2つ以上の科目を履修登録することはできません。

● 一度単位を取得した科目は、再評価しません。

● 科目名が同じでも学科別開講科目は学科により内容が異なるため、自学科配当科目を履修してください。

● 複数クラスのある科目は、自分のクラス（再履修者は前年度の担当教員のクラス）を必ず確認して履修登録してください。掲示等を見ても自分のクラスがわからない場合、実験・数学は学科教務委員に、英語コアは学務課に問い合わせてください。

● 配当年次経過後は、数学・物理関係科目においては、時間割の都合上、自学科配当分が履修不可能で、今年度末の進級・卒業許可の条件に抵触する場合に限り、他学科配当分を履修することができます。担当教員及び学科教務委員の承認を得た申請が必要ですので、学務課まで問い合わせてください。

● 自学科履修が可能なのに他学科配当分を履修申請した場合や、開講学年でない場合は、登録を削除します。

● 科目により、履修上の注意がありますので、シラバスで確認してください。なお、共通教育科目では履修希望者が教室収容人数を超えた場合、履修者を制限することがあります。その場合はランダム抽選によって履修者を決定します。

【特定科目の注意点】

1 英語科目

● **英語コア科目（選択必修）[RD1・RD2・LS1・LS2・W1・W2]　1年生→学務課で履修登録**

英語コア科目は、時間割指定されています。

少人数編成のクラス分けを行いますが、科目によってクラス編成が異なる場合があります。各自、各科目について自分のクラスをよく確認してください。名簿は4月7日（月）に掲示します。

英語コア科目の単位を取得していない学生は、2025 年度同じ科目を再履修してください。クラスは学務課で指定し、登録しますので、ユニバーサルパスポートで確認してください。時間割上履修できない場合は、4月11日（金）までに学務課に申し出たうえで、選択英語科目の「Intensive English 1・2」、「TOEIC 総合1・2」の中から履修してください。

※1年次の英語取得単位が3単位に満たない場合、履修相談をするので、学務課に来てください。

● **選択英語科目　2年生以上→各自で履修登録**

選択英語科目は、継続した英語学習により英語力を伸ばす目的で開講されています。2 年生以上で、単位不足の学生はこれらを履修してください。入学年度によって選択必修科目に含まれる科目が異なります。

● **「TOEIC 総合1・2」→各自で履修登録**

TOEIC スコア向上を目指すクラスです。週2コマの講義で行います。履修登録できる単位数に含まれます。

多くの企業においては、採用・入社、昇進・昇格の基準、海外赴任者の選抜においてTOEIC試験の成績を利用するようになってきています。工学研究科をはじめ他大学院の多くでも入学試験の英語の成績としてTOEIC試験の結果を利用しています。積極的に履修するようにしてください。

● **「Intensive English 1・2」→アンケート申込・学務課で履修登録**

集中的に英語力を伸ばすための、8月1週間の集中講義です。単位不足の学生はなるべくこの科目を履修してください。希望者多数の場合は抽選により履修者を決定します。

● **「科学技術英語1・2」→各自で履修登録**

選択必修科目に含みません。

● **「英語海外研修」**

英語圏における本学協定校での海外研修プログラムに参加するものです。プログラムの修了証によって単位を認定されます。詳細は大学HP「国際交流・留学」を参照してください。

２　外国語科目（ドイツ語、フランス語、中国語、韓国・朝鮮語）

● **外国語1・2（1年配当）→抽選希望申込・学務課で履修登録**

前･後期とも同じ言語の科目を履修することになります。

外国語１を履修し、外国語２の履修をやめる場合は後期履修登録・修正・取消期間に学務課に申し出てください。

外国語１を履修しなければ外国語２は履修できません。

「外国語1」は前期火曜4限、「外国語2」は後期火曜4限に開講します。

１回目の授業は抽選結果が間に合わないので希望する科目を受講してください。

１回目の授業については別途ユニバーサルパスポートにて詳細を掲示します。

● **中国語海外研修**

国際交流機構から募集があるので、各自で申し込みをしてください。中国語の基礎があることが望ましい。

３　数学関係科目

● 下記科目は受講する際に右にある科目の単位を修得していることが望ましい科目です。それぞれシラバスで確認してください。

【2019年度入学生】

幾何学	代数学Ⅰ、解析学Ⅰ、解析学Ⅱ
応用解析学Ⅱ	解析学Ⅰ、解析学Ⅱ、応用解析学Ⅰ

【2020年度以降入学生】

幾何学	代数学Ⅰ、解析学Ⅰ、解析学Ⅱ
応用解析学Ⅱ	解析学Ⅰ、解析学Ⅱ

４　健康・スポーツ科学演習→4月8日（火）の授業時に集合・学務課で履修登録

● 履修希望者は、第１回目の４月８日（火）の授業に、必ず体育館に集合してください（時間厳守、代理出席は認めません。）

受講希望者が150人を超える場合は、教職希望者を優先してその場で抽選を行い、履修者の決定とグループ分けを行うため、必ず第１回目の授業に出席してください（履修の手引き、筆記用具、上履きを持参してください。）

2年生以上は、教職希望者のみ履修を認めますので、第１回目授業に出席し、担当教員に申し出てください。

● 履修取消期間を含めて削除できません（抽選とならなかった場合も含む。）また、「健康・スポーツ科学演習１」および「健康・スポーツ科学演習２」は両方を履修することが条件となります。

● 教職希望の2年生以上で後期の「健康スポーツ科学演習２」のみ履修を希望する場合は、後期履修登録期間中に「全学共通科目履修登録願（抽選希望申込用）」を学務課に提出してください。

５　集中講義→アンケート申込・学務課で履修登録、
ただし、『教職課程科目（「日本国憲法（S）」含む）』、「生物学実験」→各自で履修登録

６　日本国憲法

「日本国憲法」という科目が4つ開講されますが、内容及び履修登録の方法が異なるので注意してください。

● **前期月曜1限「日本国憲法（A）」→抽選希望申込・学務課で履修登録**
● **後期月曜１限「日本国憲法（C）・（D）」→抽選希望申込・学務課で履修登録**
● **前期集中講義「日本国憲法（S）」→各自で履修登録**

教員免許取得希望者で、１年生で「日本国憲法」の科目が抽選でもれた学生が対象になります。

７　生命科学・地球システム科学
２年次履修です。応用化学工学科３年次以上で教員免許取得希望の学生は、学務課窓口に来てください。

８　生物学実験・地学実験（４年応用化学工学科）
- **生物学実験、地学実験は、教員免許の取得見込みの学生のみ履修してください。**
- 生物学実験は前期集中講義で開講されます。

９　卒論英語・実験英語
GLEP生のみ履修可能です。履修希望する場合は学務課窓口に来てください。

10　大学院（前期課程）科目の履修
- 卒業研究履修者は博士前期課程「授業科目一覧及び履修要件等」に記載されている〇印のついた科目を合計3科目まで、履修することができます。履修を希望する場合は履修登録期間中に履修登録を行ってください。
- 成績は大学院に進学した際に算入され、再度履修することはできません。大学院成績への反映は5月上旬の予定です。
- 大学院科目の削除については、履修修正期間及び履修取消期間に受け付けます。

◆　ユニバーサルパスポートで抽選希望申込をする科目【削除ができない科目（履修取消期間除く）】

申込については、別途ユニバーサルパスポートにてお知らせします。

※1　外国語は、前・後期同一科目を履修します。

※2　申込は、第5希望まで可能です。希望していない科目に当選することはありません。登録は学務課で一括して行います。

※3　「心理学」・「日本国憲法」を希望する場合、前期は（A）、後期は（C）を申し込んでください。「（A）または（B）」あるいは「（C）または（D）」のクラスを選択することはできません。学務課にて振り分けます。

※4　「心理学」「日本国憲法」「文化人類学」は、いずれか1つのクラスのみ単位修得可能です。【例）心理学（A）を単位修得済の場合、心理学（B）～（D）は履修不可】

開講年次	学期	曜日	時限	科目名	申込期間	結果発表方法	結果発表日
1	前期	月	1	日本国憲法（A）	4月3日（木）9：00～8日（火）23：59	ユニバーサルパスポート	4月11日（金）
1	前期	月	1	生活の中の法律			
1	前期	月	1	環境の社会学			
1	前期	月	1	政治学			
1	前期	月	1	現代社会論			
1	前期	月	1	福祉と社会			
1	前期	月	5	国文学（演劇）			
1	前期	月	5	心理学（A）			
1	前期	月	5	心理学（B）			
1	前期	月	5	日本史			
1	前期	月	5	論理学			
1	前期	月	5	芸術学			
1	前期	月	5	哲学			
1	前期	火	1	生命体の科学			
1	前期	火	1	生物科学			
1	前期	火	1	社会統計学			
1	前期	火	1	マテリアル科学への招待			
1	前期	火	1	環境問題と国際協力			
1	前期	火	1	医療と工学のフロンティア			
1	前期	火	1	宇宙科学			
1	前期	火	4	ドイツ語1			
1	前期	火	4	フランス語1			
1	前期	火	4	中国語1			
1	前期	火	4	韓国・朝鮮語1			
1	後期	火	4	ドイツ語2			
1	後期	火	4	フランス語2			
1	後期	火	4	中国語2			
1	後期	火	4	韓国・朝鮮語2			

※結果発表までの間は申込んだ科目（「日本国憲法」後期C・D、「心理学」は前期A・B、後期C・Dのいづれか）を受講してください。

開講年次	学期	曜日	時限	科目名	申込期間	結果発表方法	結果発表日
1	後期	月	1	社会学	9月25日（木）9：00～26日（金）23：59	ユニバーサルパスポート	10月1日（水）
1	後期	月	1	人文地理学概論			
1	後期	月	1	日本国憲法（C）			
1	後期	月	1	日本国憲法（D）			
1	後期	月	1	経営学			
1	後期	月	1	環境と政治			
1	後期	月	5	国文学（小説）			
1	後期	月	5	東洋史			
1	後期	月	5	文化人類学（A）			
1	後期	月	5	食文化と環境			
1	後期	月	5	心理学（C）			
1	後期	月	5	心理学（D）			
1	後期	月	5	暮らしと道具			
1	後期	水	1	分子生物学とバイオテクノロジー			
1	後期	水	1	放射光科学のフロンティア			
1	後期	水	1	科学技術論			
1	後期	水	1	応用倫理			
1	後期	水	1	現代化学への招待			
1	後期	水	1	一般有機化学			

◆　ユニバーサルパスポートでアンケート申込をする科目【削除ができない科目（履修取消期間除く）】

※1　「文化人類学（A）・（S）」のうちから１科目、「キャリアデザイン入門（A）～（C）」のうちから１科目、単位取得できます。
※2　「グローバルエンジニアリング」は、ＧＬＥＰ生優先科目です。
※3　日程が重なる科目は、どれか１つのみ履修できます。日程が重ならないよう確認の上申し込んで下さい。
※4　集中講義は履修取消期間も削除できません。

開講年次	学期	曜日	時限	科目名	申込期間	結果発表方法	結果発表日
2	前期	月	3	グローバルエンジニアリング	４月３日（木）９：００～８日（火）２３：５９	ユニバーサルパスポート	４月１１日（金）
1	前期	水	1	環境芸術論			
1	前期	水	1	キャリアデザイン入門（A）			
1	前期	水	2	建築文化ツーリズム学			
1	前期	水	2	宗教概論			
1	前期	水	2	グローカルリーダー入門			
1	前期	水	3	キャリアデザイン入門（B）			
2	前期集中			Intensive English1	４月１４日（月）９：００～１７日（木）２３：５９	ユニバーサルパスポート	別途連絡
2	前期集中			Intensive English2			
1	前期集中			文化人類学（S）			
1	前期集中			共生博物学			
1	前期集中			兵庫の里山			
1	前期集中			ジオパークと地域			
1	前期集中			教育学			
1	前期集中			男女共同参画社会			
2	前期集中			生命倫理			
1	前期集中			播磨学			
3	前期集中			地域資源フィールドワーク（ジオパークの地質と文化）			
3	前期集中			地域資源フィールドワーク（田園生態系の保全と再生）			
1	前期集中			ひょうごの子育て支援			
1	前期集中			法学			
1	前期集中			地方公共団体の行政を学ぶ			

開講年次	学期	曜日	時限	科目名	申込期間	結果発表方法	結果発表日
1	後期	月	4	地域資源マネジメント概論	９月２５日（木）９：００～２６日（金）２３：５９	ユニバーサルパスポート	１０月１日（水）
1	後期	水	2	キャリアデザイン入門（C）			

全学共通科目　履修登録方法

区分			授業科目の名称	抽　選	アンケート	自己登録	その他
自主自律支援科目	基礎ゼミナール		基礎ゼミナール			○	
	キャリア形成支援科目		キャリアデザイン入門		○		
グローバル化時代のアカデミックスキル科目	英語		【英語コア科目】				
			Reading and Discussion 1				○ ※2
			Reading and Discussion 2				○ ※2
			Listening and Speaking 1				○ ※2
			Listening and Speaking 2				○ ※2
			Writing 1				○ ※2
			Writing 2				○ ※2
			【選択英語科目】				
			TOEIC 総合１			○	
			TOEIC 総合２			○	
			Intensive English1		○		
			Intensive English２		○		
			科学技術英語１			○	
			科学技術英語２			○	
			英語海外研修				○ ※3
			英語実習				○ ※4
			英語表現				○ ※4
	外国語		中国語１	○			
			中国語２	○			
			フランス語１	○			
			フランス語２	○			
			ドイツ語１	○			
			ドイツ語２	○			
			韓国・朝鮮語１	○			
			韓国・朝鮮語２	○			
			中国語海外研修				○ ※3
	統計・情報		情報処理基礎			○	
教養教育科目	人間性の基盤教育科目	人と文化	哲学	○			
			論理学	○			
			心理学	○ A～D ※1			
			国文学（演劇）	○			
			国文学（小説）	○			
			教育学		○		
			日本史	○			
			東洋史	○			
			環境芸術論		○		
			芸術学	○			
			文化人類学	○ A	○ S		
			食文化と環境	○			
			暮らしと道具	○			
		人と社会	法学		○		
			生活の中の法律	○			
			政治学	○			
			環境と政治	○			
			社会学	○			
			現代社会論	○			
			男女共同参画社会		○		
			経営学	○			
			日本国憲法	○ A･C･D ※1		○ S	
			人文地理学概論	○			
			ひょうごの子育て支援		○		
			福祉と社会	○			
			現代都市社会とまちづくり			○	
			環境の社会学	○			
			情報技術と現代社会			○	

区分			授業科目の名称	抽　選	アンケート	自己登録	その他
教養教育科目	人間性の基盤教育科目	人と自然	医療と工学のフロンティア	○			
			科学技術論	○			
			宇宙科学	○			
			生命倫理		○		
			応用倫理	○			
			生物科学	○			
			生命体の科学	○			
			分子生物学とバイオテクノロジー	○			
			社会統計学	○			
			マテリアル科学への招待	○			
			一般有機化学	○			
			放射光科学のフロンティア	○			
			環境問題と国際協力	○			
			人と自然の共生			○	
			生命科学入門			○	
			現代化学への招待	○			
		人と健康	健康・スポーツ科学演習１				○ ※5
			健康・スポーツ科学演習２				○ ※5
			栄養健康科学入門			○	
	ひょうご県大特色科目	地域課題探究科目	ひょうご地域課題概論			○	
			緑景観マネジメント論			○	
			地域資源の保全と活用			○	
			地方公共団体の行政を学ぶ		○		
			地域プロジェクト概論			○	
			地域資源マネジメント概論		○		
			兵庫のものづくり			○	
			化学と環境技術			○	
			地域気候と住環境			○	
			兵庫の里山		○		
			ジオパークと地域		○		
			共生博物学		○		
			地域社会と健康			○	
			地域資源フィールドワーク（田園生態系の保全と再生）		○		
			地域資源フィールドワーク（ジオパークの地質と文化）		○		
			〈副専攻の地域創生人材教育プログラムの科目〉				
			フィールドワーク基礎技術論				○ ※6
			フィールドワーク基礎技術演習				○ ※6
			地域プロジェクト実践論				○ ※6
			地域プロジェクト演習				○ ※6
			宗教概論		○		
			建築文化ツーリズム学		○		
			グローバル科学入門			○	
			グローバル社会と文化			○	
			播磨学		○		
			グローカルリーダー入門		○		
			グローバル教養概論				○ ※4
			グローバルプロジェクト入門(海外) (A)(B)				○ ※4
			グローバル社会を学ぶ				○ ※4
			日本の思想と文化を学ぶ				○ ※4
			先端科学を学ぶ				○ ※4
		防災教育科目	地球の営みと災害			○	
			兵庫の歴史と自然災害史			○	
			生活と防災			○	
			社会特性と減災復興			○	
			災害支援とボランティア			○	

※1 抽選は前期は「A」、後期は「C]を申し込む。学務課でクラスを振り分け登録
※2 学務課で登録
※3 履修方法 問い合せ先：国際交流機構
※4 履修方法 問い合せ先：GLEP担当
※5 4月8日の授業時に集合。学務課で登録
※6 履修方法 問い合せ先：RREP推進室

履修登録確認シート（前期）

学籍番号　TB　　氏名

※　授業コード、授業科目名、担当教員名は「履修の手引き」の中の「令和7年度開講科目時間割表」に記載されています。

曜日	時限	授業コード	授業科目名	担当教員名
月	1			
	2			
	3			
	4			
	5			
	6			
火	1			
	2			
	3			
	4			
	5			
	6			
水	1			
	2			
	3			
	4			
	5			
	6			

曜日	時限	授業コード	授業科目名	担当教員名
木	1			
	2			
	3			
	4			
	5			
	6			
金	1			
	2			
	3			
	4			
	5			
	6			

履修登録確認シート（後期）

学籍番号　TB　　氏名

※　授業コード、授業科目名、担当教員名は「履修の手引き」の中の「令和7年度開講科目時間割表」に記載されています。

曜日	時限	授業コード	授業科目名	担当教員名
月	1			
	2			
	3			
	4			
	5			
	6			
火	1			
	2			
	3			
	4			
	5			
	6			
水	1			
	2			
	3			
	4			
	5			
	6			

曜日	時限	授業コード	授業科目名	担当教員名
木	1			
	2			
	3			
	4			
	5			
	6			
金	1			
	2			
	3			
	4			
	5			
	6			

履 修 登 録 修 正 願(修正期間用)

工学部	提出日　　年　　月　　日	氏名
学籍番号 TB/TM		(携帯電話番号)

注意事項
(学部生) ・抽選・アンケート科目は修正期間には削除できません。

(前期／後期) 開講科目

削　除		追　加	
授業コード		授業コード	
日程	曜日　限	日程	曜日　限
科目名		科目名	
授業コード		授業コード	
日程	曜日　限	日程	曜日　限
科目名		科目名	
授業コード		授業コード	
日程	曜日　限	日程	曜日　限
科目名		科目名	
授業コード		授業コード	
日程	曜日　限	日程	曜日　限
科目名		科目名	
授業コード		授業コード	
日程	曜日　限	日程	曜日　限
科目名		科目名	
授業コード		授業コード	
日程	曜日　限	日程	曜日　限
科目名		科目名	
授業コード		授業コード	
日程	曜日　限	日程	曜日　限
科目名		科目名	
授業コード		授業コード	
日程	曜日　限	日程	曜日　限
科目名		科目名	
授業コード		授業コード	
日程	曜日　限	日程	曜日　限
科目名		科目名	
授業コード		授業コード	
日程	曜日　限	日程	曜日　限
科目名		科目名	
授業コード		授業コード	
日程	曜日　限	日程	曜日　限
科目名		科目名	

履 修 登 録 修 正 願(取消期間用)

工学部	提出日　　年　　月　　日	氏名
学籍番号 TB/TM		(携帯電話番号)

注意事項
(学部生)　・抽選・アンケート科目の削除ができます。(健康・スポーツ科学演習・アンケート科目(集中講義)は削除不可)

(　前期／後期　) 開講科目

削　除							追　加						
授業コード							授業コード						
日程	曜日					限	日程	曜日					限
科目名							科目名						
授業コード							授業コード						
日程	曜日					限	日程	曜日					限
科目名							科目名						
授業コード							授業コード						
日程	曜日					限	日程	曜日					限
科目名							科目名						
授業コード							授業コード						
日程	曜日					限	日程	曜日					限
科目名							科目名						
授業コード							授業コード						
日程	曜日					限	日程	曜日					限
科目名							科目名						
授業コード							授業コード						
日程	曜日					限	日程	曜日					限
科目名							科目名						
授業コード							授業コード						
日程	曜日					限	日程	曜日					限
科目名							科目名						
授業コード							授業コード						
日程	曜日					限	日程	曜日					限
科目名							科目名						
授業コード							授業コード						
日程	曜日					限	日程	曜日					限
科目名							科目名						
授業コード							授業コード						
日程	曜日					限	日程	曜日					限
科目名							科目名						
授業コード							授業コード						
日程	曜日					限	日程	曜日					限
科目名							科目名						
授業コード							授業コード						
日程	曜日					限	日程	曜日					限
科目名							科目名						

４．定期試験等

１　定期試験時間割表について

試験時間割表は、原則として1週間の時間割を1・2年と3・4年に分割して2週間に再編成しています。定期試験期間の**2週間前に掲示する**ので、必ず確認してください。

（定期試験期間以外の中間試験等については、担当教員から個別に説明があります。）

授業の曜日・時限と定期試験の曜日・時限が異なる場合があるので、定期試験時間割表をよく確認して履修してください。

また、試験日時は変わることがあるので、試験日程の発表まで試験期間中は他の予定を入れないようにしてください。

試験日程の変更がある場合は、ユニバーサルパスポートでお知らせしますので、各自確認してください。

２　定期試験における入退室の基準時間

（１）試験開始後、30分を経過すると入室できません。

（２）試験開始後、40分までは退室できません。

３　不正行為について

「兵庫県立大学試験の不正行為に対する処置規程」（p.87）を確認してください。

（１）　試験の定義

試験の不正行為に対する処置規程における「試験」には、定期試験だけでなく、成績評価の対象となる（シラバスに記載がある）中間テスト、小テストやレポート提出等を含めます。

（２）試験の不正行為とは、次のいずれかに該当する行為とします。

① 使用を許されない書籍、ノート、紙片等を見ること。
② 持ち込みが許可されていないパソコンおよびスマートフォン等の電子機器類を使用すること。
③ 他の人の答案をのぞきみること、または故意にそれを許すこと。
④ 試験の内容に関して私語をすること。
⑤ 使用を認められないものをしまわず、身に付けていたり手に持っていること。
⑥ その他社会通念上受験者として正当でないと思われる行為をすること。

（３）レポート提出における不正行為とは、次のいずれかに該当する行為とします。

① 本人以外の者が作成した著作物や文書、レポート等の内容を書き写すこと。
（授業資料や本から内容を引用する場合は出典を明記すること）
② 本人以外の者にレポート等の内容を作成させること。
③ シラバスで許可された範囲を超えて生成AI(ChatGPT 等)を使用すること。
④ 故意に本人以外の者にレポート等の内容を書き写させる、または本人以外の者に作成したレポート等を提供すること。
（本人が作成したレポートを、流用されると知りながら他の人に見せ、それが他の人によって流用された場合、レポートを見せた者および流用した者の双方とも不正行為として取り扱われる。）
⑤ 出典を明記することなく本人以外の者の文書を引用すること。
⑥ レポート等の作成におけるデータや画像の改ざん、捏造。
⑦ レポート等の公正性を損なう行為や公正な成績評価を妨げる行為。

（４）不正行為があった場合は、当該試験の学期の全科目及び通年の全科目の単位を無効とします。

また、この場合において、教授会等での審議の結果、必要と認められた場合は、その氏名を公表することがあります。さらに、**特に悪質な不正行為に対しては、懲戒することがあります。不正行為がないように十分留意してください。**

４　試験欠席について

「兵庫県立大学定期試験を受験できない者に対する処置規程」（p.88）を確認してください。

（１）「試験欠席承認願」を提出する場合は、原則として、定期試験開始までに学務課及び試験担当教員に連絡し、その後、速やかに提出してください。（大学ＨＰからダウンロードできます。）

試験終了後に試験欠席の連絡があった場合、原則として認められないので、注意してください。

（２）試験欠席の承認や適宜の方法については、別途通知します。

（３）定期試験以外の試験についても、この処置規程に準じます。

５　試験に際しての注意事項について

（１）試験中は、「学生証」を必ず机の右上に掲示しなければなりません。

学生証を紛失した者は、学務課で再発行の手続きをしてください。

なお、試験当日に学生証を忘れた場合は、仮受験票を発行しますので、学務課で手続きをしてください。

（２）試験中の座席は、担当教員の指示がある場合はそれに従ってください。

（３）筆記用具、時計以外のもの、例えば、教科書、ノート、参考書等（担当教員が許可したものは除く。）は、机の上に置かないでください。

（４）スマートフォン等の電源は必ず切っておいてください。なお、スマートフォン等をポケットに入れるなど、身につけることは不正行為とみなされます。

５．ディプロマポリシー・カリキュラムポリシー

ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与方針）【全学部】

兵庫県立大学では、幅広い教養と専門知識を体得するとともに、社会課題の解決を志向する豊かな人間性とグローバル・リテラシーを備えた、国際社会や地域社会で活躍できる創造力と自律性を有する人材を育成します。

その人材に必要な以下の能力や資質を身に付け、卒業要件を満たす学生に、学士の学位を授与します。

〇知識

・学士としての専門知識を有している
・学際的思考の基礎となる幅広い知識を有している

〇人間性

・人間と社会について深く考察し、社会的包摂の理念の下、公共の精神と倫理観をもって行動できる
・自己実現に向けて自主性・自律性をもって活動できる

〇国際性・地域性

・グローバル社会に対応できる語学力と異文化理解に資するコミュニケーション力を有している
・地域の諸課題を世界との連関性の中で認識・理解できる

〇創造的な課題解決力

・社会の諸課題の解決を志向し、創造的思考を用いて取り組むことができる
・データサイエンスのリテラシーを有し、それを適切かつ効果的に活用できる

ディプロマポリシー【工学部】

下記の能力を身につけた学生に学位を授与する。

工学部共通

1. 高い倫理観と異文化理解力を有している。
2. グローバルコミュニケーション能力について、基礎的能力を有するとともに能力を継続的に向上させる意欲を有している。
3. 工学専門基礎知識および各分野の高度な工学専門知識を身に付けている。
4. 工学専門知識を継続的に身に付ける意欲を有している。
5. 工学専門知識を応用して技術課題を解決でき、また研究開発を遂行できる能力を有している。
6. 国際的に通用する資質と能力を有している。
7. 技術課題の解決、研究開発において、高い倫理観と異文化理解の継続が重要であることを認識している。

以上に加えて、コースごとに以下の能力を身につけていることを必要とする。

電気電子情報工学科　電気工学コース

1. 電気系工学の専門基礎力を身に付けている。
2. 電力システムに関する知識と技術、電気・電子材料に関する知識とこれらを活かしたデバイスに関する知識と技術を習得している。
3. 最新の知識と技術をより実践的なものとして理解している。

電気電子情報工学科　電子情報工学コース

1. 電気系工学の専門基礎力を身に付けている。
2. 電子デバイスと回路システムに関する知識と技術、およびこれらを応用・発展させた情報通信と情報科学に関する知識と技術を習得している。

3. 常に高度化する技術について、自ら継続的に知識を得る能力を身につけている。

機械・材料工学科　機械工学コース

1. 機械工学の基礎となる四力学の知識を身に付けている。
2. 四力学に基づいた高度な機械専門知識を身に付けている。
3. 機械の製作過程を把握した機械設計ができる。

機械・材料工学科　材料工学コース

1. 材料専門基礎知識および高度な材料専門知識を身に付けている。
2. 機械、電気、化学に関連した材料開発と材料解析ができる。
3. 機械工学の基礎を身につけている。

応用化学工学科　応用化学コース

1. 化学の専門基礎知識および応用まで見通せる高度な専門知識を身に付けている。
2. 化学物質の性質を把握した安全で効率的な実験・研究設計ができる。
3. 将来の発展を見越した高機能化学・生物材料の開発および解析ができる。

応用化学工学科　化学工学コース

1. 化学工学に関する基礎知識を習得している。また、幅広い化学物質の取扱いができる。
2. 化学プロセスの設計および操作に必須となる化学工学の専門知識を取得している。
   また、物質生産や環境エネルギー分野に貢献するための次世代のものづくりセンスを身に付けている。
3. ミクロからマクロな視点における物質の性質および挙動を理解している。また、化学プロセスの設計および操作ができる。

カリキュラムポリシー【全学部】（教育課程編成・実施の方針）

１　全学共通教育

主として１年次を対象に、東地区、西地区の各共通キャンパスで以下の共通教育科目を設置する。

1. 大学における主体的な学修や生活の基本的態度、自己のキャリア形成に向け生涯学び続ける姿勢を身に付けるため、「基礎ゼミナール」及び「キャリア形成支援科目」からなる自主自律支援科目を設置する。
2. 語学力や統計・情報の基礎力などの大学での学修に必要な基本スキルを身に付けるため、「英語」、「外国語」及び「統計・情報」からなるグローバル化時代のアカデミックスキル科目を設置する。
3. 幅広い教養や豊かな人間性を養い、社会における様々な課題への関心と課題探究力を高めるため、「人間性基盤教育科目」及び「ひょうご県大特色科目」からなる教養教育科目を設置する。
4. 各学部の専門基礎科目の中から学生が自分の専攻以外の授業も選択して履修するための他専攻科目を設置する。

２　学部専門教育

学士課程における専門教育カリキュラムを学部学科、または専攻コースごとに編成する。

1. 専門教育科目の理解に備えるため、各学部に、専門教育への導入部としての専門基礎科目、または専門教育と共通教育を媒介する専門関連科目を設ける。
2. 深い学識を涵養し、専門的技能や能力を育成するため、専門教育科目を設ける。
3. 専門知識の修得を確実にし、論理的思考力や創造的思考力を育成するため、卒業研究を目的とする専門演習を設ける。

３　特別教育プログラム（副専攻）

地域課題の探究と対応、グローバル社会への対応、災害等リスクへの対応をテーマとし、学部の枠を超えて選抜した有志学生を対象とする全学横断の特別教育プログラムを設置する。

要件を満たすものは副専攻として認定する。

1. 地域創生リーダー教育プログラム
2. グローバルリーダー教育プログラム
3. 防災リーダー教育プログラム

カリキュラムポリシー【工学部】

工学部の教育理念および教育目標に基づき、以下の教育を展開し教育理念・教育目標の達成を目指す。

- 全学共通教育および工学倫理教育などにより、高い倫理観と異文化理解力を身に付させるとともに、これらの継続が重要であることを認識させる。
- 全学共通教育のグローバルコミュニケーション科目および各学科の技術英語教育により、グローバルコミュニケーション能力について基礎的能力を身に付させるとともに継続的な向上が重要であることを認識させる。
- 各学科の専門基礎科目により、工学専門基礎知識を身に付けさせる。
- 各学科の専門教育科目により、高度な工学専門知識を身に付けさせる。
- 各学科の専門基礎科目および専門教育科目により、工学専門知識の継続的な習得が重要であることを認識させる。
- 各学科の実験・実習・演習科目および卒業研究により、工学専門知識を応用し技術課題を解決でき、研究開発を遂行できる能力を身に付けさせる。

以上に加えて、各コースごとに以下の能力を身に付けていることを必要とする。

学修の成果の評価については、試験、レポート、参加度、発表内容、実技等により、学修目標に即して多面的な方法で行う。

電気電子情報工学科　電気工学コース

１年次には、主に「専門基礎科目」の「選択Ⅰ」で数学と物理を主とする自然科学科目、および電気電子情報工学科共通の「専門教育科目」の必修科目を開講している。２年次には、引続き数学、物理科目とともに、「選択Ⅱ」として工学関連科目を開講している。また、学科共通の実験・実習・演習を主とした「専門教育科目」の「必修」を開講するとともに、学科共通の「専門教育科目」の「選択Ⅲ」を開講している。３年次には、主に「専門教育科目」の「選択Ⅳ」として、より専門性の高い電気工学コースの専門科目を開講している。１年次～３年次に渡り、実験・実習・演習科目を充実させている。特に、専門教育科目については演習科目を並行して開講し応用力を強化している。４年次には、主に卒業研究を実施しているほか、設計や関連法令などの科目を開講し、知識や技術をより実践的なものとして身に付けて、応用力を涵養している。また、２年次までのカリキュラムは学科共通としており、さらに３年次の「専門教育科目」も実験科目以外の多くは電子情報工学コースと共通化を図っており、より広い電気電子情報工学の知識と技術、より高度な専門性を兼ね備えた教育を実施している。

電気電子情報工学科　電子情報工学コース

１年次には、主に「専門基礎科目」の「選択Ⅰ」で数学と物理を主とする自然科学科目、および電気電子情報工学科共通の「専門教育科目」の必修科目を開講している。２年次には、引続き数学、物理科目とともに、「選択Ⅱ」として工学関連科目を開講している。また、学科共通の実験・実習・演習を主とした「専門教育科目」の「必修」を開講するとともに、学科共通の「専門教育科目」の「選択Ⅲ」を開講している。３年次には、主に「専門教育科目」の「選択Ⅳ」として、より専門性の高い電子情報工学コースの専門科目を開講している。１年次～３年次に渡り、実験・実習・演習科目を充実させている。特に、専門教育科目については演習科目を並行して開講し応用力を強化し

ている。４年次には、主に卒業研究を通じて、電子情報工学の知識や技術をより実践的なものとしてハードウェアとソフトウェアの両面から身に付けて、応用力を涵養している。また、２年次までのカリキュラムは学科共通としており、さらに３年次の「専門教育科目」も実験科目以外の多くは電気工学コースと共通化を図っており、より広い電気電子情報工学の知識と技術、より高度な専門性を兼ね備えた教育を実施している。

機械・材料工学科　機械工学コース

1～2 年次に「専門基礎科目」の「選択Ⅰ」、「選択Ⅱ」および「実践基礎科目」の枠内で、機械工学を学ぶための基礎となる数学と物理を身につけさせる。これらに引き続いて、2 年次以降の「専門基礎科目」の「必修」および「選択Ⅰ」の開講科目によって、機械工学の基礎を固めさせる。３年次には、主に「専門基礎科目」の「選択Ⅰ」および「選択Ⅱ」の開講科目でより専門性の高い機械工学の知識を習得させ、４年次で実施する卒業研究で実践できるようにしている。１～４年次に渡って実験・実習・演習科目を充実させており、特に機械基礎科目については演習科目を並行して開講し応用力を養わせている。また、機械工作実習および設計製図を充実させ、ものづくり教育を強化している。

機械・材料工学科　材料工学コース

１年次には、主に「専門基礎科目」の「選択Ⅰ」、「選択Ⅱ」および「実践基礎科目」として、数学、物理科目を開講している。２年次には、引続き数学、物理科目とともに、主に「専門教育科目」の「必修」として、材料基礎科目を開講している。３年次には、主に「専門教育科目」の「必修」および「選択」として、より専門性の高い材料専門科目を開講している。４年次には、主に卒業研究を実施している。１年次～４年次に渡り、機械工作実習、設計製図、材料工学実験といった実験・実習・演習科目を充実させている。機械コースとの共通科目で機械工学の基礎を身につけたうえで、材料工学実験や専門科目の習得を通じて材料工学の専門を深めるとともに、放射光工学の基礎も学ぶことができる。

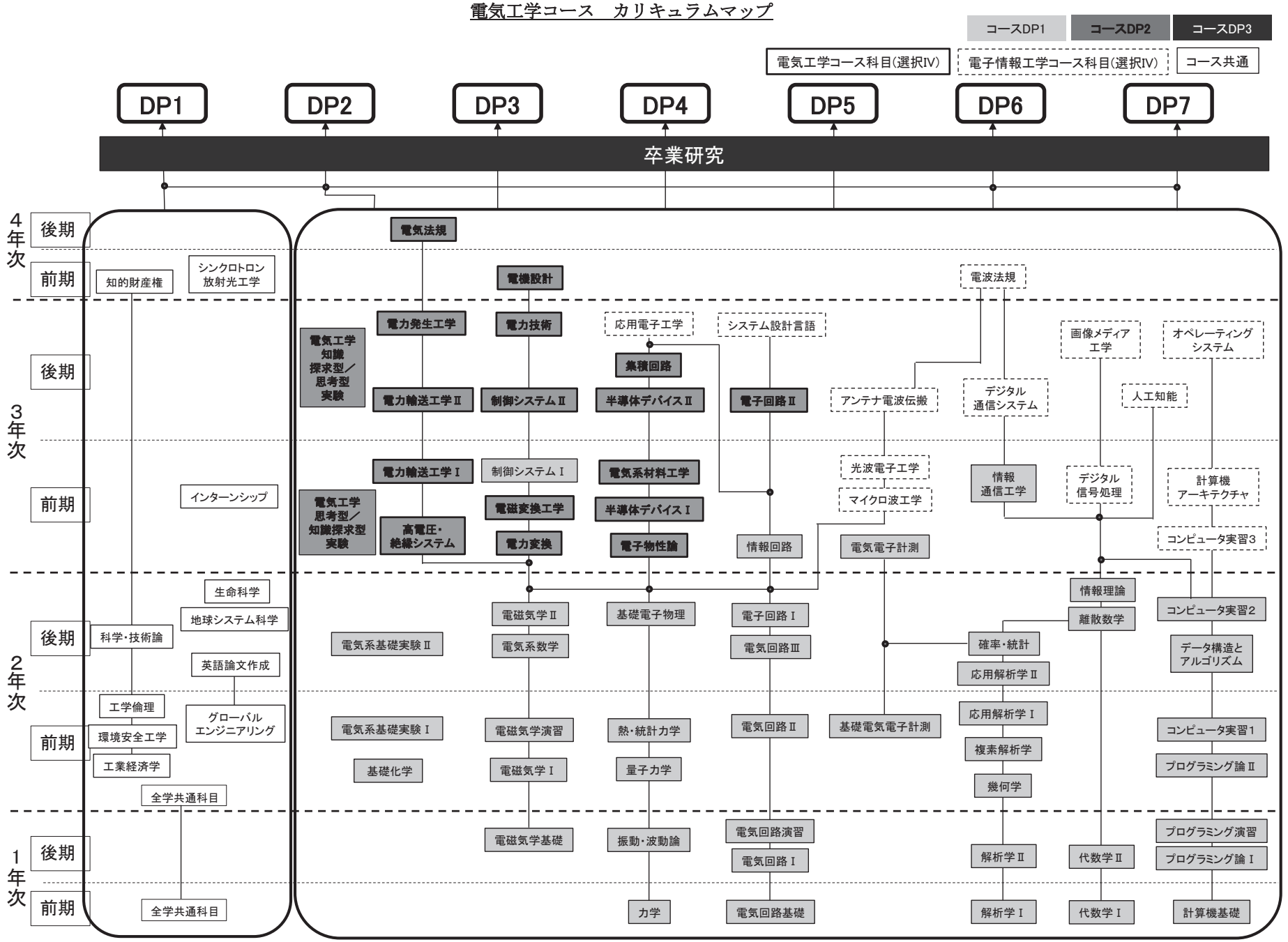
応用化学工学科　応用化学コース

１年次には、主に「専門基礎科目」の「必修」として、応用化学および化学工学概論、化学実験、また「必修」「選択Ⅰ」としての数学、物理科目を開講している。コース分け後の２年次には、引続き「選択Ⅰ」として数学、物理、生物、地学科目を開講するともに、主に「専門教育科目」の「必修」として、学科共通科目、コース別科目として化学系科目を開講している。３年次には、主に「専門基礎科目」の「選択Ⅲ」として、より専門性の高い化学系科目を開講している。４年次には、「専門基礎科目」の「選択Ⅱ」として科学英語を開講するほか、主に卒業研究を実施している。特に、１年次～３年次に渡り、常に実験科目を開講・充実させ、ものづくり教育を強化している。

応用化学工学科　化学工学コース

１年生では、化学、数学、力学、電磁気学、化学工学概論などの「専門基礎科目」を開講している。２年生では，物理化学，有機化学，無機化学などの「学科共通専門教育科目」に加えて、化学工学、反応工学、製図学、構造解析学、金属学などの「専門教育科目」も開講している。３年生では、材料力学、流体力学、熱化学、電気化学、分離工学、粉粒体工学、高分子工学など専門性のさらに高い「専門教育科目」を開講することで化学工学者を育成するとともに、化学プロセスの設計から操作までを見据えた生産技術教育の一環として化学工学設計演習も実施している。１年生から４年生を通して、実験、実習、演習などの科目も充実させている。

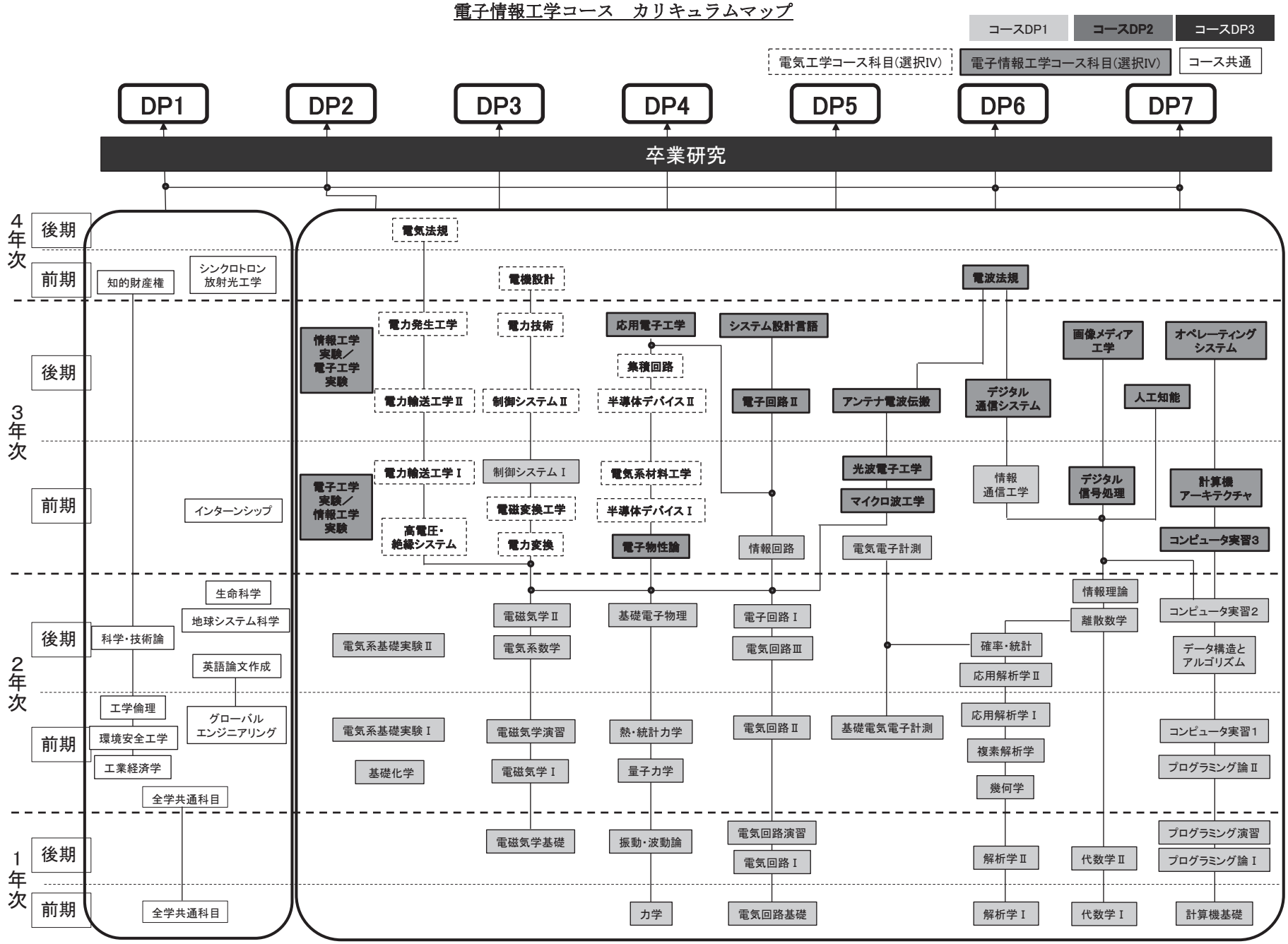
電気工学コース　カリキュラムマップ



電気電子情報工学科　電気工学コース　カリキュラムマトリクス

科目コード	授業科目名	単位数	授業形態	DP1-1	DP1-2	DP2-1	DP2-2	DP3-1	DP3-2	DP4-1	DP4-2	年次
AW38000	基礎ゼミナール	2	講義			◎		◎			◎	1
AW40100	Listening and Speaking 1	1	講義					◎				1
AW40200	Listening and Speaking 2	1	講義					◎				1
AW40300	Reading and Discussion 1	1	講義					◎				1
AW40400	Reading and Discussion 2	1	講義					◎				1
AW40500	Writing 1	1	講義					◎				1
AW40600	Writing 2	1	講義					◎				1
AW75060	情報処理基礎	2	演習								◎	1
科目コード	授業科目名	単位数	授業形態	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7		年次
TB31216	代数学Ⅰ	2	講義			◎	○					1
TB31217	代数学Ⅱ	2	講義	◎	◎	◎						1
TB31226	解析学Ⅰ	2	講義			◎	○					1
TB31227	解析学Ⅱ	2	講義			◎		◎				1
TB31325	力学	2	講義			◎	○	○				1
TB31346	振動・波動論	2	講義	◎	◎		◎					1
TB31516	プログラミング論Ⅰ	2	講義			◎	○	○				1
TB31526	電気回路基礎	2	講義			◎	○	○				1
TB31536	電気回路Ⅰ	2	講義			◎	◎	◎				1
TB31541	電気回路演習	1	演習			◎	◎	◎				1
TB31641	計算機基礎	2	講義			◎	○	○				1
TB31651	プログラミング演習	1	演習			○	◎	◎				1
TB31661	電磁気学基礎	2	講義		◎	◎	◎					1
TB31116	地球システム科学	2	講義	◎	◎				◎			2
TB31126	生命科学	2	講義	◎	◎							2
TB31136	工学倫理	2	講義	◎		○				◎		2
TB31146	工業経済学	2	講義	◎	◎							2
TB31156	環境安全工学	2	講義			◎	◎	◎				2
TB31170	グローバルエンジニアリング	2	講義		◎	○			○			2
TB31176	科学・技術論	2	講義			○	◎			◎		2
TB31180	英語論文作成	2	講義		◎	○			○			2
TB31236	応用解析学Ⅰ	2	講義			◎	○					2
TB31237	応用解析学Ⅱ	2	講義		◎	○						2
TB31245	複素解析学	2	講義	◎	◎	◎						2
TB31256	幾何学	2	講義	◎	◎	◎						2
TB31276	確率・統計	2	講義	◎	◎	◎						2
TB31356	熱・統計力学	2	講義	◎	◎	◎						2
TB31386	量子力学	2	講義	◎	◎		◎					2
TB31435	基礎化学	2	講義	◎	◎		◎					2
TB31561	電磁気学演習	1	演習			◎	◎	◎				2
TB31590	電気系基礎実験Ⅰ	2	実験			◎	◎	◎				2
TB31630	基礎電気電子計測	2	講義			◎	◎	◎				2
TB31660	コンピュータ実習１	1	実習			◎	○	○				2
TB31670	コンピュータ実習２	1	実習			◎	○	○				2
TB31690	電気系基礎実験Ⅱ	2	実験			◎	◎	◎				2
TB31701	電気工学思考型実験	2	実験			◎	○	○				2
TB31710	電磁気学Ⅰ	2	講義			◎	◎	◎				2
TB31720	電磁気学Ⅱ	2	講義			◎	◎	◎				2
TB31726	情報理論	2	講義			◎	◎	◎				2
TB31731	電気工学知識探求型実験	2	実験			◎	○	○				2
TB31736	離散数学	2	講義			◎	◎	◎				2
TB31756	電気回路Ⅱ	2	講義			◎	◎	◎				2
TB31766	電気回路Ⅲ	2	講義			◎	○	○				2
TB31776	電気系数学	2	講義			◎	◎					2
TB31786	基礎電子物理	2	講義			◎	◎	◎				2
TB31796	電子回路Ⅰ	2	講義		◎	◎	◎					2
TB31816	プログラミング論Ⅱ	2	講義			◎	○	○				2
TB32526	データ構造とアルゴリズム論	2	講義			◎	◎	◎				2
TB31190	インターンシップ	2	講義				◎					3
TB31746	情報通信工学	2	講義			◎	○	○				3
TB31826	制御システムⅠ	2	講義			◎	◎	◎				3
TB31836	情報回路	2	講義			◎	◎	◎				3
TB31846	電力変換	2	講義			◎	◎	◎				3
TB31860	電気電子計測	2	講義			◎	◎	◎				3
TB32116	高電圧・絶縁システム	2	講義			◎	◎	◎				3
TB32126	電気系材料工学	2	講義			◎	◎	◎				3
TB32136	電力輸送工学Ⅰ	2	講義			◎	◎	◎				3
TB32146	電力輸送工学Ⅱ	2	講義			◎	◎	◎				3
TB32156	制御システムⅡ	2	講義			◎	○	○				3
TB32166	デジタル信号処理	2	講義			◎	○	○				3
TB32176	電力発生工学	2	講義			◎	◎	◎				3
TB32186	電力技術	2	講義			◎	◎	◎				3
TB32216	電磁変換工学	2	講義			◎	◎	◎				3
TB32316	電子物性論	2	講義			◎	◎	◎				3
TB32326	半導体デバイスⅠ	2	講義			◎	◎	◎				3
TB32336	半導体デバイスⅡ	2	講義			◎	○	○				3
TB32346	電子回路Ⅱ	2	講義			◎	◎	◎				3
TB32356	マイクロ波工学	2	講義	◎								3
TB32366	集積回路	2	講義			◎	◎	◎				3
TB32376	アンテナ電波伝搬	2	講義			◎	○	○				3
TB32386	光波電子工学	2	講義									3
TB32396	応用電子工学	2	講義		◎	◎	◎					3
TB32516	デジタル通信システム	2	講義			◎	◎	◎				3
TB32546	オペレーティングシステム	2	講義			◎	○	○				3
TB32556	計算機アーキテクチャ	2	講義			◎	○	○				3
TB32580	コンピュータ実習３	1	実習			◎	○	○				3
TB32586	画像メディア工学	2	講義			◎	○	○				3
TB32596	人工知能	2	講義			◎	○	○				3
TB32616	システム設計言語	2	講義			◎	○	○				3
TB31166	知的財産権	2	講義							◎		4
TB31188	シンクロトロン放射光工学	2	講義		◎							4
TB31200	卒業研究	6	実習			○	◎	◎				4
TB32196	電機設計	2	講義			◎	◎	◎				4
TB32206	電気法規	2	講義	◎	◎	◎						4
TB32406	電波法規	2	講義	◎		◎						4

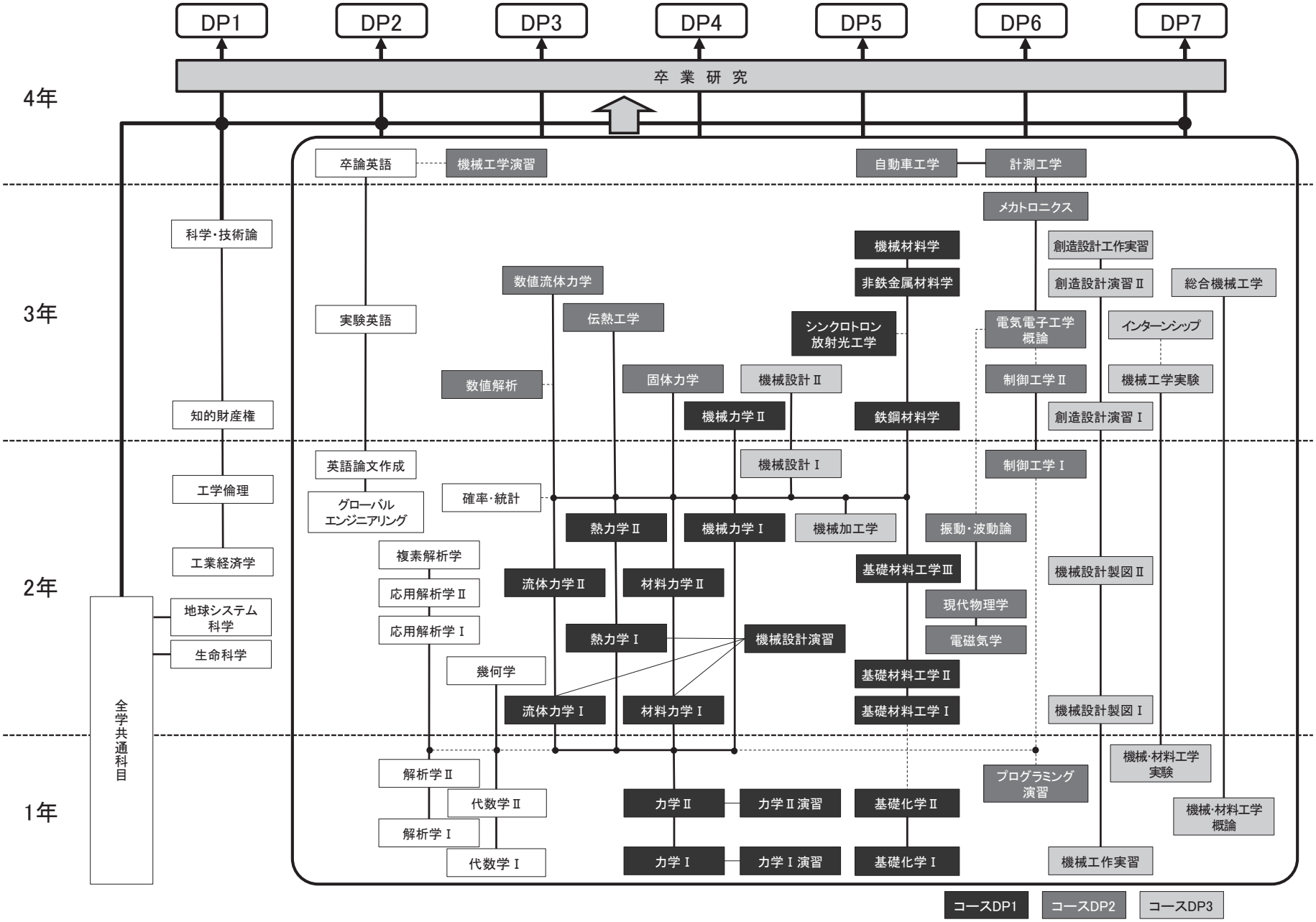
電子情報工学コース　カリキュラムマップ



電気電子情報工学科　電子情報工学コース　カリキュラムマトリクス

科目コード	授業科目名	単位数	授業形態	DP1-1	DP1-2	DP2-1	DP2-2	DP3-1	DP3-2	DP4-1	DP4-2	年次
AW38000	基礎ゼミナール	2	講義			◎		◎			◎	1
AW40100	Listening and Speaking 1	1	講義					◎				1
AW40200	Listening and Speaking 2	1	講義					◎				1
AW40300	Reading and Discussion 1	1	講義					◎				1
AW40400	Reading and Discussion 2	1	講義					◎				1
AW40500	Writing 1	1	講義					◎				1
AW40600	Writing 2	1	講義					◎				1
AW75060	情報処理基礎	2	演習								◎	1
科目コード	授業科目名	単位数	授業形態	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7		年次
TB31216	代数学Ⅰ	2	講義			◎	○					1
TB31217	代数学Ⅱ	2	講義	◎	◎	◎						1
TB31226	解析学Ⅰ	2	講義			◎	○					1
TB31227	解析学Ⅱ	2	講義			◎		◎				1
TB31325	力学	2	講義			◎	○	○				1
TB31346	振動・波動論	2	講義	◎	◎		◎					1
TB31516	プログラミング論Ⅰ	2	講義			◎	○	○				1
TB31526	電気回路基礎	2	講義			◎	○	○				1
TB31536	電気回路Ⅰ	2	講義			◎	◎	◎				1
TB31541	電気回路演習	1	演習			◎	◎	◎				1
TB31641	計算機基礎	2	講義			◎	○	○				1
TB31651	プログラミング演習	1	演習			○	◎	◎				1
TB31661	電磁気学基礎	2	講義		◎	◎	◎					1
TB31116	地球システム科学	2	講義	◎	◎				◎			2
TB31126	生命科学	2	講義	◎	◎							2
TB31136	工学倫理	2	講義	◎		○				◎		2
TB31146	工業経済学	2	講義	◎	◎							2
TB31156	環境安全工学	2	講義			◎	◎	◎				2
TB31170	グローバルエンジニアリング	2	講義		◎	○			○			2
TB31176	科学・技術論	2	講義			○	◎			◎		2
TB31180	英語論文作成	2	講義		◎	○			○			2
TB31236	応用解析学Ⅰ	2	講義			◎	○					2
TB31237	応用解析学Ⅱ	2	講義		◎	○						2
TB31245	複素解析学	2	講義	◎	◎	◎						2
TB31256	幾何学	2	講義	◎	◎	◎						2
TB31276	確率・統計	2	講義	◎	◎	◎						2
TB31356	熱・統計力学	2	講義	◎	◎	◎						2
TB31386	量子力学	2	講義	◎	◎		◎					2
TB31435	基礎化学	2	講義	◎	◎		◎					2
TB31561	電磁気学演習	1	演習			◎	◎	◎				2
TB31590	電気系基礎実験Ⅰ	2	実験			◎	◎	◎				2
TB31630	基礎電気電子計測	2	講義			◎	◎	◎				2
TB31660	コンピュータ実習１	1	実習			◎	○	○				2
TB31670	コンピュータ実習２	1	実習			◎	○	○				2
TB31690	電気系基礎実験Ⅱ	2	実験			◎	◎	◎				2
TB31710	電磁気学Ⅰ	2	講義			◎	◎	◎				2
TB31720	電磁気学Ⅱ	2	講義			◎	◎	◎				2
TB31726	情報理論	2	講義			◎	◎	◎				2
TB31736	離散数学	2	講義			◎	◎	◎				2
TB31756	電気回路Ⅱ	2	講義			◎	◎	◎				2
TB31766	電気回路Ⅲ	2	講義			◎	○	○				2
TB31776	電気系数学	2	講義			◎	◎					2
TB31786	基礎電子物理	2	講義			◎	◎	◎				2
TB31796	電子回路Ⅰ	2	講義		◎	◎	◎					2
TB31816	プログラミング論Ⅱ	2	講義			◎	○	○				2
TB32526	データ構造とアルゴリズム論	2	講義			◎	◎	◎				2
TB31190	インターンシップ	2	講義				◎					3
TB31706	電子工学実験	2	実験	◎	○	○						3
TB31741	情報工学実験	2	実験			◎	○	○				3
TB31746	情報通信工学	2	講義			◎	○	○				3
TB31826	制御システムⅠ	2	講義			◎	◎	◎				3
TB31836	情報回路	2	講義			◎	◎	◎				3
TB31846	電力変換	2	講義			◎	◎	◎				3
TB31860	電気電子計測	2	講義			◎	◎	◎				3
TB32116	高電圧・絶縁システム	2	講義			◎	◎	◎				3
TB32126	電気系材料工学	2	講義			◎	◎	◎				3
TB32136	電力輸送工学Ⅰ	2	講義			◎	◎	◎				3
TB32146	電力輸送工学Ⅱ	2	講義			◎	◎	◎				3
TB32156	制御システムⅡ	2	講義			◎	○	○				3
TB32166	デジタル信号処理	2	講義			◎	○	○				3
TB32176	電力発生工学	2	講義			◎	◎	◎				3
TB32186	電力技術	2	講義			◎	◎	◎				3
TB32216	電磁変換工学	2	講義			◎	◎	◎				3
TB32316	電子物性論	2	講義			◎	◎	◎				3
TB32326	半導体デバイスⅠ	2	講義			◎	◎	◎				3
TB32336	半導体デバイスⅡ	2	講義			◎	○	○				3
TB32346	電子回路Ⅱ	2	講義			◎	◎	◎				3
TB32356	マイクロ波工学	2	講義	◎								3
TB32366	集積回路	2	講義			◎	◎	◎				3
TB32376	アンテナ電波伝搬	2	講義			◎	○	○				3
TB32386	光波電子工学	2	講義			◎	◎	◎				3
TB32396	応用電子工学	2	講義		◎	◎	◎					3
TB32516	デジタル通信システム	2	講義			◎	◎	◎				3
TB32546	オペレーティングシステム	2	講義			◎	○	○				3
TB32556	計算機アーキテクチャ	2	講義			◎	○	○				3
TB32580	コンピュータ実習３	1	実習			◎	○	○				3
TB32586	画像メディア工学	2	講義			◎	○	○				3
TB32596	人工知能	2	講義			◎	○	○				3
TB32616	システム設計言語	2	講義			◎	○	○				3
TB31166	知的財産権	2	講義							◎		4
TB31188	シンクロトロン放射光工学	2	講義		◎							4
TB31200	卒業研究	6	実習			○	◎	◎				4
TB32196	電機設計	2	講義			◎	◎	◎				4
TB32206	電気法規	2	講義	◎	◎	◎						4
TB32406	電波法規	2	講義	◎		◎						4

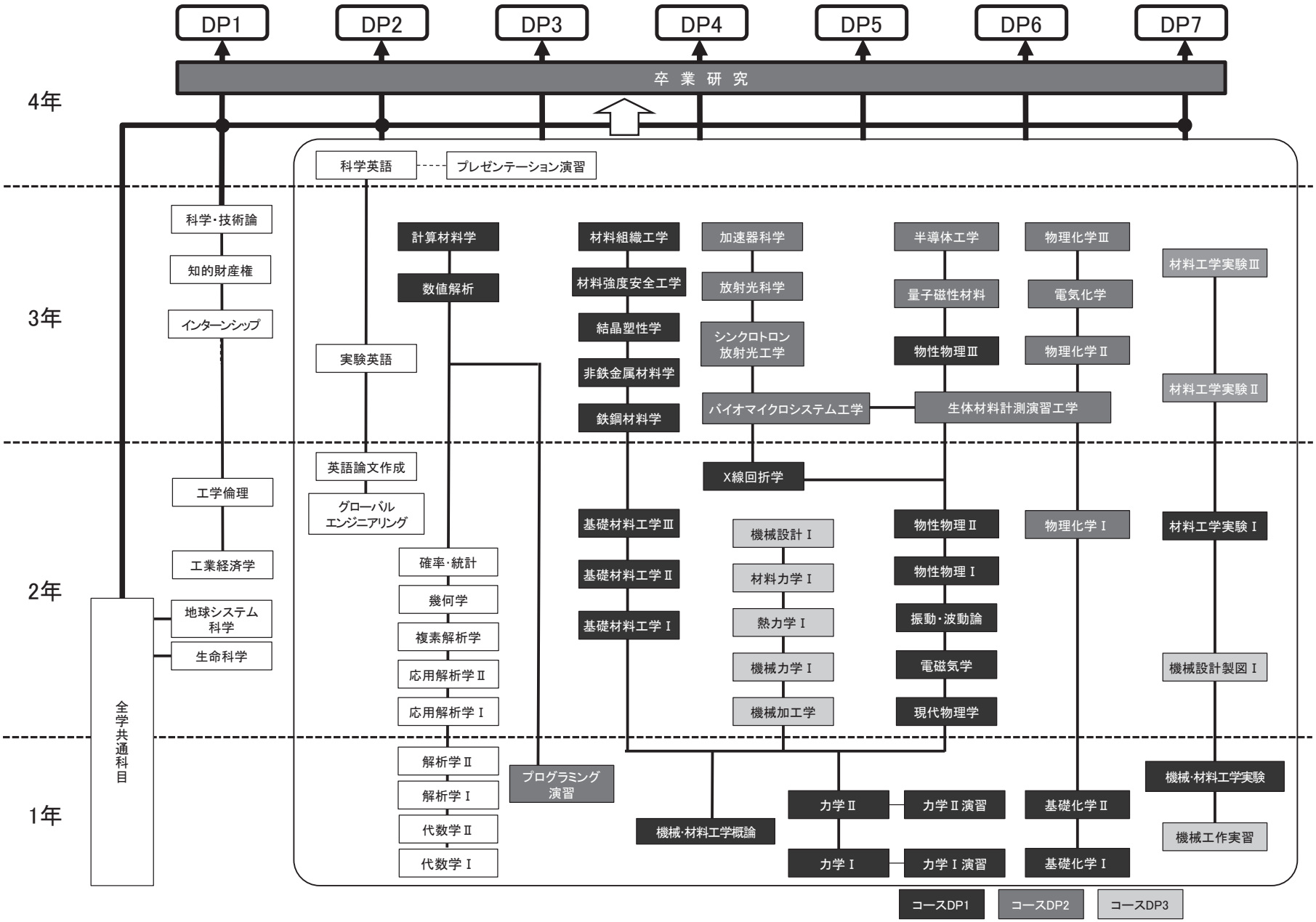
機械･材料工学科 機械工学コース　カリキュラムマップ



機械・材料工学科　機械工学コース　カリキュラムマトリクス

科目コード	授業科目名	単位数	授業形態	DP1-1	DP1-2	DP2-1	DP2-2	DP3-1	DP3-2	DP4-1	DP4-2	年次
AW38010	基礎ゼミナール	2	講義					○		◎	◎	1
AW40100	Listening and Speaking 1	1	講義					◎				1
AW40200	Listening and Speaking 2	1	講義					◎				1
AW40300	Reading and Discussion 1	1	講義					◎				1
AW40400	Reading and Discussion 2	1	講義					◎				1
AW40500	Writing 1	1	講義					◎				1
AW40600	Writing 2	1	講義					◎				1
AW75100	情報処理基礎	2	講義								◎	1
科目コード	授業科目名	単位数	授業形態	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7		年次
TB33216	代数学Ⅰ	2	講義			◎	○					1
TB33217	代数学Ⅱ	2	講義			◎	○					1
TB33226	解析学Ⅰ	2	講義			◎	○					1
TB33227	解析学Ⅱ	2	講義			◎	○					1
TB33260	プログラミング演習	1	演習			◎	○					1
TB33326	力学Ⅰ	2	講義			◎	◎					1
TB33327	力学Ⅱ	2	講義			◎	○		○			1
TB33331	力学Ⅰ演習	1	演習			◎	◎					1
TB33332	力学Ⅱ演習	1	演習			◎	○		○			1
TB33336	機械設計演習	2	演習			◎	○		○			1
TB33436	基礎化学Ⅰ	2	講義			◎	◎		◎			1
TB33437	基礎化学Ⅱ	2	講義			◎	○					1
TB33510	機械工作実習	1	実習			◎	○					1
TB33520	機械･材料工学実験	1	実験			◎	○					1
TB33530	機械・材料工学概論	2	講義	◎	◎							1
TB33116	地球システム科学	2	講義	◎	◎					◎		2
TB33126	生命科学	2	講義	◎						○		2
TB33136	工学倫理	2	講義	◎	◎							2
TB33146	工業経済学	2	講義	◎	◎							2
TB33170	グローバルエンジニアリング	2	講義		◎				○			2
TB33180	英語論文作成	2	講義		◎				○			2
TB33236	応用解析学Ⅰ	2	講義			◎	○					2
TB33237	応用解析学Ⅱ	2	講義			◎	○					2
TB33245	複素解析学	2	講義			◎	○					2
TB33256	幾何学	2	講義			◎	○					2
TB33276	確率・統計	2	講義			◎	○					2
TB33346	振動・波動論	2	講義			○	○					2
TB33366	電磁気学	2	講義	◎	○	○						2
TB33376	現代物理学	2	講義			◎	○					2
TB33536	材料力学Ⅰ	2	講義			◎	○		○			2
TB33546	流体力学Ⅰ	2	講義			◎	○					2
TB33556	熱力学Ⅰ	2	講義			◎	○		○			2
TB33560	機械設計製図Ⅰ	2	実習			◎	○		○			2
TB33570	機械設計製図Ⅱ	2	実習			◎	◎					2
TB33616	材料力学Ⅱ	2	講義				○	◎				2
TB33646	機械力学Ⅰ	2	講義			◎	○		○			2
TB33656	流体力学Ⅱ	2	講義				○	◎				2
TB33666	熱力学Ⅱ	2	講義				○	◎				2
TB33676	機械力学Ⅱ	2	講義				○	◎	○			2
TB33716	機械設計Ⅰ	2	講義			◎		○				2
TB33726	機械設計Ⅱ	2	講義				○	◎				2
TB33776	機械材料学	2	講義			○	◎					2
TB33786	電気電子工学概論	2	講義			◎		○	○			2
TB33796	機械加工学	2	講義			◎		○				2
TB33806	制御工学Ⅰ	2	講義			◎	○		○			2
TB33816	制御工学Ⅱ	2	講義				○	◎				2
TB34140	機械工学実験	1	実験			◎	○					2
TB34145	創造設計工作実習	1	講義		○		◎					2
TB34160	機械工学演習	2	実習	○			◎					2
TB34226	伝熱工学	2	講義				○	◎	○			2
TB34236	固体力学	2	講義				○	◎				2
TB34246	計測工学	2	講義			◎		○	○			2
TB34282	総合機械工学	2	講義				◎					2
TB34286	数値流体力学	2	講義				○	◎	○			2
TB34289	自動車工学	2	講義			◎	○					2
TB34406	基礎材料工学Ⅱ	2	講義			◎	○					2
TB34408	基礎材料工学Ⅰ	2	講義			◎	○					2
TB35600	基礎材料工学Ⅲ	2	講義			◎	○					2
TB33166	知的財産権	2	講義							◎		3
TB33183	実験英語	2	講義		◎				○			3
TB33188	シンクロトロン放射光工学	2	講義		◎							3
TB33189	卒論英語	2	講義			◎	◎					3
TB33190	インターンシップ	2	実習		◎			○		○		3
TB33286	数値解析	2	講義			◎	○					3
TB34420	鉄鋼材料学	2	講義			◎	◎	◎				3
TB34421	非鉄金属材料学	2	講義			○	◎					3
TB34571	創造設計演習Ⅰ	3	演習					○	◎			3
TB34572	創造設計演習Ⅱ	3	演習					○	◎			3
TB34626	メカトロニクス	2	講義				○	◎				3
TB33176	科学・技術論	2	講義			○	◎			◎		3
TB33200	卒業研究	6	実習					◎	○			4

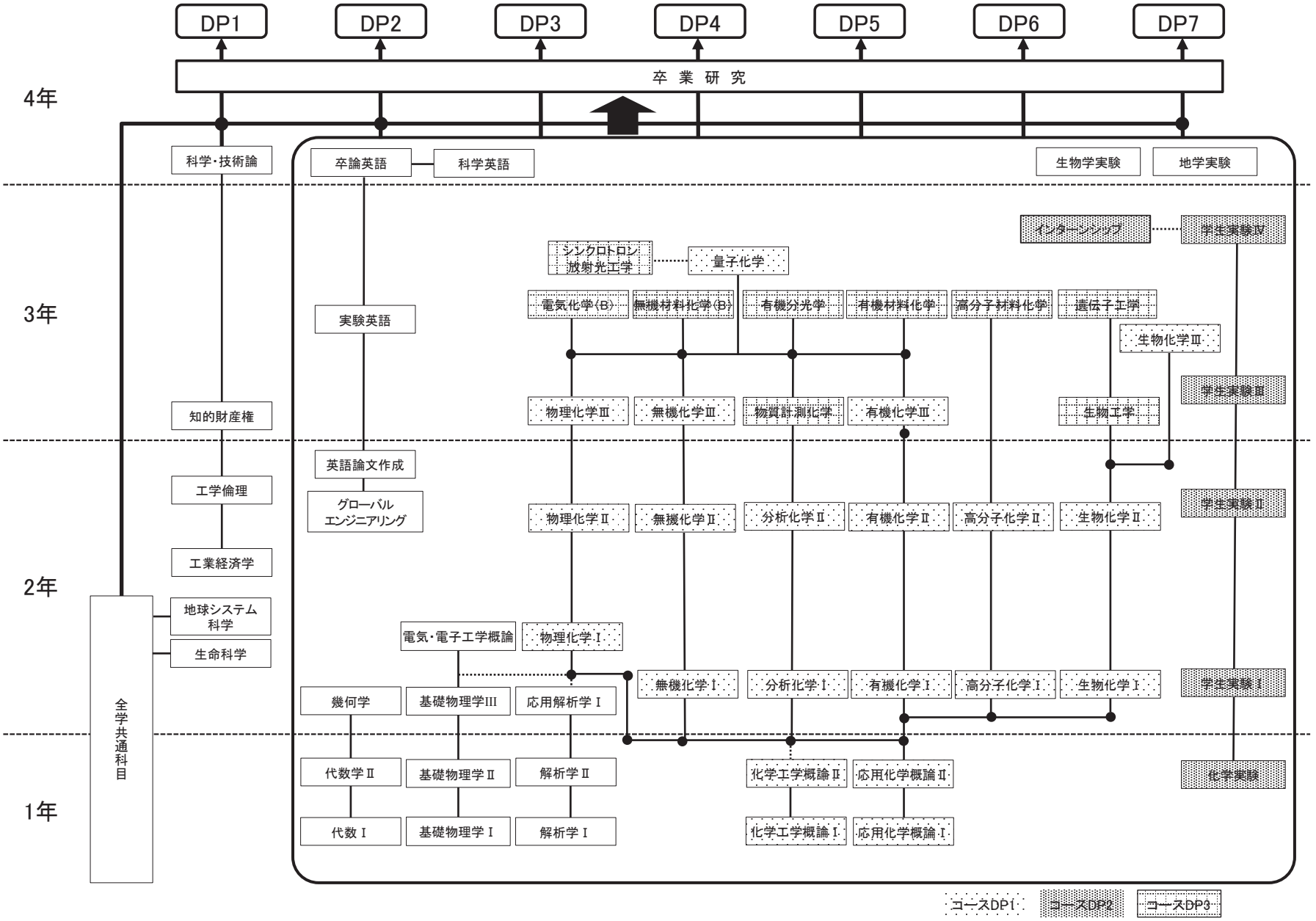
機械･材料工学科 材料工学コース　カリキュラムマップ



機械・材料工学科　材料工学コース　カリキュラムマトリクス

科目コード	授業科目名	単位数	授業形態	DP1-1	DP1-2	DP2-1	DP2-2	DP3-1	DP3-2	DP4-1	DP4-2	年次
AW38010	基礎ゼミナール	2	講義					○		◎	◎	1
AW40100	Listening and Speaking 1	1	講義					◎				1
AW40200	Listening and Speaking 2	1	講義					◎				1
AW40300	Reading and Discussion 1	1	講義					◎				1
AW40400	Reading and Discussion 2	1	講義					◎				1
AW40500	Writing 1	1	講義					◎				1
AW40600	Writing 2	1	講義					◎				1
AW75100	情報処理基礎	2	講義								◎	1
科目コード	**授業科目名**	**単位数**	**授業形態**	**DP1**	**DP2**	**DP3**	**DP4**	**DP5**	**DP6**	**DP7**		**年次**
TB33216	代数学Ⅰ	2	講義			◎	○					1
TB33217	代数学Ⅱ	2	講義			◎	○					1
TB33226	解析学Ⅰ	2	講義			◎	○					1
TB33227	解析学Ⅱ	2	講義			◎	○					1
TB33260	プログラミング演習	1	演習			◎	○					1
TB33326	力学Ⅰ	2	講義			◎	◎					1
TB33327	力学Ⅱ	2	講義			◎	○		○			1
TB33331	力学Ⅰ演習	1	演習			◎	◎					1
TB33332	力学Ⅱ演習	1	演習			◎	○		○			1
TB33436	基礎化学Ⅰ	2	講義			◎	◎		◎			1
TB33437	基礎化学Ⅱ	2	講義			◎	○					1
TB33510	機械工作実習	1	演習			◎	○					1
TB33520	機械･材料工学実験	1	実験			◎	○					1
TB33530	機械・材料工学概論	2	講義	◎	◎							1
TB33116	地球システム科学	2	講義	◎	◎					◎		2
TB33126	生命科学	2	講義	◎						○		2
TB33136	工学倫理	2	講義	◎	◎							2
TB33146	工業経済学	2	講義	◎	◎							2
TB33170	グローバルエンジニアリング	2	講義		◎				○			2
TB33180	英語論文作成	2	講義		◎				○			2
TB33236	応用解析学Ⅰ	2	講義			◎	○					2
TB33237	応用解析学Ⅱ	2	講義			◎	○					2
TB33245	複素解析学	2	講義			◎	○					2
TB33256	幾何学	2	講義			◎	○					2
TB33276	確率・統計	2	講義			◎	○					2
TB33346	振動・波動論	2	講義			○	○					2
TB33366	電磁気学	2	講義	◎	○	○						2
TB33376	現代物理学	2	講義			◎	○					2
TB33536	材料力学Ⅰ	2	講義			◎	○		○			2
TB33556	熱力学Ⅰ	2	講義			◎	○		○			2
TB33560	機械設計製図Ⅰ	2	演習			◎	○		○			2
TB33627	物理化学Ⅰ	2	講義			○	○					2
TB33646	機械力学Ⅰ	2	講義			◎	○		○			2
TB33716	機械設計Ⅰ	2	講義			◎		○				2
TB33796	機械加工学	2	講義			◎		○				2
TB34217	物性物理Ⅰ	2	講義						◎	◎		2
TB34218	物性物理Ⅱ	2	講義			◎	◎					2
TB34406	基礎材料工学Ⅱ	2	講義			◎	○					2
TB34408	基礎材料工学Ⅰ	2	講義			◎	○					2
TB34430	材料工学実験Ⅰ	2	実験			◎	◎	◎				2
TB34676	Ｘ線回析学	2	講義	◎	○							2
TB35600	基礎材料工学Ⅲ	2	講義			◎	○					2
TB33156	材料強度学	2	講義			◎	◎	◎				3
TB33166	知的財産権	2	講義							◎		3
TB33183	実験英語	2	演習		◎				○			3
TB33188	シンクロトロン放射光工学	2	講義		◎							3
TB33190	インターンシップ	1	その他		◎			○		○		3
TB33286	数値解析	2	講義			◎	○					3
TB34404	結晶塑性学	2	講義	◎	○							3
TB34420	鉄鋼材料学	2	講義			◎	◎	◎				3
TB34421	非鉄金属材料学	2	講義			○	◎					3
TB34431	材料工学実験Ⅱ	2	実験			◎	◎	◎				3
TB34432	材料工学実験Ⅲ	2	実験			◎	◎	◎				3
TB34436	材料組織工学	2	講義			◎	○					3
TB34466	物性物理Ⅲ	2	講義	◎								3
TB34487	物理化学Ⅲ	2	講義			◎	◎					3
TB34488	量子磁性材料	2	講義			○	○					3
TB34666	計算材料学	2	講義			◎	○					3
TB34696	物理化学Ⅱ	2	講義			◎	○					3
TB34706	電気化学	2	講義			◎	◎					3
TB34716	加速器科学	2	講義	◎	○							3
TB34726	放射光科学	2	講義		◎	○						3
TB34736	生体材料計測工学	2	講義			◎	◎					3
TB36776	半導体工学	2	講義			◎	○					3
TB33176	科学・技術論	2	講義			○	◎			◎		3
TB33200	卒業研究	6	実習					◎	○			4
TB34721	科学英語	2	演習		◎	○						4
TB34746	プレゼンテーション演習	1	演習		○	◎	○					4

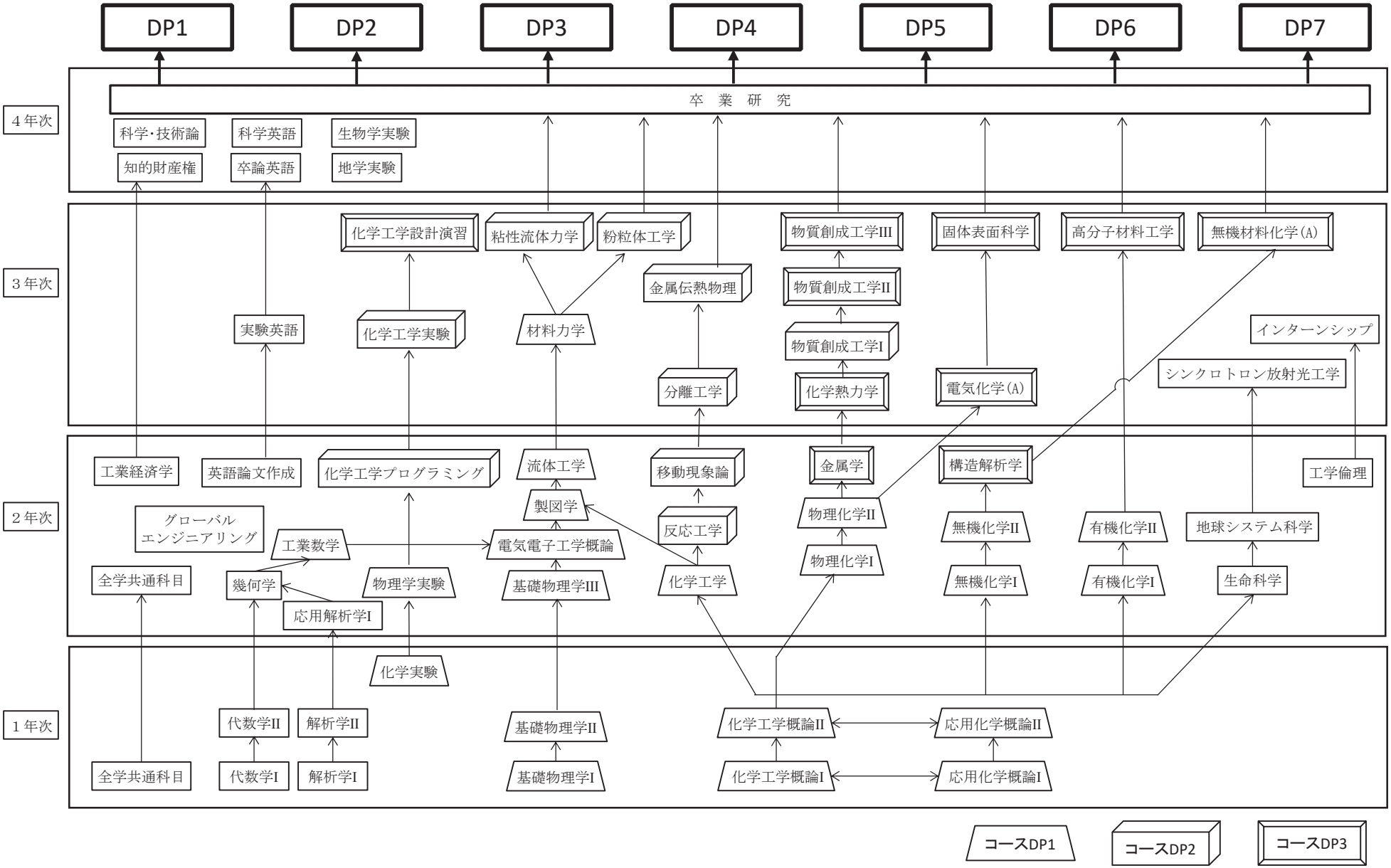
応用化学コース　カリキュラムマップ



応用化学工学科　応用化学コース　カリキュラムマトリクス

科目コード	授業科目名	単位数	授業形態	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	年次
AW38020	基礎ゼミナール	2	講義・演習			◎					1
AW40100	Listening and Speaking 1	1	講義		◎						1
AW40200	Listening and Speaking 2	1	講義		◎						1
AW40300	Reading and Discussion 1	1	講義		◎						1
AW40400	Reading and Discussion 2	1	講義		◎						1
AW40500	Writing 1	1	講義		◎						1
AW40600	Writing 2	1	講義		◎						1
AW75080	情報処理基礎	2	講義・演習			◎					1
TB35157	化学工学概論Ⅰ	2	講義	◎							1
TB35216	代数学Ⅰ	2	講義			◎					1
TB35217	代数学Ⅱ	2	講義				◎				1
TB35226	解析学Ⅰ	2	講義			◎					1
TB35227	解析学Ⅱ	2	講義				◎				1
TB35326	基礎物理学Ⅰ	2	講義			◎					1
TB35346	化学工学概論Ⅱ	2	講義	◎							1
TB35366	基礎物理学Ⅱ	2	講義				◎				1
TB35377	応用化学概論Ⅱ	2	講義	◎							1
TB35435	応用化学概論Ⅰ	2	講義	◎							1
TB35560	化学実験	2	実験						◎		1
TB35136	工学倫理	2	講義	◎							2
TB35146	工業経済学	2	講義	◎	○						2
TB35170	グローバルエンジニアリング	2	講義		◎						2
TB31180	英語論文作成	2	講義	◎	○						2
TB35236	応用解析学Ⅰ	2	講義			◎					2
TB35327	基礎物理学Ⅲ	2	講義				◎				2
TB35396	電気電子工学概論	2	講義	◎							2
TB35532	物理化学Ⅰ	2	講義			◎					2
TB35546	無機化学Ⅰ	2	講義			◎					2
TB35556	有機化学Ⅰ	2	講義			◎					2
TB35572	分析化学Ⅰ	2	講義				◎				2
TB35582	分析化学Ⅱ	2	講義				◎				2
TB35616	物理化学Ⅱ	2	講義				◎				2
TB35636	無機化学Ⅱ	2	講義				◎				2
TB35656	有機化学Ⅱ	2	講義				◎				2
TB35680	学生実験Ⅰ	2	実験						◎		2
TB35690	学生実験Ⅱ	2	実験						◎		2
TB36137	高分子化学Ⅰ	2	講義				◎				2
TB36147	高分子化学Ⅱ	2	講義				◎				2
TB36166	生物化学Ⅰ	2	講義				◎				2
TB36176	生物化学Ⅱ	2	講義				◎				2
TB35116	地球システム科学	2	講義			◎					2
TB35126	生命科学	2	講義			◎					2
TB35188	シンクロトロン放射光工学	2	講義					◎			3
TB35626	物理化学Ⅲ	2	講義					◎			3
TB35646	無機化学Ⅲ	2	講義					◎			3
TB35666	有機化学Ⅲ	2	講義					◎			3
TB35856	遺伝子工学	2	講義							◎	3
TB36116	高分子材料化学	2	講義							◎	3
TB36126	有機分光学	2	講義					◎			3
TB36156	有機材料化学	2	講義					◎			3
TB36171	学生実験Ⅲ	2	実験						◎		3
TB36181	学生実験Ⅳ	2	実験						◎		3
TB36196	量子化学	2	講義					◎			3
TB36216	生物化学Ⅲ	2	講義					◎			3
TB36226	生物工学	2	講義							◎	3
TB36368	無機材料化学 (B)	2	講義							◎	3
TB36388	電気化学 (B)	2	講義							◎	3
TB36716	物質計測化学	2	講義							◎	3
TB35183	実験英語	2	講義		◎				◎		3
TB35166	知的財産権	2	講義							◎	4
TB35176	科学・技術論	2	講義	◎							4
TB35200	卒業研究	6	実習							◎	4
TB35726	科学英語	2	講義		◎				○		4
TB35196	卒論英語	2	講義		◎				◎		4
TB35850	生物学実験	1	実験						◎		4
TB35860	地学実験	1	実験						◎		4

化学工学コース　カリキュラムマップ



応用化学工学科　化学工学コース　カリキュラムマトリクス

科目コード	授業科目名	単位数	授業形態	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	年次
AW38020	基礎ゼミナール	2	講義・演習			◎					1
AW40100	Listening and Speaking 1	1	講義		◎						1
AW40200	Listening and Speaking 2	1	講義		◎						1
AW40300	Reading and Discussion 1	1	講義		◎						1
AW40400	Reading and Discussion 2	1	講義		◎						1
AW40500	Writing 1	1	講義		◎						1
AW40600	Writing 2	1	講義		◎						1
AW75080	情報処理基礎	2	講義・演習			◎					1
TB35157	化学工学概論Ⅰ	2	講義	◎							1
TB35216	代数学Ⅰ	2	講義			◎					1
TB35217	代数学Ⅱ	2	講義				◎				1
TB35226	解析学Ⅰ	2	講義			◎					1
TB35227	解析学Ⅱ	2	講義				◎				1
TB35326	基礎物理学Ⅰ	2	講義			◎					1
TB35346	化学工学概論Ⅱ	2	講義	◎							1
TB35366	基礎物理学Ⅱ	2	講義				◎				1
TB35377	応用化学概論Ⅱ	2	講義	◎							1
TB35435	応用化学概論Ⅰ	2	講義	◎							1
TB35560	化学実験	2	実験						◎		1
TB35136	工学倫理	2	講義	◎							2
TB35146	工業経済学	2	講義	◎	○						2
TB35170	グローバルエンジニアリング	2	講義		◎						2
TB31180	英語論文作成	2	講義	◎	○						2
TB35236	応用解析学Ⅰ	2	講義			◎					2
TB35327	基礎物理学Ⅲ	2	講義				◎				2
TB35396	電気電子工学概論	2	講義	◎							2
TB35536	物理化学Ⅰ	2	講義			◎					2
TB35546	無機化学Ⅰ	2	講義			◎					2
TB35556	有機化学Ⅰ	2	講義			◎					2
TB35616	物理化学Ⅱ	2	講義				◎				2
TB35636	無機化学Ⅱ	2	講義				◎				2
TB35656	有機化学Ⅱ	2	講義				◎				2
TB35817	製図学	2	講義						◎		2
TB36327	反応工学	2	講義					◎			2
TB36407	化学工学	2	講義				◎				2
TB36557	金属学	2	講義				◎				2
TB36572	化学工学プログラミング	2	演習						◎		2
TB36575	工業数学	2	講義				◎				2
TB36577	物理学実験	2	実験						◎		2
TB36578	構造解析学	2	講義					◎			2
TB36656	流体工学	2	講義					◎			2
TB36696	移動現象論	2	講義					◎			2
TB35116	地球システム科学	2	講義			◎					2
TB35126	生命科学	2	講義			◎					2
TB35188	シンクロトロン放射光工学	2	講義					◎			3
TB36316	化学熱力学	2	講義					◎			3
TB36336	物質創成工学Ⅰ	2	講義					◎			3
TB36346	物質創成工学Ⅱ	2	講義							◎	3
TB36356	物質創成工学Ⅲ	2	講義							◎	3
TB36367	無機材料化学（A）	2	講義							◎	3
TB36381	化学工学実験	2	実験						◎		3
TB36387	電気化学（A）	2	講義			○	○	◎			3
TB36396	固体表面科学	2	講義					○		◎	3
TB36616	材料力学	2	講義					◎			3
TB36626	分離工学	2	講義							◎	3
TB36636	金属伝熱物理	2	講義					◎			3
TB36646	粉粒体工学	2	講義							◎	3
TB36676	粘性流体力学	2	講義					◎			3
TB36686	高分子材料工学	2	講義					◎			3
TB36706	化学工学設計演習	2	演習						◎		3
TB35183	実験英語	2	講義		◎				◎		3
TB35166	知的財産権	2	講義							◎	4
TB35176	科学・技術論	2	講義	◎							4
TB35200	卒業研究	6	実習							◎	4
TB35726	科学英語	2	講義		◎				○		4
TB35196	卒論英語	2	講義		◎				◎		4
TB35850	生物学実験	1	実験						◎		4
TB35860	地学実験	1	実験						◎		4

７．CAP 制度・GPA 制度について

１　CAP 制度

単位制度を実質化し､学修すべき授業科目を精選することで十分な学習時間を確保し、授業内容を深く真に身につけることを目的として、学生が履修科目として登録ができる単位数の上限を定め、各年次にわたって適切に授業科目を履修してもらうために導入するものです。

履修登録単位数の上限設定については、次のとおり取り扱います。

（１）履修登録単位数は、前期 26 単位、後期 26 単位、かつ年間 50 単位を上限とする。

（令和３年度及び２年度入学生は、通年 56 単位を上限
平成 31 年度以前入学生は、通年 58 単位を上限）

なお、上限を超えた履修は認められないので、履修計画を立てる際には十分検討しておくこと

（２）次に掲げる科目は、履修登録単位数に含まれないものとする。

①　集中講義による授業科目
②　学科で指定する授業科目
③　卒業所要単位数に算入されない授業科目

２　GPA 制度

学修の状況及び結果を明確化することにより、学生の学習意欲を高め、適切な修学指導に資するとともに、厳格な成績評価を推進し、学びの質を向上させることを目的とするもので、次のとおり取り扱います。

（１）各授業科目の成績評価に基づき、下表のとおり GP（グレード・ポイント）を付す。

成績評価	GP	区分	評価の基準
S	4	90 点以上	到達目標を十分に達成できている非常に優れた成績
A	3	80 点以上 90 点未満	到達目標を十分に達成できている優れた成績
B	2	70 点以上 80 点未満	到達目標を達成できている成績
C	1	60 点以上 70 点未満	到達目標を最低限達成できている成績
D	0	60 点未満	

※　「D」は、「不可」及び「受験せず」を意味する。

（２）GPA の算出方法は、次の計算式による。

$$\frac{4\times S\text{取得単位数}+3\times A\text{取得単位数}+2\times B\text{取得単位数}+1\times C\text{取得単位数}+0\times D\text{取得単位数}}{\text{総履修登録単位数}}$$

※　計算値は小数点第３位を切り捨てて算出する。

（３）GPA の対象授業科目は、５段階評価によって成績認定される授業科目であって、卒業要件に算入できる授業科目とする。

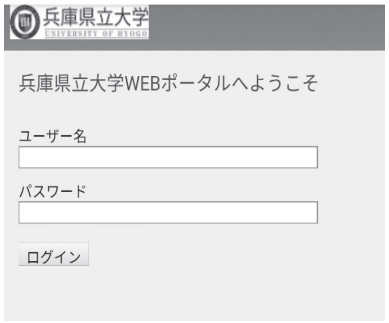
ただし、履修取消期間に、学生から履修取消の申し出があり、履修取消を許可した授業科目は、GPA の対象授業科目から除くものとする。

（４）前期は５月下旬、後期は 11 月中旬の１週間程度を履修取消期間とし、履修継続が難しいと思われる科目の履修登録を取り消すことを認めるので、掲示等に注意すること

履修取消を怠ると、履修放棄とみなし、「D」扱いとなるので注意すること

UNIVERSAL PASSPORT スマートフォン操作マニュアル

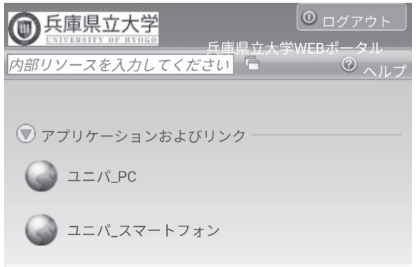
1. ログイン



https://unipa.u-hyogo.ac.jp
へアクセスします

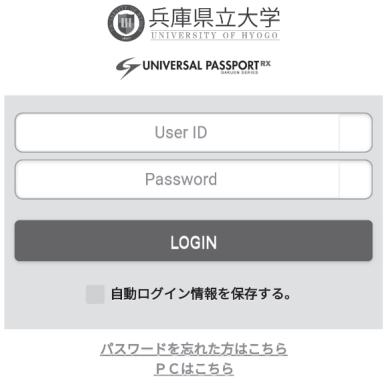
ユーザ ID・パスワードを入力し、
ログインボタンをタップします。

※ID とパスワードは、パソコン版の
UNIVERSAL PASSPORT へログインする際と同一です。



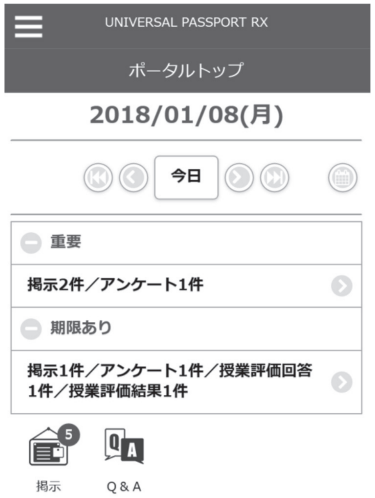
ログイン後、ポータルサイト(左図)が表示されます。

スマートフォン用はこちらの
ユニパ_スマートフォンをタップします。

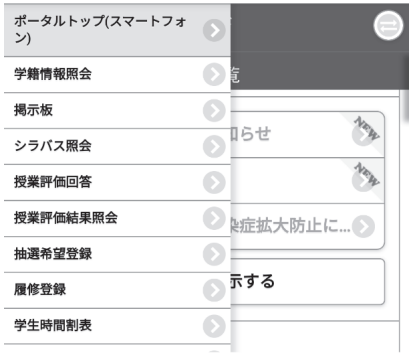


ユーザ ID・パスワードを入力し、
ログインボタンをタップします。

※ID とパスワードは、パソコン版の UNIVERSAL PASSPORT へログインする際と同一です。



ログイン後、ポータル画面が表示されます。
左上の「≡」をタップするとメニューが開きます。



2. 掲示板

ポータル画面より[掲示]アイコンをタップします。
自分宛てに届いている掲示の一覧が表示されます。
詳細を確認したい場合はタイトルをタップします。

[戻る]ボタンをタップすると、元の画面へ戻ります。

※各機能で[戻る]ボタンが同様に表示されます。スマートフォン本体の[戻る]ボタンは使用せず、画面上の[戻る]ボタンを使用するようにしてください。

3. スケジュール

ポータルトップ画面の下部には
当日スケジュール（マイスケジュール、休日イベント・時間割）が表示されます。

スケジュールを登録する場合は、
[マイスケジュールを追加する]をタップします。

スケジュールの開始、終了、Memo を入力し、
[登録する]ボタンをタップします。

※時間をクリアしたい場合は、[×]ボタンをタップします。

4. 履修登録

メニュー画面より[履修登録]をタップします。
※曜日ボタンをタップすると、更に時限がリスト表示されます。

履修登録したい曜日(集中講義/実習)・時限のボタンをタップすると、履修可能な授業の一覧が表示されます。
※再受験については P.57 へ記載します。(前期のみ)
表示された授業の一覧から、履修登録したい授業のチェックボックスをタップして授業を選択します。

履修したい授業分、操作を繰り返し、
授業選択が終わった時点で下部の[提出内容を確認する]ボタンをタップします。

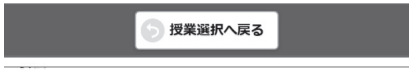
※[提出内容を確認する]ボタンをタップするまで履修データは保存されませんのでご注意ください。

再受験許可科目を選択する場合は、
再受験ボタンをタップし、授業コードを入力します。

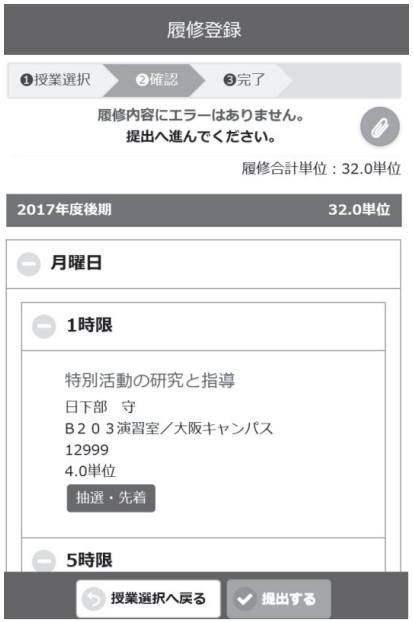
履修登録チェックでエラーがある場合は、[履修エラーあり（確認する）]が表示されます。
該当の曜日・時限をタップすると、エラーとなっている授業が赤色で表示されます。

[履修エラーあり（確認する）]をタップすると履修登録エラー画面が表示されます。

[授業選択へ戻る]をタップし、修正します。



※授業選択を修正した後は、再度[提出内容を確認する]ボタンをタップしてください



チェックでエラーがなければ、選択した授業の一覧が表示されます。
履修登録画面に表示されている科目で間違いがないかを確認し、[提出する]ボタンをタップします。

「履修登録が完了しました。」のメッセージが表示されたら、履修登録完了です。

5. 学生時間割表

メニュー画面より[学生時間割表]をタップします。
現在履修している授業が表示されます。

登録エラーがある授業はピンク色で
表示されます。

科目名称をタップすることで、シラバスを表示することができます。

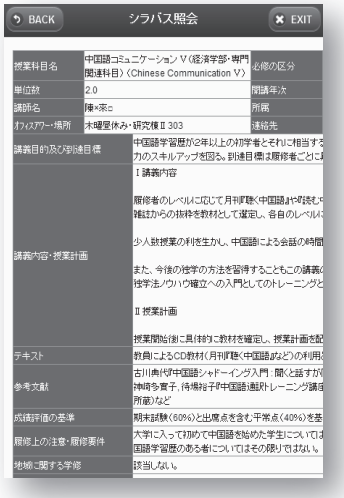
下部の年度、学期、キャンパスを選択して検索することができます。

6. シラバス照会

シラバスを検索する条件を指定し、[検索する]をタップします。

[ふせんを貼った授業一覧を開く]をタップすると、【ふせんを貼った授業一覧画面】が表示されます。

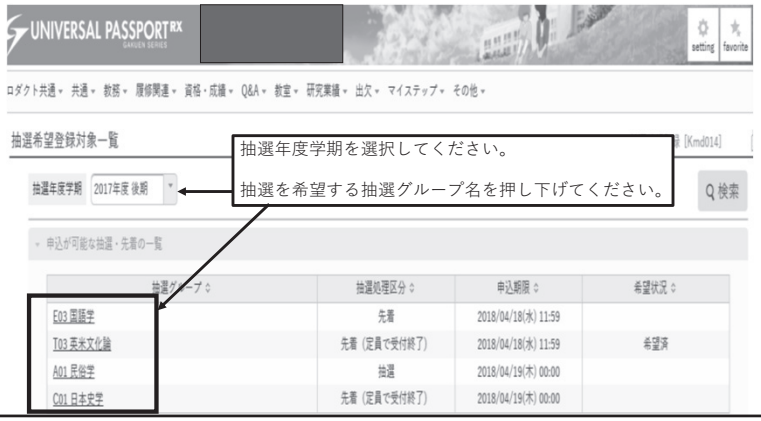
検索結果の一覧からシラバスを参照する授業をタップします。



選択した授業のシラバス詳細が参照できます。
下部の[ふせんを貼る]をタップすると
【ふせんを貼った授業一覧画面】で確認することができます。

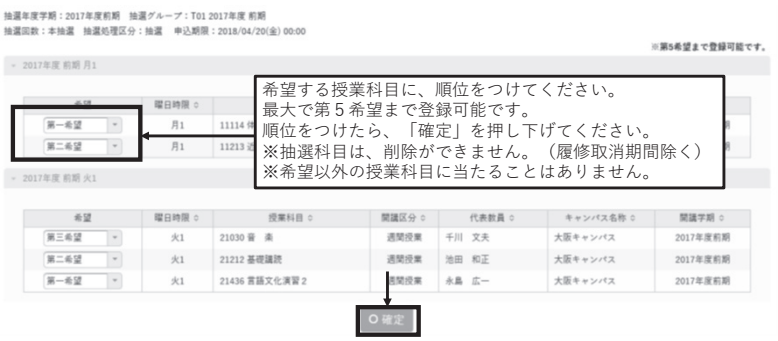
※パソコン版シラバス照会機能と同じレイアウトで表示されます。

履修登録（抽選　ＰＣ版）



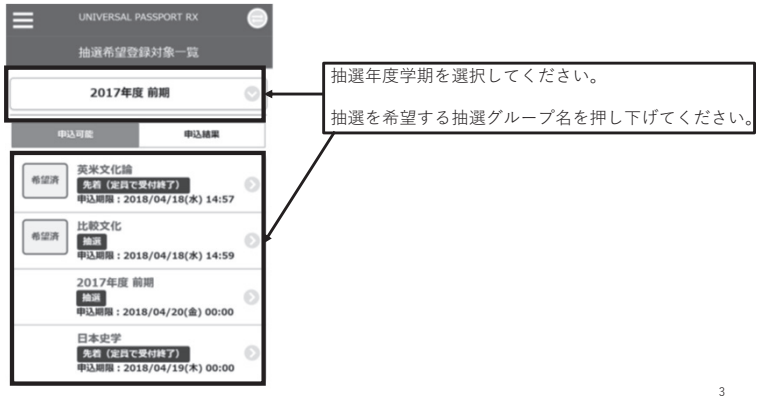
1

履修登録（抽選　ＰＣ版）



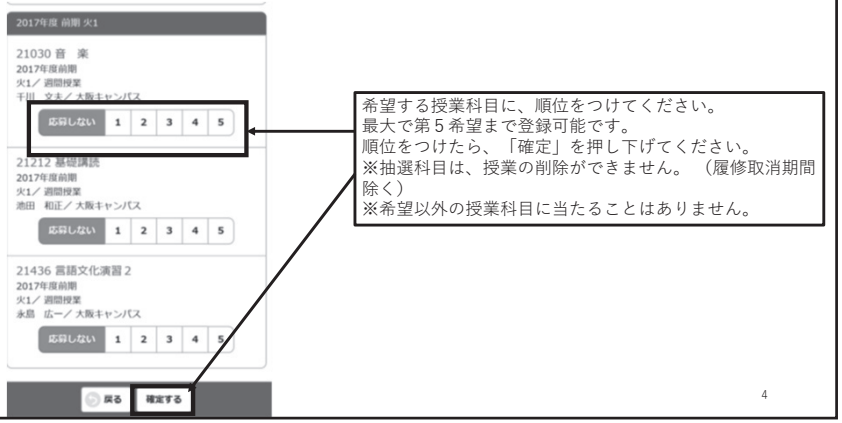
2

履修登録（抽選　スマートフォン版）



3

履修登録（抽選　スマートフォン版）

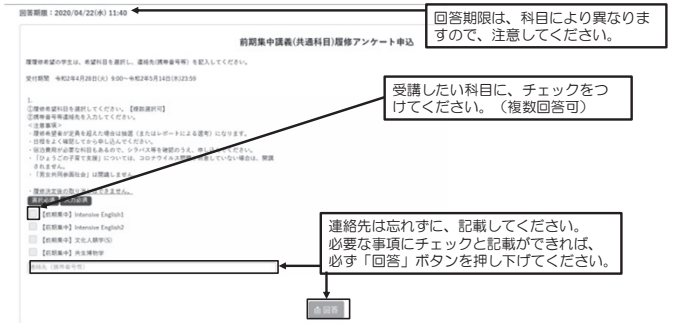


4

履修登録(集中講義等)
アンケート機能について

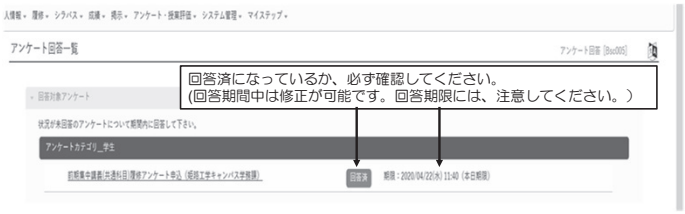
1

履修登録(集中講義等)
アンケート機能について



2

履修登録(集中講義等)
アンケート機能について



3

第２章　履修関係規程

兵庫県立大学学則

目次

第１章　総則（第１条―第４条）
第２章　学年、学期、休業日、修業年限及び在学年限（第５条―第９条）
第３章　教育課程及び履修方法等（第 10 条―第 17 条）
第４章　入学、編入学、転学、転学部、転学科及び卒業（第 18 条―第 29 条）
第５章　休学、復学、退学、除籍及び再入学（第 30 条―第 33 条）
第６章　賞罰（第 34 条・第 35 条）
第７章　学生寮（第 36 条）
第８章　科目等履修生等（第 37 条―第 42 条）
第９章　外国人留学生（第 43 条）
第 10 章　公開講座（第 44 条）
第 11 章　授業料及び入学料等（第 45 条）
第 12 章　雑則（第 46 条）
附　則

第１章　総　則

（目的）

第１条　兵庫県立大学（以下「本学」という。）は、学術の中心として、豊かな教養をはぐくむとともに、深く専門の学芸を教育研究し、地域社会や国際社会の発展に寄与し得る創造力を持つ人間性豊かな人材の育成に努めるとともに、学術的な新知見を国内外に発信して地域の活性化と我が国の発展、ひいては世界人類の幸せに貢献することを目的とする。

（学部）

第２条　本学に、国際商経学部、社会情報科学部、工学部、理学部、環境人間学部及び看護学部を置く。

２　学部の学科及び定員は、次のとおりとする。

学　部	学　科	入学定員	収容定員
国際商経学部	国際商経学科	360	1,440
社会情報科学部	社会情報科学科	100	400
工学部	電気電子情報工学科	126	504
	機械・材料工学科	126	504
	応用化学工学科	100	400
	小　計	352	1,408
理学部	物質科学科	90	360
	生命科学科	85	340
	小　計	175	700
環境人間学部	環境人間学科	205	820
	（うち食環境栄養課程）	(40)	(160)
看護学部	看護学科	105	420
計		1,297	5,188

３　学部における人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的については、学部規程で定める。

（大学院）

第３条　本学に大学院を置く。大学院の学則は、別にこれを定める。

（職員組織）

第４条　本学に、学長、副学長、教授、准教授、講師、助教、助手及び職員を置く。

第２章　学年、学期、休業日、修業年限及び在学年限

（学年）

第５条　学年は、４月１日に始まり、翌年３月 31 日に終わる。

２　前項の規定にかかわらず、国際商経学部国際商経学科の外国人留学生（外国人留学生選抜により入学する者。以下、「外国人留学生選抜入学者」という。）にあっては学年は、９月 20 日に始まり、翌年９月 19 日に終わる。

（学期）

第６条　学年は、次の２学期に分ける。

前期　４月１日から９月 30 日まで

後期　10 月１日から翌年３月 31 日まで

２　前項の規定にかかわらず、国際商経学部国際商経学科グローバルビジネスコースの学年は、次の２学期に分ける。

春学期　４月１日から９月 19 日まで

秋学期　９月 20 日から翌年３月 31 日まで

（休業日）

第７条　休業日は、次のとおりとする。

（１）　日曜日及び土曜日

（２）　国民の祝日に関する法律（昭和 23 年法律第 178 号）による休日

（３）　春季休業　４月１日から４月６日まで

（４）　夏季休業　８月１日から９月 30 日まで

（５）　冬季休業　12 月 25 日から翌年１月４日まで

２　学長は、前項の休業日のほか、臨時の休業日を定めることができる。

３　学長は、学部の事情により特に必要があると認める場合は、学部長の申し出に基づき、当該学部に関し、第１項の休業日を変更することができる。

４　学長は、前項に規定するもののほか、特に必要があると認める場合は、第１項の休業日を臨時に変更することができる。

（修業年限）

第８条　学部の修業年限は、４年とする。

（在学年限）

第９条　学部の在学年限は、８年を超えることはできない。ただし、編入学により入学した者は、第 23 条に規定する在学すべき年数の２倍に相当する年数を超えて在学することができない。

第３章　教育課程及び履修方法等

（教育課程）

第 10 条　教育課程は、本学の教育上の目標を達成するために必要な授業科目を開設し、体系的に編成するものとする。

（副専攻）

第 10 条の２　前条により編成する教育課程として、特定の分野または課題の授業科目で構成する副専攻を設置し、その学習成果を認定することができる。

２　副専攻に関して必要な事項は別に定める。

（授業科目及び授業の方法）

第 10 条の３　授業科目の区分は、全学共通科目、専門基礎科目（専門関連科目）、専門教育科目及び教職課程科目とする。

２　全学共通科目は、高等教育推進機構長の下、全学が協力して開設する。

３　授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。

４　前項の授業は、文部科学大臣が別に定めるところにより、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。

５　前４項に規定するもののほか、授業科目及び授業の方法に関して必要な事項は、学部規程で定める。

（単位の計算）

第 11 条　授業科目の単位数を定めるに当たっては、１単位の授業科目を 45 時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、前条第３項に規定する授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、おおむね 15 時間から 45 時間までの範囲で学部規程で定める時間の授業をもって１単位として単位数を計算するものとする。ただし、芸術等の分野における個人指導による実技の授業については、学部規程で定める時間の授業をもって１単位とすることができる。

２　前項の規定にかかわらず、全学共通科目については、次の基準により単位を計算するものとする。

（１）講義（基礎ゼミナールを含む。）については、15 時間の授業をもって１単位とする。

（２）外国語、演習については、30 時間の授業をもって１単位とする。

（３）実験、実習、実技については、45 時間の授業をもって１単位とする。

（４）一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、その組み合わせに応じ、前３号に規定する基準を考慮して高等教育推進機構が定める時間の授業をもって１単位とする。

３　第１項の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究、卒業製作等の授業科目については、これらの学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められる場合には、これに必要な学修等を考慮して、単位数を学部規程で定めることができる。

（単位の授与）

第 12 条　授業科目を履修した者には、試験その他の適切な方法により学修の成果を評価して所定の単位を与える。

（成績の評価）

第 13 条　授業科目の成績は、S、A、B、C、Dの評語をもって表し、S 、A、B、Cを合格とする。

2　前項の規定にかかわらず、合格・不合格又は認定をもって表することが適切と認められる授業科目については、学部規程で定めることころにより、合格・不合格又は認定で表すことができる。

（他大学等における履修等）
第 14 条　学長は、教育上有益と認めるときは、他の大学（短期大学を除く。以下同じ。）、短期大学、高等専門学校その他別に定める機関（以下これらを「大学等」という。）と本学との協定に基づき、教授会の意見を聴いた上で、学生に当該大学等の授業科目を履修させることができる。
2　前項の規定により、学生が、履修した授業科目について修得した単位は、60 単位を超えない範囲で本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。
3　前２項に関して必要な事項は、第１項の協定に定めるもののほか、別に定める。

（入学前の既修得単位の認定及び修業年限の通算）
第 15 条　学長は、教育上有益と認めるときは、教授会の意見を聴いた上で、学生が、本学に入学する前に本学、他の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位（科目等履修生として修得した単位を含む。）を本学に入学した後の本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。
2　前項の規定により他の大学又は短期大学において履修した授業科目に関し本学において修得したものとみなす単位数は、前条第２項の規定により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて 60 単位を超えないものとする。
3　第１項に定めるもののうち、学生が第 37 条で定める科目等履修生として修得した単位について、本学に入学した後に修得したものとみなすときは、教授会の意見を聴いた上で、修得した単位数その他の事項を勘案して修業年限に通算することができる。ただし、その期間は、当該修業年限の二分の一を超えてはならない。
4　前３項に関して必要な事項は、別に定める。

（長期にわたる教育課程の履修）
第 16 条　学長は、学生が、職業を有している等の事情により、第８条の規定にかかわらず修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し卒業することを希望する旨を申し出たときは、教授会の意見を聴いた上で、その計画的な履修を認めることができる。
2　前項に関して必要な事項は、別に定める。

（教育課程及び履修方法に関する学部規程への委任）
第 17 条　この章に定めるもののほか、授業科目の種類、単位数及び履修方法については、学部規程の定めるところによる。この場合において、全学共通科目に関しこれらの事項を定めるときは、高等教育推進機構長と協議しなければならない。

第４章　入学、編入学、転学、転学部、転学科及び卒業

（入学の時期）
第 18 条　入学の時期は、学年の始めとする。
2　各学部は、第５条及び前項の規定にかかわらず、教育上支障がないと認められる場合に限り、入学の時期を後期の始めとすることができる。

（入学資格）
第 19 条　本学に入学することのできる者は、次の各号のいずれかに該当するものでなければならない。
（1）　高等学校又は中等教育学校を卒業した者
（2）　通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。）
（3）　外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
（4）　文部科学大臣が高等学校の課程に相当する課程を有するものとして指定した在外教育施設の当該課程を修了した者
（5）　専修学校の高等課程（修業年限が３年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者
（6）　文部科学大臣の指定した者
（7）　高等学校卒業程度認定試験規則（平成 17 年文部省令第１号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第２条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和 26 年文部省令第 13 号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
（8）　大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18 歳に達したもの
2　前項の規定にかかわらず、本学に編入学を希望する者に係る入学資格については、学部規程で定める。

（入学志願の手続）
第 20 条　入学志願者は、本学の指定する入学願書その他の書類を定められた期日までに提出しなければならない。
2　前項の必要書類及び期日は、学生募集時にこれを指示する。
3　入学志願者は、必要書類に添えて入学考査料を納付しなければならない。

（入学許可）
第 21 条　学長は、入学志願者に対し、別に定めるところにより入学者の選抜を行い、教授会の意見を聴いた上で、合格者を決定する。
2　学長は、前項による合格者のうち、指定の期日までに入学手続に関する書類を添えて入学料を納付した者に入学を許可する。

（入学許可の取消）
第 22 条　学長は、前条の規定により入学を許可した者が次の各号に該当するときは、第１号に該当する場合を除き教授会の意見を聴いた上で、当該入学許可を取り消すものとする。
（1）　入学の辞退を申し出たとき
（2）　入学資格を満たしていないと認めたとき
（3）　入学者の選抜において不正があったと認めたとき

（編入学者の在学すべき年数等）
第 23 条　編入学により入学した者の在学すべき年数、既に履修した授業科目及び単位数等の取扱いについては、教授会の意見を聴いた上で、学長が決定する。
2　前項に規定するもののほか、編入学に関して必要な事項は、別に定める。

（転学）
第 24 条　学生は、他の大学に転学を希望するときは、学長の許可を得なければならない。
2　学長は、他の大学の学生で本学に転学を希望する者については、教授会の意見を聴いた上で、相当年次に転学を許可することがある。
3　前２項に規定するもののほか、転学に関して必要な事項は、別に定める。

（転学部）
第 25 条　学生が、転学部を希望する旨を申し出たときは、学長は、当該学生の所属学部及び志望学部の教授会の意見を聴いた上で、これを許可することができる。
2　前項に規定するもののほか、転学部に関して必要な事項は、別に定める。

（転学科）
第 26 条　学長は、学生が、他の学科に転学科を希望する旨を申し出たときは、教授会の意見を聴いた上で、これを許可することができる。
2　前項に規定するもののほか、転学科に関して必要な事項は、別に定める。

（留学）
第 27 条　学生は、本学との協定に基づく外国の大学又は短期大学に留学しようとするときは、学長の許可を得なければならない。
2　前項の許可を受けて留学した期間は、第８条の修業年限に算入することができる。
3　第 14 条の規定は、留学について準用する。

（卒業認定）
第 28 条　学長は、本学に第８条に規定する年数（編入学により入学した者については、第 23 条に規定する在学すべき年数）在学し、学部規程に従って卒業所要単位以上を修得した者について、教授会の意見を聴いた上で、卒業を認定する。
2　学長は、本学に３年以上在学し、学部規程に従って卒業所要単位以上を優秀な成績で修得した者について、その願い出に基づき、教授会の意見を聴いた上で、卒業を認定することができる。

（学位）
第 29 条　学長は、本学を卒業した者について、学士の学位を授与する。
2　学位の授与については、別に定める。

第５章　休学、復学、退学、除籍及び再入学

（休学及び復学）
第 30 条　学生は、病気・事故等やむを得ない事情により３箇月以上修学することができないときは、必要書類を添えて学長の許可を得て休学することができる。
2　学長は、病気のため修学が適当でない学生については、休学を命ずることができる。
3　休学の期間は、１年を超えることができない。ただし、学長は、特別の事

情があると認められたときは、更に１年の範囲内で延長を許可することができる。
４　休学期間は、通算して３年を超えることができない。
５　休学期間は、在学期間に算入しない。
６　学生は、休学期間中にその該当事由がなくなったときは、学長の許可を得て復学することができる。
７　前各項に規定するもののほか、休学及び復学に関して必要な事項は、別に定める。

（退学）
第 31 条　学生は、退学しようとするときは、学長の許可を得なければならない。

（除籍）
第 32 条　学長は、学生が、次の各号のいずれかに該当するときは、教授会の意見を聴いた上で、これを除籍することができる。
（１）　第 30 条第４項に定める休学期間を超える者
（２）　病気その他の理由のため、成業の見込みのない者
（３）　授業料等の納付を怠り、督促してもなおその納付がない者
（４）　定められた在学期間を超える者

（再入学）
第 33 条　学長は、次の各号のいずれかに該当する者が、再入学を願い出たときは、教授会の意見を聴いた上で、第 21 条の規定による許可をすることができる。
（１）　第 31 条の規定により本学を退学した者
（２）　前条第１号から第３号までのいずれかの規定により除籍された者
２　前項に規定するもののほか、再入学に関して必要な事項は、別に定める。

第６章　賞　罰

（表彰）
第 34 条　学長は、表彰に値する行為があった学生を、教育研究審議会の議を経て表彰することができる。

（懲戒）
第 35 条　学長は、本学則その他学生に関する諸規程に反し、又は学生としての本分に反した行為のある者を、教育研究審議会の議を経て懲戒することができる。
２　懲戒は、訓告、停学及び退学の３種とする。
３　前項の退学は、次の各号のいずれかに該当する者に対して行うことができる。
（１）　性行不良で改善の見込みがないと認められる者
（２）　正当な事由がなくて修業の実のない者
（３）　本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者
４　前３項に規定するもののほか、懲戒に関して必要な事項は、別に定める。

第７章　学生寮

（学生寮）
第 36 条　本学に学生寮を置く。
２　学生寮の位置は、神戸市西区学園西町及びたつの市新宮町光都とする。
３　学生寮について必要な事項は、別に定める。

第８章　科目等履修生等

（科目等履修生）
第 37 条　学長は、授業科目につき履修を願い出る者があるときは、教授会（全学共通科目の履修を願い出る者にあっては高等教育推進機構長を含む。）の意見を聴いた上で、これを科目等履修生として許可することができる。ただし、全学共通科目の履修を願い出る科目等履修生の選考については、高等教育推進機構長と協議しなければならない。
２　前項に規定するもののほか、科目等履修生に関して必要な事項は、別に定める。

（特別聴講生）
第 38 条　学長は、他の大学等との協定に基づき、他の大学等の学生で本学の授業科目を履修しようとする者について、教授会の意見を聴いた上で、これを特別聴講生として、許可することができる。
２　前項の協定に定めるもののほか、特別聴講生に関して必要な事項は、別に定める。

（聴講生）
第 39 条　学長は、授業科目につき聴講を願い出る者があるときは、教授会（全学共通科目の聴講を願い出る者にあっては高等教育推進機構長を含む。）の意見を聴いた上で、これを聴講生として許可することができる。ただし、全学共通科目の聴講を願い出る聴講生の選考については、高等教育推進機構長と協議しなければならない。
２　前項に規定するもののほか、聴講生に関して必要な事項は、別に定める。

（研究生）
第 40 条　学長は、特定の事項について研究を願い出る者があるときは、教授会の意見を聴いた上で、これを研究生として許可することができる。
２　前項に規定するもののほか、研究生に関して必要な事項は、別に定める。

（研修員）
第 41 条　学長は、大学又はその他の団体から特定事項の研究のため、その所属の職員の派遣について願い出があるときは、教授会の意見を聴いた上で、これを研修員として許可することができる。
２　前項に規定するもののほか、研修員に関して必要な事項は、別に定める。

（規定の準用）
第 42 条　この章に定めるもののほか、学則のうち必要な規定は、科目等履修生、特別聴講生、聴講生、研究生及び研修員について準用する。

第９章　外国人留学生

（外国人留学生）
第 43 条　学長は、外国人で留学のため、本学へ入学を願い出る者があるときは、教授会の意見を聴いた上で、これを外国人留学生として許可することができる。
２　この章に定めるもののほか、学則のうち必要な規定は、外国人留学生について準用する。

第 10 章　公開講座

（公開講座）
第 44 条　県民の教養を高めるとともに、広く文化の向上に資するため、本学に公開講座を開設することができる。

第 11 章　授業料及び入学料等

（授業料及び入学料等）
第 45 条　授業料、入学考査料、入学料、研修料、公開講座受講料（以下「授業料等」という。）の額並びに徴収に関しては、別に定める。
２　休学を許可された者に対しては、別に定めるところにより、休学期間の授業料を免除する。
３　特別の理由があると認められる者は、別に定めるところにより、授業料等の全部又は一部の免除を申請することができる。

第 12 章　雑　則

（補則）
第 46 条　この学則の施行に関して必要な事項は、別に定める。

附　則
この学則は、平成 25 年４月１日から施行する。
附　則（平成 27 年２月４日改正）
この学則は、平成 27 年４月１日から施行する。
附　則（平成 27 年２月 12 日改正）
この学則は、平成 27 年４月１日から施行する。
附　則（平成 27 年９月 30 日改正）
この学則は、平成 27 年 10 月１日から施行する。
附　則（平成 28 年５月 11 日改正）

（施行期日）
１　この学則は、平成 29 年４月１日から施行する。

（経過措置）
２　平成 29 年度から平成 31 年度における環境人間学部環境人間学科及び看護学部看護学科並びに全学部の計の入学定員及び３年次編入学定員並びに収容定員は、第２条第２項の規定にかかわらず、次のとおりとする。

学　部	学　科		平成29年度	平成30年度	平成31年度
環境人間学部	環境人間学科（うち食環境栄養課程）	入学定員	205	205	205
			(40)	(40)	(40)
		３年次編入学定員	－	－	－
			－	－	－
		収容定員	810	810	815
			(150)	(150)	(155)
看護学部	看護学科	入学定員	105	105	105
		３年次編入学定員	－	－	－
		収容定員	415	410	415
全学部の計		入学定員	1,267	1,267	1,267
		３年次編入学定員	－	－	－
		収容定員	5,053	5,048	5,058

附　則（平成30年12月5日改正）

（施行期日）

1　この学則は、平成31年4月1日から施行する。

（経過措置）

2　経済学部国際経済学科及び応用経済学科並びに経営学部組織経営学科及び事業創造学科は、第2条第1項及び第2項の規定にかかわらず、平成31年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなる日までの間、存続するものとする。

3　平成31年度から平成33年度における経済学部国際経済学科及び応用経済学科、経営学部組織経営学科及び事業創造学科、国際商経学部国際商経学科、社会情報科学部社会情報科学科並びに全学部の計の収容定員は、第2条第2項の規定にかかわらず、次のとおりとする。

学　部	学　科	収容定員		
		平成31年度	平成32年度	平成33年度
経済学部	国際経済学科	300	200	100
	応用経済学科	300	200	100
経営学部	組織経営学科	390	260	130
	事業創造学科	300	200	100
国際商経学部	国際商経学科	360	720	1,080
社会情報科学部	社会情報科学科	100	200	300
全学部の計		5,088	5,128	5,158

附　則（平成31年1月9日改正）

（施行期日）

1　この学則は、平成31年4月1日から施行する。

（経過措置）

2　平成30年度以前に入学した者の授業科目及び授業の方法については、第10条の3の規定にかかわらず、なお従前の例による。

3　平成30年度以前に入学した者の成績の評価については、第13条第1項の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（令和2年2月5日改正）

（施行期日）

この学則は、令和2年4月1日から施行する。

附　則（令和2年12月2日改正）

（施行期日）

この学則は、令和3年4月1日から施行する。

附　則（令和5年3月27日改正）

（施行期日）

この学則は、令和5年4月1日から施行する。

附　則（令和6年3月28日改正）

（施行期日）

この学則は、令和6年4月1日から施行する。

平成 25 年兵庫県立大学工学部規程第１号

兵庫県立大学工学部規程

（趣旨）

第１条　この規程は、兵庫県立大学学則（平成 25 年法人規程第 75 号。以下「学則」という。）に基づき、兵庫県立大学工学部（以下「本学部」という。）の教育課程及び履修方法等に関して必要な事項について定めるものとする。

（専決事項の規定）

第２条　兵庫県公立大学法人決裁規程（平成 25 年法人規程第６号）第４条に規定する専決事項として工学部長（以下「学部長」という。）が専決するものについて、この規程においては、学部長が許可又は決定を行うものとして規定する。

（教育研究上の目的）

第３条　本学部は、人類の利益と安全に貢献できる有能な人材の育成を図るとともに、先導的、創造的研究に基づく工学における知の発信基地として、我が国と兵庫県の技術と文化の発展に寄与する。そこで本学部では、高い倫理観の涵養と異文化理解の深化、グローバル・コミュニケーション能力の向上を目指した教育を行うとともに、工学専門基礎教育と高度な研究指導により、国際的に通用する資質と能力を兼ね備えた専門技術者・研究者を育成することを目標とし、次のとおり電気電子情報工学科、機械・材料工学科、応用化学工学科毎に特色ある教育を推進することを目的とする。

(1)　電気電子情報工学科においては、高度情報化社会の中枢をなすエネルギー、エレクトロニクス、コンピュータ等の電気・電子・情報分野の幅広い基礎知識と先端専門知識を習得させるとともに、これらの知識を活かして先導的・創造的研究を遂行できる能力を持った視野の広い技術者・研究者を育成する。

(2)　機械・材料工学科においては、機械工学と材料工学の専門分野を融合した教育体系により次世代のニーズに対応できる幅広い知識を修得させるとともに、課題を発見し解決していく能力を備え、環境にも配慮したものづくりができる豊かな感性と柔軟な思考力を持った技術者・研究者を育成する。

(3)　応用化学工学科においては、生命、情報、医療、医薬、宇宙、エネルギーなどすべての分野に関わる化学物質、およびそれらの化学工学プロセスにおける、広範な“化学”に関する基礎・専門知識を習熟させ、創造性・独創性・国際性豊かな総合的で柔軟な思考力を有した技術者・研究者を育成する。

（学科及びコース）

第４条　学則第２条第２項の規定による各学科には次のコースを置く。

学科名	コース名
電気電子情報工学科	電気工学コース 電子情報工学コース
機械・材料工学科	機械工学コース 材料工学コース
応用化学工学科	応用化学コース 化学工学コース

（授業科目）

第５条　授業科目は、全学共通科目、専門基礎科目、専門教育科目及び教職課程科目とする。

（全学共通科目）

第６条　全学共通科目に係る授業科目、単位数及びその他履修に関する事項は、別表第１に定めるところによる。

（専門基礎科目及び専門教育科目）

第７条　専門基礎科目及び専門教育科目に係る授業科目、単位数及びその他履修に関する事項は、別表第２に定めるところによる。

（教職課程科目）

第８条　教職課程科目に係る授業科目、単位数及びその他履修に関する事項は、別表第３に定めるところによる。

第９条　削除

（単位の計算）

第10条 学則第11条第１項第１号及び第２号の規定による専門基礎科目、専門教育科目及び教職課程科目の単位の計算については、次の基準のとおりとする。

(1)　講義については、15時間の授業をもって1単位とする。

(2)　外国語及び演習については、15時間から30時間の授業をもって1単位とする。

(3)　実験、製図及び実習については、30時間から45時間の授業をもって1単位とする。ただし、教育実習及び介護等体験については別に定める。

(4)　卒業研究は、1年間の学修をもって6単位とする。

２　学則第 11 条第１項の規定により、一の授業科目を講義、演習、実験、製図又は実習のうち二以上の方法の併用により行う場合については、その組合せに応じ、前項に規定する基準を考慮した時間数をもって１単位とする。

（履修方法）

第11条　学生は、履修しようとする授業科目については、毎学年の所定の期日までに履修登録を行わなければならない。

２　履修の届出を行うことのできる単位数は、原則として前期26単位以内、後期26単位以内、年間50単位以内とする。

ただし、卒業所要単位に算入されない授業科目（教職課程科目及び副専攻科目等のうち指定された科目）は、この単位数に含まない。

（他学部又は他学科の授業科目の履修）

第12条　学生は、他学部又は他学科の授業科目を履修しようとするときは、他学部授業科目履修許可願又は他学科授業科目履修許可願を所定の期日までに学務所管課に提出し、学部長の許可を得なければならない。

２　学部長は、前項の規定により、他学部の授業科目の履修に係る許可をする場合にあっては、関係学部長に協議しなければならない。

３　第１項の規定により履修した授業科目のうち、学部長が相当と認めるものについては、教授会の意見を聴いた上で、卒業所要単位数に算入することができる。

（大学院工学研究科の授業科目の履修）

第 13 条　学生は、本学大学院工学研究科所定の博士前期課程授業科目（工学研究科規程第８条に定める別表１の授業科目の内○印を付した科目）を履修しようとするときは、別表第２に定める卒業研究履修許可の条件を満たしていなければならない。なお、履修科目数は３科目を上限とする。

２　前項の規定により履修した授業科目について修得した単位は、卒業所要単位数に算入することができない。

（入学前の既修得単位の認定）

第 14 条　学生は、学則第 15 条第１項の規定による既修得単位の認定を受けようとするときは、既修得単位認定願を所定の期日までに学務所管課に提出しなければならない。

２　学部長は、前項の規定について、教授会の意見を聴いた上で、単位を認定することができる。

３　前２項の規定により認定された単位数は、別表第１及び別表第２に定める卒業所要単位数に算入することができる。

（他大学等における修得単位の認定）

第 14 条の２　学部長は、学則第 14 条及び兵庫県立大学他大学等における授業科目の履修規程に基づき認定した単位数を、教授会の意見を聴いた上で、卒業所要単位に算入することができる。

（編入学の入学資格）

第 15 条　学則第 19 条第２項に規定する編入学を希望する者に係る入学資格は、次の各号のいずれかに該当することとする。

(1) 短期大学の理工系学科を卒業した者であること

(2) 高等専門学校を卒業した者であること

(3) 高等学校等の専攻科を卒業した者であること

(4) 大学の理工系学部・学科を卒業した者であること

(5) 大学の理工系学部・学科を退学した者であること
ただし、２年以上在学し、62単位以上を修得した者に限る。

(6) 外国において学校教育 14 年の課程を修了した者であること

（編入学者の在学すべき年数）

第 16 条　学則第 23 条第１項に規定する編入学により入学した者の在学すべき年数は、教授会の意見を聴いた上で、学部長が決定する。

第 17 条　削除

（転学）

第 18 条　学生は、学則第 24 条第１項の規定する他の大学への転学を希望するときは、転学許可願を所定の期日までに学務所管課に提出し、学部長の許可を得なければならない。

２　学生は、学則第 24 条第２項に規定する本学部への転学を希望すると

きは、転学許可願を、所定の期日までに学務所管課に提出し、学部長の許可を得なければならない。
3　学部長は、前２項の規定について、教授会の意見を聴いた上で、相当年次に転学を許可することができる。

（転学部）
第 19 条　学生は、学則第 25 条の規定にする転学部を希望するときは、転学部許可願を所定の期日までに学務所管課に提出し、学部長の許可を得なければならない。
2　学部長は、前項の規定について、所属学部と志望学部の教授会の意見を聴いた上で、転学部を許可することができる。

（転学部の出願資格，受入年次及び既修得単位の扱い）
第 20 条　本学部に転学部することができる者は、次に該当するものでなければならない。本学に２年以上在学し、62 単位以上を修得していること。
2　転学部の受入年次については、教授会の意見を聴いた上で、学部長が決定する。
3　学部長は、転学部を許可された者の既修得単位について、教授会の意見を聴いた上で、本学部で修得したものとみなすことができる。

（転学科）
第 21 条　学生は、学則第 26 条に規定する転学科を希望するときは、転学科許可願を所定の期日までに学務所管課に提出し、学部長の許可をえなければならない。
2　学部長は、他学科への転学科を希望する者があるときは、志望学科で選考のうえ、教授会の意見を聴いた上で、許可することができる。

（転学科の出願資格，受入年次及び既修得単位の扱い）
第 22 条　転学科することができる者は、次に該当するものでなければならない。
　本学部に２年以上在学し、62 単位以上を修得していること。
2　受入年次は、教授会の意見を聴いた上で、学部長が決定する。
3　学部長は、転学科を許可された者の既修得単位については、教授会の意見を聴いた上で、本学部で修得したものとみなすことができる。

（試験）
第 23 条　授業科目の評価は、学則第 12 条に基づき、原則として試験により行う。ただし、学部長が試験以外の方法が適当と認める場合には、他の方法をもって行うことができる。
2　学生は、履修した授業科目でなければ試験を受けることができない。
3　卒業研究の審査は、論文等で行う。

（成績）
第 24 条　授業の成績は、試験の結果及び日常の学習状況を総合して、次の基準により評価する。
(1)　成績は 100 点満点とし、60 点以上をもって合格とする。
(2)　合格した科目には所定の単位を与える。
(3)　合格した科目の成績は、S、A、B及びCの評語をもって表し、その区分及び評価の基準は次のとおりとする。

評語	区分	評価の基準
S	90 点以上	評価目標を十分に達成できている非常に優れた成績
A	80 点以上 90 点未満	到達目標を十分に達成できている優れた成績
B	70 点以上 80 点未満	到達目標を達成できている成績
C	60 点以上 70 点未満	到達目標を最低限達成できている成績

2　合格した科目については、再評価しない。
3　休学期間中に開講されている科目については、その単位を認めない。
4　卒業研究の評価は、合格又は不合格をもって表す。
5　英語海外研修、中国語海外研修の評価は、合格又は不合格をもって表す。
6　単位互換、他大学及び高等専門学校の評価は、認定をもって表す。

（再履修及び再受験科目）
第 25 条　試験に合格しなかった者又は試験を受けなかった者が翌年度以降において、その授業科目につき単位を取得しようとするときは、再履修しなければならない。ただし、学部長は、授業科目によって翌年度にその試験を受け、それに合格することによって当該科目の単位を認めることができる。
2　前項のただし書きに規定する授業科目は、毎年度の初めにこれを示すものとする。

（コース配属許可及び卒業研究履修に係る条件）
第 26 条　第４条に定める所属学科のコースに配属されるためには、学部に１年以上在学し、別表第２に定める２年次コース配属許可の条件を満たさなければならない。ただし、前記条件にかかわらず、教授会の意見を聴いたうえで、学部長が適格と判断した場合はコース配属を許可する。
2　卒業研究を履修する者は、前項の条件を満たし、別表第２に定める卒業研究履修許可の条件を満たさなければならない。
3　編入学を許可された者は、入学以前における大学又は大学に相当する課程の在学期間を第１項の期間に算入することができる。

（卒業）
第 27 条　学生は、卒業するためには、別表第２に定める卒業所要単位数以上を修得しなければならない。

（教育職員免許状授与の所要資格の取得）
第 28 条　教育職員免許法（昭和 24 年法律第 147 号）による免許状を取得しようとする者は、同法及び教育職員免許法施行規則（昭和 29 年文部省令第 26 号）に基づき、学則第 28 条に規定するもののほか、第８条に定める教職課程科目の単位を修得しなければならない。
2　本学部において取得できる免許状の種類及び教科は次のとおりとする。

学科	免許状の種類	免許教科
電気電子情報工学科 機械・材料工学科	中学校教諭　一種免許状	数学
	高等学校教諭　一種免許状	数学、工業
応用化学工学科	中学校教諭　一種免許状	理科
	高等学校教諭　一種免許状	理科、工業

第 29 条　削除

第 30 条　削除

（履修方法に関する学部規程への委任）
第 31 条　この規程に定めるもののほか、履修方法については、工学部履修規程の定めるところによる。

附　則（平成 27 年２月 18 日一部改正）
1　この規程は、平成 27 年４月１日から施行する。
2　平成 27 年３月 31 日現在、工学部に在学中の者（以下この項において「在学者」という。）及び平成 27 年４月１日以後において在学者の属する年次に編入学、再入学又は転学する者については、なお従前の例による。

附　則（平成 27 年３月 18 日一部改正）
1　この規程は、平成 27 年４月１日から施行する。
2　第 20 条において、平成 26 年度以前に指定され修得した科目の単位は、他専攻科目であっても当該専攻の選択科目の単位として認める。

附則（平成 30 年３月 14 日改正）
1　この規程は、平成 30 年４月１日から施行する。平成 29 年度以前の入学者については、従前の定めるところによる。

附則（平成 30 年９月 19 日改正）
1　この規程は、平成 30 年 10 月１日から施行する。平成 29 年度以前の入学者については、従前の定めるところによる。

附則（平成 31 年３月 15 日改正）
1　この規程は、平成 31 年４月１日から施行する。平成 30 年度以前の入学者については、従前の定めるところによる。

附則（令和２年３月 16 日改正）
1　この規程は、令和２年４月１日から施行する。平成 31 年度以前の入学者については、従前の定めるところによる。

附則（令和３年３月 17 日改正）
1　この規程は、令和３年４月１日から施行する。令和２年度以前の入学者については、従前の定めるところによる。

附則（令和３年３月 31 日改正）
1　この規程は、令和３年４月１日から施行する。令和２年度以前の入学者については、従前の定めるところによる。

附　則（令和４年３月16日改正）
1　この規程は、令和４年４月１日から施行する。令和３年度以前の入学者については、別表第１を除き、従前の定めるところによる。
　また、第 14 条の２の規定については、令和４年４月１日に在籍する学生に適用するものとする。

附　則（令和５年３月15日改正）

１　この規程は、令和５年４月１日から施行する。令和４年度以前の入学者については、別表第１を除き、従前の定めるところによる。

附　則(令和６年３月19日改正)

１　この規程は、令和６年４月１日から施行する。令和５年度以前の入学者については、別表第１を除き、従前の定めるところによる。

また、第10条、第10条の２の規定については、令和６年４月１日に在籍する学生に適用するものとする。

附　則(令和７年３月19日改正)

１　この規程は、令和７年４月１日から施行する。令和６年度以前の入学者については、別表第１を除き、従前の定めるところによる。

第24条については令和６年４月１日に遡って適用する。

別表第１（第６条関係）　工学部
全学共通科目

区分			授業科目の名称	開講年次	単位数		備考
					必修	選択	
自主自律支援科目	基礎ゼミナール		基礎ゼミナール	1	2		2単位必修
	キャリア形成支援科目		キャリアデザイン入門	1		2	
グローバル化時代のアカデミックスキル科目	英語		【英語コア科目】				卒業所要単位6単位(2019年度以降入学生) 「英語コア科目」、TOEIC総合１、TOEIC総合２、Intensive English１及びIntensive English２から６単位以上修得しなければならない。 英語コア科目(「Reading and Discussion 1・2」「Listening and Speaking 1・2」「Writing 1・2」)は1年次に必ず受講する。
			Reading and Discussion 1	1		1	
			Reading and Discussion 2	1		1	
			Listening and Speaking 1	1		1	
			Listening and Speaking 2	1		1	
			Writing 1	1		1	
			Writing 2	1		1	
			【選択英語科目】				
			TOEIC 総合１	2		1	
			TOEIC 総合２ ※1)	2		1	※1)2025年度以降入学生履修不可
			Intensive English１	2		1	
			Intensive English２	2		1	
			科学技術英語１ ※1)	2		1	
			科学技術英語２ ※1)	2		1	
			英語海外研修	1		2	
			英語実習 ※2)	1		1	※2)GLEP必修
			英語表現 ※2)	1		1	
			※下記科目はTOEIC学内試験の成績に応じて単位認定する				
			特別英語１ ※3)	3		1	※3)2019年度以降入学生履修不可
			特別英語２ ※3)	3		1	
			特別英語３ ※3)	3		1	
	外国語		中国語１	1		1	
			中国語２	1		1	
			フランス語１	1		1	
			フランス語２	1		1	
			ドイツ語１	1		1	
			ドイツ語２	1		1	
			韓国・朝鮮語１	1		1	
			韓国・朝鮮語２	1		1	
			中国語海外研修	1		2	
	統計・情報		情報処理基礎	1	2		2単位必修
教養教育科目	人間性の基盤教育科目	人と文化	哲学	1		2	人と文化から 2単位以上必修
			論理学	1		2	
			心理学	1		2	
			国文学(演劇)	1		2	
			国文学(小説)	1		2	
			教育学	1		2	
			日本史	1		2	
			東洋史	1		2	
			環境芸術論	1		2	
			芸術学	1		2	
			文化人類学	1		2	
			食文化と環境	1		2	
			暮らしと道具	1		2	

区分			授業科目の名称	開講年次	単位数		備考
					必修	選択	
教養教育科目	人間性の基盤教育科目	人と社会	法学	1		2	人と社会から
			生活の中の法律	1		2	2単位以上必修
			政治学	1		2	
			環境と政治	1		2	
			社会学	1		2	
			現代社会論	1		2	
			男女共同参画社会	1		2	
			経営学	1		2	
			日本国憲法	1		2	
			人文地理学概論	1		2	
			ひょうごの子育て支援	1		2	
			福祉と社会	1		2	
			現代都市社会とまちづくり	1		2	
			環境の社会学	1		2	
			情報技術と現代社会【遠隔受信】	1		2	
		人と自然	医療と工学のフロンティア【遠隔発信】	1		2	人と自然から
			科学技術論	1		2	2単位以上必修
			宇宙科学	1		2	
			生命倫理	2		2	
			応用倫理	1		2	
			生物科学	1		2	
			生命体の科学	1		2	
			分子生物学とバイオテクノロジー	1		2	
			社会統計学	1		2	
			マテリアル科学への招待	1		2	
			現代化学への招待	1		2	
			一般有機化学	1		2	
			放射光科学のフロンティア【遠隔発信】	1		2	
			環境問題と国際協力	1		2	
			人と自然の共生	1		2	
			生命科学入門【遠隔発信】	1		2	
		人と健康	健康・スポーツ科学演習１	1		1	
			健康・スポーツ科学演習２	1		1	
			栄養健康科学入門	1		2	
	ひょうご県大特色科目	地域課題探究科目	ひょうご地域課題概論	1		2	
			緑景観マネジメント論	1		2	
			地域資源の保全と活用	1		2	
			地方公共団体の行政を学ぶ	1		2	
			地域プロジェクト概論	1		2	
			地域資源マネジメント概論【遠隔送受信】	1		2	
			兵庫のものづくり	1		2	
			化学と環境技術	1		2	
			地域気候と住環境【遠隔発信】	1		2	
			兵庫の里山	1		2	
			ジオパークと地域	1		2	
			共生博物学	1		2	
			地域社会とマネジメント【遠隔受信】 ※4)	1		2	※4）2025年度は開講せず
			地域社会と健康【遠隔授業】				
			地域資源フィールドワーク（田園生態系の保全と再生）	3		2	
			地域資源フィールドワーク（ジオパークの地質と文化）	3		2	

区分			授業科目の名称	開講年次	単位数		備考
					必修	選択	
教養教育科目	ひょうご県大特色科目	地域課題探究科目	〈副専攻の地域創生人材教育プログラムの科目〉				
			フィールドワーク基礎技術論 ※5)	1		2	※5)2021年度以前入学生履修不可
			フィールドワーク基礎技術演習 ※5)	1		2	
			地域プロジェクト実践論	2		2	
			地域プロジェクト演習	2		2	
		グローバル教育科目	宗教概論	1		2	
			建築文化ツーリズム学	1		2	
			グローバル科学入門	1		2	
			グローバル社会と文化	1		2	
			播磨学	1		2	
			グローカルリーダー入門	1		2	
			グローバル教養概論 ※6)	1		2	※6)GLEP必修
			グローバル教養海外実践 ※7)	2		2	※7)2020年度以降入学生履修不可
			グローバルプロジェクト入門(海外) (A) ※8)	1		2	※8)GLEP必修 (A)または (B)のどちらか一方のみ履修可
			グローバルプロジェクト入門(海外) (B) ※8)	2		2	
			グローバル社会を学ぶ ※9)	1		2	※9)GLEP選択必修
			日本の思想と文化を学ぶ ※9)	1		2	
			先端科学を学ぶ ※9)	1		2	
		防災教育科目	地球の営みと災害【遠隔受信】	1		2	
			兵庫の歴史と自然災害史【遠隔受信】	1		2	
			生活と防災【遠隔受信】	1		2	
			社会特性と減災復興【遠隔受信】	1		2	
			災害支援とボランティア【遠隔受信】	1		2	
卒業所要単位						28単位以上	

【履修上の注意】

「教養教育科目」は、14単位以上修得しなければならない。
ただし、「人間性の基盤教育科目」は、「人と文化」・「人と社会」・「人と自然」の各分野からそれぞれ2単位以上修得しなければならない。
また、「ひょうご県大特色科目」は、「地域課題探究科目」・「グローバル教育科目」・「防災教育科目」の3分野のうち2分野以上から合計4単位以上修得しなければならない。

別表第2（第7条、第26条、第27条関係）

電気電子情報工学科　　（7年度入学生）

区分		授業科目の名称	開講年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	備考
専門基礎科目	選択Ⅰ	代数学Ⅰ	1		2		22単位以上修得
		代数学Ⅱ	1		2		
		解析学Ⅰ	1		2		
		解析学Ⅱ	1		2		
		力学	1		2		
		振動・波動論	1		2		
		基礎化学	2		2		
		熱・統計力学	2		2		
		応用解析学Ⅰ	2		2		
		応用解析学Ⅱ	2		2		
		確率・統計	2		2		
		幾何学	2		2		
		複素解析学	2		2		
		量子力学	2		2		
		生命科学	2		2		
		地球システム科学	2		2		
	選択Ⅱ	工業経済学	2		2		2単位以上修得
		工学倫理	2		2		
		環境安全工学	2		2		
		科学・技術論	2		2		
		グローバルエンジニアリング※	2		2		※GLEP生優先
		英語論文作成※	2		2		※GLEP生優先
		知的財産権	4		2		
	自由科目	インターンシップ	3			2	（注参照）
		実験英語※	3			2	※GLEP生のみ
		卒論英語※	4			2	※GLEP生のみ
		シンクロトロン放射光工学	4			2	
専門教育科目	学科共通科目（必修）	計算機基礎	1	2			24単位必修
		プログラミング演習	1	1			
		プログラミング論Ⅰ	1	2			
		電気回路基礎	1	2			
		電気回路Ⅰ	1	2			
		電気回路演習	1	1			
		電磁気学基礎	1	2			
		電磁気学演習	2	1			
		コンピュータ実習１	2	1			
		電気系基礎実験Ⅰ	2	2			
		電気系基礎実験Ⅱ	2	2			
		基礎電気電子計測	2	2			
		電気工学思考型実験	3	2			電気工学コース必修
		電気工学知識探求型実験	3	2			
		電子工学実験	3	2			電子情報工学コース必修
		情報工学実験	3	2			
		卒業研究	4	6			６単位必修

注：「自由科目」は卒業条件及びすべての許可条件の所要単位に算入されない。

区分			授業科目の名称	開講年次	単位数 必修	単位数 選択	備考
専門教育科目	学科共通科目	選択Ⅲ	電磁気学Ⅰ	2		2	両コースとも、共通
			情報理論	2		2	及びコース科目から
			離散数学	2		2	42単位以上修得
			電気回路Ⅱ	2		2	うち
			電気回路Ⅲ	2		2	共通18単位以上
			電気系数学	2		2	コース14単位以上
			基礎電子物理	2		2	（自コース12単位以上）
			電子回路Ⅰ	2		2	
			電磁気学Ⅱ	2		2	
			コンピュータ実習2	2		1	
			プログラミング論Ⅱ	2		2	
			データ構造とアルゴリズム論	2		2	
			情報通信工学	3		2	
			制御システムⅠ	3		2	
			情報回路	3		2	
			電気電子計測	3		2	
	電気工学コース科目	選択Ⅳ	高電圧・絶縁システム	3		2	
			電力輸送工学Ⅰ	3		2	
			電力輸送工学Ⅱ	3		2	
			制御システムⅡ	3		2	
			電力発生工学	3		2	
			電力技術	3		2	
			電力変換	3		2	
			電磁変換工学	3		2	
			電機設計	4		2	
			電気法規	4		2	
			電子物性論	3		2	
			半導体デバイスⅠ	3		2	
			電気系材料工学	3		2	
			半導体デバイスⅡ	3		2	
			集積回路	3		2	
			電子回路Ⅱ	3		2	
	電子情報工学コース科目	選択Ⅳ	電子物性論	3		2	
			電子回路Ⅱ	3		2	
			マイクロ波工学	3		2	
			アンテナ電波伝搬	3		2	
			光波電子工学	3		2	
			応用電子工学	3		2	
			電波法規	4		2	
			デジタル信号処理	3		2	
			デジタル通信システム	3		2	
			オペレーティングシステム	3		2	
			計算機アーキテクチャ	3		2	
			コンピュータ実習３	3		1	
			画像メディア工学	3		2	
			人工知能	3		2	
			システム設計言語	3		2	

工学部電気電子情報工学科　2年次コース配属許可条件・卒業研究履修許可条件・卒業条件　（7年度入学生）

<table>
<tr><th colspan="5" rowspan="2">科目区分と授業科目</th><th rowspan="2">2年次コース
配属許可条件</th><th colspan="4">卒業研究履修許可条件</th><th colspan="2">卒業条件</th></tr>
<tr><th>必要単位数</th><th colspan="3">必要単位数</th><th colspan="2">必要単位数</th></tr>
<tr><td rowspan="12">全学共通科目</td><td colspan="2" rowspan="2">自主自律支援科目</td><td>必　修</td><td>基礎ゼミナール</td><td rowspan="15">30

教職に関する科目は含めることができない。

コース配属は、上記単位を修得のうえ、希望と成績で決定。</td><td>=2</td><td rowspan="2">2</td><td rowspan="15">28
*3
教職に関する科目は含めることができない。</td><td rowspan="15">110
*5
教職に関する科目は含めることができない。</td><td rowspan="15">卒業研究履修許可条件と同じ。</td><td rowspan="15">124</td></tr>
<tr><td>選　択</td><td>キャリアデザイン入門</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="10">グローバル化時代のアカデミックスキル科目</td><td rowspan="3">英語コア科目</td><td rowspan="3">選　択
必　修</td><td>Reading and Discussion 1･2</td><td rowspan="3">6</td><td rowspan="9">8</td></tr>
<tr><td>Listening and Speaking 1･2</td></tr>
<tr><td>Writing 1･2</td></tr>
<tr><td rowspan="2">選択英語</td><td>選　択</td><td>TOEIC 総合 1
Intensive English 1・2</td></tr>
<tr><td>選択</td><td>英語海外研修
英語実習・英語表現</td><td></td></tr>
<tr><td>外国語</td><td>選　択</td><td>外国語　1･2</td><td></td></tr>
<tr><td>統計･情報</td><td>必　修</td><td>情報処理基礎</td><td>=2</td></tr>
<tr><td rowspan="5">教養教育科目</td><td rowspan="4">人間性の基盤教育科目</td><td rowspan="4">選　択</td><td>人と文化</td><td>2</td><td rowspan="5">14
*2</td></tr>
<tr><td>人と社会</td><td>2</td></tr>
<tr><td>人と自然</td><td>2</td></tr>
<tr><td>人と健康</td><td></td></tr>
<tr><td>ひょうご県大特色科目</td><td>選　択</td><td>地域課題探究科目
グローバル教育科目
防災教育科目
（3科目群のうち2科目群から4単位以上）</td><td>4
*1</td></tr>
<tr><td rowspan="2">専門基礎科目</td><td colspan="2">選択Ⅰ</td><td></td><td colspan="3">18</td><td colspan="2">22</td></tr>
<tr><td colspan="2">選択Ⅱ</td><td></td><td colspan="3"></td><td colspan="2">2</td></tr>
<tr><td rowspan="5">専門教育科目</td><td rowspan="3">学科共通科目</td><td rowspan="2">必　修</td><td>3年実験科目
電気工学コース：電気工学思考型実験、電気工学知識探究型実験
電子情報工学コース：電子工学実験、情報工学実験
（※3年実験科目を履修するためには、電気系基礎実験I，IIを修得している必要がある。）</td><td>=4</td><td rowspan="2">22</td><td colspan="2">=24</td></tr>
<tr><td>上記以外の必修科目</td><td>18</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>選択Ⅲ</td><td></td><td>14</td><td rowspan="3">34
*4</td><td>18</td><td rowspan="3">42
*6</td></tr>
<tr><td rowspan="2">コース別科目</td><td rowspan="2">選択Ⅳ</td><td>自コース科目</td><td rowspan="2">8</td><td>12</td><td rowspan="2">14</td></tr>
<tr><td>他コース科目</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">卒業研究</td><td>必　修</td><td>※履修するためには卒業研究履修許可条件を満たしている必要がある。</td><td></td><td colspan="3"></td><td colspan="2">=6</td></tr>
</table>

※ = を付した単位数は必修科目で、その単位数を超える履修ができないものを示し、それ以外はその値以上の単位を習得するものとする。
※履修登録できる単位数の上限を前期26単位、後期26単位、かつ年間50単位とする。ただし、集中講義による授業科目および卒業所要単位数に算入されない授業科目は、これに含めない。

*1 ひょうご県大特色科目については、地域課題探求、グローバル教育および防災教育の３分野のうち２分野以上から４単位以上を修得していること。
*2 左欄の合計（10単位）に加え、教養教育科目からさらに4単位を修得し、合計14単位を修得していること。
*3 左欄の合計（24単位）に加え、全学共通科目からさらに4単位を修得し、合計28単位を修得していること。
*4 左欄の合計（22単位）に加え、選択Ⅲまたは選択Ⅳからさらに12単位を修得し、合計34単位を修得していること。
*5 左欄の合計（102単位）に加え、さらに8単位を修得し、合計110単位を修得していること。
*6 左欄の合計（32単位）に加え、選択Ⅲまたは選択Ⅳからさらに10単位を修得し、合計42単位を修得していること。

別表第2（第7条、第26条、第27条関係）

機械・材料工学科　　（7年度入学生）

区分			授業科目の名称	開講年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	備考
専門基礎科目	Ⅰ		代数学Ⅰ	1	2			8単位必修
			解析学Ⅰ	1	2			
			解析学Ⅱ	1	2			
			応用解析学Ⅰ	2	2			
			代数学Ⅱ	1		2		8単位以上修得
			幾何学	2		2		
			複素解析学	2		2		
			応用解析学Ⅱ	2		2		
			確率・統計	2		2		
			数値解析	3		2		
	Ⅱ		力学Ⅰ	1	2			6単位必修
			力学Ⅱ	1	2			
			電磁気学	2	2			
			基礎化学Ⅰ	1		2		4単位以上修得
			基礎化学Ⅱ	1		2		
			生命科学	2		2		
			地球システム科学	2		2		
			現代物理学	2		2		
			振動・波動論	2		2		
	工学関連科目	必修	工学倫理	2	2			5単位必修
			機械・材料工学概論	1	2			
			プログラミング演習	1	1			
		選択	工業経済学	2		2		4単位以上修得
			グローバルエンジニアリング※	2		2		※GLEP生優先
			英語論文作成※	2		2		※GLEP生優先
			シンクロトロン放射光工学	3		2		
			知的財産権	3		2		
			科学・技術論	3		2		
		自由	インターンシップ	3			2	（注参照）
			実験英語※	3			2	※GLEP生のみ
			卒論英語※	4			2	※GLEP生のみ
	実践基礎科目		機械工作実習	1	1			6単位必修
			機械・材料工学実験	1	1			
			力学Ⅰ演習	1	1			
			力学Ⅱ演習	1	1			
			機械設計製図Ⅰ	2	2			
専門教育科目	機械工学コース	必修	機械設計製図Ⅱ	2	2			25単位必修
			機械設計演習	2	1			
			材料力学Ⅰ	2	2			
			流体力学Ⅰ	2	2			
			熱力学Ⅰ	2	2			
			機械力学Ⅰ	2	2			
			制御工学Ⅰ	2	2			
			総合機械工学	3	2			
			機械工学実験	3	1			
			創造設計演習Ⅰ	3	3			
			創造設計演習Ⅱ	3	3			
			創造設計工作実習	3	1			
			機械工学演習※	4	2			※卒研履修許可者のみ

注：「自由科目」は卒業条件及びすべての許可条件の所要単位に算入されない。

区分			授業科目の名称	開講年次	単位数 必修	単位数 選択	備考
専門教育科目	機械工学コース	選択Ⅰ	材料力学Ⅱ	2		2	10単位以上修得
			流体力学Ⅱ	2		2	
			熱力学Ⅱ	2		2	
			機械加工学	2		2	
			機械設計Ⅰ	2		2	
			機械設計Ⅱ	3		2	
			機械力学Ⅱ	3		2	
			制御工学Ⅱ	3		2	
		選択Ⅱ	電気電子工学概論	3		2	10単位以上修得
			数値流体力学	3		2	
			機械材料学	3		2	
			固体力学	3		2	
			伝熱工学	3		2	
			メカトロニクス	3		2	
			計測工学	4		2	
			自動車工学	4		2	
		材料基礎科目	基礎材料工学Ⅰ	2		2	4単位以上修得
			基礎材料工学Ⅱ	2		2	
			基礎材料工学Ⅲ	2		2	
			鉄鋼材料学	3		2	
			非鉄金属材料学	3		2	
	材料工学コース	必修	基礎材料工学Ⅰ	2	2		26単位必修
			基礎材料工学Ⅱ	2	2		
			基礎材料工学Ⅲ	2	2		
			物性物理Ⅰ	2	2		
			物性物理Ⅱ	2	2		
			物理化学Ⅰ	2	2		
			材料強度学	3	2		
			鉄鋼材料学	3	2		
			非鉄金属材料学	3	2		
			材料工学実験Ⅰ	2	2		
			材料工学実験Ⅱ	3	2		
			材料工学実験Ⅲ	3	2		
			科学英語※	4	2		※卒研履修許可者のみ
		選択	X線回折学	2		2	19単位以上修得
			物理化学Ⅱ	3		2	ただし、機械基礎科目
			物理化学Ⅲ	3		2	2単位のみ修得の
			物性物理Ⅲ	3		2	場合は21単位以上
			量子磁性材料	3		2	修得のこと。
			材料組織工学	3		2	
			計算材料学	3		2	
			半導体工学	3		2	
			結晶塑性学	3		2	
			電気化学	3		2	
			加速器科学	3		2	
			放射光科学	3		2	
			生体材料計測工学	3		2	
			プレゼンテーション演習	4		1	
		機械基礎科目	材料力学Ⅰ	2		2	4単位以上修得
			熱力学Ⅰ	2		2	ただし、2単位のみ
			機械力学Ⅰ	2		2	修得の場合は、選択
			機械加工学	2		2	科目21単位以上
			機械設計Ⅰ	2		2	修得のこと。
	学科共通		卒業研究	4	6		6単位必修

工学部機械・材料工学科　2年次コース配属許可条件・卒業研究履修許可条件・卒業条件　　（7年度入学生）

科目区分と授業科目					2年次コース配属許可条件	卒業研究履修許可条件			卒業条件	
					必要単位数　合計	必要単位数		合計	必要単位数	合計
全学共通科目	自主自律支援科目		必　修	基礎ゼミナール	30 教職に関する科目は含めることができない。 コース配属は、上記単位を修得のうえ、希望と成績で決定。 全学共通の科目を最大28単位とし、30単位未満の単位修得学生にはコース履修を認めない。	=2	2	28 *3 教職に関する科目は含めることができない。 110 教職に関する科目は含めることができない。	卒業研究履修許可条件と同じ。	124
			選　択	キャリアデザイン入門						
	グローバル化時代のアカデミックスキル科目	英語コア科目	選　択 必　修	Reading and Discussion 1･2 Listening and Speaking 1･2 Writing 1･2		6	8			
		選択英語	選　択	TOEIC 総合 1 Intensive English 1・2						
			選　択	英語海外研修 英語実習・英語表現						
		外国語	選　択	外国語　1･2						
		統計･情報	必　修	情報処理基礎		=2				
	教養教育科目	人間性の基盤教育科目	選　択	人と文化		2	14 *2			
				人と社会		2				
				人と自然		2				
				人と健康						
		ひょうご県大特色科目	選　択	地域課題探究科目 グローバル教育科目 防災教育科目 （3科目群のうち2科目群から4単位以上）		4 *1				
専門基礎科目	Ⅰ		必　修			=8	41			
			選　択			8				
	Ⅱ		必　修			=6				
			選　択			4				
	工学関連科目		必　修			=5				
			選　択			4				
	実践基礎科目		必　修			=6				
専門教育科目	機械工学コース		必　修			23	41		=25	55
			選択Ⅰ			8			10	
			選択Ⅱ	※卒業研究履修許可条件：材料基礎科目が2単位の場合は、選択Ⅱ科目8単位以上取得をもって代えることができる。		6	10		10 14	
			材料基礎			4			4	
			卒業研究	※卒業研究履修許可者のみ					=6	
	材料工学コース		必　修	※卒業研究履修許可条件には材料工学実験Ⅰ、材料工学実験Ⅱ、材料工学実験Ⅲを含まなければならない。		22	41		=26	55
			選　択	※卒業研究履修許可条件：機械基礎科目が2単位の場合は、選択科目17単位以上取得をもって代えることができる。		15	19		19 23	
			機械基礎	※卒業条件：機械基礎科目が2単位の場合は、選択科目21単位以上取得をもって代えることができる。		4			4	
			卒業研究	※卒業研究履修許可者のみ					=6	

※ = を付した単位数は必修科目で、その単位数を超える履修ができないものを示し、それ以外はその値以上の単位を習得するものとする。
※履修登録できる単位数の上限を前期26単位、後期26単位、かつ年間50単位とする。ただし、集中講義による授業科目および卒業所要単位数に算入されない授業科目は、これに含めない。
※配属は希望と成績により決定する。全学共通の科目を最大28単位とし、30単位未満の単位修得学生にはコース履修を認めない。
*1 ひょうご県大特色科目については、地域課題探求、グローバル教育および防災教育の３分野のうち２分野以上から４単位以上を修得していること。
*2 左欄の合計（10単位）に加え、教養教育科目からさらに4単位を修得し、合計14単位を修得していること。
*3 左欄の合計（24単位）に加え、全学共通科目からさらに4単位を修得し、合計28単位を修得していること。

別表第2（第7条、第26条、第27条関係）

応用化学工学科　　（7年度入学生）

区分			授業科目の名称	開講年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	備考
専門基礎科目		必修	代数学Ⅰ	1	2			18単位必修
			解析学Ⅰ	1	2			
			基礎物理学Ⅰ	1	2			
			基礎物理学Ⅱ	1	2			
			応用化学概論Ⅰ	1	2			
			応用化学概論Ⅱ	1	2			
			化学工学概論Ⅰ	1	2			
			化学工学概論Ⅱ	1	2			
			化学実験	1	2			
		選択	代数学Ⅱ	1		2		８単位以上修得
			解析学Ⅱ	1		2		
			応用解析学Ⅰ	2		2		
			基礎物理学Ⅲ	2		2		
			工業経済学	2		2		
			電気電子工学概論	2		2		
			幾何学	2		2		
			地球システム科学	2		2		
			生命科学	2		2		
			工学倫理	2		2		
			グローバルエンジニアリング※	2		2		※GLEP生優先
			英語論文作成※	2		2		※GLEP生優先
			知的財産権	4		2		
			科学・技術論	4		2		
		その他	シンクロトロン放射光工学	3			2	（注参照）
			実験英語※	3			2	※GLEP生のみ
			卒論英語※	4			2	※GLEP生のみ
専門教育科目	学科共通科目	必修	物理化学Ⅰ	2	2			14単位必修
			無機化学Ⅰ	2	2			
			有機化学Ⅰ	2	2			
			物理化学Ⅱ	2	2			
			無機化学Ⅱ	2	2			
			有機化学Ⅱ	2	2			
			科学英語	4	2			
		その他	インターンシップ	3			2	（注参照）
			生物学実験	4			1	
			地学実験	4			1	
		必修	卒業研究	4	6			６単位必修

注：「自由科目」は卒業条件及びすべての許可条件の所要単位に算入されない。

区分			授業科目の名称	開講年次	単位数 必修	単位数 選択	備考
専門教育科目	応用化学コース	必修	分析化学Ⅰ	2	2		24単位必修
			分析化学Ⅱ	2	2		
			生物化学Ⅰ	2	2		
			生物化学Ⅱ	2	2		
			高分子化学Ⅰ	2	2		
			高分子化学Ⅱ	2	2		
			学生実験Ⅰ	2	2		
			学生実験Ⅱ	2	2		
			学生実験Ⅲ	3	4		
			学生実験Ⅳ	3	4		
		選択	物理化学Ⅲ	3		2	他コース科目を含めて26単位以上修得科目から２０単位以上修得が必要）
			無機化学Ⅲ	3		2	
			有機化学Ⅲ	3		2	
			有機分光学	3		2	
			有機材料化学	3		2	
			高分子材料化学	3		2	
			生物化学Ⅲ	3		2	
			生物工学	3		2	
			遺伝子工学	3		2	
			量子化学	3		2	
			電気化学（B）	3		2	
	化学工学コース	必修	化学工学	2	2		24単位必修
			反応工学	2	2		
			金属学	2	2		
			製図学	2	2		
			化学工学プログラミング	2	2		
			工業数学	2	2		
			化学熱力学	3	2		
			電気化学（A）	3	2		
			物質創成工学Ⅰ	3	2		
			化学工学設計演習	3	2		
			物理学実験	2	2		
			化学工学実験	3	2		
		選択	構造解析学	2		2	他コース科目を含めて26単位以上修得（ただし、自コース科目から２０単位以上修得が必要）
			流体工学	2		2	
			移動現象論	2		2	
			物質創成工学Ⅱ	3		2	
			物質創成工学Ⅲ	3		2	
			固体表面科学	3		2	
			無機材料化学	3		2	
			材料力学	3		2	
			分離工学	3		2	
			金属伝熱物理	3		2	
			粉粒体工学	3		2	
			粘性流体力学	3		2	
			高分子材料工学	3		2	

工学部応用化学工学科　2年次コース配属許可条件・卒業研究履修許可条件・卒業条件　　（7年度入学生）

<table>
<tr><th colspan="5" rowspan="2">科目区分と授業科目</th><th>2年次コース
配属許可条件</th><th colspan="4">卒業研究
履修許可条件</th><th colspan="2">卒業条件</th></tr>
<tr><th>必要単位数　合計</th><th colspan="4">必要単位数　合計</th><th colspan="2">必要単位数　合計</th></tr>
<tr><td rowspan="13">全学共通科目</td><td colspan="2" rowspan="2">自主自律支援科目</td><td>必　修</td><td>基礎ゼミナール</td><td rowspan="13">30

教職に関する科目は含めることができない。

コース配属は、上記単位を修得のうえ、希望と成績で決定。

配属許可者のみが専門教育科目を履修できる。</td><td>=2</td><td rowspan="2">2</td><td rowspan="13">28
*3

教職に関する科目は含めることができない。</td><td rowspan="13">110
*4

教職に関する科目は含めることができない。</td><td rowspan="13">卒業研究履修許可条件と同じ。</td><td rowspan="13">124</td></tr>
<tr><td>選　択</td><td>キャリアデザイン入門</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="11">グローバル化時代のアカデミックスキル科目</td><td rowspan="3">英語コア科目</td><td>選　択
必　修</td><td>Reading and Discussion 1･2
Listening and Speaking 1･2
Writing 1･2</td><td>6</td><td rowspan="6">8</td></tr>
<tr><td rowspan="2">選択英語</td><td>選　択</td><td>TOEIC 総合 1
Intensive English 1・2</td></tr>
<tr><td>選　択</td><td>英語海外研修
英語実習・英語表現</td><td></td></tr>
<tr><td>外国語</td><td>選　択</td><td>外国語　1･2</td><td></td></tr>
<tr><td>統計･情報</td><td>必　修</td><td>情報処理基礎</td><td>=2</td></tr>
<tr><td rowspan="7">教養教育科目</td><td rowspan="4">人間性の基盤教育科目</td><td rowspan="4">選　択</td><td>人と文化</td><td>2</td><td rowspan="7">14
*2</td></tr>
<tr><td>人と社会</td><td>2</td></tr>
<tr><td>人と自然</td><td>2</td></tr>
<tr><td>人と健康</td><td></td></tr>
<tr><td>ひょうご県大特色科目</td><td>選　択</td><td>地域課題探究科目
グローバル教育科目
防災教育科目
（3科目群のうち2科目群から4単位以上）</td><td>4
*1</td></tr>
<tr><td colspan="3">必　修</td><td></td><td>14
化学実験を必ず修得</td><td rowspan="2">22</td><td>=18</td><td rowspan="2">26</td></tr>
<tr><td colspan="3">選　択</td><td></td><td>8</td><td>8</td></tr>
<tr><td rowspan="5">専門教育科目</td><td colspan="2">学科共通科目</td><td>必　修</td><td>※卒業研究は含まない。
※科学英語は卒業研究履修許可者のみ履修できる。</td><td></td><td>10</td><td></td><td>14</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="3">コース別科目</td><td>必　修</td><td></td><td></td><td>22</td><td></td><td>=24</td></tr>
<tr><td rowspan="2">選　択</td><td>自コース配当科目</td><td>16</td><td rowspan="2">24</td><td>20</td><td rowspan="2">26</td></tr>
<tr><td>他コース配当科目</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">卒業研究</td><td>必　修</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>=6</td></tr>
</table>

※ = を付した単位数は必修科目で、その単位数を超える履修ができないものを示し、それ以外はその値以上の単位を習得するものとする。
※履修登録できる単位数の上限を前期26単位、後期26単位、かつ年間50単位とする。ただし、集中講義による授業科目および卒業所要単位数に算入されない授業科目は、これに含めない。

*1 ひょうご県大特色科目については、地域課題探求、グローバル教育および防災教育の３分野のうち２分野以上から４単位以上を修得していること。
*2 左欄の合計（10単位）に加え、教養教育科目からさらに4単位を修得し、合計14単位を修得していること。
*3 左欄の合計（24単位）に加え、全学共通科目からさらに4単位を修得し、合計28単位を修得していること。
*4 左欄の合計（106単位）に加え、さらに4単位を修得し、合計110単位を修得していること。

別表第３（第８条、第２８条関係）（平成 31 年度以降入学生）

１　基礎資格及び所要単位数
第 28 条第 2 項の免許状を取得するための所要資格は次のとおりである。

所要資格 免許状の種類	基礎資格	最低必要単位					
		教科及び教科の指導法に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育実践に関する科目	大学が独自に設定する科目	教職に関する必修科目
中学校教諭一種免許状	学士の学位を有すること	数学 28単位 理科 28単位	10単位	10単位	7単位	4単位	合計 8単位 日本国憲法 2単位 体育 2単位 外国語コミュニケーション 2単位 情報機器の操作又は数理、ﾃﾞｰﾀ活用及び人工知能に関する科目 2単位
高等学校教諭一種免許状	学士の学位を有すること	数学 24単位 理科 24単位 工業 24単位	10単位	8単位	5単位	12単位	

2 教科及び教科の指導法に関する科目

電気電子情報工学科（令和7年度入学生）

いずれの免許を取得する場合も各科目区分から1単位以上を修得すること。

数学　中一種免 高一種免

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目	
	授業科目	単位数
代数学	○代数学Ⅰ	2
	○代数学Ⅱ	2
	離散数学	2
幾何学	○幾何学	2
	電磁気学Ⅱ	2
解析学	○解析学Ⅰ	2
	○解析学Ⅱ	2
	応用解析学Ⅰ	2
	応用解析学Ⅱ	2
	複素解析学	2
	電気系数学	2
「確率論、統計学」	○確率・統計	2
	情報理論	2
コンピュータ	○プログラミング論Ⅰ	2
	プログラミング論Ⅱ	2
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	○数学科指導法Ⅰ	2
	○数学科指導法Ⅱ	2
	●数学科指導法Ⅲ	2
	●数学科指導法Ⅳ	2

○印は、免許状を取得する場合の必修科目

●印は、中一種免のみ必修

工業　高一種免

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目	
	授業科目	単位数
工業の関係科目	○電気電子工学概論	2
	○機械・材料工学概論	2
	○化学工学概論Ⅰ	2
	○電気回路基礎	2
	○電気回路Ⅰ	2
	○電気回路演習	1
	電気回路Ⅱ	2
	電気回路Ⅲ	2
	○電磁気学基礎	2
	電磁気学Ⅰ	2
	○電磁気学演習	1
	○電気系基礎実験Ⅰ	2
	○電気系基礎実験Ⅱ	2
	電気工学思考型実験	2
	電気工学知識探求型実験	2
	電子工学実験	2
	情報工学実験	2
	計算機基礎	2
	プログラミング演習	1
	○コンピュータ実習1	1
	コンピュータ実習2	1
	熱・統計力学	2
	振動・波動論	2
	量子力学	2
	電力変換	2
	○基礎電気電子計測	2
	電気電子計測	2
	制御システムⅠ	2
	基礎電子物理	2
	電子回路Ⅰ	2
	情報回路	2
	情報通信工学	2
	工学倫理	2
	環境安全工学	2
職業指導	○職業指導	4
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	○工業科指導法Ⅰ	2
	○工業科指導法Ⅱ	2

○印は、免許状を取得する場合の必修科目

※ 注 数学科指導法の単位を理科、理科指導法の単位を数学の単位として算入することはできない。

※ 注 工業の免許を取得する場合、当分の間「教科の指導法に関する科目」、「教育の基礎的理解に関する科目」、「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」、「教育実践に関する科目」の全部または一部を「教科に関する科目」の修得をもって替えることができる。但し、工業科指導法はなるべく取得する方が望ましい。

機械・材料工学科（令和７年度入学生）
いずれの免許を取得する場合も各科目区分から１単位以上を修得すること。

数学　　中一種免　高一種免

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目	
	授 業 科 目	単位数
代数学	○代数学Ⅰ	2
	○代数学Ⅱ	2
幾何学	○幾何学	2
解析学	○解析学Ⅰ	2
	○解析学Ⅱ	2
	応用解析学Ⅰ	2
	応用解析学Ⅱ	2
	複素解析学	2
	数値解析	2
「確率論、統計学」	○確率・統計	2
コンピュータ	○制御工学Ⅰ	2
	制御工学Ⅱ	2
	計算材料学	2
	プレゼンテーション演習	1
	創造設計演習Ⅱ	3
	○プログラミング演習	1
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	○数学科指導法Ⅰ	2
	○数学科指導法Ⅱ	2
	●数学科指導法Ⅲ	2
	●数学科指導法Ⅳ	2

○印は、免許状を取得する場合の必修科目
●印は、中一種免のみ必修

工業　　高一種免

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目	
	授 業 科 目	単位数
工業の関係科目	○機械・材料工学概論	2
	○化学工学概論Ⅰ	2
	○力学Ⅰ	2
	力学Ⅱ	2
	○振動・波動論	2
	○工学倫理	2
	○材料力学Ⅰ	2
	流体力学Ⅰ	2
	○熱力学Ⅰ	2
	○機械工作実習	1
	機械・材料工学実験	1
	○機械設計製図Ⅰ	2
	機械設計製図Ⅱ	2
	基礎化学Ⅰ	2
	基礎化学Ⅱ	2
	○電磁気学	2
	現代物理学	2
	材料強度学	2
	材料力学Ⅱ	2
	流体力学Ⅱ	2
	熱力学Ⅱ	2
	機械力学Ⅰ	2
	物理化学Ⅰ	2
	機械力学Ⅱ	2
	機械設計Ⅰ	2
	Ｘ線回折学	2
	機械設計Ⅱ	2
	機械加工学	2
	結晶塑性学	2
	○電気電子工学概論	2
	力学Ⅰ演習	1
	力学Ⅱ演習	1
	機械設計演習	1
	伝熱工学	2
	材料組織工学	2
	メカトロニクス	2
	創造設計演習Ⅰ	3
	物性物理Ⅰ	2
	物性物理Ⅱ	2
	○基礎材料工学Ⅰ	2
	基礎材料工学Ⅱ	2
	基礎材料工学Ⅲ	2
	○鉄鋼材料学	2
	材料工学実験Ⅰ	2
	材料工学実験Ⅱ	2
	材料工学実験Ⅲ	2
	非鉄金属材料学	2
	物性物理Ⅲ	2
	物理化学Ⅲ	2
	量子磁性材料	2
	半導体工学	2
	物理化学Ⅱ	2
	電気化学	2
	放射光科学	2
職業指導	○職業指導	4
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	○工業科指導法Ⅰ	2
	○工業科指導法Ⅱ	2

○印は、免許状を取得する場合の必修科目

※ 注 数学科指導法の単位を理科、理科指導法の単位を数学の単位として算入することはできない。
※ 注 工業の免許を取得する場合、当分の間「教科の指導法に関する科目」、「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」、「教育実践に関する科目」の全部または一部を「教科に関する科目」の修得をもって替えることができる。但し、工業科指導法はなるべく取得する方が望ましい。

応用化学工学科 （令和7年度入学生）

免許を取得する場合は、各科目区分から1単位以上を修得すること。

理科　中一種免 高一種免

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目	
	授 業 科 目	単位数
物理学	○基礎物理学Ⅰ	2
	基礎物理学Ⅲ	2
	○基礎物理学Ⅱ	2
	流体工学	2
	材料力学	2
	粘性流体力学	2
	粉粒体工学	2
	量子化学	2
	金属伝熱物理	2
化学	○応用化学概論Ⅰ	2
	○物理化学Ⅰ	2
	○物理化学Ⅱ	2
	物理化学Ⅲ	2
	○無機化学Ⅰ	2
	○無機化学Ⅱ	2
	無機化学Ⅲ	2
	○有機化学Ⅰ	2
	○有機化学Ⅱ	2
	有機化学Ⅲ	2
	電気化学(A)	2
	電気化学(B)	2
	有機分光学	2
	高分子材料化学	2
生物学	生物科学	2
	生命科学	2
	生物化学Ⅰ	2
	生物化学Ⅱ	2
	生物化学Ⅲ	2
	○生物工学	2
地学	○地球システム科学	2
物理学実験・化学実験・生物学実験・地学実験（注）	○学生実験 Ⅰ(応化) または ○物理学実験(化工)	2 2
	○化学実験（共通） 学生実験 Ⅱ(応化) 化学工学実験(化工)	2 2 2
	○生物学実験	1
	○地学実験	1
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	○理科指導法Ⅰ	2
	○理科指導法Ⅱ	2
	●理科指導法Ⅲ	2
	●理科指導法Ⅳ	2

工業　高一種免

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目	
	授 業 科 目	単位数
工業の関係科目	○電気電子工学概論	2
	○機械・材料工学概論	2
	工学倫理	2
	○化学工学概論Ⅰ	2
	工業経済学	2
	知的財産権	2
	製図学	2
	分離工学	2
	金属学	2
	分析化学Ⅰ	2
	分析化学Ⅱ	2
	物質創成工学Ⅰ	2
	物質創成工学Ⅱ	2
	物質創成工学Ⅲ	2
	化学熱力学	2
	反応工学	2
	無機材料化学	2
	固体表面科学	2
	構造解析学	2
	有機材料化学	2
	化学工学	2
	高分子材料工学	2
職業指導	○職業指導	4
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	○工業科指導法Ⅰ	2
	○工業科指導法Ⅱ	2

○印は、免許状を取得する場合の必修科目

○印は、免許状を取得する場合の必修科目
●印は、中一種免のみ必修

※ 注 高校理科免許の場合は、物理学実験、化学実験、生物学実験、地学実験から1単位以上でよい。
中学理科免許の場合は、物理学実験、化学実験、生物学実験、地学実験それぞれ1単位以上必要である。

※ 注 数学科指導法の単位を理科、理科指導法の単位を数学の単位として算入することはできない。

※ 注 工業の免許を取得する場合、当分の間「教科の指導法に関する科目」、「教育の基礎的理解に関する科目」、「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」、「教育実践に関する科目」の全部または一部を「教科に関する科目」の修得をもって替えることができる。但し、工業科指導法はなるべく取得する方が望ましい。

3　教育の基礎的理解に関する科目

必修　中一種免１０単位　高一種免１０単位

免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目						備考
各科目に含める必要事項	最低必要単位数	授業科目	単位数				開講学年	
			中一種免		高一種免			
			必修	選択	必修	選択		
・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	１０	教育原論	2		2		2	R5 年度以前入学生
							1	R6 年度以降入学生
・教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教職論	2		2		1	
・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育制度論	2		2		2	
・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	2		2		2	
・特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育論	1		1		2	
・教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む）		教育課程論	1		1		2	

4　道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目

必修　中一種免１０単位　高一種免８単位

免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目						備考
各科目に含める必要事項	最低必要単位数	授業科目	単位数				開講学年	
			中一種免		高一種免			
			必修	選択	必修	選択		
・道徳の理論及び指導法	中１０ 高　８	道徳教育論	2			2 ※	2	中一種免必修 ※（R6 年度以前入学生）
・総合的な学習の時間の指導法		総合的な学習の指導法	1		1		2	
・特別活動の指導法		特別活動論	1		1		2	
【～R3 年度】 ・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。） 【R4 年度～】 ・教育の方法及び技術（情報通信技術を活用した教育の理論及び方法含む。）		教育方法・技術論	2		2		2	R2 年度以前入学生
		教育方法・情報通信技術活用論						R3 年度以降入学生 ※R3 年度入学生は科目名「教育方法・技術論」
・生徒指導の理論及び方法 ・進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		生徒指導論	2		2		3	
・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		教育相談	2		2		2	

５　教育実践に関する科目
必修　中一種免７単位　高一種免５単位

免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目						備考
各科目に含める必要事項	最低必要単位数	授業科目	単位数				開講学年	
			中一種免		高一種免			
			必修	選択	必修	選択		
・教育実習（学校インターンシップ（学校体験活動）を１単位まで含むことができる。）	中　５ 高　３	教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ	— ５	—	３ —	— —	４ ４	中高両方の免許を取得する場合は教育実習Ⅱを必修とする
・教職実践演習	２	教職実践演習（中・高）	２		２		４	

（注）「教職実践演習」は、教育実習修了後の４回生以上の学生を対象とする。

６　大学が独自に設定する科目
必修　中一種免４単位　高一種免１２単位

授業科目	単位数	開講学年	備　考
介護等体験	２	３	中一種免のみ必修 （高一種免の単位としては認めない） （事前・事後指導を含む。）
教育実践体験	２	２	R5 年度以降入学生対象
道徳教育論	２	２	高一種免のみ （R7 年度以降入学生対象） （中一種免は「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」として算入）

（注）最低必要単位数を越えて修得した「教科及び教科の指導法に関する科目」、「教育の基礎的理解に関する科目」、「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」、「教育実践に関する科目」の単位を、当該科目の単位に算入することができる。（高一種免における介護等体験を除く）

７　教育職員免許法施行規則第 66 条の６に定める科目
必修８単位

免許法施行規則に定める科目及び単位数		左記に対応する開設授業科目		備 考
科　　目	単位数	授 業 科 目	単位数	
日本国憲法	２	日本国憲法	２	
体育	２	健康・ｽﾎﾟｰﾂ科学演習 1 健康・ｽﾎﾟｰﾂ科学演習 2	1 1	
外国語コミュニケーション	２	Reading and Discussion 1 Reading and Discussion 2 Listening and Speaking 1 Listening and Speaking 2 Writing 1 Writing 2 TOEIC 総合 1 TOEIC 総合 2	1 1 1 1 1 1 1 1	（R6 年度以前入学生）
情報機器の操作又は数理、データ活用及び人工知能に関する科目	２	情報処理基礎	２	

平成 25 年兵庫県立大学工学部規程第３号

兵庫県立大学工学部履修規程

（趣旨）

第１条　この規程は、兵庫県立大学工学部規程（平成 25 年兵庫県立大学工学部規程第１号。以下「工学部規程」という。）第 31 条の規定に基づき、学生の履修に関して必要な事項を定めるものとする。

（履修願の提出期間）

第２条　履修願の提出期間については、４月初め及び９月下旬に指定する。

２　前項に指定する期間内に履修願を提出しなかった科目については、授業及び試験を受けることができない。ただし、特に教務委員会においてその事情が正当と認められた場合は、この限りではない。

（履修願の変更）

第３条　願い出た科目の変更は、４月下旬及び 10 月中旬の指定する期間内に履修修正願の提出により認める。また、時間割を変更した場合にも認める。

（履修願の遵守事項）

第４条　履修願は、次の各号の規定を遵守のうえ、提出しなければならない。

(1)　同一科目が学科別又はクラス別に開講されている場合は所属学科又はクラスの配当時間に履修すること

(2)　再受験科目の取扱いを希望する者は、その科目の担当教員の承認を得て、制限科目数の範囲内で申請すること

(3)　卒業研究履修者で、卒業研究の時間に他の科目を履修しようとする場合は、卒業研究指導教員の承認を得ること

２　前項の規定を遵守していない場合は、原則としてその科目の履修を認めない。

（定期試験等）

第５条　定期試験は、工学部学年暦に示す期間に行う。

２　定期試験を行わない科目についての評価は、実験、実習、論文、レポート等による。

３　不合格者に対する再試験は行わない。

４　定期試験等において、再受験科目の試験と他の履修科目等の試験の日時が重複する場合、そのうち一方の科目の試験を他の日時に特別に行うなどの措置は原則として講じない。

（教育実習の履修）

第６条　教育実習を履修しようとする者は、履修の前年度の指定する期間内に、学務所管課に願い出なければならない。

２　前項の願い出をした者は、教育実習を履修しようとする中学校又は高等学校において速やかに実習受入れの内諾を得、内諾書を９月末までに学務所管課へ提出しなければならない。

３　第２項の内諾に基づき、実習校を決定する。

４　教育実習を履修するには、次の条件を備えていなければならない。

(1)　卒業研究履修許可者であること（又は卒業研究を修了していること）

(2)　特別な事情がある場合を除いて、「教育の基礎的理解に関する科目」、「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」の最低必修単位のうち、３分の２以上の単位を修得していること

(3)　「教科及び教科の指導法に関する科目」の最低必修単位のうち、３分の２以上の単位を修得していること

(4)　教科指導法Ⅰ・Ⅱ（理科・数学・工業のうち免許を取得しようとする科目のもの）の単位を修得していること

(5)　中学校教員免許（理科・数学）取得希望者については、「介護等体験」の単位を修得していること

（介護等体験）

第７条　教育職員免許法（昭和24年法律第147号）による免許状（中学一種）の取得を目指す者で「介護等の体験」を行い、教科又は教職に関する科目としての単位を取得しようとする者は、履修の前年度の12月に指定する期間内に、学務所管課に願い出なければならない。

２　社会福祉施設等又は特殊教育諸学校からの受け入れに関する通知又は承諾があった者は、当該実施団体の定めるところにより「介護等の体験」を行なわなければならない。

３　原則として、教職科目のうち、介護等体験と教育実習を同じ年度に履修することはできない。

（規程の改正）

第８条　この規程の改正は、工学部教授会の意見を聴いた上で工学部長が行う。

（補則）

第９条　この規程に定めるもののほか、学生の履修に関して必要な事項は、教務委員会において別に定める。

附　則

（施行期日）

この規程は、平成 25 年４月１日から施行する。

附　則（平成 27 年２月 18 日一部改正）

（施行期日）

この規程は、平成 27 年４月１日から施行する。

附　則（平成 27 年３月 18 日一部改正）

（施行期日）

この規程は、平成 27 年４月１日から施行する。

附　則（令和３年３月 17 日一部改正）

（施行期日）

この規程は、令和３年４月１日から施行する。

附　則（令和４年３月16日一部改正）

（施行期日）

この規程は、令和４年４月１日から施行する。

附　則（令和６年３月 19 日改正）

（施行期日）

この規程は、令和６年４月１日から施行する。

（経過措置）

令和５年度以前の入学生は、なお従前の例による。

兵庫県立大学他大学等における授業科目の履修規程

（趣旨）

第１条 兵庫県立大学学則(平成25 年法人規程第75 号。以下「大学学則」という。) 第14 条第３項の規定に基づき、他大学等における授業科目の履修に関して必要な事項を定めるものとする。

（他大学等授業科目の履修）

第２条 他大学等の授業科目の履修を願い出る者は、他大学等との協定に基づいて定められた書類を、所定の期日までに学務所管課に提出しなければならない。

（全学共通科目の履修）

第３条 学長は、前条の規定による願い出に係る他大学等の授業科目について、大学学則第14 条第２項の規定により本学の全学共通科目を履修したものとみなす場合 は、あらかじめ高等教育推進機構長の意見を聴かなければならない。

（履修期間）

第４条 履修期間については、原則として１年以内とする。

２ 前項の規定による履修期間については、本学における在学期間に算入する。

（単位の認定）

第５条 他大学等の授業科目の履修により修得した単位を学則第 14 条第２項に規定する本学の授業科目を履修したものとして願い出る場合は、単位認定申請書に他大学等の成績証明書を添えて学務所管課に提出しなければならない。

２ 学長は、前項の規定による願い出があるときは、教授会の意見を聴いた上で、これを許可することができる。

（補則）

第６条 この規程に定めるもののほか、この規程の施行に関して必要な事項は、別に定める。

附　則

この規程は、平成25 年４月１ 日から施行する。

附　則(平成27 年３月24 日改正)

この規程は、平成27 年４月１ 日から施行する。

附　則(令和３年３月31 日改正)

この規程は、令和３年４月１日から施行する。

附　則(令和６年３月27 日改正)

この規程は、令和６年４月１日から施行する。

兵庫県立大学試験の不正行為に対する処置規程

（目的）

第１条 この規程は、試験の不正行為が行われた場合について、必要な事項を定めるものとする。

（不正行為の内容）

第２条 試験の不正行為とは、次に掲げる行為をいう。

(1)　使用を許されない書籍、ノート、紙片、電子機器を用いること。

(2)　他人の答案をのぞき見ることその他社会通念上受験者として正当でないと認められる行為をすること。

（不正行為の確認・報告）

第３条 試験監督者は、不正行為を確認した場合、直ちに当該行為を実行し又はこれに関与したと疑われる者(以下「対象学生」という。)に対し、その旨を指摘して受験を停止させるとともに、その氏名、所属、連絡先等必要な事項を記録し、答案用紙、使用を許されない書籍その他不正行為に直接関連して使用されたとみられる物品等を預かり、対象学生が所属する学部又は研究科の長(以下「学生所属学部長等」という。)に報告しなければならない。この場合において、試験監督者と当該試験科目を開講している教員(以下「開講教員」という。)が異なる場合であるときは、あわせて開講教員に報告しなければならない。

（学生所属学部長等の責務）

第４条 学生所属学部長等は、試験監督者から前条の不正行為の報告を受けたときは、正確な事実を確認するため、遅滞なく対象学生、試験監督者その他の関係者から事情聴取を行い、当該事情聴取の結果認定された事実を記載した事情報告書を作成しなければならない。この場合において、学生所属学部長等が、正確な事実の確認のため必要があると認めるときは、当該不正行為に係る試験科目を開講している学部若しくは研究科の長又は関係する高等教育推進機構高等教養教育部長にその調査を依頼することができる。

２ 前項の規定により、正確な事実の確認のため調査の依頼を受けた者は、当該依頼に応じるものとする。

３ 学生所属学部長等は、学生所属学部長等の教授会又はこれに相当する委員会(以下「学生所属学部教授会等」という。)に第１項に規定する事情報告書に基づき報告しなければならない。この場合において、開講教員が学生所属学部教授会等に属さない教員であるときは、その教員が所属する学部又は研究科の長及び開講教員に当該事情報告書の写しを送付しなければならない。

（処置の原則）

第５条 不正行為の事実が、学生所属学部教授会等において確認された場合は、その者の当該学期の全科目及び通年の全科目の単位を無効とする。この場合において、学生所属学部教授会等での審議の結果、必要と認められた場合は、その氏名を公表するものとする。

２ 前項に規定するもののほか、特に悪質な不正行為に対しては、兵庫県立大学学則(平成25 年法人規程第75 号)第35 条又は兵庫県立大学大学院学則(平成25 年法人規程第76 号)第33 条の規定に基づき懲戒をするものとする。

附　則

この規程は、平成25 年４月１日から施行する。

附　則(平成27 年３月24 日改正)

この規程は、平成27 年４月１日から施行する。

附　則(令和３年３月31 日改正)

この規程は、令和３年４月１日から施行する。

附　則(令和６年３月27 日改正)

この規程は、令和６年４月１日から施行する。

兵庫県立大学定期試験を受験できない者に対する処置規程

（目的）

第１条　この規程は、やむを得ない事由により所定の期日に定期試験を受験できなかった者に対する処置について必要な事項を定める。

（事由）

第２条　前条に定めるやむを得ない事由は、次の各号のいずれかに該当するものとする。

(1)　病気
(2)　災害及び不慮の事故
(3)　父母､配偶者又は子の死亡
(4)　兄弟姉妹又は祖父母の死亡
(5)　その他前各号に準ずる事由

（手続）

第３条　やむを得ない事由のため定期試験を受けることができない者は、原則として定期試験開始までに、学生が所属する学務所管課に連絡し、その後速やかに試験欠席承認願（別記様式）を提出しなければならない。

２　前項の承認願には､病気の場合にあっては医師の診断書、その他の場合にあっては、その事由を証明する書類を提出しなければならない。

３　試験欠席承認願が提出されたときは、試験科目を開講する教員は、その内容を審査し、その結果を学生が所属する学務所管課を通して学生へ連絡するものとする。

（成績の評価）

第４条　試験科目を開講する教員は、定期試験を受験できない事由が第２条に該当すると認められた場合、適宜の方法により、成績を評価することができる。

附　則

この規程は、平成 25 年４月１日から施行する。

兵庫県立大学ＧＰＡ制度要綱

（趣旨）

第１条 この要綱は、兵庫県立大学(以下「本学」という。)のＧＰＡ(Grade Point Average)制度に関し必要な事項を定めるものとする。

（目的）

第２条 ＧＰＡ制度は、学修の状況及び結果を明確化することにより、学生の学習意欲を高め、適切な修学指導に資するとともに、厳格な成績評価を推進し、 学びの質を向上させることを目的とする。

（ＧＰＡの種類・運用）

第３条 ＧＰＡは、全学で統一的に運用する全学ＧＰＡと、各学部・研究科(以下「学部等」という。)の範囲内で独自に運用する学部・研究科ＧＰＡ(以下「学部等ＧＰＡ」という。)に大別する。

２　ＧＰＡの運用は、原則としてこの要綱に基づくものとする。

３　学部等ＧＰＡは、学部・研究科の独自性を鑑み、この要綱の趣旨・目的に反しない限りにおいて、各学部・研究科長が教授会の意見を聞いたうえで別に定めることができるものとする。ただし、次項で定めるＧＰについては別に定めることはできないものとする。

（ＧＰ）

第４条 学則第 13 条に基づき各学部・研究科規程で定める成績の評語に与えられるＧＰ(Grade Point)は、次表のとおりとする。

成績の評語		ＧＰ
5段階評価	素点	
S	100−90	4.0
A	89−80	3.0
B	79−70	2.0
C	69−60	1.0
D	59−0	0.0

（ＧＰＡの算出方法）

第５条 各期における学修の状況及び成果を示す指標としてのＧＰＡ(以下「学期ＧＰＡ」という。)、各学年における学修の状況及び成果を示す指標としてのＧＰＡ(以下「学年ＧＰＡ」という。)及び全期間の学修の状況及び成果を示す指標としてのＧＰＡ(以下「通算ＧＰＡ」という。)の計算式は、次の各号の定めるところによるものとし、算出された数値の小数点第３位以下は切り捨てるものとする。

２　学期ＧＰＡの計算式

学期ＧＰＡの計算式は以下のとおりとする。

$$\frac{\text{(当該学期に評価を受けた卒業要件となる授業科目のＧＰ×当該授業科目の単位数)の合計}}{\text{当該学期に評価を受けた卒業要件となる授業科目の単位数の合計}}$$

３　学年ＧＰＡの計算式

学年ＧＰＡの計算式は以下のとおりとする。

$$\frac{\text{(当該学年に評価を受けた卒業要件となる授業科目のＧＰ×当該授業科目の単位数)の合計}}{\text{当該学年に評価を受けた卒業要件となる授業科目の単位数の合計}}$$

４　通算ＧＰＡの計算式

通算ＧＰＡの計算式は以下のとおりとする。

$$\frac{\text{(在学全期間に評価を受けた卒業要件となる授業科目のＧＰ×当該授業科目の単位数)の合計}}{\text{在学全期間に評価を受けた卒業要件となる授業科目の単位数の合計}}$$

（ＧＰＡ対象授業科目）

第６条 ＧＰＡ対象授業科目は、5 段階評語又は素点によって成績認定される授業科目であって、卒業要件に算入できる授業科目とする。

２　前項の規定にかかわらず、学部等が設定する履修取消期間中に学生から履修取消の申し出があり履修取消を許可した授業科目は、ＧＰＡ対象授業科目から除くものとする。

３　学部等は、教育上の理由により、前項に規定による履修取消期間中での取消ができない授業科目を別に定めることができるものとする。

（再履修科目の取扱い）

第７条 「D」又は 60 点未満と評価された授業科目を、のちに再履修した場合、以前の「D」又は 60 点未満と評価された授業科目は、再履修による評価にかかわらずＧＰＡ対象授業科目に含むものとする。

（成績証明書への記載）

第８条 学期ＧＰＡ、学年ＧＰＡ及び通算ＧＰＡは、原則として成績証明書に記載しない。ただし、英文成績証明書について、学生からＧＰＡの記載を求められたときはこの限りではない。

（成績評価の厳格化）

第９条 ＧＰＡ制度が的確に運用されるよう、学部等は、授業科目の適切な成績評価の推進について、組織的な取り組みに努めるものとする。

（雑則）

第 10 条 この要綱に定めるもののほか、ＧＰＡ制度に関し必要な事項は、高等教育推進機構全学教育推進会議の議を経て、教育研究審議会が別に定める。

附　則

(施行期日)

１　この要綱は、平成 31 年４月１日から施行する。

(経過措置)

２　平成 30 年度以前の入学生は、なお従前の例による。

附　則

この要綱は、令和２年４月１日から施行する。

附　則

この要綱は、令和6年４月１日から施行する。

兵庫県立大学副専攻規程

（趣旨）

第１条　この規程は、兵庫県立大学学則（平成25年法人規程第75号）第10条の２の規定に基づき、副専攻に関し必要な事項を定めるものとする。

（副専攻名等）

第２条　副専攻は、兵庫県立大学全学部共通とし、高等教育推進機構が設置する。

２　副専攻名、運営部門及び主たる担当学部等は別表第１のとおりとする。

３　副専攻における授与称号は別表第２のとおりとする。

４　各副専攻の運営に関し、必要な事項は別に定める。

（履修方法等）

第３条　副専攻の履修に係る申請方法、授業科目の種類及び取得しなければならない単位数等は、別に定める。

（修了認定）

第４条　副専攻の修了認定は、運営機関に置くその運営を審議する会議の議を経て、高等教育推進機構長が行う。

（修了証書の授与）

第５条　学長は、前条により副専攻を修了したと認定された学生に対し、副専攻修了証書を授与する。

２　前項により授与する副専攻修了証書は、様式第１号のとおりとする。

（委任）

第６条　この規程に定めるもののほか、副専攻の履修に関し必要な事項は、高等教育推進機構長が定める。

附　則

この規程は、平成27年10月１日から施行する。

附　則

この規程は、平成29年４月１日から施行する。

附　則

この規程は、平成30年４月１日から施行する。

附　則

この規程は、平成31年３月１日から施行する。

附　則

この規程は、令和２年４月１日から施行する。

附　則

この規程は、令和３年４月１日から施行する。

附　則

この規程は、令和６年４月１日から施行する。

別表第１

副専攻名	運営部門	主たる担当学部等
地域創生リーダー教育プログラム	地域創生リーダー教育部門	環境人間学部
グローバルリーダー教育プログラム	グローバルリーダー教育部門	国際商経学部
防災リーダー教育プログラム	防災リーダー教育部門	減災復興政策研究科

別表第２

副専攻名	授与称号
五国豊穣プログラム	ひょうご学志
地域創生リーダー教育プログラム	ひょうご学志又は コミュニティ・プランナーアソシエイト
グローバルリーダー教育プログラム	グローバルリーダー
防災リーダー教育プログラム	防災リーダー

様式第１号

兵庫県立大学　第○○○○○○○号
副専攻修了証

氏　　名
学籍番号

本学が実施する副専攻「○○○○○○○○○」を修了したことを認め、「○○○○○○」の称号を授与する

年　月　日

兵庫県立大学　大学の印

成績に対する確認及び不服申立てに関する要綱

（趣旨）

第１条 本要綱は、本学の学士課程、修士課程、博士課程及び専門職学位課程に在籍する学生(以下「学生」という。)が履修する全ての科目について、その成績に対する確認及び不服申立てに関し必要な事項を定めるものとする。

（周知）

第２条　各学部及び研究科(以下「学部等」という。)は、履修の手引及び講義要目等において、本要綱を学生に周知するものとする。

（成績に対する確認）

第３条 学生は、成績評価の理由など確認すべき事項がある場合は、当該科目を担当する教員(以下「担当教員」という。)に対し、次の方法により確認することができるものとする。

(1)全学共通科目、専門基礎科目(専門関連科目)、専門教育科目、教職課程科目及び大学院で履修する科目(以下「大学院科目」という。)

①　担当教員に直接確認する。

②　所属学部等の学務所管課(以下「所管課」という。)を通じて、担当教員に別に定める「成績に対する確認書」(以下「確認書」という。)を提出し、確認する。

(2)全学共通科目、専門基礎科目(専門関連科目)及び専門教育科目に位置付けられない副専攻履修者のみが履修可能な科目(以下「副専攻科目」という。)

副専攻運営部門を通じて、担当教員に確認書を提出し、確認する。

２ 前項第１号①により学生から確認依頼を受けた担当教員は、直接、当該学生に確認結果を回答するものとする。

３ 第１項１号②及び第１項第２号により学生から所管課又は副専攻運営部門を通じて確認書を受けた担当教員は、確認書により、所管課又は副専攻運営部門を通じて、当該学生に確認結果を回答するものとする。

４ 前項の回答については、担当教員の判断により、直接、当該学生に確認結果を回答することができるものとする。この場合において、担当教員は、回答内容及び回答日を所管課又は副専攻運営部門に通知しなければならない。

（確認依頼受付期間）

第４条　前条第１項による確認依頼の受付期間は、成績公開日から原則として７日以内(日曜日及び土曜日並びに国民の祝日に関する法律(昭和 23 年法律第 178 号)に規定する休日及び 12 月 29 日から翌年１月３日までの日を除く。以下次項、第５条第１項、第７条及び第９条において同じ。)とする。

２ 前項の規定にかかわらず、当該学期に学部等の卒業又は修了判定対象者であり、確認を行おうとする成績が学部等の卒業又は修了判定に関わる場合及び３月１日以降に開示された成績に対する確認の場合の受付期間は、成績公開日から原則として３日以内とする。

（確認に伴う措置）

第５条 第３条第１項による確認依頼を受けた担当教員は、学生からの確認依頼があった日又は所管課を通じて確認書を受理した日から原則として７日以内に確認結果を回答するものとする。ただし、前条第２項に規定する場合の確認依頼にあっては、原則として３日以内に確認結果を回答するものとする。

２ 前項の回答に当たっては、担当教員は、確認結果に基づき、成績について変更する措置を採ることができる。この場合において、担当教員は、当該措置の内容及びその理由を記録するとともに、 所管課又は副専攻運営部門に報告しなければならない。

（不服申立て）

第６条　学生は、第３条により成績に対する確認を行った結果、次の各号に掲げる事案の解決が得られなかった場合に限り、不服申立てができるものとする。

（１） 成績の誤記入等、明らかに担当教員の誤りであると思われる事案

（２） シラバスや授業時間内での指示等により周知している成績評価の方法から明らかに逸脱した評価であると思われる事案

（３） 担当教員から十分な説明等の対応がなかった事案

２ 学生は、前項の不服申立てを行う場合は、次の各号のとおり「成績に対する不服申立書」(以下 「不服申立書」という。)を提出するものとする。

（１） 専門基礎科目(専門関連科目)、専門教育科目及び大学院科目

所管課を通じて、所属する学部等の長(以下「部局長」という。)に対し提出

（２） 全学共通科目及び教職課程科目

所管課を通じて、高等教育推進機構長に対し提出

（３） 副専攻科目

副専攻運営部門を通じて、履修する副専攻運営部門の長(以下「副専攻運営部門長」という。)に対し提出

（不服申立て受付期間）

第７条 前条による不服申立ての受付期間は、当該学生が第３条による回答を受理した日から原則として３日以内とする。

（審査）

第８条 部局長、高等教育推進機構長及び副専攻運営部門長(以下「部局長等」という。)は、第６条第２項よる不服申立書を受理した場合は、速やかに当該不服申立ての審査を行うものとする。 ただし、不服申立書が第６条第１項に該当しないときは、不服申立てを却下することができるものとする。この場合において、所管課及び副専攻運営部門を通じて、速やかに当該学生に「成績に対する不服申立却下通知書」(以下「却下通知書」という。)により通知するものとする。

２ 前項の審査方法は、部局長等が別に定めるものとする。

（審査結果の報告及び対応）

第９条 部局長等は、前条の審査結果について、当該学生及び担当教員に対し、前条第１項の不服申立書を受理した日から 14 日以内に、所管課又は副専攻運営部門を通じて、「成績に対する不服申立回答書」(以下「不服申立回答書」という。)により、文書で通知する。この場合において、不服申立てを容認する結果であった場合は、担当教員に成績を変更する措置を行わせるものとする。

２ 前項の通知は、当該学生又は当該担当教員が希望した場合は、電子媒体によって通知することができるものとする。

（再審の不可）

第 10 条　学生は、前条第１項の不服申立回答書及び第８条第１項の却下通知書に該当する科目については、再度の不服申立てができないものとする。

（雑則）

第 11 条　この要綱に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

附　則

この要綱は、令和３年４月１日から施行する。

附　則

この要綱は、令和４年 11 月１日から施行する。

附　則

この要綱は、令和６年４月１日から施行する。

年　月　日

成績に対する確認書

学部・研究科＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

学科・コース等＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

年次　　学籍番号　　氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

連絡先＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

年度　学期下記科目の成績評価について、確認をお願いします。

記

授業科目区分 （該当科目に〇）		専門基礎科目（専門関連科目）、専門教育科目、大学院科目
		全学共通科目、教職課程科目
		副専攻科目
科目名：		担当教員名：
【理由】※詳しく記入して下さい。		

年　月　日

教員回答欄（該当番号に〇）

担当教員名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

1　現成績評価のとおり

2　下記のとおり評価を訂正します。（該当記号に〇し、評語又は評点を記載）

　ア　評語（　　から　　へ訂正）　　イ　評点（　　から　　へ訂正）

【回答理由】※１または２の理由を記入して下さい。

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

年　月　日

成績に対する不服申立書

部局長／高等教育推進機構長／副専攻運営部門長　様

学部・研究科：

学科・コース等：

年次：　　学籍番号：　　氏　　名：

年度　学期下記科目の成績評価について、下記理由により不服申立てを行います。

記

該当する 授業科目区分 （該当科目に〇）		専門基礎科目（専門関連科目）、専門教育科目、大学院科目
		全学共通科目、教職課程科目
		副専攻履修者のみが履修可能な科目（上記該当科目を除く）
科目名：		
担当教員名：		成績評価：
該当する 不服申立て事案 （該当事案に〇）		成績の誤記入等、明らかに担当教員の誤りであると思われる事案
		シラバスや授業時間内での指示等により周知している成績評価の方法から明らかに逸脱した評価であると思われる事案
		担当教員から十分な説明等の対応がなかった事案
不服申立て事案に該当する理由（具体的に記入してください）		

全学共通科目及び教職課程科目に係る成績に対する確認及び不服申立てに関する取扱

（趣旨）

第１条　この取扱は、成績に対する確認及び不服申立てに関する要綱（以下「要綱」という。）第８条第２項に基づき、全学共通科目及び教職課程科目の成績に対する不服申立ての審査に関し、必要な事項を定める。

（周知）

第２条　各学部は、要綱第２条に基づき、本取扱について、履修の手引き及び講義要目等により学生に周知するものとする。

（確認・審査）

第３条　学部の学務所管課（以下「所管課」という。）は、要綱第６条に基づく不服申立書を受理した場合は、速やかに、教養教育推進会議東地区及び西地区ワーキンググループ座長（以下「東西 WG 座長」という。）に当該不服申立書を提出するものとする。

２　東西 WG 座長は、前項の不服申立書受理後速やかに、WG 委員の中から審査に関わる委員（以下「審査委員」という。）を指定し、不服申立書の内容確認及び審査を行うものとする。

３　第１項の不服申立書の学生及び担当教員は、東西 WG 座長から成績に関する内容確認依頼等があった場合は、真摯に対応しなければならないものとする。

４　東西 WG 座長は、第２項の審査結果について、当該不服申立書を受理した日から原則として９日以内（日曜日及び土曜日並びに国民の祝日に関する法律（昭和 23 年法律第 178 号）に規定する休日及び 12 月 29 日から翌年１月３日までの日を除く。以下次項及び第４条において同じ。）に高等教育推進機構長へ報告するものとする。

５　前項の規定にかかわらず、東西 WG 座長は、第２項の審査結果により、当該不服申立てが不服申立て事案に該当しないと判断した場合は、当該不服申立書を受理した日から原則として２日以内に高等教育推進機構長へ報告するものとする。

（決定・通知）

第４条　高等教育推進機構長は、前条第４項及び第５項の審査結果を受理した場合には、原則として受理した日から３日以内に高等教育推進機構運営委員会を招集し、調査結果を審議・議決する。

２　高等教育推進機構運営委員会の委員のうち、前条第２項の審査に関係したものについては、前項の議決権を有さないものとする。

３　東西 WG 座長は、前条第４項にかかる審議・議決について、第３条第１項の所管課に対し、要綱第９条第１項の期限までに成績に対する不服申立回答書を提出するものとする。

４　東西 WG 座長は、前条第５項にかかる審議・議決について、第３条第１項の所管課に対し、当該議決後２日以内に成績に対する不服申立却下通知書を提出するものとする。

（所管部署）

第５条　この取扱は、本部事務局教育企画部教育改革課が所管する。

附　則

この取扱は、令和３年４月１日から施行する。

附　則

この取扱は、令和６年４月１日から施行する。

工学部・工学研究科における専門基礎科目、専門教育科目及び博士前期課程・後期課程授業科目にかかる成績に対する確認及び不服申立てに関する取扱

（趣旨）

第１条　この取扱は、成績に対する確認及び不服申立てに関する要綱（以下「要綱」という。）第８条第２項に基づき、専門基礎科目、専門教育科目及び博士前期課程・後期課程の授業科目の成績に対する不服申立ての審査に関し、必要な事項を定める。

（周知）

第２条　要綱第２条に基づき、本取扱について、「履修の手引き」等により学生に周知する。

（確認・審査）

第３条　姫路工学キャンパス経営部学務課（以下「学務課」という。）は、要綱第６条に基づく不服申立書を受理した場合は、速やかに、教務委員長に当該不服申立書を提出する。

２　教務委員長は、前項の不服申立書受理後速やかに、教務委員の中から審査に関わる委員（以下「審査委員」という。）を指定し、不服申立書の内容確認及び審査を行う。

３　第１項の不服申立書の学生及び担当教員は、教務委員長から成績に関する内容確認依頼等があった場合は、真摯に対応しなければならない。

（通知・報告）

第４条　教務委員長は、前条第２項の審査結果について、当該学生及び担当教員に対し、要綱第９条第１項により不服申立書を受理した日から14日以内（日曜日及び土曜日並びに国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日及び12月29日から翌年１月３日までの日を除く。）に、学務課を通じて、「成績に対する不服申立て回答書」により通知する。

２　教務委員長は、前条第２項の審査結果により、当該不服申立てが要綱第６条第１項各号に該当しないと判断した場合は、速やかに学務課を通じて、当該学生へ「成績に対する不服申立却下通知書」により通知する。

３　教務委員長は、前条第２項の審査結果について、当該審査後速やかに教授会にて報告する。

附則

この取扱は、令和３年４月２１日から施行する。

第３章　資格関連ガイド

１．電気主任技術者

（１）根拠法令

電気事業法

（２）問合先

経済産業省中部近畿産業保安監督部近畿支部電力安全課技術係

TEL 06-6966-6052（直通）

〒540-8535　大阪市中央区大手前 1-5-44　大阪合同庁舎第 1 号館

（３）得られる免許取得資格

電力システムコース（電気工学コース）の卒業生で、在学中に次の科目を修得し、卒業後

5 万ボルト以上の電気工作物の工事、維持又は運用の経験が 5 年以上の場合は、

第１種電気主任技術者

1 万ボルト以上の電気工作物の工事、維持又は運用の経験が 3 年以上の場合は、

第２種電気主任技術者

500 ボルト以上の電気工作物の工事、維持又は運用の経験が 1 年以上の場合は、

第３種電気主任技術者

● 資格を得るために必要な修得科目及び単位数については、入学年度の「講義要目」(2015 年度からは「履修の手引き」）に記載の本表を適用する。

● 表の①～⑤の各区分にある指定単位以上取得し、かつ合計が 49 単位以上であること

● 学部在学中の取得単位が不足する場合は、科目等履修生として卒業後 3 年以内に不足単位を補うことができる。

ただし、表の①～⑤の区分ごとに 1 科目のみ認定される。

● 表の各区分第一欄は、内容的に知識として重要なので、できるだけ履修すること

電気関係学科科目別授業内容及び履修単位明細書（2020年度以降入学生適用分）

区分		学科目	単位数				学科目の概要
			1年	2年	3年	4年	
①電気工学又は電子工学等の基礎に関るもの(17単位以上)	第一欄	電気回路基礎	2				直流回路、正弦波交流、基本交流回路、交流回路の電力、相互誘導回路
		電気回路I	2				ベクトル軌跡、非正弦波交流、多相交流、多相回路の電力、対称座標法
		電磁気学基礎	2				クーロンの法則、静電界、電位と電界、真空中の導体系と静電容量、電流界
		電磁気学I		2			磁界、磁性体中の磁界、電磁誘導、インダクタンス、電磁波
		基礎電気電子計測		2			計測の基礎、電気計測の基礎、各種計器と測定器、電圧・電流の測定
		電気電子計測			2		エレクトロニクス計測の基礎、電子計器・ディジタル計器、回路素子の測定、電力の測定
	小計		12				
	第二欄	電気回路演習	1				電気回路基礎、電気回路Iの演習
		電磁気学演習		1			電磁気学の演習
		電気回路II		2			微分方程式の解法、ラプラス変換、単エネルギー回路、複エネルギー回路、伝送回路
		電気回路III		2			交流回路網、四端子回路
		電磁気学II		2			マクスウェル方程式、物質中の電界・磁界、電磁波
		基礎電子物理		2			量子力学の基礎、金属の電気伝導、半導体のキャリアと電気伝導
		電子回路I		2			トランジスタの基本特性、hパラメータと小信号増幅器、FET、差動増幅器、周波数特性
		電子回路II			2		パルス回路、論理関数と論理素子、組み合わせ回路・順序回路の設計法、数表現と演算、記憶素子
		半導体デバイスI			2		半導体の特性、接合理論、トランジスタの原理
		半導体デバイスII			2		MOSトランジスタ、集積回路、オプトエレクトロニクス素子、マイクロ波素子
	小計		18				
	計		30				
②発電、変電、送電、配電及び電気材料並びに電気法規に関するもの(8単位以上)	第一欄	電力発生工学			2		熱力学、熱サイクル、ボイラー、ガスタービン、発電機、水力学、発電所設備、水車、揚水発電、水車発電機、水力発電計画、原子力発電、変電工学
		電力輸送工学I			2		送電方式と送電電圧、送電線の電気的特性、故障計算
		電力輸送工学II			2		中性点接地方式、保護方式、変電設備、系統安定度、電圧制御、周波数制御、配電系統・屋内配線
		電気法規				2	電気関係法規の概要、電気施設管理
	小計		8				
	第二欄	高電圧・絶縁システム			2		気体の放電、液体・固体の放電、複合誘電体、高電圧発生器、高電圧測定、高電圧機器
		電気系材料工学			2		導電材料、超伝導材料、絶縁材料、光材料、半導体材料
		電子物性論			2		固体の結晶構造、結晶内の電子状態、エネルギー帯理論、各種機能材料
	小計		6				
	計		14				

区分		学科目	単位数				学科目の概要
			1年	2年	3年	4年	
③電気及び電子機器、自動制御、電気エネルギー利用並びに情報伝送及び処理に関するもの(10単位以上)	第一欄	電力変換			2		サイリスタ整流回路の動作、電源高調波の発生、交流電圧調製回路、インバータ, パワーエレクトロニクス
		電磁変換工学			2		直流機、変圧器、同期機、三相誘導電動機の理論と特性
		制御システムI			2		制御の概念、制御系の構成、伝達関数、制御系の過渡特性、制御系の周波数特性
		制御システムII			2		システム方程式, 可制御性, 可観測性, 極配置法, サーボ系, オブザーバ
	小計		8				
	第二欄	電力技術			2		三相誘導電動機と産業応用、電気鉄道と直流電動機応用、交流き電、電力システムと機器
		離散数学		2			ブール代数、論理関数、命題論理、述語論理
		プログラミング論I	2				C言語によるプログラミング、数値計算、構造化プログラム
		情報回路			2		基本論理素子、組み合わせ論理回路、順序回路
		オペレーティングシステム			2		オペレーティングシステム、入出力制御、ファイル管理、プロセス管理、メモリ管理、経路制御、データ転送制御、セキュリティ
		計算機基礎	2				論理回路、演算回路、記憶回路、CPUとメモリの構成、ソフトウエア、ネットワークの構成要素、インターネットプロトコル
	小計		12				
	計		20				
④電気工学若しくは電子工学実験又は電気工学若しくは電子工学実習に関するもの(6単位以上)	第一欄	電気系基礎実験I		2			テスター、電流計、電圧計、オシロスコープ、オームの法則、直流回路、テブナン、直流ブリッジ、交流回路、インピーダンスの測定、ベクトル軌跡、直列共振回路、ダイオードの静特性
		電気系基礎実験II		2			温度測定、マイケルソン干渉計・ニュートンリング、静電界、交流電力・力率の測定、交流ブリッジ、整流回路、増幅回路、並列共振回路、RC回路の周波数特性と過渡現象、トランジスタ、MOS-FET、論理IC
		電気工学思考型実験			2		MOSFET半導体の特性と論理回路の組み立て、ステッピングモータ、電力用半導体とPWMインバータ、変圧器、三相誘導電動機、ホール効果、レーザー光、ロボット制御プログラミング
		電気工学知識探求型実験			2		物質の誘電性、気体放電、絶縁破壊、直流機、同期機、シーケンス制御、PID制御、磁気測定、電子回路、オペアンプ・能動回路とその応用、物質の電気伝導
	小計		8				
	計		8				
⑤電気及び電子機器設計又は電気及び電子機器製図に関するもの(2単位以上)	第二欄	電機設計				2	水車発電機と三相誘導電動機の設計の概要
	小計		2				
	計		2				

２．無線従事者

（１）根拠法令

電波法

（２）問合先

総務省近畿総合通信局航空海上課

TEL 06-6942-8550

〒540-8795　大阪市中央区大手前 1-5-44　大阪合同庁舎第 1 号館

http://www.soumu.go.jp/soutsu/kinki/dempa/index.html

（３）資格

無線設備を操作するためには、原則として総務大臣の免許を受けて無線従事者になる必要がある。無線従事者資格は、国家試験に合格する方法のほかに認定された学校で無線通信に関する科目を修めて卒業することにより取得することができる。

電子情報電気工学科（平成 27 年度～電気電子情報工学科）はこの認定校であり、次項の無線通信に関する科目を履修して卒業した者は、国家試験を受けることなく、申請によりそれぞれの無線従事者資格の免許を受けることができる。（電波法第 41 条第２項第 3 号、無線従事者規則第 30 条）

（４）科目

工学部電子情報電気工学科（平成 27 年度～電気電子情報工学科）を次の単位を取得して卒業した者は、申請によりそれぞれの資格が得られる。

第一級陸上特殊無線技士	基礎電気電子計測 情報通信工学 マイクロ波工学 アンテナ電波伝搬 デジタル通信システム 電波法規
第三級海上特殊無線技士	基礎電気電子計測 マイクロ波工学 アンテナ電波伝搬 デジタル通信システム 電波法規

３．毒物劇物取扱責任者

（１）根拠法令

毒物及び劇物取締法

（２）問合先

兵庫県保健医療部薬務課

TEL 078-362-3270

（３）資格

①　厚生労働省令で定める学校で、応用化学に関する学課を修了した者

②　化学に関する授業科目の単位数が必修科目の単位中 28 単位以上又は 50%以上である学科

この規定により、応用化学工学科 2 コース（平成 27 年度～）の学課を修了した学生　は①に相当し、応用物質科学科合成バイオコース・物質エネルギーコース（平成 26 年度以前）の学課を修了した学生は②に相当するので、毒物劇物取扱責任者の資格があります。

４．教員免許

（１）免許状の種類と教科、基礎資格及び所要単位数

工学部では、教員免許取得のための教職課程科目が開講される。**取得できる免許状の種類と教科、基礎資格及び所要単位数は、入学年度や学科によって異なるので、自分の入学年度の工学部規則別表第３（p. 80～85）で確認すること**

（２）教職科目履修上の注意

● 電気電子情報工学科及び機械・材料工学科の学生が理科の免許状を、応用化学工学科の学生が数学の免許状を取得しようとすることは、各学科のカリキュラム上困難であり本来の専門科目履修に支障をきたすので好ましくない。

● 3 年次までに原則として、（5）「教育実習の履修条件」（p. 100）に記載されているすべての条件を備えていなければ、**4 年次で教育実習を履修できないため、卒業時に免許状を取得することができなくなる。**

● 後期集中講義の「教育原論」「教育方法・情報通信技術の活用論」「特別支援教育論」及び「特別活動論」を 3 年生までに修得すること

● 教職課程科目は時間割上同一時限に編成されるものがあるので、配当年次で確実に履修することが必要である。

● 大学院生は、工学研究科委員会の承認を得て、学部で開講する教職課程に関する科目を年間 20 単位まで受講することができる。

● 教職課程科目の中には、履修前年度から事前の手続きを要する科目、履修条件が規定されている科目、配当年次が固定されている科目等がある。希望者はシラバスを熟読の上、十分注意して履修すること

● **単位不足、履修もれなどにならないよう、自己責任において細心の注意をはらい、必要科目を履修すること**

（３）介護等体験・教育実習履修の申込時期

以下の教職課程科目については、通常の履修登録の手続きに加えて、前年度からの申し込みが必要である。次年度申し込み受付より早く実習依頼をする必要がある場合は申し出ること

前年度に申し込みを行っていない場合又は事前指導に無断で欠席した場合は、履修年度に履修することができないので注意すること

介護等体験　3 年次配当科目（前年 12 月に説明会参加のうえ申込）［中一種免許必修科目］

教育実習　　4 年次配当科目（前年の 4 月に申込）［中一種・高一種免許必修科目］

時期	介護等体験（2年次）	教育実習（3年次）
4月		①次年度教育実習申込受付 （対象：来年度に履修を希望する者） ②出身校（実習校）への実習依頼に必要な書類を受け取る
5月		出身校を訪問し、次年度教育実習を依頼する（順時）
12月	次年度介護等体験説明会・申込受付 （対象：来年度に履修を希望する者）	
2月	介護等体験事前指導 （対象：来年度に履修を希望する者）	
3月末		教育実習履修許可者発表
4月初旬	介護等体験履修登録（3年次） 介護等体験学校・施設発表	教育実習履修登録（4年次）
5月初旬頃		教育実習事前指導

※スケジュール変更の場合がある。手続きの詳細は適宜掲示するので、必ず掲示を確認すること

（4）「介護等体験」について

● 中学校教諭の教員免許状を取得しようとする者は、「介護等体験」を行い、教員免許状の申請時に介護等体験を終了した証明書を提出しなければならない。

● 介護等体験の期間は「社会福祉施設等」5 日間、「特別支援学校等」2 日間の計 7 日間となる。

● 介護等体験は 3 年次で行う。4 年次（教育実習と同じ年次）で行うことはできない。

● 介護等体験希望者は、2 年次の 12 月に行う説明会に参加し、学務課に申込手続きを行い、2 月頃に行われる事前指導に出席すること（説明会や事前指導を欠席した者は履修を認めない。）4 月初めの通常の履修登録も忘れないこと

● 介護等体験の手続きや日程等はすべて掲示で行うので、十分注意すること

（5）教育実習の履修条件

教育実習を履修するには、次の条件を備えていなければならない。

● 学部学生及び大学院生

＜2024 年度以降入学生＞

・ 卒業研究履修許可を受けていること
・ 特別な事情がある場合を除いて、「教育の基礎的理解に関する科目」、「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」の最低必修単位のうち、３分の２以上の単位を修得していること
・ 「教科及び教科の指導法に関する科目」の最低必修単位のうち、３分の２以上の単位を修得していること
・ 「教科指導法Ⅰ・Ⅱ（理科・数学・工業のうち免許を取得しようとしている科目のもの）及び「介護等体験（中学教員免許取得希望者のみ）」の単位を修得していること
・ 教育実習は、実習生の出身校等の好意により受け入れてもらっているため、教員免許を取得したいという強い希望のある者のみ履修すること

＜2023 年度以前入学生＞

・ 卒業研究履修許可を受けていること
・ 原則として、「教職論」・「教育原論」・「教育心理学」・「生徒指導論」・「教科指導法Ⅰ・Ⅱ（数学科・理科・工業科のうち、免許を取得しようとする科目のもの）」及び「介護等体験（中学校教員免許取得希望者のみ）」のすべての単位を修得していること
・ 教科に関する科目の最低必要単位数のうち 3 分の 2 以上の単位を修得していること
・ 教育実習は、実習生の出身学校等の好意により受け入れてもらっているため、教員免許を取得したいという強い希望のある者のみ履修すること

● 科目等履修生（本学卒業生）

・ 当該年度内に教員免許状取得に必要な単位をすべて修得する見込みのあること
・ 教育実習は、実習生の出身学校等の好意により受け入れてもらっているため、教員免許を取得したいという強い希望のある者のみ履修すること

● 「教職実践演習」の履修時期は、教育実習終了後に履修することとし、10 月初めの履修登録も忘れないこと

（6）教育実習履修手続

● 教育実習の申込みは、履修前年度 4 月頃に学務課で受け付ける。詳細は掲示する。（卒業後に教育実習の履修を希望する者は、履修前年度 4 月までに必ず学務課に相談すること）4 月初めの通常の履修登録も忘れないこと

● 神戸市立、姫路市立、高砂市立、西宮市立及び豊中市立学校での実習を申し込むことができ

る者は、各市立学校の卒業生でなければならない。

● 神戸市立、姫路市立及び京都市立中学校での実習を希望する者は、内諾書の提出について若干手続きが異なるので、直接実習校や市教委に依頼に行かないこと

● 実習校の事情により指定した期限内に実習校へ訪問依頼できない場合、または特別の手続きが必要な場合には学務課の担当者まで申し出ること

● 無断でオリエンテーション（事前指導）を欠席した者に対しては、履修許可を取り消すことがある。

● 中一種免許状を取得する者は、「教育実習Ⅱ」を履修し、中学校もしくは高等学校で実習すること（3 週間）

● 高一種免許状のみ取得する者は「教育実習Ⅰ」を履修し、高等学校で実習すること（2 週間）

（7）免許状申請手続

教員免許状は各都道府県教育委員会に対し所定の手続により申請し授与される。免許状の申請手続には一括申請と個人申請がある。

● 一括申請

一括申請とは、大学が免許状の授与を希望する卒業予定者の書類を一括して教育委員会に申請することをいう。この場合には、３月に授与される。

既卒者及び科目等履修生は一括申請に含めることができないので、個人申請により申請しなければならない。一括申請の詳細については、12 月頃お知らせする。

● 個人申請

一括申請による場合のほかは、すべて免許状の授与を希望する者が直接各都道府県の教育委員会に申請しなければならない。これを個人申請という。

申請は、各自の居住地、あるいは本籍地の教育委員会への個人申請となります。

申請は随時受け付けられており、申請後約１ヶ月ないし１ヶ月半で免許状が授与される。

ただし、2～3 月頃に個人申請したものは 5 月頃にならないと授与されないので、教員採用等に当たっては「免許状授与申請書受理証明書」の交付を受けて提出してください。

必要な書類（様式）及び手続方法は、各都道府県教育委員会ホームページでご確認ください。

● 免許状申請先（兵庫県の場合）

兵庫県教育委員会事務局教職員企画課　管理・免許班

TEL 078-362-3749

〒658-0081　兵庫県神戸市東灘区田中町 5 丁目 3-23

● 免許状に関する証明書

- 免許状授与証明書（免許状を授与された者が、授与した教育委員会に対して申請することにより交付される。）
- 免許状授与申請書受理証明書（免許状を申請しているが、まだ手続上交付されていない者が授与申請した教育委員会に対して申請することにより交付される。）

令和６年度以前入学生の別表等
目　　次

１　履修関係様式

「全学共通科目履修登録願【２年次以上抽選希望申込】」・・・・・・　１０３

「履修登録修正願（修正期間用）」・・・・・・・・・・・・・・・・　１０４

「履修登録修正願（取消期間用）」・・・・・・・・・・・・・・・・　１０５

２　【博士前期課程】

「開講科目時間割表」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１０６

「授業科目一覧及び履修要件等」・・・・・・・・・・・・・・・・・　１０８

３　科目読替表等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１１４

４　別表第２

令和６年度・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１１５

令和５年度・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１２１

令和４年度・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１２７

令和３年度・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１３３

令和２年度・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１３９

平成３１年度・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１４５

５　別表第３（平成３１年度以降入学生）・・・・・・・・・・・・・・・・　１５１

全学共通科目履修登録願【2年次以上 抽選希望申込用】

工学部	提出日　　年　　月　　日	氏名
学籍番号 TB/TM		（携帯電話番号）

注意事項（学部生）
・2年次以上対象です。
・修得済単位が不足している区分の授業科目について記入してください。
・抽選希望申込以外の科目については、ユニバーサルパスポートで登録してください。（アンケート科目はアンケート申込）
・同一時限に複数申し込む場合は希望順を記入してください。
・他学部科目は別途手続きが必要です。

（　前期／後期　）開講科目

追　加		希望順
授業コード		
日程	曜日　　限	
科目名		

追　加		希望順
授業コード		
日程	曜日　　限	
科目名		

追　加		希望順
授業コード		
日程	曜日　　限	
科目名		

追　加		希望順
授業コード		
日程	曜日　　限	
科目名		

追　加		希望順
授業コード		
日程	曜日　　限	
科目名		

追　加		希望順
授業コード		
日程	曜日　　限	
科目名		

追　加		希望順
授業コード		
日程	曜日　　限	
科目名		

追　加		希望順
授業コード		
日程	曜日　　限	
科目名		

追　加		希望順
授業コード		
日程	曜日　　限	
科目名		

追　加		希望順
授業コード		
日程	曜日　　限	
科目名		

追　加		希望順
授業コード		
日程	曜日　　限	
科目名		

追　加		希望順
授業コード		
日程	曜日　　限	
科目名		

追　加		希望順
授業コード		
日程	曜日　　限	
科目名		

履 修 登 録 修 正 願(修正期間用)

工学部	提出日　　年　　月　　日	氏名
学籍番号 TB/TM		(携帯電話番号)

注意事項
(学部生) ・抽選・アンケート科目は修正期間には削除できません。

(前期／後期) 開講科目

削　除		追　加	
授業コード		授業コード	
日程	曜日　限	日程	曜日　限
科目名		科目名	
授業コード		授業コード	
日程	曜日　限	日程	曜日　限
科目名		科目名	
授業コード		授業コード	
日程	曜日　限	日程	曜日　限
科目名		科目名	
授業コード		授業コード	
日程	曜日　限	日程	曜日　限
科目名		科目名	
授業コード		授業コード	
日程	曜日　限	日程	曜日　限
科目名		科目名	
授業コード		授業コード	
日程	曜日　限	日程	曜日　限
科目名		科目名	
授業コード		授業コード	
日程	曜日　限	日程	曜日　限
科目名		科目名	
授業コード		授業コード	
日程	曜日　限	日程	曜日　限
科目名		科目名	
授業コード		授業コード	
日程	曜日　限	日程	曜日　限
科目名		科目名	
授業コード		授業コード	
日程	曜日　限	日程	曜日　限
科目名		科目名	

履 修 登 録 修 正 願(取消期間用)

工学部	提出日　　年　　月　　日	氏名
学籍番号 TB/TM		(携帯電話番号)

注意事項
(学部生)　・抽選・アンケート科目の削除ができます。(健康・スポーツ科学演習・アンケート科目(集中講義)は削除不可)

(　前期／後期　)　開講科目

削　除							追　加						
授業コード							授業コード						
日程	曜日					限	日程	曜日					限
科目名							科目名						
授業コード							授業コード						
日程	曜日					限	日程	曜日					限
科目名							科目名						
授業コード							授業コード						
日程	曜日					限	日程	曜日					限
科目名							科目名						
授業コード							授業コード						
日程	曜日					限	日程	曜日					限
科目名							科目名						
授業コード							授業コード						
日程	曜日					限	日程	曜日					限
科目名							科目名						
授業コード							授業コード						
日程	曜日					限	日程	曜日					限
科目名							科目名						
授業コード							授業コード						
日程	曜日					限	日程	曜日					限
科目名							科目名						
授業コード							授業コード						
日程	曜日					限	日程	曜日					限
科目名							科目名						
授業コード							授業コード						
日程	曜日					限	日程	曜日					限
科目名							科目名						
授業コード							授業コード						
日程	曜日					限	日程	曜日					限
科目名							科目名						
授業コード							授業コード						
日程	曜日					限	日程	曜日					限
科目名							科目名						
授業コード							授業コード						
日程	曜日					限	日程	曜日					限
科目名							科目名						

令和7年度　大学院 工学研究科（博士前期課程） 開講科目時間割表

（前　期）

兵庫県立大学

		月					火					水					木					金					
		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6
博士前期課程	電気物性工学専攻	341187 プラズマ放電工学 （菊池） B304	341903 プラズマ応用工学 （岡） B302	341560 電気物性工学特別実験1 （古賀）			341886 レーザーエネルギー工学 （古賀） B302	341147 応用システム工学 （古谷・南） B302	341904 グローバルコミュニケーション （本田、菅、鳥塚、松尾（直）福山 小林） 5202			341876 構造物性工学（堀田） B302 547330 機器分析学（安川）	341296 表面界面工学（吉田） B302 547720 分子細胞構造学（宮澤）	341902 技術戦略論（長野、久保、永松、濱口） 5202 7102	341756 電気系工学特別講義Ⅲ （米澤 藤原(一) 河田 辻） 隔週 6224		341306 電子物性工学 （藤澤） B302				341905 産学連携実践講義 （足立） 5203	341126 高電界誘電現象論 （上野） B302	341766 荷電粒子ビーム応用工学 （豊田） B302	341541 電気物性工学特別演習1 （菊池） B302	341906 医療健康工学概論 （小橋ほか）	341736 電気系工学特別講義Ⅰ （中嶋 上野林 大坂） B301	460998 臨床食環境栄養特論 （伊藤他）
	電子情報工学専攻	341386 高周波回路 （河合） B302	341516 知覚情報処理 （山添） B304	341520 電子情報工学特別実験1 （竹内） B302				341356 電磁環境システム工学 （山本（真）） B304	341904 グローバルコミュニケーション （本田、菅、鳥塚、松尾（直）福山 小林） 5202	341426 高信頼回路工学 （上浦） B304			341876 構造物性工学（堀田） B302 547330 機器分析学（安川）	341399 コンピュータビジョン（日浦） 6224 341296 表面界面工学（吉田） B302	341902 技術戦略論（長野、久保、永松、濱口） 5202 7102	341756 電気系工学特別講義Ⅲ （米澤 藤原(一) 河田 辻） 隔週 6224		341306 電子物性工学 （藤澤） B302	341446 医用画像工学基礎 （小橋、長宗） 6224			341905 産学連携実践講義 （足立） 5203	341476 知能工学 （礒川） 6223	341766 荷電粒子ビーム応用工学 （豊田） B302	341511 電子情報工学特別演習1 （上浦） B301 B304	341906 医療健康工学概論 （小橋ほか）	341736 電気系工学特別講義Ⅰ （中嶋 上野林 大坂） B301	460998 臨床食環境栄養特論 （伊藤他）
	機械工学専攻		342576 実験流体工学 （高垣） C301					342546 生産管理工学 （木村真） C301	342903 グローバルコミュニケーション （本田、菅、鳥塚、松尾（直）福山 小林） 5202	342111 機械工学特別演習Ⅰ （C319）			342566 インターフェイス工学（荒木） 6232 547720 分子細胞構造学（宮澤）	342902 技術戦略論（長野、久保、永松、濱口） 5202 7102			342166 応用弾性力学 （田中展） **C101**	342136 先進材料応用工学 （松本直） C101	342111 機械工学特別演習Ⅰ （6232）		342905 産学連携実践講義 （足立） 5203				342876 非線形振動論 （黒田） 6224 341906 医療健康工学概論（小橋ほか）		460998 臨床食環境栄養特論 （伊藤他）
	材料・放射光工学専攻	343456 材料強度物性学 土田 C105	342466 計算物理 （乾） 6336	342571 材料工学特別演習Ⅰ C301 342651 放射光工学特別演習Ⅰ 6223				343486 半導体薄膜工学 （部家） C105	342903 グローバルコミュニケーション （本田、菅、鳥塚、松尾（直）福山 小林） 5202				547330 機器分析学（安川）	341726 放射光材料解析（中西） C105 547720 分子細胞構造学（宮澤）	342902 技術戦略論（長野、久保、永松、濱口） 5202 7102			342756 量子物理工学 （住友） 6233	342326 表面物理化学 （盛谷） 6223	342591 材料工学特別演習Ⅱ C204 342671 放射光工学特別演習Ⅱ （中西他） C301		342905 産学連携実践講義 （足立） 5203	343716 放射光材料工学Ⅰ （原田（哲）） 5105	342636 量子統計物理学 （鈴木隆史） C201		341906 医療健康工学概論 （小橋ほか）		460998 臨床食環境栄養特論 （伊藤他）
	応用化学専攻	343196 応用材料化学 （梅山・潘） C101	343216 生物環境工学 （武尾） C101	343122 生化学特別演習Ⅰ C101					343903 グローバルコミュニケーション （本田、菅、鳥塚、松尾（直）、福山、小林） 5202			343556 応用化学特別講義 C101 547330 機器分析学（安川）	547720 分子細胞構造学（宮澤）	343902 技術戦略論（長野、久保、永松、濱口） 5202 7102			343306 応用物理化学 （松尾（吉）） C102	343206 応用生物工学（町田） 5423	343532 応用化学特別演習Ⅰ C101		343905 産学連携実践講義 （足立） 5203				341906 医療健康工学概論 （小橋ほか）		460998 臨床食環境栄養特論 （伊藤他）
	化学工学専攻		343286 無機固体化学 （嶺重） C105	343262 環境エネルギー工学特別演習Ⅰ C105			343340 熱化学Ⅰ （野崎） C204	343866 磁性材料化学 （菊池） C204	343903 グローバルコミュニケーション （本田、菅、鳥塚、松尾（直）、福山、小林） 5202	342266 エネルギー化学物理 （前田） 7105		343376 物質エネルギー工学特別講義（伊藤(和)他） 6224 547330 機器分析学（安川）	343316 固体表面工学Ⅰ（八重） 5104 547720 分子細胞構造学（宮澤）	343902 技術戦略論（長野、久保、永松、濱口） 5202 7102			343326 固体表面工学Ⅱ （福室） C402	342246 有機機能材料 （柿部） C302	343252 物質エネルギー工学特別演習Ⅰ C105		343905 産学連携実践講義 （足立） 5203		342446 微粒子工学 飯村 C204		341906 医療健康工学概論 （小橋ほか）		460998 臨床食環境栄養特論 （伊藤他）

集中講義日程

460101　コミュニティ・プランナー方法論　内平他　集中

270021　データヘルス　八木　集中

341856　ヒューマンインタフェース　才木　集中

*各時限（　1 = 9:00～10:30　2 = 10:40～12:10　3 = 13:00～14:30　4 = 14:40～16:10　5 = 16:20～17:50　）

令和7年度　大学院 工学研究科（博士前期課程）開講科目時間割表

（後　期）

兵庫県立大学

		月					火					水					木					金				
		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
博士前期課程	電気物性工学専攻	341786 光ナノテクノロジー 瀬戸浦 B302	460997 人間健康科学特論 （内田他）	341570 電気物性工学特別実験2 （古賀）			341776 先端固体電子工学 （中嶋） B302	341196 有機エレクトロニクス （多田） B302			341910 デジタルヘルス （藤田）	341896 ナノエレクトロニクス工学 （藤井） B304	341536 核融合エネルギー工学 （福本） B304 ISMH000101 病院情報システム特論（竹村、八木）					341316 ナノ電子材料 （本多） B302					341551 電気物性工学特別演習2 （菊池） B302	341746 電気系工学特別講義Ⅱ （菅野、川西） （隔週） B302		
	電子情報工学専攻	341786 光ナノテクノロジー 瀬戸浦 B302	460997 人間健康科学特論 （内田他）	341530 電子情報工学特別実験2 （竹内）			341776 先端固体電子工学 （中嶋） B302	341376 通信システム論 （相河） B301	341406 テラヘルツ波工学 （有川） B302		341910 デジタルヘルス （藤田）	341506 先端電子情報素子工学 （神田健） B302	341436 シミュレーション理論 （新居、森本（佳）） 6336 ISMH000101 病院情報システム特論（竹村、八木）					341316 ナノ電子材料 （本多） B302					341486 信号処理論 （森本雅） 6336	341521 電子情報工学特別演習2 （上浦） B304	341746 電気系工学特別講義Ⅱ （菅野、川西） （隔週） B302		
	機械工学専攻						342506 トライボロジー （阿保） C204	342316 ナノトライボロジー （木之下） C204	342121 機械工学特別演習Ⅱ C219		341910 デジタルヘルス （藤田）		342526 バイオメカニクス （比嘉） 6233 ISMH000101 病院情報システム特論（竹村、八木）	342156 熱機関工学 （山口義） 5105	342536 生産加工学 （布引） 6233		342426 熱流体エネルギー工学 （河南、浮田） C219		342186 熱流体工学 （木村文） 6224	342121 機械工学特別演習Ⅱ 6232			342406 材料加工学 （原田、田中（一）） C204	342746 応力解析学 （日下） C101	342556 ディジタル制御 （佐藤孝） 6233	
	材料・放射光工学専攻	342796 表面分析科学 （春山） 5424	342626 材質制御学 （足立） 5424	341167 電気系材料工学 （伊藤） C301					342581 材料工学特別演習Ⅲ C105 342661 放射光工学特別演習Ⅲ C101		341910 デジタルヘルス （藤田）	342696 高エネルギー光反応科学 （神田） 5221	343446 生体材料学 （三浦） 5221 ISMH000101 【2限】病院情報システム特論（竹村、八木）				342786 ナノテクノロジー論 （鈴木哲） C204	343506 材料設計工学 （永瀬） 5221	342601 材料工学特別演習Ⅳ C105 342681 放射光工学特別演習Ⅳ （中西） C302	342906 軟X線分光解析 （大河内） C105		342706 量子ビーム工学 （橋本智） C101	343726 放射光材料工学Ⅱ （山川）			
	応用化学専攻		343256 生命分子システム論 （今高） 5423 460997 人間健康科学特論 （内田他）	343123 生化学特別演習Ⅱ C219			343176 機能分子化学 （西田） 5101	343276 高分子構造化学 （近藤） 5101			341910 デジタルヘルス （藤田）	343166 分子システム化学 （中村） C101	343146 生体機能化学 （高田） C101 ISMH000101 病院情報システム特論（竹村、八木）						343543 応用化学特別演習Ⅱ C101				343266 高分子化学 （遊佐） C105			
	化学工学専攻		460997 人間健康科学特論 （内田他）	343263 環境エネルギー工学特別演習Ⅱ C204			342236 微粒子物性 （佐藤根） C101		343346 熱化学Ⅱ （山本（宏）） C102		341910 デジタルヘルス （藤田）	342716 先進複合材料 （岸） 6224	ISMH000101 病院情報システム特論（竹村、八木）				342866 流体計測法 （伊藤（和）） C402	342416 化学工学強度設計 （松田（聡）） C101	343253 物質エネルギー工学特別演習Ⅱ C319			342256 環境プロセス工学 （山本（拓）） C105		342436 移動現象工学 （新船） C204		

集中講義日程
270022　看護と保健政策　撫養ほか　土曜集中
460102　コミュニティ・プランナー方法論実践　内平　集中
460000　生徒指導実践特論　竹内和雄　集中

*各時限（　1 = 9:00～10:30　2 = 10:40～12:10　3 = 13:00～14:30　4 = 14:40～16:10　5 = 16:20～17:50　）

別表第１　（第５条、第８条関係）

電気物性工学専攻博士前期課程　　授業科目一覧及び履修要件等

区分	開講年次		科目名称	単位
電気物性工学専攻科目	必修	１・２	電気物性工学特別演習１	1
			電気物性工学特別演習２	1
			電気物性工学特別実験１	2
			電気物性工学特別実験２	2
	選択	１・２	高電界誘電現象論	2
			○ 応用システム工学	2
			○ プラズマ放電工学	2
			有機エレクトロニクス	2
			核融合エネルギー工学	2
			レーザーエネルギー工学	2
			ナノエレクトロニクス工学	2
			プラズマ応用工学	2
電気物性工学専攻／電子情報工学専攻共通科目	選択	１・２	表面界面工学	2
			電子物性工学	2
			ナノ電子材料	2
			構造物性工学	2
			荷電粒子ビーム応用工学	2
			先端固体電子工学	2
			電気系工学特別講義Ⅰ	2
			電気系工学特別講義Ⅱ	2
			電気系工学特別講義Ⅲ	2
			○ 光ナノテクノロジー	2
共通科目 全専攻	選択	１・２	ヒューマンインタフェース	2
			技術戦略論	2
			○ グローバルコミュニケーション	2
			産学連携実践講義	2
共通科目 先端医療工学研究所	選択	１・２	医療健康工学概論（※）	2
			機器分析学	2
			分子細胞構造学	2
			人間健康科学特論	2
			臨床食環境栄養特論	2
			看護と保健政策	2
			病院情報システム特論	2
			デジタルヘルス	2
			データヘルス	2
共通科目 CP	選択	１・２	コミュニティ・プランナー方法論	2
			コミュニティ・プランナー方法論実践	2

修了要件

必修科目（6単位）と各選択科目から合計30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。

「産学連携実践講義」、「コミュニティ・プランナー方法論」、「コミュニティ・プランナー方法論実践」は上記所要の30単位に加えないこと。

先端医療工学研究所共通科目のうち、「医療健康工学概論（※）」のみ上記所要の30単位に加えることができる。（他の8科目は上記所要の30単位には加えないこと）

全専攻共通科目と先端医療工学研究所共通科目のうち、4単位まで上記所要の30単位に算入することができる。

１年間に履修登録できる単位数の上限を34単位とする。ただし、修了所要単位に含まれない科目は34単位には含めない。

注　○印の科目は学部学生の履修可能科目

電子情報工学専攻博士前期課程　　授業科目一覧及び履修要件等

区分		開講年次	科目名称	単位
電子情報工学専攻科目	必修	１・２	電子情報工学特別演習１	1
			電子情報工学特別演習２	1
			電子情報工学特別実験１	2
			電子情報工学特別実験２	2
	選択	１・２	高信頼回路工学	2
			○ シミュレーション理論	2
			○ 医用画像工学基礎	2
			○ 知能工学	2
			信号処理論	2
			○ コンピュータビジョン	2
			先端電子情報素子工学	2
			知覚情報処理	2
			通信システム論	2
			高周波回路	2
			テラヘルツ波工学	2
			○ 電磁環境システム工学	2
電気物性工学専攻／電子情報工学専攻共通科目	選択	１・２	表面界面工学	2
			電子物性工学	2
			ナノ電子材料	2
			構造物性工学	2
			荷電粒子ビーム応用工学	2
			先端固体電子工学	2
			電気系工学特別講義Ⅰ	2
			電気系工学特別講義Ⅱ	2
			電気系工学特別講義Ⅲ	2
			○ 光ナノテクノロジー	2
全専攻共通科目	選択	１・２	ヒューマンインタフェース	2
			技術戦略論	2
			○ グローバルコミュニケーション	2
			産学連携実践講義	2
先端医療工学研究所共通科目	選択	１・２	医療健康工学概論（※1）	2
			機器分析学（※2）	2
			分子細胞構造学（※3）	2
			人間健康科学特論	2
			臨床食環境栄養特論	2
			看護と保健政策	2
			病院情報システム特論（※4）	2
			デジタルヘルス（※5）	2
			データヘルス（※6）	2
CP共通科目	選択	１・２	コミュニティ・プランナー方法論	2
			コミュニティ・プランナー方法論実践	2

修了要件

必修科目（6単位）と各選択科目から合計30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。

「産学連携実践講義」、「コミュニティ・プランナー方法論」、「コミュニティ・プランナー方法論実践」は上記所要の30単位に加えないこと

先端医療工学研究所共通科目のうち「医療健康工学概論（※1）」、「機器分析学（※2）」、「分子細胞構造学（※3）」、「病院情報システム特論（※4）」、「デジタルヘルス（※5）」、「データヘルス（※６）」は、2科目（4単位）を上限として、上記所要の30単位に加えることができる。（他の3科目は上記所要の30単位に加えないこと）

１年間に履修登録できる単位数の上限を34単位とする。ただし、修了所要単位に含まれない科目は34単位には含めない。

注　○印の科目は学部学生の履修可能科目

機械工学専攻博士前期課程　　授業科目一覧及び履修要件等

区分	開講年次		科目名称	単位
機械工学専攻科目	必修	１・２	機械工学特別演習Ⅰ	4
			機械工学特別演習Ⅱ	4
	選択	１・２	熱機関工学	2
			応用弾性力学	2
			バイオメカニクス	2
			○ 熱流体工学	2
			熱流体エネルギー工学	2
			材料加工学	2
			○ トライボロジー	2
			数値乱流輸送工学	2
			応力解析学	2
			生産管理工学	2
			非線形振動論	2
			ナノトライボロジー	2
			生産加工学	2
			○ ディジタル制御	2
			インターフェイス工学	2
			実験流体工学	2
			先進材料応用工学	2
全専攻共通科目	選択	１・２	ヒューマンインタフェース	2
			技術戦略論	2
			○ グローバルコミュニケーション	2
			産学連携実践講義	2
先端医療工学研究所共通科目	選択	１・２	医療健康工学概論（※）	2
			機器分析学	2
			分子細胞構造学	2
			人間健康科学特論	2
			臨床食環境栄養特論	2
			看護と保健政策	2
			病院情報システム特論	2
			デジタルヘルス	2
			データヘルス	2
CP共通科目	選択	１・２	コミュニティ・プランナー方法論	2
			コミュニティ・プランナー方法論実践	2

修了条件

必修科目（8単位）と各選択科目から合計30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。

「ヒューマンインタフェース」「産学連携実践講義」は上記所要の30単位には加えないこと。

先端医療工学研究所共通科目のうち、「医療健康工学概論（※）」のみ上記所要の30単位に加えることができる。（他の8科目は上記所要の30単位に加えないこと）

CP共通科目は、上記所要の30単位に加えられない。

１年間に履修登録できる単位数の上限を34単位とする。ただし、修了所要単位に含まれない科目は34単位には含めない。

注　○印の科目は学部学生の履修可能科目

材料・放射光工学専攻博士前期課程　　授業科目一覧及び履修要件等

区分		開講年次	科目名称	単位
材料・放射光工学専攻科目	選択	１・２	材料工学特別演習Ⅰ	2
			材料工学特別演習Ⅱ	2
			材料工学特別演習Ⅲ	2
			材料工学特別演習Ⅳ	2
			放射光工学特別演習Ⅰ	2
			放射光工学特別演習Ⅱ	2
			放射光工学特別演習Ⅲ	2
			放射光工学特別演習Ⅳ	2
			○ 材料強度物性学	2
			○ 材料設計工学	2
			○ 量子物理工学	2
			固体物性論	2
			半導体物性工学	2
			○ 材料組織学	2
			○ 材質制御学	2
			半導体薄膜工学	2
			量子統計物理学	2
			表面物理化学	2
			計算物理	2
			生体材料学	2
			電気系材料工学	2
			高エネルギー光反応科学	2
			量子ビーム工学	2
			ナノテクノロジー論	2
			軟X線分光解析	2
			放射光材料工学Ⅰ	2
			放射光材料工学Ⅱ	2
			表面分析科学	2
			放射光材料解析	2
共通科目 全専攻	選択	１・２	ヒューマンインタフェース	2
			技術戦略論	2
			○ グローバルコミュニケーション	2
			産学連携実践講義	2
共通科目 先端医療工学研究所	選択	１・２	医療健康工学概論（※1）	2
			機器分析学（※2）	2
			分子細胞構造学（※3）	2
			人間健康科学特論	2
			臨床食環境栄養特論	2
			看護と保健政策	2
			病院情報システム特論	2
			デジタルヘルス	2
			データヘルス	2
共通科目 CP	選択	１・２	コミュニティ・プランナー方法論	2
			コミュニティ・プランナー方法論実践	2

修了要件

各選択科目から合計30単位以上を修得し(＊)、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。

「ヒューマンインタフェース」，「コミュニティ・プランナー方法論」，「コミュニティ・プランナー方法論実践」は上記所要の30単位には加えないこと。

先端医療工学研究所共通科目のうち「医療健康工学概論（※1）」、「機器分析学（※2）」、「分子細胞構造学（※3）」は、3科目（6単位）を上限として、上記所要の30単位に加えることができる。（他の6科目は上記所要の30単位には加えないこと）

＊ 材料工学特別演習Ⅰ,Ⅲまたは放射光工学特別演習Ⅰ,Ⅲのどちらかを必ず選択。
　材料工学特別演習Ⅱ,Ⅳまたは放射光工学特別演習Ⅱ,Ⅳのどちらかを必ず選択。

１年間に履修登録できる単位数の上限を34単位とする。ただし、修了所要単位に含まれない科目は34単位には含めない。

注　○印の科目は学部学生の履修可能科目

応用化学専攻博士前期課程　　授業科目一覧及び履修要件等

区分	開講年次		科目名称	単位
応用化学専攻科目	必修	１・２	応用化学特別演習Ⅰ	2
			応用化学特別演習Ⅱ	2
			生化学特別演習Ⅰ	2
			生化学特別演習Ⅱ	2
	選択	１・２	生体機能化学	2
			生命分子システム論	2
			分子システム化学	2
			○ 機能分子化学	2
			光機能分子化学	2
			応用材料化学	2
			応用生物工学	2
			○ 生物環境工学	2
			高分子化学	2
			応用化学特別講義	2
			高分子構造化学	2
			○ 応用物理化学	2
全専攻共通科目	選択	１・２	ヒューマンインタフェース	2
			技術戦略論	2
			○ グローバルコミュニケーション	2
			産学連携実践講義	2
先端医療工学研究所共通科目	選択	１・２	医療健康工学概論（※1）	2
			機器分析学（※2）	2
			分子細胞構造学（※3）	2
			人間健康科学特論	2
			臨床食環境栄養特論	2
			看護と保健政策	2
			病院情報システム特論	2
			デジタルヘルス（※4）	2
			データヘルス（※5）	2
CP共通科目	選択	１・２	コミュニティ・プランナー方法論	2
			コミュニティ・プランナー方法論実践	2

修了要件

必修科目（8単位）と各選択科目から合計30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。

「ヒューマンインタフェース」と「産学連携実践講義」と「CP共通科目」は上記所要の30単位には加えないこと。

先端医療工学研究所共通科目のうち「医療健康工学概論（※1）」、「機器分析学（※2）」、「分子細胞構造学（※3）」、「デジタルヘルス（※4）」、「データヘルス（※5）」は、1科目（2単位）を上限として、上記所要の30単位に加えることができる。（他の4科目は上記所要の30単位には加えないこと）

１年間に履修登録できる単位数の上限を34単位とする。ただし、修了所要単位に含まれない科目は34単位には含めない。

注　○印の科目は学部学生の履修可能科目

化学工学専攻博士前期課程　　授業科目一覧及び履修要件等

区分	開講年次		科目名称	単位
化学工学専攻科目	必修	1・2	物質エネルギー工学特別演習Ⅰ	2
			物質エネルギー工学特別演習Ⅱ	2
			環境エネルギー工学特別演習Ⅰ	2
			環境エネルギー工学特別演習Ⅱ	2
	選択	1・2	物質エネルギー工学特別講義	2
			無機固体化学	2
			固体表面工学Ⅰ	2
			固体表面工学Ⅱ	2
			熱化学Ⅰ	2
			○ 熱化学Ⅱ	2
			熱化学Ⅲ	2
			○ 微粒子工学	2
			流体計測法	2
			エネルギー化学物理	2
			化学工学強度設計	2
			先進複合材料	2
			磁性材料化学	2
			移動現象工学	2
			環境プロセス工学	2
			有機機能材料	2
			微粒子物性	2
			プロセス解析工学	2
共通科目 全専攻	選択	1・2	ヒューマンインタフェース	2
			技術戦略論	2
			○ グローバルコミュニケーション	2
			産学連携実践講義	2
共通科目 先端医療工学研究所	選択	1・2	医療健康工学概論（※1）	2
			機器分析学（※2）	2
			分子細胞構造学（※3）	2
			人間健康科学特論	2
			臨床食環境栄養特論	2
			看護と保健政策	2
			病院情報システム特論	2
			デジタルヘルス（※4）	2
			データヘルス（※5）	2
共通科目 CP	選択	1・2	コミュニティ・プランナー方法論	2
			コミュニティ・プランナー方法論実践	2

修了要件

必修科目（8単位）と各選択科目から合計30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。

「ヒューマンインタフェース」、「産学連携実践講義」、「コミュニティ・プランナー方法論」、「コミュニティ・プランナー方法論実践」は上記所要の30単位には加えないこと。

先端医療工学研究所共通科目のうち「医療健康工学概論（※1）」、「機器分析学（※2）」、「分子細胞構造学（※3）」、「デジタルヘルス（※4）」、「データヘルス（※5）」は、1科目（2単位）を上限として、上記所要の30単位に加えることができる。（他の4科目は上記所要の30単位には加えないこと）

１年間に履修登録できる単位数の上限を34単位とする。ただし、修了所要単位に含まれない科目は34単位には含めない。

注　○印の科目は学部学生の履修可能科目

３．科目読替表等

（電気電子情報工学科）

H29年度以降入学生科目	H31年度以降開講科目
生体情報処理工学	人工知能
物性論	電子物性論

H29年度以降入学生科目	R2年度以降開講科目
論理数学	離散数学

（機械・材料工学科）

H29年度以降入学生科目	H31年度以降開講科目
生体材料計測演習工学	生体材料計測工学

H29年度以降入学生科目	R2年度以降開講科目
材料強度安全工学	材料強度学
物理化学	物理化学Ⅰ
金属材料工学	結晶塑性学
材料物理Ⅰ	物性物理Ⅰ
材料物理Ⅱ	物性物理Ⅱ
金属材料学Ⅰ	鉄鋼材料学
金属材料学Ⅱ	非鉄金属材料学
材料組織・粉体工学	材料組織工学
エネルギー材料工学	物性物理Ⅲ
材料計測制御工学	半導体工学
電気反応化学	物理化学Ⅲ
量子反応工学	量子磁性材料
微細加工工学	X線回析学

（応用化学工学科）

H29年度以降入学生科目	R2年度以降開講科目
反応化学工学	反応工学
生物工学Ⅱ	遺伝子工学
生物工学Ⅰ	生物工学
材料分離工学	分離工学
固体・粉体物性	粉粒体工学
材料・流体計測	流体工学
材料レオロジー工学	粘性流体力学
力学Ⅰ	基礎物理学Ⅰ
電磁気学	基礎物理学Ⅱ
力学Ⅱ	基礎物理学Ⅲ

H29年度以降入学生科目	R4年度以降開講科目
無機材料化学（A） ※応用化学コース	無機材料化学
無機材料化学（B） ※化学工学コース	無機材料化学

別表第2（第7条、第26条、第27条関係）

電気電子情報工学科　　（6年度入学生）

区分		授業科目の名称	開講年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	備考
専門基礎科目	選択Ⅰ	代数学Ⅰ	1		2		22単位以上修得
		代数学Ⅱ	1		2		
		解析学Ⅰ	1		2		
		解析学Ⅱ	1		2		
		力学	1		2		
		振動・波動論	1		2		
		基礎化学	2		2		
		熱・統計力学	2		2		
		応用解析学Ⅰ	2		2		
		応用解析学Ⅱ	2		2		
		確率・統計	2		2		
		幾何学	2		2		
		複素解析学	2		2		
		量子力学	2		2		
		生命科学	2		2		
		地球システム科学	2		2		
	選択Ⅱ	工業経済学	2		2		2単位以上修得
		工学倫理	2		2		
		環境安全工学	2		2		
		科学・技術論	2		2		
		グローバルエンジニアリング※	2		2		※GLEP生優先
		英語論文作成※	2		2		※GLEP生優先
		知的財産権	4		2		
	自由科目	インターンシップ	3			2	（注参照）
		実験英語※	3			2	※GLEP生のみ
		卒論英語※	4			2	※GLEP生のみ
		シンクロトロン放射光工学	4			2	
専門教育科目	学科共通科目（必修）	計算機基礎	1	2			24単位必修
		プログラミング演習	1	1			
		プログラミング論Ⅰ	1	2			
		電気回路基礎	1	2			
		電気回路Ⅰ	1	2			
		電気回路演習	1	1			
		電磁気学基礎	1	2			
		電磁気学演習	2	1			
		コンピュータ実習１	2	1			
		電気系基礎実験Ⅰ	2	2			
		電気系基礎実験Ⅱ	2	2			
		基礎電気電子計測	2	2			
		電気工学思考型実験	3	2			電気工学コース必修
		電気工学知識探求型実験	3	2			
		電子工学実験	3	2			電子情報工学コース必修
		情報工学実験	3	2			
		卒業研究	4	6			６単位必修

注：「自由科目」は卒業条件及びすべての許可条件の所要単位に算入されない。

区分			授業科目の名称	開講年次	単位数 必修	単位数 選択	備考
専門教育科目	学科共通科目	選択Ⅲ	電磁気学Ⅰ	2		2	両コースとも、共通
			情報理論	2		2	及びコース科目から
			離散数学	2		2	42単位以上修得
			電気回路Ⅱ	2		2	うち
			電気回路Ⅲ	2		2	共通18単位以上
			電気系数学	2		2	コース14単位以上
			基礎電子物理	2		2	（自コース12単位以上）
			電子回路Ⅰ	2		2	
			電磁気学Ⅱ	2		2	
			コンピュータ実習2	2		1	
			プログラミング論Ⅱ	2		2	
			データ構造とアルゴリズム論	2		2	
			情報通信工学	3		2	
			制御システムⅠ	3		2	
			情報回路	3		2	
			電気電子計測	3		2	
	電気工学コース科目	選択Ⅳ	高電圧・絶縁システム	3		2	
			電力輸送工学Ⅰ	3		2	
			電力輸送工学Ⅱ	3		2	
			制御システムⅡ	3		2	
			電力発生工学	3		2	
			電力技術	3		2	
			電力変換	3		2	
			電磁変換工学	3		2	
			電機設計	4		2	
			電気法規	4		2	
			電子物性論	3		2	
			半導体デバイスⅠ	3		2	
			電気系材料工学	3		2	
			半導体デバイスⅡ	3		2	
			集積回路	3		2	
			電子回路Ⅱ	3		2	
	電子情報工学コース科目	選択Ⅳ	電子物性論	3		2	
			電子回路Ⅱ	3		2	
			マイクロ波工学	3		2	
			アンテナ電波伝搬	3		2	
			光波電子工学	3		2	
			応用電子工学	3		2	
			フォトニクス工学	3		2	
			電波法規	4		2	
			デジタル信号処理	3		2	
			デジタル通信システム	3		2	
			オペレーティングシステム	3		2	
			計算機アーキテクチャ	3		2	
			コンピュータ実習３	3		1	
			画像メディア工学	3		2	
			人工知能	3		2	
			システム設計言語	3		2	

工学部電気電子情報工学科　2年次コース配属許可条件・卒業研究履修許可条件・卒業条件　　（6年度入学生）

科目区分と授業科目					2年次コース配属許可条件	卒業研究履修許可条件			卒業条件	
					必要単位数	必要単位数			必要単位数	
全学共通科目	自主自律支援科目		必　修	基礎ゼミナール	30 教職に関する科目は含めることができない。 コース配属は、上記単位を修得のうえ、希望と成績で決定。	=2	2	28 *3 教職に関する科目は含めることできない。	卒業研究履修許可条件と同じ	124
			選　択	キャリアデザイン入門						
	グローバル化時代のアカデミックスキル科目	英語コア科目	選　択 必　修	Reading and Discussion 1･2 Listening and Speaking 1･2 Writing 1･2		6	8			
		選択英語	選択	TOEIC 総合 1･2 Intensive English 1・2						
			選択	科学技術英語１・２ 英語海外研修 英語実習・英語表現						
		外国語	選　択	外国語　1･2						
		統計･情報	必　修	情報処理基礎		=2				
	教養教育科目	人間性の基盤教育科目	選　択	人と文化		2	14 *2			
				人と社会		2				
				人と自然		2				
				人と健康						
		ひょうご県大特色科目	選　択	地域課題探究科目 グローバル教育科目 防災教育科目 （３科目群のうち２科目群から4単位以上）		4 *1				
専門基礎科目	選択Ⅰ					18		110 *5 教職に関する科目は含めることができない。	22	
	選択Ⅱ								2	
専門教育科目	学科共通科目		必　修	３年実験科目 電気工学コース：電気工学思考型実験、電気工学知識探究型実験 電子情報工学コース：電子工学実験、情報工学実験 （※3年実験科目を履修するためには、電気系基礎実験I, IIを修得している必要がある。）		=4	22		=24	
				上記以外の必修科目		18				
			選択Ⅲ			14	34 *4		18	42 *6
	コース別科目		選択Ⅳ	自コース科目		8			12	14
				他コース科目						
	卒業研究		必　修	※履修するためには卒業研究履修許可条件を満たしている必要がある。					=6	

※ = を付した単位数は必修科目で、その単位数を超える履修ができないものを示し、それ以外はその値以上の単位を習得するものとする。
※履修登録できる単位数の上限を前期26単位、後期26単位、かつ年間50単位とする。ただし、集中講義による授業科目および卒業所要単位数に算入されない授業科目は、これに含めない

*1 ひょうご県大特色科目については、地域課題探求、グローバル教育および防災教育の３分野のうち２分野以上から４単位以上を修得していること。
*2 左欄の合計（10単位）に加え、教養教育科目からさらに4単位を修得し、合計14単位を修得していること。
*3 左欄の合計（24単位）に加え、全学共通科目からさらに4単位を修得し、合計28単位を修得していること。
*4 左欄の合計（22単位）に加え、選択Ⅲまたは選択Ⅳからさらに12単位を修得し、合計34単位を修得していること。
*5 左欄の合計（102単位）に加え、さらに8単位を修得し、合計110単位を修得していること。
*6 左欄の合計（32単位）に加え、選択Ⅲまたは選択Ⅳからさらに10単位を修得し、合計42単位を修得していること。

別表第2（第7条、第26条、第27条関係）

機械・材料工学科　　（6年度入学生）

区分			授業科目の名称	開講年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	備考
専門基礎科目	Ⅰ		代数学Ⅰ	1	2			8単位必修。
			解析学Ⅰ	1	2			
			解析学Ⅱ	1	2			
			応用解析学Ⅰ	2	2			
			代数学Ⅱ	1		2		8単位以上修得。
			幾何学	2		2		
			複素解析学	2		2		
			応用解析学Ⅱ	2		2		
			確率・統計	2		2		
			数値解析	3		2		
	Ⅱ		力学Ⅰ	1	2			6単位必修。
			力学Ⅱ	1	2			
			電磁気学	2	2			
			基礎化学Ⅰ	1		2		4単位以上修得。
			基礎化学Ⅱ	1		2		
			生命科学	2		2		
			地球システム科学	2		2		
			現代物理学	2		2		
			振動・波動論	2		2		
	工学関連科目	必修	工学倫理	2	2			5単位必修。
			機械・材料工学概論	1	2			
			プログラミング演習	1	1			
		選択	工業経済学	2		2		4単位以上修得。
			グローバルエンジニアリング※	2		2		※GLEP生優先
			英語論文作成※	2		2		※GLEP生優先
			シンクロトロン放射光工学	3		2		
			知的財産権	3		2		
			科学・技術論	4		2		
		自由	インターンシップ	3			2	（注参照）
			実験英語※	3			2	※GLEP生のみ
			卒論英語※	4			2	※GLEP生のみ
	実践基礎科目		機械工作実習	1	1			6単位必修。
			機械・材料工学実験	1	1			
			力学Ⅰ演習	1	1			
			力学Ⅱ演習	1	1			
			機械設計製図Ⅰ	2	2			
専門教育科目	機械工学コース	必修	機械設計製図Ⅱ	2	2			25単位必修。
			機械設計演習	2	1			
			材料力学Ⅰ	2	2			
			流体力学Ⅰ	2	2			
			熱力学Ⅰ	2	2			
			機械力学Ⅰ	2	2			
			制御工学Ⅰ	2	2			
			総合機械工学	3	2			
			機械工学実験	3	1			
			創造設計演習Ⅰ	3	3			
			創造設計演習Ⅱ	3	3			
			創造設計工作実習	3	1			
			機械工学演習※	4	2			※卒研履修許可者のみ

注：「自由科目」は卒業条件及びすべての許可条件の所要単位に算入されない。

区分			授業科目の名称	開講年次	単位数 必修	単位数 選択	備考
専門教育科目	機械工学コース	選択Ⅰ	材料力学Ⅱ	2		2	10単位以上修得。
			流体力学Ⅱ	2		2	
			熱力学Ⅱ	2		2	
			機械加工学	2		2	
			機械設計Ⅰ	2		2	
			機械設計Ⅱ	3		2	
			機械力学Ⅱ	3		2	
			制御工学Ⅱ	3		2	
		選択Ⅱ	電気電子工学概論	3		2	10単位以上修得。
			数値流体力学	3		2	
			機械材料学	3		2	
			固体力学	3		2	
			伝熱工学	3		2	
			メカトロニクス	3		2	
			計測工学	4		2	
			自動車工学	4		2	
		材料基礎科目	基礎材料工学Ⅰ	2		2	4単位以上修得。
			基礎材料工学Ⅱ	2		2	
			基礎材料工学Ⅲ	2		2	
			鉄鋼材料学	3		2	
			非鉄金属材料学	3		2	
	材料工学コース	必修	基礎材料工学Ⅰ	2	2		26単位必修。
			基礎材料工学Ⅱ	2	2		
			基礎材料工学Ⅲ	2	2		
			物性物理Ⅰ	2	2		
			物性物理Ⅱ	2	2		
			物理化学Ⅰ	2	2		
			材料強度学	3	2		
			鉄鋼材料学	3	2		
			非鉄金属材料学	3	2		
			材料工学実験Ⅰ	2	2		
			材料工学実験Ⅱ	3	2		
			材料工学実験Ⅲ	3	2		
			科学英語※	4	2		※卒研履修許可者のみ
		選択	X線回折学	2		2	19単位以上修得。
			物理化学Ⅱ	3		2	ただし、機械基礎科目
			物理化学Ⅲ	3		2	2単位のみ修得の
			物性物理Ⅲ	3		2	場合は21単位以上
			量子磁性材料	3		2	修得のこと。
			材料組織工学	3		2	
			計算材料学	3		2	
			半導体工学	3		2	
			結晶塑性学	3		2	
			電気化学	3		2	
			加速器科学	3		2	
			放射光科学	3		2	
			生体材料計測工学	3		2	
			プレゼンテーション演習	4		1	
		機械基礎科目	材料力学Ⅰ	2		2	4単位以上修得。
			熱力学Ⅰ	2		2	ただし、2単位のみ
			機械力学Ⅰ	2		2	修得の場合は、選択
			機械加工学	2		2	科目21単位以上
			機械設計Ⅰ	2		2	修得のこと。
	学科共通		卒業研究	4	6		6単位必修。

工学部機械・材料工学科　2年次コース配属許可条件・卒業研究履修許可条件・卒業条件　　（6年度入学生）

科目区分と授業科目					2年次コース配属許可条件	卒業研究履修許可条件			卒業条件	
					必要単位数　合計	必要単位数		合計	必要単位数	合計
全学共通科目	自主自律支援科目		必　修	基礎ゼミナール	30 教職に関する科目は含めることができない。 コース配属は、上記単位を修得のうえ、希望と成績で決定。 全学共通の科目を最大28単位とし、30単位未満の単位修得学生にはコース履修を認めない。	=2	2	28 *3 教職に関する科目は含めることができない。	110 教職に関する科目は含めることができない。	卒業研究履修許可条件と同じ	124
			選　択	キャリアデザイン入門						
	グローバル化時代のアカデミックスキル科目	英語コア科目	選　択 必　修	Reading and Discussion 1･2 Listening and Speaking 1･2 Writing 1･2		6	8			
		選択英語	選択	TOEIC 総合 1･2 Intensive English 1・2						
			選　択	科学技術英語１・２ 英語海外研修 英語実習・英語表現						
		外国語	選　択	外国語　1･2						
		統計･情報	必　修	情報処理基礎		=2				
	教養教育科目	人間性の基盤教育科目	選　択	人と文化		2	14 *2			
				人と社会		2				
				人と自然		2				
				人と健康						
		ひょうご県大特色科目	選　択	地域課題探究科目 グローバル教育科目 防災教育科目 （３科目群のうち２科目群から4単位以上）		4 *1				
専門基礎	Ⅰ		必　修			=8	41			
			選　択			8				
	Ⅱ		必　修			=6				
			選　択			4				
	工学関連科目		必　修			=5				
			選　択			4				
	実践基礎科目		必　修			=6				
	機械工学コース		必　修			23	41		=25	55
			選択Ⅰ			8			10	
			選択Ⅱ	※卒業研究履修許可条件：材料基礎科目が2単位の場合は、選択Ⅱ科目8単位以上取得をもって代えることができる。		6	10		10	14
			材料基礎			4			4	
			卒業研究	※卒業研究履修許可者のみ					=6	
	材料工学コース		必　修	※卒業研究履修許可条件には材料工学実験Ⅰ、材料工学実験Ⅱ、材料工学実験Ⅲを含まなければならない。		22	41		=26	55
			選　択	※卒業研究履修許可条件：機械基礎科目が2単位の場合は、選択科目17単位以上取得をもって代えることができる。 ※卒業条件：機械基礎科目が2単位の場合は、選択科目21単位以上取得をもって代えることができる。		15	19		19	23
			機械基礎			4			4	
			卒業研究	※卒業研究履修許可者のみ					=6	

※ = を付した単位数は必修科目で、その単位数を超える履修ができないものを示し、それ以外はその値以上の単位を習得するものとする。
※履修登録できる単位数の上限を前期26単位、後期26単位、かつ年間50単位とする。ただし、集中講義による授業科目および卒業所要単位数に算入されない授業科目は、これに含めない。
※配属は希望と成績により決定する。全学共通の科目を最大28単位とし、30単位未満の単位修得学生にはコース履修を認めない。
*1 ひょうご県大特色科目については、地域課題探求、グローバル教育および防災教育の３分野のうち２分野以上から４単位以上を修得していること。
*2 左欄の合計（10単位）に加え、教養教育科目からさらに4単位を修得し、合計14単位を修得していること。
*3 左欄の合計（24単位）に加え、全学共通科目からさらに4単位を修得し、合計28単位を修得していること。

別表第2（第7条、第26条、第27条関係）

応用化学工学科　　（6年度入学生）

区分			授業科目の名称	開講年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	備考
専門基礎科目		必修	代数学Ⅰ	1	2			18単位必修。
			解析学Ⅰ	1	2			
			基礎物理学Ⅰ	1	2			
			基礎物理学Ⅱ	1	2			
			応用化学概論Ⅰ	1	2			
			応用化学概論Ⅱ	1	2			
			化学工学概論Ⅰ	1	2			
			化学工学概論Ⅱ	1	2			
			化学実験	1	2			
		選択	代数学Ⅱ	1		2		８単位以上修得。
			解析学Ⅱ	1		2		
			応用解析学Ⅰ	2		2		
			量子論入門	1		2		
			基礎物理学Ⅲ	2		2		
			工業経済学	2		2		
			電気電子工学概論	2		2		
			幾何学	2		2		
			地球システム科学	2		2		
			生命科学	2		2		
			工学倫理	2		2		
			グローバルエンジニアリング※	2		2		※GLEP生優先
			英語論文作成※	2		2		※GLEP生優先
			知的財産権	4		2		
			科学・技術論	4		2		
		その他	シンクロトロン放射光工学	3			2	（注参照）
			実験英語※	3			2	※GLEP生のみ
			卒論英語※	4			2	※GLEP生のみ
専門教育科目	学科共通科目	必修	物理化学Ⅰ	2	2			14単位必修。
			無機化学Ⅰ	2	2			
			有機化学Ⅰ	2	2			
			物理化学Ⅱ	2	2			
			無機化学Ⅱ	2	2			
			有機化学Ⅱ	2	2			
			科学英語	4	2			
		その他	インターンシップ	3			2	（注参照）
			生物学実験	4			1	
			地学実験	4			1	
		必修	卒業研究	4	6			６単位必修。

注：「自由科目」は卒業条件及びすべての許可条件の所要単位に算入されない。

区分			授業科目の名称	開講年次	単位数 必修	単位数 選択	備考
専門教育科目	応用化学コース	必修	分析化学Ⅰ	2	2		24単位必修。
			分析化学Ⅱ	2	2		
			生物化学Ⅰ	2	2		
			生物化学Ⅱ	2	2		
			高分子化学Ⅰ	2	2		
			高分子化学Ⅱ	2	2		
			学生実験Ⅰ	2	2		
			学生実験Ⅱ	2	2		
			学生実験Ⅲ	3	4		
			学生実験Ⅳ	3	4		
		選択	物理化学Ⅲ	3		2	他コース科目を含めて26単位以上修得。（ただし、自コース科目から２０単位以上修得が必要）
			無機化学Ⅲ	3		2	
			有機化学Ⅲ	3		2	
			有機分光学	3		2	
			有機材料化学	3		2	
			高分子材料化学	3		2	
			光化学	3		2	
			生物化学Ⅲ	3		2	
			生物工学	3		2	
			遺伝子工学	3		2	
			量子化学	3		2	
			電気化学（B）	3		2	
	化学工学コース	必修	化学工学	2	2		24単位必修。
			反応工学	2	2		
			金属学	2	2		
			製図学	2	2		
			化学工学プログラミング	2	2		
			工業数学	2	2		
			化学熱力学	3	2		
			電気化学（A）	3	2		
			物質創成工学Ⅰ	3	2		
			化学工学設計演習	3	2		
			物理学実験	2	2		
			化学工学実験	3	2		
		選択	構造解析学	2		2	他コース科目を含めて26単位以上修得。（ただし、自コース科目から２０単位以上修得が必要）
			流体工学	2		2	
			移動現象論	2		2	
			物質創成工学Ⅱ	3		2	
			物質創成工学Ⅲ	3		2	
			固体表面科学	3		2	
			無機材料化学	3		2	
			材料力学	3		2	
			分離工学	3		2	
			金属伝熱物理	3		2	
			粉粒体工学	3		2	
			粘性流体力学	3		2	
			高分子材料工学	3		2	

工学部応用化学工学科　2年次コース配属許可条件・卒業研究履修許可条件・卒業条件　　（6年度入学生）

<table>
<tr><th colspan="5" rowspan="2">科目区分と授業科目</th><th rowspan="2">2年次コース
配属許可条件</th><th colspan="4">卒業研究
履修許可条件</th><th colspan="2">卒業条件</th></tr>
<tr><th>必要単位数</th><th colspan="2">合計</th><th colspan="2">必要単位数</th><th colspan="2">合計</th><th>必要単位数</th><th>合計</th></tr>
<tr><td rowspan="13">全学共通科目</td><td colspan="2" rowspan="2">自主自律支援科目</td><td>必　修</td><td>基礎ゼミナール</td><td rowspan="13">30
教職に関する科目は含めることができない。
コース配属は、上記単位を修得のうえ、希望と成績で決定
配属許可者のみが専門教育科目を履修できる</td><td>=2</td><td rowspan="2">2</td><td rowspan="13">28
*3
教職に関する科目は含めることができない。</td><td rowspan="13">110
*4
教職に関する科目は含めることができない。</td><td rowspan="13">卒業研究履修
許可条件と同じ</td><td rowspan="13">124</td></tr>
<tr><td>選　択</td><td>キャリアデザイン入門</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="6">グローバル化時代のアカデミックスキル科目</td><td rowspan="3">英語コア科目</td><td>選　択
必　修</td><td>Reading and Discussion 1･2
Listening and Speaking 1･2
Writing 1･2</td><td>6</td><td rowspan="6">8</td></tr>
<tr><td rowspan="2">選　択</td><td>TOEIC 総合 1･2
Intensive English 1・2</td></tr>
<tr><td rowspan="2">選択英語</td><td>科学技術英語１・２
英語海外研修
英語実習・英語表現</td><td></td></tr>
<tr><td>外国語</td><td>選　択</td><td>外国語　1･2</td><td></td></tr>
<tr><td>統計･情報</td><td>必　修</td><td>情報処理基礎</td><td>=2</td></tr>
<tr><td rowspan="5">教養教育科目</td><td rowspan="4">人間性の基盤教育科目</td><td rowspan="4">選　択</td><td>人と文化</td><td>2</td><td rowspan="5">14
*2</td></tr>
<tr><td>人と社会</td><td>2</td></tr>
<tr><td>人と自然</td><td>2</td></tr>
<tr><td>人と健康</td><td></td></tr>
<tr><td>ひょうご県大特色科目</td><td>選　択</td><td>地域課題探究科目
グローバル教育科目
防災教育科目
（３科目群のうち２科目群から4単位以上）</td><td>4
*1</td></tr>
<tr><td rowspan="2">専門基礎科目</td><td colspan="3">必　修</td><td></td><td>14
化学実験を必ず修得</td><td rowspan="2">22</td><td>=18</td><td rowspan="2">26</td></tr>
<tr><td colspan="3">選　択</td><td></td><td>8</td><td>8</td></tr>
<tr><td rowspan="4">専門教育科目</td><td colspan="2">学科共通科目</td><td>必　修</td><td>※卒業研究は含まない。
※科学英語は卒業研究履修許可者のみ履修できる。</td><td rowspan="4"></td><td></td><td>10</td><td></td><td>14</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="3">コース別科目</td><td>必　修</td><td></td><td></td><td>22</td><td></td><td>=24</td></tr>
<tr><td rowspan="2">選　択</td><td>自コース配当科目</td><td>16</td><td rowspan="2">24</td><td>20</td><td rowspan="2">26</td></tr>
<tr><td>他コース配当科目</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">卒業研究</td><td>必　修</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>=6</td></tr>
</table>

※ = を付した単位数は必修科目で、その単位数を超える履修ができないものを示し、それ以外はその値以上の単位を習得するものとする。
※履修登録できる単位数の上限を前期26単位、後期26単位、かつ年間50単位とする。ただし、集中講義による授業科目および卒業所要単位数に算入されない授業科目は、これに含めない。

*1 ひょうご県大特色科目については、地域課題探求、グローバル教育および防災教育の３分野のうち２分野以上から４単位以上を修得していること。
*2 左欄の合計（10単位）に加え、教養教育科目からさらに4単位を修得し、合計14単位を修得していること。
*3 左欄の合計（24単位）に加え、全学共通科目からさらに4単位を修得し、合計28単位を修得していること。
*4 左欄の合計（106単位）に加え、さらに4単位を修得し、合計110単位を修得していること。

別表第２（第7条、第26条、第27条関係）　　電気電子情報工学科　　（５年度入学生）

区分		科目名	開講年次	単位数 必修	選択Ⅰ	選択Ⅱ	選択Ⅲ	選択Ⅳ
専門基礎科目		代数学Ⅰ	1		2			
		代数学Ⅱ	1		2			
		解析学Ⅰ	1		2			
		解析学Ⅱ	1		2			
		力学	1		2			
		振動・波動論	1		2			
		基礎化学	2		2			
		熱・統計力学	2		2			
		応用解析学Ⅰ	2		2			
		応用解析学Ⅱ	2		2			
		確率・統計	2		2			
		幾何学	2		2			
		複素解析学	2		2			
		量子力学	2		2			
		生命科学	2		2			
		地球システム科学	2		2			
		工業経済学	2			2		
		工学倫理	2			2		
		環境安全工学	2			2		
		科学・技術論	2			2		
		グローバルエンジニアリング※3	2			2		
		英語論文作成※3	2			2		
		インターンシップ※1	3			2		
		実験英語※4	3			2		
		シンクロトロン放射光工学※1	4				2	
		知的財産権	4			2		
		卒論英語※4	4			2		
専門教育科目	学科共通科目	計算機基礎	1	2				
		プログラミング演習	1	1				
		プログラミング論Ⅰ	1	2				
		電気回路基礎	1	2				
		電気回路Ⅰ	1	2				
		電気回路演習	1	1				
		電磁気学基礎	1	2				
		電磁気学演習	2	1				
		コンピュータ実習１	2	1				
		電気系基礎実験Ⅰ	2	2				
		電気系基礎実験Ⅱ	2	2				
		基礎電気電子計測	2	2				
		電気工学思考型実験※2	3	2				
		電気工学知識探求型実験※2	3	2				
		電子工学実験※2	3	2				
		情報工学実験※2	3	2				
		卒業研究	4	6				
		電磁気学Ⅰ	2				2	
		情報理論	2				2	
		離散数学	2				2	
		電気回路Ⅱ	2				2	
		電気回路Ⅲ	2				2	
		電気系数学	2				2	
		基礎電子物理	2				2	
		電子回路Ⅰ	2				2	
		電磁気学Ⅱ	2				2	
		コンピュータ実習２	2				1	
		プログラミング論Ⅱ	2				2	
		データ構造とアルゴリズム論	2				2	
		情報通信工学	3				2	
		制御システムⅠ	3				2	
		情報回路	3				2	
		電気電子計測	3				2	

区分			科目名	開講年次	単位数 必修	選択Ⅰ	選択Ⅱ	選択Ⅲ	選択Ⅳ
専門教育科目	コース別科目	電気工学	高電圧・絶縁システム	3					2
			電力輸送工学Ⅰ	3					2
			電力輸送工学Ⅱ	3					2
			制御システムⅡ	3					2
			電力発生工学	3					2
			電力技術	3					2
			電力変換	3					2
			電磁変換工学	3					2
			電機設計	4					2
			電気法規	4					2
			電子物性論	3					2
			半導体デバイスⅠ	3					2
			電気系材料工学	3					2
			半導体デバイスⅡ	3					2
			集積回路	3					2
			電子回路Ⅱ	3					2
		電子情報工学	電子物性論	3					2
			電子回路Ⅱ	3					2
			マイクロ波工学	3					2
			アンテナ電波伝搬	3					2
			光波電子工学	3					2
			応用電子工学	3					2
			フォトニクス工学	3					2
			電波法規	4					2
			デジタル信号処理	3					2
			デジタル通信システム	3					2
			オペレーティングシステム	3					2
			計算機アーキテクチャ	3					2
			コンピューター実習３	3					1
			画像メディア工学	3					2
			人工知能	3					2
			システム設計言語	3					2

※１ インターンシップ、シンクロトロン放射光工学の単位は卒業条件およびすべての許可条件の単位に含まない。

※２ 電気工学コースは電気工学思考型実験、電気工学知識探求型実験、電子情報工学コースは電子工学実験、情報工学実験を修得すること。

※３ グローバルリーダー教育プログラム履修生優先。人数制限あり。

※４ グローバルリーダー教育プログラム履修生のみ履修可能。卒業条件およびすべての許可条件の単位に含まない。

電気電子情報工学科　　卒業条件及び卒業研究履修許可条件等　（５年度入学生）

<table>
<tr><th colspan="3">区　　分</th><th>卒　業　条　件</th><th>卒業研究履修
許可条件</th><th>２年次コース配属
許可条件</th></tr>
<tr><td rowspan="8">全学共通科目</td><td rowspan="2">自主自律支援科目</td><td>基礎ゼミナール</td><td rowspan="2">2単位以上*2)</td><td rowspan="2">2単位以上*2)</td><td rowspan="11">30単位以上*1)*5)</td></tr>
<tr><td>キャリアデザイン入門</td></tr>
<tr><td rowspan="4">グローバル化時代のアカデミックスキル科目</td><td>英語コア科目</td><td rowspan="4">8単位以上*3)</td><td rowspan="4">8単位以上*3)</td></tr>
<tr><td>選択英語</td></tr>
<tr><td>外国語</td></tr>
<tr><td>統計・情報</td></tr>
<tr><td rowspan="2">教養教育科目</td><td>人間性の基盤教育科目</td><td rowspan="2">14単位以上*4)</td><td rowspan="2">14単位以上*4)</td></tr>
<tr><td>ひょうご県大特色科目</td></tr>
<tr><td colspan="2">小　計</td><td>28単位以上*5)</td><td>28単位以上*5)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">専門基礎科目</td><td colspan="2">選　択Ⅰ</td><td>22単位以上</td><td>18単位以上</td></tr>
<tr><td colspan="2">選　択Ⅱ　（工学関連科目）</td><td>2単位以上</td><td>－</td></tr>
<tr><td rowspan="4">専門教育科目</td><td colspan="2">必　修</td><td>24単位*7)</td><td>22単位*6)</td></tr>
<tr><td colspan="2">選　択Ⅲ</td><td rowspan="2">合計42単位以上*8),*9)</td><td rowspan="2">合計34単位以上*10)</td></tr>
<tr><td colspan="2">選　択Ⅳ　（コース選択科目）</td><td>－</td></tr>
<tr><td colspan="2">卒業研究</td><td>6単位</td><td></td><td>－</td></tr>
<tr><td colspan="3">合　　計</td><td>124単位以上</td><td>110単位以上</td><td>－</td></tr>
</table>

*1)　コース配属は希望と成績により決定する。

*2)　基礎ゼミナールを修得していること。

*3)　英語コア科目、TOEIC総合１、TOEIC総合２、Intensive English１及びIntensive English２の中から６単位修得していること。
情報処理基礎を修得していること。

*4)　人間性の基盤教育科目については、人と文化の分野より２単位以上、人と社会の分野より２単位以上、人と自然の分野より２単位以上を含め、６単位以上を修得していること。
ひょうご県大特色科目については、地域課題探究、グローバル教育および防災教育の３分野のうち２分野以上から４単位以上を修得していること。

*5)　教職に関する科目は含めることができない。

*6)　電気工学コースは電気工学思考型実験、電気工学知識探求型実験、電子情報工学コースは電子工学実験、情報工学実験を修得していること。
なお、電気工学思考型実験、電気工学知識探求型実験あるいは電子工学実験、情報工学実験の履修には電気系基礎実験Ⅰ、Ⅱを修得していなければならない。

*7)　卒業研究６単位は含まない。

*8)　電気工学コース：選択Ⅳ　１４単位以上（電気工学コース科目から１２単位以上）と、
選択Ⅲ　１８単位以上を修得していること。

*9)　電子情報工学コース：選択Ⅳ　１４単位以上（電子情報工学コース科目から１２単位以上）と、
選択Ⅲ　１８単位以上を修得していること。

*10)　選択Ⅳ　８単位以上と、選択Ⅲ　１４単位以上を修得していること。

○履修登録できる単位数の上限を前期26単位、後期26単位、かつ年間50単位とする。
ただし、集中講義による授業科目および卒業所要単位数に算入されない授業科目は前期26単位、後期26単位、かつ年間50単位には含めない。

別表第２（第７条、第２６条、第２７条関係）　機械・材料工学科　　（５年度入学生）

区分			科目名	開講年次	単位数 必修	単位数 選択
専門基礎科目	選択Ⅰ		代数学Ⅰ	1	2	
			解析学Ⅰ	1	2	
			解析学Ⅱ	1	2	
			応用解析学Ⅰ	2	2	
			代数学Ⅱ	1		2
			幾何学	2		2
			複素解析学	2		2
			応用解析学Ⅱ	2		2
			確率・統計	2		2
			数値解析	3		2
	選択Ⅱ		力学Ⅰ	1	2	
			力学Ⅱ	1	2	
			電磁気学	2	2	
			基礎化学Ⅰ	1		2
			基礎化学Ⅱ	1		2
			生命科学	2		2
			地球システム科学	2		2
			現代物理学	2		2
			振動・波動論	2		2
	工学関連科目 選択		工学倫理	2	2	
			機械・材料工学概論	1	2	
			プログラミング演習	1	1	
			工業経済学	2		2
			グローバルエンジニアリング※1	2		2
			英語論文作成※1	2		2
			インターンシップ※3	3		2
			シンクロトロン放射光工学	3		2
			実験英語※2	3		2
			知的財産権	3		2
			科学・技術論	4		2
			卒論英語※2	4		2
	実践基礎科目		機械工作実習	1	1	
			機械・材料工学実験	1	1	
			力学Ⅰ演習	1	1	
			力学Ⅱ演習	1	1	
			機械設計製図Ⅰ	2	2	
専門教育科目	機械工学コース	必修	機械設計製図Ⅱ	2	2	
			機械設計演習	2	1	
			材料力学Ⅰ	2	2	
			流体力学Ⅰ	2	2	
			熱力学Ⅰ	2	2	
			機械力学Ⅰ	2	2	
			制御工学Ⅰ	2	2	
			総合機械工学	3	2	
			機械工学実験	3	1	
			創造設計演習Ⅰ	3	3	
			創造設計演習Ⅱ	3	3	
			創造設計工作実習	3	1	
			機械工学演習	4	2	
			卒業研究	4	6	

区分			科目名	開講年次	単位数 必修	単位数 選択
専門教育科目	機械工学コース	選択Ⅰ	材料力学Ⅱ	2		2
			流体力学Ⅱ	2		2
			熱力学Ⅱ	2		2
			機械加工学	2		2
			機械設計Ⅰ	2		2
			機械設計Ⅱ	3		2
			機械力学Ⅱ	3		2
			制御工学Ⅱ	3		2
		選択Ⅱ	電気電子工学概論	3		2
			数値流体力学	3		2
			機械材料学	3		2
			固体力学	3		2
			伝熱工学	3		2
			メカトロニクス	3		2
			計測工学	4		2
			自動車工学	4		2
		材料基礎科目	基礎材料工学Ⅰ	2		2
			基礎材料工学Ⅱ	2		2
			基礎材料工学Ⅲ	2		2
			鉄鋼材料学	3		2
			非鉄金属材料学	3		2
	材料工学コース	必修	基礎材料工学Ⅰ	2	2	
			基礎材料工学Ⅱ	2	2	
			基礎材料工学Ⅲ	2	2	
			物性物理Ⅰ	2	2	
			物性物理Ⅱ	2	2	
			物理化学I	2	2	
			材料強度学	3	2	
			鉄鋼材料学	3	2	
			非鉄金属材料学	3	2	
			材料工学実験Ⅰ	2	2	
			材料工学実験Ⅱ	3	2	
			材料工学実験Ⅲ	3	2	
			科学英語	4	2	
			卒業研究	4	6	
		選択	X線回折学	2		2
			物理化学Ⅱ	3		2
			物理化学Ⅲ	3		2
			物性物理Ⅲ	3		2
			量子磁性材料	3		2
			材料組織工学	3		2
			計算材料学	3		2
			半導体工学	3		2
			バイオマイクロシステム工学	3		2
			結晶塑性学	3		2
			電気化学	3		2
			加速器科学	3		2
			放射光科学	3		2
			生体材料計測工学	3		2
			プレゼンテーション演習	4		1
		機械基礎科目	材料力学Ⅰ	2		2
			熱力学Ⅰ	2		2
			機械力学Ⅰ	2		2
			機械加工学	2		2
			機械設計Ⅰ	2		2

※1　グローバルリーダー教育プログラム履修生優先。人数制限あり

※2　グローバルリーダー教育プログラム履修生のみ履修可能。卒業条件およびすべての許可条件の単位に含まない。

※3　インターンシップの単位は卒業条件およびすべての許可条件の単位に含まない。

機械・材料工学科　卒業条件及び卒業研究履修許可条件等　　（５年度入学生）

<table>
<tr><th colspan="3">区　　分</th><th>卒業条件</th><th>卒業研究履修
許可条件</th><th>２年次コース
配属許可条件</th></tr>
<tr><td rowspan="15">全学共通科目</td><td rowspan="2">自主自律支援科目</td><td>基礎ゼミナール</td><td rowspan="2">2単位以上*2)</td><td rowspan="2">2単位以上*2)</td><td rowspan="16">30単位以上*1)*5)</td></tr>
<tr><td>キャリアデザイン入門</td></tr>
<tr><td rowspan="4">グローバル化時代のアカデミックスキル科目</td><td>英語コア科目</td><td rowspan="4">8単位以上*3)</td><td rowspan="4">8単位以上*3)</td></tr>
<tr><td>選択英語</td></tr>
<tr><td>外国語</td></tr>
<tr><td>統計・情報</td></tr>
<tr><td rowspan="2">教養教育科目</td><td>人間性の基盤教育科目</td><td rowspan="2">14単位以上*4)</td><td rowspan="2">14単位以上*4)</td></tr>
<tr><td>ひょうご県大特色科目</td></tr>
<tr><td colspan="2">小　　計</td><td>28単位以上*5)</td><td>28単位以上*5)</td></tr>
<tr><td rowspan="8">専門基礎科目</td><td rowspan="2">Ⅰ</td><td>必　　修</td><td>8単位</td><td>8単位</td></tr>
<tr><td>選　　択</td><td>8単位以上</td><td>8単位</td></tr>
<tr><td rowspan="2">Ⅱ</td><td>必　　修</td><td>6単位</td><td>6単位</td></tr>
<tr><td>選　　択</td><td>4単位以上</td><td>4単位</td></tr>
<tr><td rowspan="2">工学関連科目</td><td>必　　修</td><td>5単位</td><td>5単位</td></tr>
<tr><td>選　　択</td><td>4単位以上</td><td>4単位以上</td></tr>
<tr><td>実践基礎科目</td><td>必　　修</td><td>6単位</td><td>6単位</td></tr>
<tr><td rowspan="8">専門教育科目</td><td rowspan="4">機械工学コース</td><td>必　　修</td><td>25単位*6.7)</td><td>23単位</td><td>－</td></tr>
<tr><td>選 択 Ⅰ</td><td>10単位以上</td><td>8単位</td><td></td></tr>
<tr><td>選 択 Ⅱ</td><td>10単位以上</td><td>6単位*12)</td><td></td></tr>
<tr><td>材料基礎科目</td><td>4単位以上</td><td>4単位*12)</td><td>－</td></tr>
<tr><td rowspan="3">材料工学コース</td><td>必　　修</td><td>26単位*6.8)</td><td>22単位*9)</td><td>－</td></tr>
<tr><td>選　　択</td><td>19単位以上*10)</td><td>15単位以上*11)</td><td></td></tr>
<tr><td>機械基礎科目</td><td>4単位*10)</td><td>4単位*11)</td><td>－</td></tr>
<tr><td colspan="2">卒業研究</td><td>6単位</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">合　　計</td><td>124単位以上</td><td>110単位以上</td><td>－</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="5">*1)　配属は希望と成績により決定する。全学共通の科目を最大28単位とし、30単位未満の単位修得学生にはコース履修を認めない。
*2)　基礎ゼミナールを修得していること。
*3)　英語コア科目、TOEIC総合1、TOEIC総合2、Intensive English1及びIntensive English2の中から6単位修得していること。
情報処理基礎を修得していること。
*4)　人間性の基盤教育科目については、人と文化の分野より2単位以上、人と社会の分野より2単位以上、人と自然の分野より2単位以上を含め、6単位以上を修得していること。
ひょうご県大特色科目については、地域課題探究、グローバル教育および防災教育の3分野のうち2分野以上から4単位以上を修得していること。
*5)　教職に関する科目は含めることができない。
*6)　卒業研究6単位は含まない。
*7)　卒業研究履修許可者のみ機械工学演習を履修できる。
*8)　卒業研究履修許可者のみ科学英語を履修できる。
*9)　材料工学実験Ⅰ、材料工学実験Ⅱ、材料工学実験Ⅲを含まなければならない。
*10)　ただし、機械基礎科目の取得が2単位の場合には、材料コースの選択科目を21単位以上取得していることをもって代えることができる。
*11)　ただし、機械基礎科目の取得が2単位の場合には、材料コースの選択科目を17単位以上取得していることをもって代えることができる。
*12)　ただし、材料基礎科目の取得が2単位の場合には、機械工学コースの選択Ⅱ科目を8単位以上取得していることをもって代えることができる。
○　履修登録できる単位数の上限を前期26単位、後期26単位、かつ年間50単位とする。
ただし、集中講義による授業科目および卒業所要単位数に算入されない授業科目は前期26単位、後期26単位、かつ年間50単位には含めない。</td></tr>
</table>

別表第2　（第7条、第26条、第27条関係）　応用化学工学科　（５年度入学生）

区分		科目名	開講年次	単位数 必修	選択Ⅰ	選択Ⅱ	選択Ⅲ
専門基礎科目		代数学 Ⅰ	1	2			
		解析学 Ⅰ	1	2			
		基礎物理学 Ⅰ	1	2			
		基礎物理学 Ⅱ	1	2			
		応用化学概論 Ⅰ	1	2			
		応用化学概論 Ⅱ	1	2			
		化学工学概論 Ⅰ	1	2			
		化学工学概論 Ⅱ	1	2			
		化学実験	1	2			
		代数学 Ⅱ	1		2		
		解析学 Ⅱ	1		2		
		応用解析学 Ⅰ	2		2		
		量子論入門	1		2		
		基礎物理学 Ⅲ	2		2		
		工業経済学	2		2		
		電気電子工学概論	2		2		
		幾何学	2		2		
		地球システム科学	2		2		
		生命科学	2		2		
		工学倫理	2		2		
		グローバルエンジニアリング※2	2		2		
		英語論文作成※2	2		2		
		実験英語※3	3		2		
		知的財産権	4		2		
		科学・技術論	4		2		
		卒論英語※3	4		2		
		シンクロトロン放射光工学※1	3		2		
専門教育科目	学科共通科目	物理化学 Ⅰ	2	2			
		無機化学 Ⅰ	2	2			
		有機化学 Ⅰ	2	2			
		物理化学 Ⅱ	2	2			
		無機化学 Ⅱ	2	2			
		有機化学 Ⅱ	2	2			
		科学英語	4			2	
		卒業研究	4	6			
		インターンシップ※1	3			2	
		生物学実験※1	4			1	
		地学実験※1	4			1	

区分			科目名	開講年次	単位数 必修	選択Ⅰ	選択Ⅱ	選択Ⅲ
専門教育科目	コース別科目	応用化学コース	分析化学 Ⅰ	2	2			
			分析化学 Ⅱ	2	2			
			生物化学 Ⅰ	2	2			
			生物化学 Ⅱ	2	2			
			高分子化学 Ⅰ	2	2			
			高分子化学 Ⅱ	2	2			
			物理化学 Ⅲ	3				2
			無機化学 Ⅲ	3				2
			有機化学 Ⅲ	3				2
			有機分光学	3				2
			有機材料化学	3				2
			高分子材料化学	3				2
			光化学	3				2
			生物化学 Ⅲ	3				2
			生物工学	3				2
			遺伝子工学	3				2
			量子化学	3				2
			物質計測化学	3				2
			電気化学(B)	3				2
			学生実験 Ⅰ	2	2			
			学生実験 Ⅱ	2	2			
			学生実験 Ⅲ	3	4			
			学生実験 Ⅳ	3	4			
		化学工学コース	化学工学	2	2			
			反応工学	2	2			
			金属学	2	2			
			製図学	2	2			
			化学工学プログラミング	2	2			
			工業数学	2	2			
			化学熱力学	3	2			
			電気化学(A)	3	2			
			物質創成工学 Ⅰ	3	2			
			構造解析学	2				2
			流体工学	2				2
			移動現象論	2				2
			物質創成工学 Ⅱ	3				2
			物質創成工学 Ⅲ	3				2
			固体表面科学	3				2
			無機材料化学	3				2
			材料力学	3				2
			分離工学	3				2
			金属伝熱物理	3				2
			粉粒体工学	3				2
			粘性流体力学	3				2
			高分子材料工学	3				2
			化学工学設計演習	3	2			
			物理学実験	2	2			
			化学工学実験	3	2			

※1 卒業条件およびすべての許可条件の単位に含まない。

※２ グローバルリーダー教育プログラム履修生優先。人数制限あり

※３ グローバルリーダー教育プログラム履修生のみ履修可能。卒業条件およびすべての許可条件の単位に含まない

応用化学工学科　　卒業条件及び卒業研究履修許可条件等　　（５年度入学生）

<table>
<tr><th colspan="3">区　　分</th><th>卒 業 条 件</th><th>卒業研究履修
許可条件</th><th>２年次コース配属
許可条件</th></tr>
<tr><td rowspan="8">全学共通科目</td><td rowspan="2">自主自律支援科目</td><td>基礎ゼミナール</td><td rowspan="2">2単位以上*2)</td><td rowspan="2">2単位以上*2)</td><td rowspan="10">30単位以上*1)*5)</td></tr>
<tr><td>キャリアデザイン入門</td></tr>
<tr><td rowspan="4">グローバル化時代のアカデミックスキル科目</td><td>英語コア科目</td><td rowspan="4">8単位以上*3)</td><td rowspan="4">8単位以上*3)</td></tr>
<tr><td>選択英語</td></tr>
<tr><td>外国語</td></tr>
<tr><td>統計・情報</td></tr>
<tr><td rowspan="2">教養教育科目</td><td>人間性の基盤教育科目</td><td rowspan="2">14単位以上*4)</td><td rowspan="2">14単位以上*4)</td></tr>
<tr><td>ひょうご県大特色科目</td></tr>
<tr><td colspan="2">小　計</td><td>28単位以上*5)</td><td>28単位以上*5)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">専門基礎</td><td colspan="2">必　修</td><td>18単位</td><td>14単位*10)</td></tr>
<tr><td colspan="2">選　択Ⅰ</td><td>8単位以上</td><td>8単位以上</td></tr>
<tr><td rowspan="5">専門教育科目</td><td rowspan="2">学科共通科目</td><td>必　修</td><td>12単位*7)</td><td>10単位以上</td><td></td></tr>
<tr><td>選　択Ⅱ</td><td>2単位以上 *5)*6)</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td rowspan="2">コース別科目</td><td>必修</td><td>24単位</td><td>22単位以上</td><td>－</td></tr>
<tr><td>選　択Ⅲ</td><td>26単位以上*9)</td><td>24単位以上*8)</td><td>－</td></tr>
<tr><td colspan="2">卒業研究</td><td>6単位</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">合　　計</td><td>124単位以上</td><td>110単位以上</td><td>－</td></tr>
</table>

*1)　２年次コース配属は希望と成績により決定する。配属許可者のみが専門教育科目を履修できる。
*2)　基礎ゼミナールを修得していること。
*3)　英語コア科目、TOEIC総合１、TOEIC総合２、Intensive English１及びIntensive English２の中から６単位修得していること。
　　情報処理基礎を修得していること。
*4)　人間性の基盤教育科目については、人と文化の分野より２単位以上、人と社会の分野より２単位以上、人と自然の分野より２単位以上を含め、６単位以上を修得していること。
　　ひょうご県大特色科目については、地域課題探究、グローバル教育および防災教育の３分野のうち２分野以上から４単位以上を修得していること。
*5)　教職に関する科目は含めることができない。
*6)　卒業研究履修許可者のみ科学英語を履修できる。
*7)　卒業研究６単位は含まない。
*8)　所属コース科目を16単位以上修得すること。
*9)　所属コース科目を20単位以上修得すること。
*10)　化学実験を含まなければならない。
○履修登録できる単位数の上限を前期26単位、後期26単位、かつ年間50単位とする。
　ただし、集中講義による授業科目および卒業所要単位数に算入されない授業科目は、前期26単位、後期26単位、かつ年間50単位には含めない。

別表第２（第7条、第26条、第27条関係）　　電気電子情報工学科　　（４年度入学生）

区分		科目名	開講年次	単位数 必修	選択Ⅰ	選択Ⅱ	選択Ⅲ	選択Ⅳ
専門基礎科目		代数学Ⅰ	1		2			
		代数学Ⅱ	1		2			
		解析学Ⅰ	1		2			
		解析学Ⅱ	1		2			
		力学	1		2			
		振動・波動論	1		2			
		基礎化学	2		2			
		熱・統計力学	2		2			
		応用解析学Ⅰ	2		2			
		応用解析学Ⅱ	2		2			
		確率・統計	2		2			
		幾何学	2		2			
		複素解析学	2		2			
		量子力学	2		2			
		生命科学	2		2			
		地球システム科学	2		2			
		工業経済学	2			2		
		工学倫理	2			2		
		環境安全工学	2			2		
		科学・技術論	2			2		
		グローバルエンジニアリング※3	2			2		
		英語論文作成※3	2			2		
		インターンシップ※1	3			2		
		実験英語※4	3			2		
		シンクロトロン放射光工学※1	4				2	
		知的財産権	4			2		
		卒論英語※4	4			2		
専門教育科目	学科共通科目	計算機基礎	1	2				
		プログラミング演習	1	1				
		プログラミング論Ⅰ	1	2				
		電気回路基礎	1	2				
		電気回路Ⅰ	1	2				
		電気回路演習	1	1				
		電磁気学基礎	1	2				
		電磁気学演習	2	1				
		コンピュータ実習１	2	1				
		電気系基礎実験Ⅰ	2	2				
		電気系基礎実験Ⅱ	2	2				
		基礎電気電子計測	2	2				
		電気工学思考型実験※2	3	2				
		電気工学知識探求型実験※2	3	2				
		電子工学実験※2	3	2				
		情報工学実験※2	3	2				
		卒業研究	4	6				
		電磁気学Ⅰ	2				2	
		情報理論	2				2	
		離散数学	2				2	
		電気回路Ⅱ	2				2	
		電気回路Ⅲ	2				2	
		電気系数学	2				2	
		基礎電子物理	2				2	
		電子回路Ⅰ	2				2	
		電磁気学Ⅱ	2				2	
		コンピュータ実習２	2				1	
		プログラミング論Ⅱ	2				2	
		データ構造とアルゴリズム論	2				2	
		情報通信工学	3				2	
		制御システムⅠ	3				2	
		情報回路	3				2	
		電気電子計測	3				2	

区分			科目名	開講年次	単位数 必修	選択Ⅰ	選択Ⅱ	選択Ⅲ	選択Ⅳ
専門教育科目	コース別科目	電気工学	高電圧・絶縁システム	3					2
			電力輸送工学Ⅰ	3					2
			電力輸送工学Ⅱ	3					2
			制御システムⅡ	3					2
			電力発生工学	3					2
			電力技術	3					2
			電力変換	3					2
			電磁変換工学	3					2
			電機設計	4					2
			電気法規	4					2
			電子物性論	3					2
			半導体デバイスⅠ	3					2
			電気系材料工学	3					2
			半導体デバイスⅡ	3					2
			集積回路	3					2
			電子回路Ⅱ	3					2
		電子情報工学	電子物性論	3					2
			電子回路Ⅱ	3					2
			マイクロ波工学	3					2
			アンテナ電波伝搬	3					2
			光波電子工学	3					2
			応用電子工学	3					2
			フォトニクス工学	3					2
			電波法規	4					2
			デジタル信号処理	3					2
			デジタル通信システム	3					2
			オペレーティングシステム	3					2
			計算機アーキテクチャ	3					2
			コンピューター実習３	3					1
			画像メディア工学	3					2
			人工知能	3					2
			システム設計言語	3					2

※１ インターンシップ、シンクロトロン放射光工学の単位は卒業条件およびすべての許可条件の単位に含まない。

※２ 電気工学コースは電気工学思考型実験、電気工学知識探求型実験、電子情報工学コースは電子工学実験、情報工学実験を修得すること。

※３ グローバルリーダー教育プログラム履修生優先。人数制限あり。

※４ グローバルリーダー教育プログラム履修生のみ履修可能。卒業条件およびすべての許可条件の単位に含まない。

電気電子情報工学科　　卒業条件及び卒業研究履修許可条件等　（４年度入学生）

<table>
<tr><th colspan="3">区　　分</th><th>卒　業　条　件</th><th>卒業研究履修
許可条件</th><th>２年次コース配属
許可条件</th></tr>
<tr><td rowspan="8">全学共通科目</td><td rowspan="2">自主自律支援科目</td><td>基礎ゼミナール</td><td rowspan="2">2単位以上*2)</td><td rowspan="2">2単位以上*2)</td><td rowspan="11">30単位以上*1)*5)</td></tr>
<tr><td>キャリアデザイン入門</td></tr>
<tr><td rowspan="4">グローバル化時代のアカデミックスキル科目</td><td>英語コア科目</td><td rowspan="4">8単位以上*3)</td><td rowspan="4">8単位以上*3)</td></tr>
<tr><td>選択英語</td></tr>
<tr><td>外国語</td></tr>
<tr><td>統計・情報</td></tr>
<tr><td rowspan="2">教養教育科目</td><td>人間性の基盤教育科目</td><td rowspan="2">14単位以上*4)</td><td rowspan="2">14単位以上*4)</td></tr>
<tr><td>ひょうご県大特色科目</td></tr>
<tr><td colspan="2">小　計</td><td>28単位以上*5)</td><td>28単位以上*5)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">専門基礎科目</td><td colspan="2">選　択Ⅰ</td><td>22単位以上</td><td>18単位以上</td></tr>
<tr><td colspan="2">選　択Ⅱ　（工学関連科目）</td><td>2単位以上</td><td>－</td></tr>
<tr><td rowspan="3">専門教育科目</td><td colspan="2">必　修</td><td>24単位*7)</td><td>22単位*6)</td></tr>
<tr><td colspan="2">選　択Ⅲ</td><td rowspan="2">合計42単位以上*8),*9)</td><td rowspan="2">合計34単位以上*10)</td></tr>
<tr><td colspan="2">選　択Ⅳ　（コース選択科目）</td><td>－</td></tr>
<tr><td colspan="2">卒業研究</td><td>6単位</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td colspan="3">合　　計</td><td>124単位以上</td><td>110単位以上</td><td>－</td></tr>
</table>

備考

*1)　コース配属は希望と成績により決定する。

*2)　基礎ゼミナールを修得していること。

*3)　英語コア科目、TOEIC総合１、TOEIC総合２、Intensive English１及びIntensive English２の中から６単位修得していること。
情報処理基礎を修得していること。

*4)　人間性の基盤教育科目については、人と文化の分野より２単位以上、人と社会の分野より２単位以上、人と自然の分野より２単位以上を含め、６単位以上を修得していること。
ひょうご県大特色科目については、地域課題探究、グローバル教育および防災教育の３分野のうち２分野以上から４単位以上を修得していること。

*5)　教職に関する科目は含めることができない。

*6)　電気工学コースは電気工学思考型実験、電気工学知識探求型実験、電子情報工学コースは電子工学実験、情報工学実験を修得していること。
なお、電気工学思考型実験、電気工学知識探求型実験あるいは電子工学実験、情報工学実験の履修には電気系基礎実験Ⅰ、Ⅱを修得していなければならない。

*7)　卒業研究６単位は含まない。

*8)　電気工学コース：選択Ⅳ　１４単位以上（電気工学コース科目から１２単位以上）と、選択Ⅲ　１８単位以上を修得していること。

*9)　電子情報工学コース：選択Ⅳ　１４単位以上（電子情報工学コース科目から１２単位以上）と、選択Ⅲ　１８単位以上を修得していること。

*10)　選択Ⅳ　８単位以上と、選択Ⅲ　１４単位以上を修得していること。

○履修登録できる単位数の上限を前期26単位、後期26単位、かつ年間50単位とする。
ただし、集中講義による授業科目および卒業所要単位数に算入されない授業科目は前期26単位、後期26単位、かつ年間50単位には含めない。

別表第２（第７条、第２６条、第２７条関係）　機械・材料工学科　　（４年度入学生）

区分			科目名	開講年次	単位数 必修	単位数 選択
専門基礎科目	選択Ⅰ		代数学Ⅰ	1	2	
			解析学Ⅰ	1	2	
			解析学Ⅱ	1	2	
			応用解析学Ⅰ	2	2	
			代数学Ⅱ	1		2
			幾何学	2		2
			複素解析学	2		2
			応用解析学Ⅱ	2		2
			確率・統計	2		2
			数値解析	3		2
	選択Ⅱ		力学Ⅰ	1	2	
			力学Ⅱ	1	2	
			電磁気学	2	2	
			基礎化学Ⅰ	1		2
			基礎化学Ⅱ	1		2
			生命科学	2		2
			地球システム科学	2		2
			現代物理学	2		2
			振動・波動論	2		2
	工学関連科目 選択		工学倫理	2	2	
			機械・材料工学概論	1	2	
			プログラミング演習	1	1	
			工業経済学	2		2
			グローバルエンジニアリング※1	2		2
			英語論文作成※1	2		2
			インターンシップ※3	3		2
			シンクロトロン放射光工学	3		2
			実験英語※2	3		2
			知的財産権	3		2
			科学・技術論	4		2
			卒論英語※2	4		2
	実践基礎科目		機械工作実習	1	1	
			機械・材料工学実験	1	1	
			力学Ⅰ演習	1	1	
			力学Ⅱ演習	1	1	
			機械設計製図Ⅰ	2	2	
専門教育科目	機械工学コース	必修	機械設計製図Ⅱ	2	2	
			機械設計演習	2	1	
			材料力学Ⅰ	2	2	
			流体力学Ⅰ	2	2	
			熱力学Ⅰ	2	2	
			機械力学Ⅰ	2	2	
			制御工学Ⅰ	2	2	
			総合機械工学	3	2	
			機械工学実験	3	1	
			創造設計演習Ⅰ	3	3	
			創造設計演習Ⅱ	3	3	
			創造設計工作実習	3	1	
			機械工学演習	4	2	
			卒業研究	4	6	

※1　グローバルリーダー教育プログラム履修生優先。人数制限あり

※2　グローバルリーダー教育プログラム履修生のみ履修可能。卒業条件およびすべての許可条件の単位に含まない。

※3　インターンシップの単位は卒業条件およびすべての許可条件の単位に含まない。

区分			科目名	開講年次	単位数 必修	単位数 選択
専門教育科目	機械工学コース	選択Ⅰ	材料力学Ⅱ	2		2
			流体力学Ⅱ	2		2
			熱力学Ⅱ	2		2
			機械加工学	2		2
			機械設計Ⅰ	2		2
			機械設計Ⅱ	3		2
			機械力学Ⅱ	3		2
			制御工学Ⅱ	3		2
		選択Ⅱ	電気電子工学概論	3		2
			数値流体力学	3		2
			機械材料学	3		2
			固体力学	3		2
			伝熱工学	3		2
			メカトロニクス	3		2
			計測工学	4		2
			自動車工学	4		2
		材料基礎科目	基礎材料工学Ⅰ	2		2
			基礎材料工学Ⅱ	2		2
			基礎材料工学Ⅲ	2		2
			鉄鋼材料学	3		2
			非鉄金属材料学	3		2
	材料工学コース	必修	基礎材料工学Ⅰ	2	2	
			基礎材料工学Ⅱ	2	2	
			基礎材料工学Ⅲ	2	2	
			物性物理Ⅰ	2	2	
			物性物理Ⅱ	2	2	
			物理化学I	2	2	
			材料強度学	3	2	
			鉄鋼材料学	3	2	
			非鉄金属材料学	3	2	
			材料工学実験Ⅰ	2	2	
			材料工学実験Ⅱ	3	2	
			材料工学実験Ⅲ	3	2	
			科学英語	4	2	
			卒業研究	4	6	
		選択	X線回折学	2		2
			物理化学Ⅱ	3		2
			物理化学Ⅲ	3		2
			物性物理Ⅲ	3		2
			量子磁性材料	3		2
			材料組織工学	3		2
			計算材料学	3		2
			半導体工学	3		2
			バイオマイクロシステム工学	3		2
			結晶塑性学	3		2
			電気化学	3		2
			加速器科学	3		2
			放射光科学	3		2
			生体材料計測工学	3		2
			プレゼンテーション演習	4		1
	機械基礎科目		材料力学Ⅰ	2		2
			熱力学Ⅰ	2		2
			機械力学Ⅰ	2		2
			機械加工学	2		2
			機械設計Ⅰ	2		2

機械・材料工学科　卒業条件及び卒業研究履修許可条件等　　（４年度入学生）

区分			卒業条件	卒業研究履修許可条件	２年次コース配属許可条件
全学共通科目	自主自律支援科目	基礎ゼミナール	2単位以上*2)	2単位以上*2)	30単位以上*1)*5)
		キャリアデザイン入門			
	グローバル化時代のアカデミックスキル科目	英語コア科目	8単位以上*3)	8単位以上*3)	
		選択英語			
		外国語			
		統計・情報			
	教養教育科目	人間性の基盤教育科目	14単位以上*4)	14単位以上*4)	
		ひょうご県大特色科目			
	小　計		28単位以上*5)	28単位以上*5)	
専門基礎科目	Ⅰ	必　修	8単位	8単位	
		選　択	8単位以上	8単位	
	Ⅱ	必　修	6単位	6単位	
		選　択	4単位以上	4単位	
	工学関連科目	必　修	5単位	5単位	
		選　択	4単位以上	4単位以上	
	実践基礎科目	必　修	6単位	6単位	
専門教育科目	機械工学コース	必　修	25単位*6.7)	23単位	－
		選 択 Ⅰ	10単位以上	8単位	
		選 択 Ⅱ	10単位以上	6単位*12)	
		材料基礎科目	4単位以上	4単位*12)	－
	材料工学コース	必　修	26単位*6.8)	22単位*9)	－
		選　択	19単位以上*10)	15単位以上*11)	
		機械基礎科目	4単位*10)	4単位*11)	－
	卒業研究		6単位	－	－
	合　計		124単位以上	110単位以上	－

備考

*1)　配属は希望と成績により決定する。全学共通の科目を最大28単位とし、30単位未満の単位修得学生にはコース履修を認めない。
*2)　基礎ゼミナールを修得していること。
*3)　英語コア科目、TOEIC総合1、TOEIC総合2、Intensive English1及びIntensive English2の中から6単位修得していること。
　　情報処理基礎を修得していること。
*4)　人間性の基盤教育科目については、人と文化の分野より2単位以上、人と社会の分野より2単位以上、人と自然の分野より2単位以上を含め、6単位以上を修得していること。
　　ひょうご県大特色科目については、地域課題探究、グローバル教育および防災教育の3分野のうち2分野以上から4単位以上を修得していること。
*5)　教職に関する科目は含めることができない。
*6)　卒業研究6単位は含まない。
*7)　卒業研究履修許可者のみ機械工学演習を履修できる。
*8)　卒業研究履修許可者のみ科学英語を履修できる。
*9)　材料工学実験Ⅰ、材料工学実験Ⅱ、材料工学実験Ⅲを含まなければならない。
*10)　ただし、機械基礎科目の取得が2単位の場合には、材料コースの選択科目を21単位以上取得していることをもって代えることができる。
*11)　ただし、機械基礎科目の取得が2単位の場合には、材料コースの選択科目を17単位以上取得していることをもって代えることができる。
*12)　ただし、材料基礎科目の取得が2単位の場合には、機械工学コースの選択Ⅱ科目を8単位以上取得していることをもって代えることができる。
○　履修登録できる単位数の上限を前期26単位、後期26単位、かつ年間50単位とする。
　　ただし、集中講義による授業科目および卒業所要単位数に算入されない授業科目は前期26単位、後期26単位、かつ年間50単位には含めない。

別表第2　（第7条、第26条、第27条関係）　応用化学工学科　（４年度入学生）

区分		科目名	開講年次	単位数 必修	選択Ⅰ	選択Ⅱ	選択Ⅲ
専門基礎科目		代数学 Ⅰ	1	2			
		解析学 Ⅰ	1	2			
		基礎物理学 Ⅰ	1	2			
		基礎物理学 Ⅱ	1	2			
		応用化学概論 Ⅰ	1	2			
		応用化学概論 Ⅱ	1	2			
		化学工学概論 Ⅰ	1	2			
		化学工学概論 Ⅱ	1	2			
		化学実験	1	2			
		代数学 Ⅱ	1		2		
		解析学 Ⅱ	1		2		
		応用解析学 Ⅰ	2		2		
		量子論入門	1		2		
		基礎物理学 Ⅲ	2		2		
		工業経済学	2		2		
		電気電子工学概論	2		2		
		幾何学	2		2		
		地球システム科学	2		2		
		生命科学	2		2		
		工学倫理	2		2		
		グローバルエンジニアリング※2	2		2		
		英語論文作成※2	2		2		
		実験英語※3	3		2		
		知的財産権	4		2		
		科学・技術論	4		2		
		卒論英語※3	4		2		
		シンクロトロン放射光工学※1	3		2		
専門教育科目	学科共通科目	物理化学 Ⅰ	2	2			
		無機化学 Ⅰ	2	2			
		有機化学 Ⅰ	2	2			
		物理化学 Ⅱ	2	2			
		無機化学 Ⅱ	2	2			
		有機化学 Ⅱ	2	2			
		科学英語	4			2	
		卒業研究	4	6			
		インターンシップ※1	3			2	
		生物学実験※1	4			1	
		地学実験※1	4			1	

区分			科目名	開講年次	単位数 必修	選択Ⅰ	選択Ⅱ	選択Ⅲ
専門教育科目	コース別科目	応用化学コース	分析化学 Ⅰ	2	2			
			分析化学 Ⅱ	2	2			
			生物化学 Ⅰ	2	2			
			生物化学 Ⅱ	2	2			
			高分子化学 Ⅰ	2	2			
			高分子化学 Ⅱ	2	2			
			物理化学 Ⅲ	3				2
			無機化学 Ⅲ	3				2
			有機化学 Ⅲ	3				2
			有機分光学	3				2
			有機材料化学	3				2
			高分子材料化学	3				2
			光化学	3				2
			生物化学 Ⅲ	3				2
			生物工学	3				2
			遺伝子工学	3				2
			量子化学	3				2
			無機材料化学	3				2
			物質計測化学	3				2
			電気化学(B)	3				2
			学生実験 Ⅰ	2	2			
			学生実験 Ⅱ	2	2			
			学生実験 Ⅲ	3	4			
			学生実験 Ⅳ	3	4			
		化学工学コース	化学工学	2	2			
			反応工学	2	2			
			金属学	2	2			
			製図学	2	2			
			化学工学プログラミング	2	2			
			工業数学	2	2			
			化学熱力学	3	2			
			電気化学(A)	3	2			
			物質創成工学 Ⅰ	3	2			
			構造解析学	2				2
			流体工学	2				2
			移動現象論	2				2
			物質創成工学 Ⅱ	3				2
			物質創成工学 Ⅲ	3				2
			固体表面科学	3				2
			無機材料化学	3				2
			材料力学	3				2
			分離工学	3				2
			金属伝熱物理	3				2
			粉粒体工学	3				2
			粘性流体力学	3				2
			高分子材料工学	3				2
			化学工学設計演習	3	2			
			物理学実験	2	2			
			化学工学実験	3	2			

※1 卒業条件およびすべての許可条件の単位に含まない。

※２ グローバルリーダー教育プログラム履修生優先。人数制限あり

※３ グローバルリーダー教育プログラム履修生のみ履修可能。卒業条件およびすべての許可条件の単位に含まない

応用化学工学科　　卒業条件及び卒業研究履修許可条件等　　（４年度入学生）

<table>
<tr><th colspan="3">区　　分</th><th>卒 業 条 件</th><th>卒業研究履修
許可条件</th><th>２年次コース配属
許可条件</th></tr>
<tr><td rowspan="8">全学共通科目</td><td rowspan="2">自主自律支援科目</td><td>基礎ゼミナール</td><td rowspan="2">2単位以上*2)</td><td rowspan="2">2単位以上*2)</td><td rowspan="9">30単位以上*1)*5)</td></tr>
<tr><td>キャリアデザイン入門</td></tr>
<tr><td rowspan="4">グローバル化時代のアカデミックスキル科目</td><td>英語コア科目</td><td rowspan="4">8単位以上*3)</td><td rowspan="4">8単位以上*3)</td></tr>
<tr><td>選択英語</td></tr>
<tr><td>外国語</td></tr>
<tr><td>統計・情報</td></tr>
<tr><td rowspan="2">教養教育科目</td><td>人間性の基盤教育科目</td><td rowspan="2">14単位以上*4)</td><td rowspan="2">14単位以上*4)</td></tr>
<tr><td>ひょうご県大特色科目</td></tr>
<tr><td colspan="2">小　計</td><td>28単位以上*5)</td><td>28単位以上*5)</td></tr>
<tr><td>専門基礎</td><td colspan="2">必　修</td><td>18単位</td><td>14単位*10)</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">選　択Ⅰ</td><td>8単位以上</td><td>8単位以上</td></tr>
<tr><td rowspan="5">専門教育科目</td><td rowspan="2">学科共通科目</td><td>必　修</td><td>12単位*7)</td><td>10単位以上</td><td>－</td></tr>
<tr><td>選　択Ⅱ</td><td>2単位以上 *5)*6)</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td rowspan="2">コース別科目</td><td>必修</td><td>24単位</td><td>22単位以上</td><td>－</td></tr>
<tr><td>選　択Ⅲ</td><td>26単位以上*9)</td><td>24単位以上*8)</td><td>－</td></tr>
<tr><td colspan="2">卒業研究</td><td>6単位</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">合　　計</td><td>124単位以上</td><td>110単位以上</td><td>－</td></tr>
</table>

備考

*1)　２年次コース配属は希望と成績により決定する。配属許可者のみが専門教育科目を履修できる。
*2)　基礎ゼミナールを修得していること。
*3)　英語コア科目、TOEIC総合１、TOEIC総合２、Intensive English１及びIntensive English２の中から６単位修得していること。
　　情報処理基礎を修得していること。
*4)　人間性の基盤教育科目については、人と文化の分野より２単位以上、人と社会の分野より２単位以上、人と自然の分野より２単位以上を含め、６単位以上を修得していること。
　　ひょうご県大特色科目については、地域課題探究、グローバル教育および防災教育の３分野のうち２分野以上から４単位以上を修得していること。
*5)　教職に関する科目は含めることができない。
*6)　卒業研究履修許可者のみ科学英語を履修できる。
*7)　卒業研究６単位は含まない。
*8)　所属コース科目を16単位以上修得すること。
*9)　所属コース科目を20単位以上修得すること。
*10)　化学実験を含まなければならない。
○履修登録できる単位数の上限を前期26単位、後期26単位、かつ年間50単位とする。
　ただし、集中講義による授業科目および卒業所要単位数に算入されない授業科目は、前期26単位、後期26単位、かつ年間50単位には含めない。

別表第２（第7条、第26条、第27条関係）　　電気電子情報工学科　　（３年度入学生）

区分		科目名	開講年次	単位数 必修	選択Ⅰ	選択Ⅱ	選択Ⅲ	選択Ⅳ
専門基礎科目		代数学Ⅰ	1		2			
		代数学Ⅱ	1		2			
		解析学Ⅰ	1		2			
		解析学Ⅱ	1		2			
		力学	1		2			
		振動・波動論	1		2			
		基礎化学	1		2			
		熱・統計力学	2		2			
		応用解析学Ⅰ	2		2			
		応用解析学Ⅱ	2		2			
		確率・統計	2		2			
		幾何学	2		2			
		複素解析学	2		2			
		量子力学	2		2			
		生命科学	2		2			
		地球システム科学	2		2			
		工業経済学	2			2		
		工学倫理	2			2		
		環境安全工学	2			2		
		科学・技術論	2			2		
		グローバルエンジニアリング※3	2			2		
		英語論文作成※3	2			2		
		インターンシップ※1	3			2		
		実験英語※4	3			2		
		シンクロトロン放射光工学※1	4				2	
		知的財産権	4			2		
		卒論英語※4	4			2		
専門教育科目	学科共通科目	計算機基礎	1	2				
		プログラミング演習	1	1				
		プログラミング論Ⅰ	1	2				
		電気回路基礎	1	2				
		電気回路Ⅰ	1	2				
		電気回路演習	1	1				
		電磁気学基礎	1	2				
		電磁気学演習	2	1				
		コンピュータ実習１	2	1				
		電気系基礎実験Ⅰ	2	2				
		電気系基礎実験Ⅱ	2	2				
		基礎電気電子計測	2	2				
		電気工学思考型実験※2	3	2				
		電気工学知識探求型実験※2	3	2				
		電子工学実験※2	3	2				
		情報工学実験※2	3	2				
		卒業研究	4	6				
		電磁気学Ⅰ	2				2	
		情報理論	2				2	
		離散数学	2				2	
		電気回路Ⅱ	2				2	
		電気回路Ⅲ	2				2	
		電気系数学	2				2	
		基礎電子物理	2				2	
		電子回路Ⅰ	2				2	
		電磁気学Ⅱ	2				2	
		コンピュータ実習２	2				1	
		プログラミング論Ⅱ	2				2	
		データ構造とアルゴリズム論	2				2	
		情報通信工学	3				2	
		制御システムⅠ	3				2	
		情報回路	3				2	
		電気電子計測	3				2	

区分			科目名	開講年次	単位数 必修	選択Ⅰ	選択Ⅱ	選択Ⅲ	選択Ⅳ
専門教育科目	コース別科目	電気工学	高電圧・絶縁システム	3					2
			電力輸送工学Ⅰ	3					2
			電力輸送工学Ⅱ	3					2
			制御システムⅡ	3					2
			電力発生工学	3					2
			電力技術	3					2
			電力変換	3					2
			電磁変換工学	3					2
			電機設計	4					2
			電気法規	4					2
			電子物性論	3					2
			半導体デバイスⅠ	3					2
			電気系材料工学	3					2
			半導体デバイスⅡ	3					2
			集積回路	3					2
			電子回路Ⅱ	3					2
		電子情報工学	電子物性論	3					2
			電子回路Ⅱ	3					2
			マイクロ波工学	3					2
			アンテナ電波伝搬	3					2
			光波電子工学	3					2
			応用電子工学	3					2
			フォトニクス工学	3					2
			電波法規	4					2
			デジタル信号処理	3					2
			デジタル通信システム	3					2
			オペレーティングシステム	3					2
			計算機アーキテクチャ	3					2
			コンピューター実習３	3					1
			画像メディア工学	3					2
			人工知能	3					2
			システム設計言語	3					2

※１ インターンシップ、シンクロトロン放射光工学の単位は卒業条件およびすべての許可条件の単位に含まない。

※２ 電気工学コースは電気工学思考型実験、電気工学知識探求型実験、電子情報工学コースは電子工学実験、情報工学実験を修得すること。

※３ グローバルリーダー教育プログラム履修生優先。人数制限あり。

※４ グローバルリーダー教育プログラム履修生のみ履修可能。卒業条件およびすべての許可条件の単位に含まない。

電気電子情報工学科　　卒業条件及び卒業研究履修許可条件等　（３年度入学生）

<table>
<tr><th colspan="3">区　　分</th><th>卒　業　条　件</th><th>卒業研究履修
許可条件</th><th>２年次コース配属
許可条件</th></tr>
<tr><td rowspan="9">全学共通科目</td><td rowspan="2">自主自律支援科目</td><td>基礎ゼミナール</td><td rowspan="2">2単位以上*2)</td><td rowspan="2">2単位以上*2)</td><td rowspan="10">30単位以上*1)*5)</td></tr>
<tr><td>キャリアデザイン入門</td></tr>
<tr><td rowspan="4">グローバル化時代のアカデミックスキル科目</td><td>英語コア科目</td><td rowspan="4">8単位以上*3)</td><td rowspan="4">8単位以上*3)</td></tr>
<tr><td>選択英語</td></tr>
<tr><td>外国語</td></tr>
<tr><td>統計・情報</td></tr>
<tr><td rowspan="2">教養教育科目</td><td>人間性の基盤教育科目</td><td rowspan="2">14単位以上*4)</td><td rowspan="2">14単位以上*4)</td></tr>
<tr><td>ひょうご県大特色科目</td></tr>
<tr><td colspan="2">小　計</td><td>28単位以上*5)</td><td>28単位以上*5)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">専門基礎科目</td><td colspan="2">選　択Ⅰ</td><td>22単位以上</td><td>18単位以上</td></tr>
<tr><td colspan="2">選　択Ⅱ　（工学関連科目）</td><td>2単位以上</td><td>－</td></tr>
<tr><td rowspan="3">専門教育科目</td><td colspan="2">必　修</td><td>24単位*7)</td><td>22単位*6)</td></tr>
<tr><td colspan="2">選　択Ⅲ</td><td rowspan="2">合計42単位以上*8),*9)</td><td rowspan="2">合計34単位以上*10)</td></tr>
<tr><td colspan="2">選　択Ⅳ　（コース選択科目）</td><td>－</td></tr>
<tr><td colspan="2">卒業研究</td><td>6単位</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td colspan="3">合　　計</td><td>124単位以上</td><td>110単位以上</td><td>－</td></tr>
</table>

備考

*1)　コース配属は希望と成績により決定する。

*2)　基礎ゼミナールを修得していること。

*3)　英語コア科目、TOEIC総合１、TOEIC総合２、Intensive English１及びIntensive English２の中から６単位修得していること。
情報処理基礎を修得していること。

*4)　人間性の基盤教育科目については、人と文化の分野より２単位以上、人と社会の分野より２単位以上、人と自然の分野より２単位以上を含め、６単位以上を修得していること。
ひょうご県大特色科目については、地域課題探究、グローバル教育および防災教育の３分野のうち２分野以上から４単位以上を修得していること。

*5)　教職に関する科目は含めることができない。

*6)　電気工学コースは電気工学思考型実験、電気工学知識探求型実験、電子情報工学コースは電子工学実験、情報工学実験を修得していること。
なお、電気工学思考型実験、電気工学知識探求型実験あるいは電子工学実験、情報工学実験の履修には電気系基礎実験Ⅰ、Ⅱを修得していなければならない。

*7)　卒業研究６単位は含まない。

*8)　電気工学コース：選択Ⅳ　１４単位以上（電気工学コース科目から１２単位以上）と、選択Ⅲ　１８単位以上を修得していること。

*9)　電子情報工学コース：選択Ⅳ　１４単位以上（電子情報工学コース科目から１２単位以上）と、選択Ⅲ　１８単位以上を修得していること。

*10)　選択Ⅳ　８単位以上と、選択Ⅲ　１４単位以上を修得していること。

○１年間に履修登録できる単位数の上限を５６単位とする。ただし、基礎ゼミナール、集中講義による授業科目および卒業所要単位数に算入されない授業科目は５６単位には含めない。

別表第２（第７条、第２６条、第２７条関係）　機械・材料工学科　（３年度入学生）

区分			科目名	開講年次	単位数 必修	単位数 選択
専門基礎科目	選択Ⅰ		代数学Ⅰ	1	2	
			解析学Ⅰ	1	2	
			解析学Ⅱ	1	2	
			応用解析学Ⅰ	2	2	
			代数学Ⅱ	1		2
			幾何学	2		2
			複素解析学	2		2
			応用解析学Ⅱ	2		2
			確率・統計	2		2
			数値解析	3		2
	選択Ⅱ		力学Ⅰ	1	2	
			力学Ⅱ	1	2	
			電磁気学	2	2	
			基礎化学Ⅰ	1		2
			基礎化学Ⅱ	1		2
			生命科学	2		2
			地球システム科学	2		2
			現代物理学	2		2
			振動・波動論	2		2
	工学関連科目 選択		工学倫理	1	2	
			機械・材料工学概論	1	2	
			プログラミング演習	1	1	
			工業経済学	2		2
			グローバルエンジニアリング※1	2		2
			英語論文作成※1	2		2
			インターンシップ※3	3		2
			シンクロトロン放射光工学	3		2
			実験英語※2	3		2
			知的財産権	3		2
			科学・技術論	4		2
			卒論英語※2	4		2
	実践基礎科目		機械工作実習	1	1	
			機械・材料工学実験	1	1	
			力学Ⅰ演習	1	1	
			力学Ⅱ演習	1	1	
			機械設計製図Ⅰ	2	2	
専門教育科目	機械工学コース	必修	機械設計製図Ⅱ	2	2	
			機械設計演習	2	1	
			材料力学Ⅰ	2	2	
			流体力学Ⅰ	2	2	
			熱力学Ⅰ	2	2	
			機械力学Ⅰ	2	2	
			制御工学Ⅰ	2	2	
			総合機械工学	3	2	
			機械工学実験	3	1	
			創造設計演習Ⅰ	3	3	
			創造設計演習Ⅱ	3	3	
			創造設計工作実習	3	1	
			機械工学演習	4	2	
			卒業研究	4	6	

※1　グローバルリーダー教育プログラム履修生優先。人数制限あり

※2　グローバルリーダー教育プログラム履修生のみ履修可能。卒業条件およびすべての許可条件の単位に含まない。

※3　インターンシップの単位は卒業条件およびすべての許可条件の単位に含まない。

区分			科目名	開講年次	単位数 必修	単位数 選択
専門教育科目	機械工学コース	選択Ⅰ	材料力学Ⅱ	2		2
			流体力学Ⅱ	2		2
			熱力学Ⅱ	2		2
			機械加工学	2		2
			機械設計Ⅰ	2		2
			機械設計Ⅱ	3		2
			機械力学Ⅱ	3		2
			制御工学Ⅱ	3		2
		選択Ⅱ	電気電子工学概論	3		2
			数値流体力学	3		2
			機械材料学	3		2
			固体力学	3		2
			伝熱工学	3		2
			メカトロニクス	3		2
			計測工学	4		2
			自動車工学	4		2
		材料基礎科目	基礎材料工学Ⅰ	2		2
			基礎材料工学Ⅱ	2		2
			基礎材料工学Ⅲ	2		2
			鉄鋼材料学	3		2
			非鉄金属材料学	3		2
	材料工学コース	必修	基礎材料工学Ⅰ	2	2	
			基礎材料工学Ⅱ	2	2	
			基礎材料工学Ⅲ	2	2	
			物性物理Ⅰ	2	2	
			物性物理Ⅱ	2	2	
			物理化学Ⅰ	2	2	
			材料強度学	3	2	
			鉄鋼材料学	3	2	
			非鉄金属材料学	3	2	
			材料工学実験Ⅰ	2	2	
			材料工学実験Ⅱ	3	2	
			材料工学実験Ⅲ	3	2	
			科学英語	4	2	
			卒業研究	4	6	
		選択	X線回折学	2		2
			物理化学Ⅱ	3		2
			物理化学Ⅲ	3		2
			物性物理Ⅲ	3		2
			量子磁性材料	3		2
			材料組織工学	3		2
			計算材料学	3		2
			半導体工学	3		2
			バイオマイクロシステム工学	3		2
			結晶塑性学	3		2
			電気化学	3		2
			加速器科学	3		2
			放射光科学	3		2
			生体材料計測工学	3		2
			プレゼンテーション演習	4		1
	機械基礎科目		材料力学Ⅰ	2		2
			熱力学Ⅰ	2		2
			機械力学Ⅰ	2		2
			機械加工学	2		2
			機械設計Ⅰ	2		2

機械・材料工学科　卒業条件及び卒業研究履修許可条件等　　（３年度入学生）

区分			卒業条件	卒業研究履修許可条件	２年次コース配属許可条件
全学共通科目	自主自律支援科目	基礎ゼミナール	2単位以上[*2)]	2単位以上[*2)]	30単位以上[*1)*5)]
		キャリアデザイン入門			
	グローバル化時代のアカデミックスキル科目	英語コア科目	8単位以上[*3)]	8単位以上[*3)]	
		選択英語			
		外国語			
		統計・情報			
	教養教育科目	人間性の基盤教育科目	14単位以上[*4)]	14単位以上[*4)]	
		ひょうご県大特色科目			
	小　計		28単位以上[*5)]	28単位以上[*5)]	
専門基礎科目	Ⅰ	必　修	8単位	8単位	
		選　択	8単位以上	8単位	
	Ⅱ	必　修	6単位	6単位	
		選　択	4単位以上	4単位	
	工学関連科目	必　修	5単位	5単位	
		選　択	4単位以上	4単位以上	
	実践基礎科目	必　修	6単位	6単位	
専門教育科目	機械工学コース	必　修	25単位[*6.7)]	23単位	－
		選択Ⅰ	10単位以上	8単位	
		選択Ⅱ	10単位以上	6単位[*12)]	
		材料基礎科目	4単位以上	4単位[*12)]	－
	材料工学コース	必　修	26単位[*6.8)]	22単位[*9)]	－
		選　択	19単位以上[*10)]	15単位以上[*11)]	
		機械基礎科目	4単位[*10)]	4単位[*11)]	－
	卒業研究		6単位	－	－
	合　計		124単位以上	110単位以上	－

備考

*1)　配属は希望と成績により決定する。全学共通の科目を最大28単位とし、30単位未満の単位修得学生にはコース履修を認めない。
*2)　基礎ゼミナールを修得していること。
*3)　英語コア科目、TOEIC総合1、TOEIC総合2、Intensive English1及びIntensive English2の中から6単位修得していること。
情報処理基礎を修得していること。
*4)　人間性の基盤教育科目については、人と文化の分野より2単位以上、人と社会の分野より2単位以上、人と自然の分野より2単位以上を含め、6単位以上を修得していること。
ひょうご県大特色科目については、地域課題探究、グローバル教育および防災教育の3分野のうち2分野以上から4単位以上を修得していること。
*5)　教職に関する科目は含めることができない。
*6)　卒業研究6単位は含まない。
*7)　卒業研究履修許可者のみ機械工学演習を履修できる。
*8)　卒業研究履修許可者のみ科学英語を履修できる。
*9)　材料工学実験Ⅰ、材料工学実験Ⅱ、材料工学実験Ⅲを含まなければならない。
*10)　ただし、機械基礎科目の取得が2単位の場合には、材料コースの選択科目を21単位以上取得していることをもって代えることができる。
*11)　ただし、機械基礎科目の取得が2単位の場合には、材料コースの選択科目を17単位以上取得していることをもって代えることができる。
*12)　ただし、材料基礎科目の取得が2単位の場合には、機械工学コースの選択Ⅱ科目を8単位以上取得していることをもって代えることができる。
○　1年間に履修登録できる単位数の上限を56単位とする。ただし、機械・材料工学概論、集中講義による授業科目および卒業所要単位数に算入されない授業科目は56単位には含めない。

別表第2　（第7条、第26条、第27条関係）　応用化学工学科　（３年度入学生）

区分		科目名	開講年次	単位数 必修	選択Ⅰ	選択Ⅱ	選択Ⅲ
専門基礎科目		代数学 Ⅰ	1	2			
		解析学 Ⅰ	1	2			
		基礎物理学 Ⅰ	1	2			
		基礎物理学 Ⅱ	1	2			
		応用化学概論 Ⅰ	1	2			
		応用化学概論 Ⅱ	1	2			
		化学工学概論 Ⅰ	1	2			
		化学工学概論 Ⅱ	1	2			
		化学実験	1	2			
		代数学 Ⅱ	1		2		
		解析学 Ⅱ	1		2		
		応用解析学 Ⅰ	2		2		
		量子論入門	1		2		
		基礎物理学 Ⅲ	2		2		
		工業経済学	2		2		
		電気電子工学概論	2		2		
		幾何学	2		2		
		地球システム科学	2		2		
		生命科学	2		2		
		工学倫理	2		2		
		グローバルエンジニアリング※2	2		2		
		英語論文作成※2	2		2		
		実験英語※3	3		2		
		知的財産権	4		2		
		科学・技術論	4		2		
		卒論英語※3	4		2		
		シンクロトロン放射光工学※1	3		2		
専門教育科目	学科共通科目	物理化学 Ⅰ	2	2			
		無機化学 Ⅰ	2	2			
		有機化学 Ⅰ	2	2			
		物理化学 Ⅱ	2	2			
		無機化学 Ⅱ	2	2			
		有機化学 Ⅱ	2	2			
		科学英語	4			2	
		卒業研究	4	6			
		インターンシップ※1	3			2	
		生物学実験※1	4			1	
		地学実験※1	4			1	

区分			科目名	開講年次	単位数 必修	選択Ⅰ	選択Ⅱ	選択Ⅲ
専門教育科目	コース別科目	応用化学コース	分析化学 Ⅰ	2	2			
			分析化学 Ⅱ	2	2			
			生物化学 Ⅰ	2	2			
			生物化学 Ⅱ	2	2			
			高分子化学 Ⅰ	2	2			
			高分子化学 Ⅱ	2	2			
			物理化学 Ⅲ	3				2
			無機化学 Ⅲ	3				2
			有機化学 Ⅲ	3				2
			有機分光学	3				2
			有機材料化学	3				2
			高分子材料化学	3				2
			光化学	3				2
			生物化学 Ⅲ	3				2
			生物工学	3				2
			遺伝子工学	3				2
			量子化学	3				2
			無機材料化学(B)	3				2
			物質計測化学	3				2
			電気化学(B)	3				2
			学生実験 Ⅰ	2	2			
			学生実験 Ⅱ	2	2			
			学生実験 Ⅲ	3	4			
			学生実験 Ⅳ	3	4			
		化学工学コース	化学工学	2	2			
			反応工学	2	2			
			金属学	2	2			
			製図学	2	2			
			化学工学プログラミング	2	2			
			工業数学	2	2			
			化学熱力学	3	2			
			電気化学(A)	3	2			
			物質創成工学 Ⅰ	3	2			
			構造解析学	2				2
			流体工学	2				2
			移動現象論	2				2
			物質創成工学 Ⅱ	3				2
			物質創成工学 Ⅲ	3				2
			固体表面科学	3				2
			無機材料化学(A)	3				2
			材料力学	3				2
			分離工学	3				2
			金属伝熱物理	3				2
			粉粒体工学	3				2
			粘性流体力学	3				2
			高分子材料工学	3				2
			化学工学設計演習	3	2			
			物理学実験	2	2			
			化学工学実験	3	2			

※1 卒業条件およびすべての許可条件の単位に含まない。

※2 グローバルリーダー教育プログラム履修生優先。人数制限あり

※3 グローバルリーダー教育プログラム履修生のみ履修可能。卒業条件およびすべての許可条件の単位に含まない

応用化学工学科　　卒業条件及び卒業研究履修許可条件等　　（３年度入学生）

<table>
<tr><th colspan="3">区　　分</th><th>卒 業 条 件</th><th>卒業研究履修
許可条件</th><th>２年次コース配属
許可条件</th></tr>
<tr><td rowspan="8">全学共通科目</td><td rowspan="2">自主自律支援科目</td><td>基礎ゼミナール</td><td rowspan="2">2単位以上*2)</td><td rowspan="2">2単位以上*2)</td><td rowspan="9">30単位以上*1)*5)</td></tr>
<tr><td>キャリアデザイン入門</td></tr>
<tr><td rowspan="4">グローバル化時代のアカデミックスキル科目</td><td>英語コア科目</td><td rowspan="4">8単位以上*3)</td><td rowspan="4">8単位以上*3)</td></tr>
<tr><td>選択英語</td></tr>
<tr><td>外国語</td></tr>
<tr><td>統計・情報</td></tr>
<tr><td rowspan="2">教養教育科目</td><td>人間性の基盤教育科目</td><td rowspan="2">14単位以上*4)</td><td rowspan="2">14単位以上*4)</td></tr>
<tr><td>ひょうご県大特色科目</td></tr>
<tr><td colspan="2">小　計</td><td>28単位以上*5)</td><td>28単位以上*5)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">専門基礎</td><td colspan="2">必　修</td><td>18単位</td><td>18単位</td></tr>
<tr><td colspan="2">選　択Ⅰ</td><td>8単位以上</td><td>8単位以上</td></tr>
<tr><td rowspan="5">専門教育科目</td><td rowspan="2">学科共通科目</td><td>必　修</td><td>12単位*7)</td><td>10単位以上</td><td>－</td></tr>
<tr><td>選　択Ⅱ</td><td>2単位以上 *5)*6)</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td rowspan="2">コース別科目</td><td>必修</td><td>24単位</td><td>22単位以上</td><td>－</td></tr>
<tr><td>選　択Ⅲ</td><td>26単位以上*9)</td><td>24単位以上*8)</td><td>－</td></tr>
<tr><td colspan="2">卒業研究</td><td>6単位</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">合　　計</td><td>124単位以上</td><td>110単位以上</td><td>－</td></tr>
<tr><td>備考</td><td colspan="5">*1)　２年次コース配属は希望と成績により決定する。配属許可者のみが専門教育科目を履修できる。
*2)　基礎ゼミナールを修得していること。
*3)　英語コア科目、TOEIC総合１、TOEIC総合２、Intensive English１及びIntensive English２の中から６単位修得していること。
情報処理基礎を修得していること。
*4)　人間性の基盤教育科目については、人と文化の分野より２単位以上、人と社会の分野より２単位以上、人と自然の分野より２単位以上を含め、６単位以上を修得していること。
ひょうご県大特色科目については、地域課題探究、グローバル教育および防災教育の３分野のうち２分野以上から４単位以上を修得していること。
*5)　教職に関する科目は含めることができない。
*6)　卒業研究履修許可者のみ科学英語を履修できる。
*7)　卒業研究６単位は含まない。
*8)　所属コース科目を16単位以上修得すること。
*9)　所属コース科目を20単位以上修得すること。
○１年間に履修登録できる単位数の上限を５６単位とする。ただし、応用化学概論Ⅱ、化学工学概論Ⅱ、集中講義による授業科目および卒業所要単位数に算入されない授業科目は５６単位には含めない。</td></tr>
</table>

別表第２（第7条、第26条、第27条関係）　　電気電子情報工学科　　（２年度入学生）

区分		科目名	開講年次	単位数 必修	選択Ⅰ	選択Ⅱ	選択Ⅲ	選択Ⅳ
専門基礎科目		代数学Ⅰ	1		2			
		代数学Ⅱ	1		2			
		解析学Ⅰ	1		2			
		解析学Ⅱ	1		2			
		力学	1		2			
		振動・波動論	1		2			
		基礎化学	1		2			
		熱・統計力学	2		2			
		応用解析学Ⅰ	2		2			
		応用解析学Ⅱ	2		2			
		確率・統計	2		2			
		幾何学	2		2			
		複素解析学	2		2			
		量子力学	2		2			
		生命科学	2		2			
		地球システム科学	2		2			
		工業経済学	2			2		
		工学倫理	2			2		
		環境安全工学	2			2		
		科学・技術論	2			2		
		グローバルエンジニアリング※3	2			2		
		英語論文作成※3	2			2		
		インターンシップ※1	3			2		
		実験英語※4	3			2		
		シンクロトロン放射光工学※1	4				2	
		知的財産権	4			2		
		卒論英語※4	4			2		
専門教育科目	学科共通科目	計算機基礎	1	2				
		プログラミング演習	1	1				
		プログラミング論Ⅰ	1	2				
		電気回路基礎	1	2				
		電気回路Ⅰ	1	2				
		電気回路演習	1	1				
		電磁気学基礎	1	2				
		電磁気学演習	2	1				
		コンピュータ実習１	2	1				
		電気系基礎実験Ⅰ	2	2				
		電気系基礎実験Ⅱ	2	2				
		基礎電気電子計測	2	2				
		電気工学思考型実験※2	3	2				
		電気工学知識探求型実験※2	3	2				
		電子工学実験※2	3	2				
		情報工学実験※2	3	2				
		卒業研究	4	6				
		電磁気学Ⅰ	2				2	
		情報理論	2				2	
		離散数学	2				2	
		電気回路Ⅱ	2				2	
		電気回路Ⅲ	2				2	
		電気系数学	2				2	
		基礎電子物理	2				2	
		電子回路Ⅰ	2				2	
		電磁気学Ⅱ	2				2	
		コンピュータ実習２	2				1	
		プログラミング論Ⅱ	2				2	
		データ構造とアルゴリズム論	2				2	
		情報通信工学	3				2	
		制御システムⅠ	3				2	
		情報回路	3				2	
		電気電子計測	3				2	

区分			科目名	開講年次	単位数 必修	選択Ⅰ	選択Ⅱ	選択Ⅲ	選択Ⅳ
専門教育科目	コース別科目	電気工学	高電圧・絶縁システム	3					2
			電力輸送工学Ⅰ	3					2
			電力輸送工学Ⅱ	3					2
			制御システムⅡ	3					2
			電力発生工学	3					2
			電力技術	3					2
			電力変換	3					2
			電磁変換工学	3					2
			電機設計	4					2
			電気法規	4					2
			電子物性論	3					2
			半導体デバイスⅠ	3					2
			電気系材料工学	3					2
			半導体デバイスⅡ	3					2
			集積回路	3					2
			電子回路Ⅱ	3					2
		電子情報工学	電子物性論	3					2
			電子回路Ⅱ	3					2
			マイクロ波工学	3					2
			アンテナ電波伝搬	3					2
			光波電子工学	3					2
			応用電子工学	3					2
			フォトニクス工学	3					2
			電波法規	4					2
			デジタル信号処理	3					2
			デジタル通信システム	3					2
			オペレーティングシステム	3					2
			計算機アーキテクチャ	3					2
			コンピューター実習３	3					1
			画像メディア工学	3					2
			人工知能	3					2
			システム設計言語	3					2

※１　インターンシップ、シンクロトロン放射光工学の単位は卒業条件およびすべての許可条件の単位に含まない。

※２　電気工学コースは電気工学思考型実験、電気工学知識探求型実験、電子情報工学コースは電子工学実験、情報工学実験を修得すること。

※３　グローバルリーダー教育プログラム履修生優先。人数制限あり。

※４　グローバルリーダー教育プログラム履修生のみ履修可能。卒業条件およびすべての許可条件の単位に含まない。

電気電子情報工学科　　卒業条件及び卒業研究履修許可条件等　（２年度入学生）

<table>
<tr><th colspan="3">区　　分</th><th>卒　業　条　件</th><th>卒業研究履修
許可条件</th><th>２年次コース配属
許可条件</th></tr>
<tr><td rowspan="9">全学共通科目</td><td rowspan="2">自主自律支援科目</td><td>基礎ゼミナール</td><td rowspan="2">2単位以上*2)</td><td rowspan="2">2単位以上*2)</td><td rowspan="11">30単位以上*1)*5)</td></tr>
<tr><td>キャリアデザイン入門</td></tr>
<tr><td rowspan="4">グローバル化時代のアカデミックスキル科目</td><td>英語コア科目</td><td rowspan="4">8単位以上*3)</td><td rowspan="4">8単位以上*3)</td></tr>
<tr><td>選択英語</td></tr>
<tr><td>外国語</td></tr>
<tr><td>統計・情報</td></tr>
<tr><td rowspan="2">教養教育科目</td><td>人間性の基盤教育科目</td><td rowspan="2">14単位以上*4)</td><td rowspan="2">14単位以上*4)</td></tr>
<tr><td>ひょうご県大特色科目</td></tr>
<tr><td colspan="2">小　計</td><td>28単位以上*5)</td><td>28単位以上*5)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">専門基礎科目</td><td colspan="2">選　択Ⅰ</td><td>22単位以上</td><td>18単位以上</td></tr>
<tr><td colspan="2">選　択Ⅱ　（工学関連科目）</td><td>2単位以上</td><td>－</td></tr>
<tr><td rowspan="3">専門教育科目</td><td colspan="2">必　修</td><td>24単位*7)</td><td>22単位*6)</td></tr>
<tr><td colspan="2">選　択Ⅲ</td><td rowspan="2">合計42単位以上*8),*9)</td><td rowspan="2">合計34単位以上*10)</td></tr>
<tr><td colspan="2">選　択Ⅳ　（コース選択科目）</td><td>－</td></tr>
<tr><td colspan="2">卒業研究</td><td>6単位</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td colspan="3">合　　計</td><td>124単位以上</td><td>110単位以上</td><td>－</td></tr>
</table>

備考

*1)　コース配属は希望と成績により決定する。

*2)　基礎ゼミナールを修得していること。

*3)　英語コア科目、TOEIC総合１、TOEIC総合２、Intensive English１及びIntensive English２の中から６単位修得していること。
情報処理基礎を修得していること。

*4)　人間性の基盤教育科目については、人と文化の分野より２単位以上、人と社会の分野より２単位以上、人と自然の分野より２単位以上を含め、６単位以上を修得していること。
ひょうご県大特色科目については、地域課題探究、グローバル教育および防災教育の３分野のうち２分野以上から４単位以上を修得していること。

*5)　教職に関する科目は含めることができない。

*6)　電気工学コースは電気工学思考型実験、電気工学知識探求型実験、電子情報工学コースは電子工学実験、情報工学実験を修得していること。
なお、電気工学思考型実験、電気工学知識探求型実験あるいは電子工学実験、情報工学実験の履修には電気系基礎実験Ⅰ、Ⅱを修得していなければならない。

*7)　卒業研究６単位は含まない。

*8)　電気工学コース：選択Ⅳ　１４単位以上（電気工学コース科目から１２単位以上）と、選択Ⅲ　１８単位以上を修得していること。

*9)　電子情報工学コース：選択Ⅳ　１４単位以上（電子情報工学コース科目から１２単位以上）と、選択Ⅲ　１８単位以上を修得していること。

*10)　選択Ⅳ　８単位以上と、選択Ⅲ　１４単位以上を修得していること。

○１年間に履修登録できる単位数の上限を５６単位とする。ただし、基礎ゼミナール、集中講義による授業科目および卒業所要単位数に算入されない授業科目は５６単位には含めない。

別表第２（第７条、第２６条、第２７条関係）　機械・材料工学科　　（２年度入学生）

区分			科目名	開講年次	単位数 必修	単位数 選択
専門基礎科目	選択Ⅰ		代数学Ⅰ	1	2	
			解析学Ⅰ	1	2	
			解析学Ⅱ	1	2	
			応用解析学Ⅰ	2	2	
			代数学Ⅱ	1		2
			幾何学	2		2
			複素解析学	2		2
			応用解析学Ⅱ	2		2
			確率・統計	2		2
			数値解析	3		2
	選択Ⅱ		力学Ⅰ	1	2	
			力学Ⅱ	1	2	
			電磁気学	2	2	
			基礎化学Ⅰ	1		2
			基礎化学Ⅱ	1		2
			生命科学	2		2
			地球システム科学	2		2
			現代物理学	2		2
			振動・波動論	2		2
	工学関連科目 選択		工学倫理	1	2	
			機械・材料工学概論	1	2	
			プログラミング演習	1	1	
			工業経済学	2		2
			グローバルエンジニアリング※1	2		2
			英語論文作成※1	2		2
			インターンシップ※3	3		2
			シンクロトロン放射光工学	3		2
			実験英語※2	3		2
			知的財産権	3		2
			科学・技術論	4		2
			卒論英語※2	4		2
	実践基礎科目		機械工作実習	1	1	
			機械・材料工学実験	1	1	
			力学Ⅰ演習	1	1	
			力学Ⅱ演習	1	1	
			機械設計製図Ⅰ	2	2	
専門教育科目	機械工学コース	必修	機械設計製図Ⅱ	2	2	
			機械設計演習	2	1	
			材料力学Ⅰ	2	2	
			流体力学Ⅰ	2	2	
			熱力学Ⅰ	2	2	
			機械力学Ⅰ	2	2	
			制御工学Ⅰ	2	2	
			総合機械工学	3	2	
			機械工学実験	3	1	
			創造設計演習Ⅰ	3	3	
			創造設計演習Ⅱ	3	3	
			創造設計工作実習	3	1	
			機械工学演習	4	2	
			卒業研究	4	6	

※1　グローバルリーダー教育プログラム履修生優先。人数制限あり

※2　グローバルリーダー教育プログラム履修生のみ履修可能。卒業条件およびすべての許可条件の単位に含まない。

※3　インターンシップの単位は卒業条件およびすべての許可条件の単位に含まない。

区分			科目名	開講年次	単位数 必修	単位数 選択
専門教育科目	機械工学コース	選択Ⅰ	材料力学Ⅱ	2		2
			流体力学Ⅱ	2		2
			熱力学Ⅱ	2		2
			機械加工学	2		2
			機械設計Ⅰ	2		2
			機械設計Ⅱ	3		2
			機械力学Ⅱ	3		2
			制御工学Ⅱ	3		2
		選択Ⅱ	電気電子工学概論	3		2
			数値流体力学	3		2
			機械材料学	3		2
			固体力学	3		2
			伝熱工学	3		2
			メカトロニクス	3		2
			計測工学	4		2
			自動車工学	4		2
		材料基礎科目	基礎材料工学Ⅰ	2		2
			基礎材料工学Ⅱ	2		2
			基礎材料工学Ⅲ	2		2
			鉄鋼材料学	3		2
			非鉄金属材料学	3		2
	材料工学コース	必修	基礎材料工学Ⅰ	2	2	
			基礎材料工学Ⅱ	2	2	
			基礎材料工学Ⅲ	2	2	
			物性物理Ⅰ	2	2	
			物性物理Ⅱ	2	2	
			物理化学Ⅰ	2	2	
			材料強度学	3	2	
			鉄鋼材料学	3	2	
			非鉄金属材料学	3	2	
			材料工学実験Ⅰ	2	2	
			材料工学実験Ⅱ	3	2	
			材料工学実験Ⅲ	3	2	
			科学英語	4	2	
			卒業研究	4	6	
		選択	X線回折学	2		2
			物理化学Ⅱ	3		2
			物理化学Ⅲ	3		2
			物性物理Ⅲ	3		2
			量子磁性材料	3		2
			材料組織工学	3		2
			計算材料学	3		2
			半導体工学	3		2
			バイオマイクロシステム工学	3		2
			結晶塑性学	3		2
			電気化学	3		2
			加速器科学	3		2
			放射光科学	3		2
			生体材料計測工学	3		2
			プレゼンテーション演習	4		1
		機械基礎科目	材料力学Ⅰ	2		2
			熱力学Ⅰ	2		2
			機械力学Ⅰ	2		2
			機械加工学	2		2
			機械設計Ⅰ	2		2

機械・材料工学科　卒業条件及び卒業研究履修許可条件等　　（２年度入学生）

区分			卒業条件	卒業研究履修許可条件	２年次コース配属許可条件
全学共通科目	自主自律支援科目	基礎ゼミナール	2単位以上*2)	2単位以上*2)	30単位以上*1)*5)
		キャリアデザイン入門			
	グローバル化時代のアカデミックスキル科目	英語コア科目	8単位以上*3)	8単位以上*3)	
		選択英語			
		外国語			
		統計・情報			
	教養教育科目	人間性の基盤教育科目	14単位以上*4)	14単位以上*4)	
		ひょうご県大特色科目			
	小　計		28単位以上*5)	28単位以上*5)	
専門基礎科目	Ⅰ	必　修	8単位	8単位	
		選　択	8単位以上	8単位	
	Ⅱ	必　修	6単位	6単位	
		選　択	4単位以上	4単位	
	工学関連科目	必　修	5単位	5単位	
		選　択	4単位以上	4単位以上	
	実践基礎科目	必　修	6単位	6単位	
専門教育科目	機械工学コース	必　修	25単位*6.7)	23単位	－
		選択Ⅰ	10単位以上	8単位	
		選択Ⅱ	10単位以上	6単位*12)	
		材料基礎科目	4単位以上	4単位*12)	－
	材料工学コース	必　修	26単位*6.8)	22単位*9)	－
		選　択	19単位以上*10)	15単位以上*11)	
		機械基礎科目	4単位*10)	4単位*11)	－
	卒業研究		6単位	－	－
	合　計		124単位以上	110単位以上	－

備考

*1)　配属は希望と成績により決定する。全学共通の科目を最大28単位とし、30単位未満の単位修得学生にはコース履修を認めない。
*2)　基礎ゼミナールを修得していること。
*3)　英語コア科目、TOEIC総合1、TOEIC総合2、Intensive English1及びIntensive English2の中から6単位修得していること。
情報処理基礎を修得していること。
*4)　人間性の基盤教育科目については、人と文化の分野より2単位以上、人と社会の分野より2単位以上、人と自然の分野より2単位以上を含め、6単位以上を修得していること。
ひょうご県大特色科目については、地域課題探究、グローバル教育および防災教育の3分野のうち2分野以上から4単位以上を修得していること。
*5)　教職に関する科目は含めることができない。
*6)　卒業研究6単位は含まない。
*7)　卒業研究履修許可者のみ機械工学演習を履修できる。
*8)　卒業研究履修許可者のみ科学英語を履修できる。
*9)　材料工学実験Ⅰ、材料工学実験Ⅱ、材料工学実験Ⅲを含まなければならない。
*10)　ただし、機械基礎科目の取得が2単位の場合には、材料コースの選択科目を21単位以上取得していることをもって代えることができる。
*11)　ただし、機械基礎科目の取得が2単位の場合には、材料コースの選択科目を17単位以上取得していることをもって代えることができる。
*12)　ただし、材料基礎科目の取得が2単位の場合には、機械工学コースの選択Ⅱ科目を8単位以上取得していることをもって代えることができる。
○　1年間に履修登録できる単位数の上限を56単位とする。ただし、機械・材料工学概論、集中講義による授業科目および卒業所要単位数に算入されない授業科目は56単位には含めない。

別表第2　（第7条、第26条、第27条関係）　応用化学工学科　（２年度入学生）

区分		科目名	開講年次	単位数 必修	選択Ⅰ	選択Ⅱ	選択Ⅲ
専門基礎科目		代数学 Ⅰ	1	2			
		解析学 Ⅰ	1	2			
		基礎物理学 Ⅰ	1	2			
		基礎物理学 Ⅱ	1	2			
		応用化学概論 Ⅰ	1	2			
		応用化学概論 Ⅱ	1	2			
		化学工学概論 Ⅰ	1	2			
		化学工学概論 Ⅱ	1	2			
		化学実験	1	2			
		代数学 Ⅱ	1		2		
		解析学 Ⅱ	1		2		
		応用解析学 Ⅰ	2		2		
		量子論入門	1		2		
		基礎物理学 Ⅲ	2		2		
		工業経済学	2		2		
		電気電子工学概論	2		2		
		幾何学	2		2		
		地球システム科学	2		2		
		生命科学	2		2		
		工学倫理	2		2		
		グローバルエンジニアリング※2	2		2		
		英語論文作成※2	2		2		
		実験英語※3	3		2		
		知的財産権	4		2		
		科学・技術論	4		2		
		卒論英語※3	4		2		
		シンクロトロン放射光工学※1	3		2		
専門教育科目	学科共通科目	物理化学 Ⅰ	2	2			
		無機化学 Ⅰ	2	2			
		有機化学 Ⅰ	2	2			
		物理化学 Ⅱ	2	2			
		無機化学 Ⅱ	2	2			
		有機化学 Ⅱ	2	2			
		科学英語	4			2	
		卒業研究	4	6			
		インターンシップ※1	3			2	
		生物学実験※1	4			1	
		地学実験※1	4			1	

※1 卒業条件およびすべての許可条件の単位に含まない。

※2 グローバルリーダー教育プログラム履修生優先。人数制限あり

※3 グローバルリーダー教育プログラム履修生のみ履修可能。卒業条件およびすべての許可条件の単位に含まない

区分			科目名	開講年次	単位数 必修	選択Ⅰ	選択Ⅱ	選択Ⅲ
専門教育科目	コース別科目	応用化学コース	分析化学 Ⅰ	2	2			
			分析化学 Ⅱ	2	2			
			生物化学 Ⅰ	2	2			
			生物化学 Ⅱ	2	2			
			高分子化学 Ⅰ	2	2			
			高分子化学 Ⅱ	2	2			
			物理化学 Ⅲ	3				2
			無機化学 Ⅲ	3				2
			有機化学 Ⅲ	3				2
			有機分光学	3				2
			有機材料化学	3				2
			高分子材料化学	3				2
			光化学	3				2
			生物化学 Ⅲ	3				2
			生物工学	3				2
			遺伝子工学	3				2
			量子化学	3				2
			無機材料化学(B)	3				2
			物質計測化学	3				2
			電気化学(B)	3				2
			学生実験 Ⅰ	2	2			
			学生実験 Ⅱ	2	2			
			学生実験 Ⅲ	3	4			
			学生実験 Ⅳ	3	4			
		化学工学コース	化学工学	2	2			
			反応工学	2	2			
			金属学	2	2			
			製図学	2	2			
			化学工学プログラミング	2	2			
			工業数学	2	2			
			化学熱力学	3	2			
			電気化学(A)	3	2			
			物質創成工学 Ⅰ	3	2			
			構造解析学	2				2
			流体工学	2				2
			移動現象論	2				2
			物質創成工学 Ⅱ	3				2
			物質創成工学 Ⅲ	3				2
			固体表面科学	3				2
			無機材料化学(A)	3				2
			材料力学	3				2
			分離工学	3				2
			金属伝熱物理	3				2
			粉粒体工学	3				2
			粘性流体力学	3				2
			高分子材料工学	3				2
			化学工学設計演習	3	2			
			物理学実験	2	2			
			化学工学実験	3	2			

応用化学工学科　　卒業条件及び卒業研究履修許可条件等　　（２年度入学生）

<table>
<tr><th colspan="3">区　　分</th><th>卒 業 条 件</th><th>卒業研究履修
許可条件</th><th>２年次コース配属
許可条件</th></tr>
<tr><td rowspan="9">全学共通科目</td><td rowspan="2">自主自律支援科目</td><td>基礎ゼミナール</td><td rowspan="2">2単位以上*2)</td><td rowspan="2">2単位以上*2)</td><td rowspan="11">30単位以上*1)*5)</td></tr>
<tr><td>キャリアデザイン入門</td></tr>
<tr><td rowspan="4">グローバル化時代のアカデミックスキル科目</td><td>英語コア科目</td><td rowspan="4">8単位以上*3)</td><td rowspan="4">8単位以上*3)</td></tr>
<tr><td>選択英語</td></tr>
<tr><td>外国語</td></tr>
<tr><td>統計・情報</td></tr>
<tr><td rowspan="2">教養教育科目</td><td>人間性の基盤教育科目</td><td rowspan="2">14単位以上*4)</td><td rowspan="2">14単位以上*4)</td></tr>
<tr><td>ひょうご県大特色科目</td></tr>
<tr><td colspan="2">小　計</td><td>28単位以上*5)</td><td>28単位以上*5)</td></tr>
<tr><td>専門基礎</td><td colspan="2">必　修</td><td>18単位</td><td>18単位</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">選　択Ⅰ</td><td>8単位以上</td><td>8単位以上</td></tr>
<tr><td rowspan="5">専門教育科目</td><td rowspan="2">学科共通科目</td><td>必　修</td><td>12単位*7)</td><td>10単位以上</td><td>－</td></tr>
<tr><td>選　択Ⅱ</td><td>2単位以上 *5)*6)</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td rowspan="2">コース別科目</td><td>必修</td><td>24単位</td><td>22単位以上</td><td>－</td></tr>
<tr><td>選　択Ⅲ</td><td>26単位以上*9)</td><td>24単位以上*8)</td><td>－</td></tr>
<tr><td colspan="2">卒業研究</td><td>6単位</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">合　　計</td><td>124単位以上</td><td>110単位以上</td><td>－</td></tr>
</table>

備考

*1)　２年次コース配属は希望と成績により決定する。配属許可者のみが専門教育科目を履修できる。
*2)　基礎ゼミナールを修得していること。
*3)　英語コア科目、TOEIC総合１、TOEIC総合２、Intensive English１及びIntensive English２の中から６単位修得していること。
　　情報処理基礎を修得していること。
*4)　人間性の基盤教育科目については、人と文化の分野より２単位以上、人と社会の分野より２単位以上、人と自然の分野より２単位以上を含め、６単位以上を修得していること。
　　ひょうご県大特色科目については、地域課題探究、グローバル教育および防災教育の３分野のうち２分野以上から４単位以上を修得していること。
*5)　教職に関する科目は含めることができない。
*6)　卒業研究履修許可者のみ科学英語を履修できる。
*7)　卒業研究６単位は含まない。
*8)　所属コース科目を16単位以上修得すること。
*9)　所属コース科目を20単位以上修得すること。
○１年間に履修登録できる単位数の上限を５６単位とする。ただし、応用化学概論Ⅱ、化学工学概論Ⅱ、集中講義による授業科目および卒業所要単位数に算入されない授業科目は５６単位には含めない。

別表第２（第7条、第26条、第27条関係）　　電気電子情報工学科　　（31年度入学生）

区分		科目名	開講年次	単位数 必修	選択Ⅰ	選択Ⅱ	選択Ⅲ	選択Ⅳ
専門基礎科目		代数学Ⅰ	1		2			
		代数学Ⅱ	1		2			
		解析学Ⅰ	1		2			
		解析学Ⅱ	1		2			
		応用解析学Ⅰ	1		2			
		力学	1		2			
		振動・波動論	1		2			
		基礎化学	1		2			
		熱・統計力学	2		2			
		応用解析学Ⅱ	2		2			
		確率・統計	2		2			
		幾何学	2		2			
		複素解析学	2		2			
		量子力学	2		2			
		生命科学	2		2			
		地球システム科学	2		2			
		工業経済学	2			2		
		工学倫理	2			2		
		環境安全工学	2			2		
		科学・技術論	2			2		
		グローバルエンジニアリング※3	2			2		
		英語論文作成※3	2			2		
		グローバル理・工海外実践※4	2			1		
		インターンシップ※1	3			2		
		実験英語※4	3			2		
		シンクロトロン放射光工学※1	4				2	
		知的財産権	4			2		
		卒論英語※4	4			2		
専門教育科目	学科共通科目	計算機基礎	1	2				
		プログラミング演習	1	1				
		プログラミング論Ⅰ	1	2				
		電気回路基礎	1	2				
		電気回路Ⅰ	1	2				
		電気回路演習	1	1				
		電磁気学基礎	1	2				
		電磁気学演習	2	1				
		コンピュータ実習１	2	1				
		電気系基礎実験Ⅰ	2	2				
		電気系基礎実験Ⅱ	2	2				
		基礎電気電子計測	2	2				
		電気工学思考型実験※2	3	2				
		電気工学知識探求型実験※2	3	2				
		電子工学実験※2	3	2				
		情報工学実験※2	3	2				
		卒業研究	4	6				
		電磁気学Ⅰ	2				2	
		情報理論	2				2	
		論理数学	2				2	
		電気回路Ⅱ	2				2	
		電気回路Ⅲ	2				2	
		電気系数学	2				2	
		基礎電子物理	2				2	
		電子回路Ⅰ	2				2	
		電磁気学Ⅱ	2				2	
		コンピュータ実習２	2				1	
		プログラミング論Ⅱ	2				2	
		データ構造とアルゴリズム論	2				2	
		情報通信工学	3				2	
		制御システムⅠ	3				2	
		情報回路	3				2	
		電気電子計測	3				2	

区分			科目名	開講年次	単位数 必修	選択Ⅰ	選択Ⅱ	選択Ⅲ	選択Ⅳ
専門教育科目	コース別科目	電気工学	高電圧・絶縁システム	3					2
			電力輸送工学Ⅰ	3					2
			電力輸送工学Ⅱ	3					2
			制御システムⅡ	3					2
			電力発生工学	3					2
			電力技術	3					2
			電力変換	3					2
			電磁変換工学	3					2
			電機設計	4					2
			電気法規	4					2
			電子物性論	3					2
			半導体デバイスⅠ	3					2
			電気系材料工学	3					2
			半導体デバイスⅡ	3					2
			集積回路	3					2
			電子回路Ⅱ	3					2
		電子情報工学	電子物性論	3					2
			電子回路Ⅱ	3					2
			マイクロ波工学	3					2
			アンテナ電波伝搬	3					2
			光波電子工学	3					2
			応用電子工学	3					2
			フォトニクス工学	3					2
			電波法規	4					2
			デジタル信号処理	3					2
			デジタル通信システム	3					2
			オペレーティングシステム	3					2
			計算機アーキテクチャ	3					2
			コンピューター実習３	3					1
			画像メディア工学	3					2
			人工知能	3					2
			システム設計言語	3					2

※１ インターンシップ、シンクロトロン放射光工学の単位は卒業条件およびすべての許可条件の単位に含まない。

※２ 電気工学コースは電気工学思考型実験、電気工学知識探求型実験、電子情報工学コースは電子工学実験、情報工学実験を修得すること。

※３ グローバルリーダー教育プログラム履修生優先。人数制限あり。

※４ グローバルリーダー教育プログラム履修生のみ履修可能。卒業条件およびすべての許可条件の単位に含まない。

電気電子情報工学科　　卒業条件及び卒業研究履修許可条件等　(31年度入学生)

<table>
<tr><th colspan="3">区　　分</th><th>卒　業　条　件</th><th>卒業研究履修
許可条件</th><th>2年次コース配属
許可条件</th></tr>
<tr><td rowspan="8">全学共通科目</td><td rowspan="2">自主自律支援科目</td><td>基礎ゼミナール</td><td rowspan="2">2単位以上*2)</td><td rowspan="2">2単位以上*2)</td><td rowspan="11">30単位以上*1)*5)</td></tr>
<tr><td>キャリアデザイン入門</td></tr>
<tr><td rowspan="4">グローバル化時代のアカデミックスキル科目</td><td>英語コア科目</td><td rowspan="4">8単位以上*3)</td><td rowspan="4">8単位以上*3)</td></tr>
<tr><td>選択英語</td></tr>
<tr><td>外国語</td></tr>
<tr><td>統計・情報</td></tr>
<tr><td rowspan="2">教養教育科目</td><td>人間性の基盤教育科目</td><td rowspan="2">14単位以上*4)</td><td rowspan="2">14単位以上*4)</td></tr>
<tr><td>ひょうご県大特色科目</td></tr>
<tr><td colspan="2">小　計</td><td>28単位以上*5)</td><td>28単位以上*5)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">専門基礎科目</td><td colspan="2">選　択Ⅰ</td><td>22単位以上</td><td>18単位以上</td></tr>
<tr><td colspan="2">選　択Ⅱ　(工学関連科目)</td><td>2単位以上</td><td>－</td></tr>
<tr><td rowspan="4">専門教育科目</td><td colspan="2">必　修</td><td>24単位*7)</td><td>22単位*6)</td></tr>
<tr><td colspan="2">選　択Ⅲ</td><td rowspan="2">合計42単位以上*8),*9)</td><td rowspan="2">合計34単位以上*10)</td></tr>
<tr><td colspan="2">選　択Ⅳ　(コース選択科目)</td><td>－</td></tr>
<tr><td colspan="2">卒業研究</td><td>6単位</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td colspan="3">合　　計</td><td>124単位以上</td><td>110単位以上</td><td></td></tr>
</table>

備考

*1)　コース配属は希望と成績により決定する。

*2)　基礎ゼミナールを修得していること。

*3)　英語コア科目、TOEIC総合１、TOEIC総合２、Intensive English１及びIntensive English２の中から６単位修得していること。
情報処理基礎を修得していること。

*4)　人間性の基盤教育科目については、人と文化の分野より２単位以上、人と社会の分野より２単位以上、人と自然の分野より２単位以上を含め、６単位以上を修得していること。
ひょうご県大特色科目については、地域課題探究、グローバル教育および防災教育の３分野のうち２分野以上から４単位以上を修得していること。

*5)　教職に関する科目は含めることができない。

*6)　電気工学コースは電気工学思考型実験、電気工学知識探求型実験、電子情報工学コースは電子工学実験、情報工学実験を修得していること。
なお、電気工学思考型実験、電気工学知識探求型実験あるいは電子工学実験、情報工学実験の履修には電気系基礎実験Ⅰ、Ⅱを修得していなければならない。

*7)　卒業研究６単位は含まない。

*8)　電気工学コース：選択Ⅳ　１４単位以上（電気工学コース科目から１２単位以上）と、選択Ⅲ　１８単位以上を修得していること。

*9)　電子情報工学コース：選択Ⅳ　１４単位以上（電子情報工学コース科目から１２単位以上）と、選択Ⅲ　１８単位以上を修得していること。

*10)　選択Ⅳ　８単位以上と、選択Ⅲ　１４単位以上を修得していること。

○１年間に履修登録できる単位数の上限を５８単位とする。ただし、基礎ゼミナール、集中講義による授業科目および卒業所要単位数に算入されない授業科目は５８単位には含めない。

別表第２（第７条、第２６条、第２７条関係）　機械・材料工学科　（31年度入学生）

区分			科目名	開講年次	単位数 必修	単位数 選択
専門基礎科目	選択Ⅰ		代数学Ⅰ	1	2	
			解析学Ⅰ	1	2	
			解析学Ⅱ	1	2	
			応用解析学Ⅰ	1	2	
			代数学Ⅱ	1		2
			幾何学	2		2
			複素解析学	2		2
			応用解析学Ⅱ	2		2
			確率・統計	2		2
			数値解析	3		2
	選択Ⅱ		力学Ⅰ	1	2	
			力学Ⅱ	1	2	
			電磁気学	2	2	
			基礎化学Ⅰ	1		2
			基礎化学Ⅱ	1		2
			生命科学	2		2
			地球システム科学	2		2
			現代物理学	2		2
			振動・波動論	2		2
	工学関連科目 選択		工学倫理	1	2	
			機械・材料工学概論	1	2	
			プログラミング演習	1	1	
			工業経済学	2		2
			グローバルエンジニアリング※1	2		2
			英語論文作成※1	2		2
			グローバル理・工海外実践※2	2		1
			インターンシップ※3	3		2
			シンクロトロン放射光工学	3		2
			実験英語※2	3		2
			知的財産権	3		2
			科学・技術論	4		2
			卒論英語※2	4		2
	実践基礎科目		機械工作実習	1	1	
			機械・材料工学実験	1	1	
			力学Ⅰ演習	1	1	
			力学Ⅱ演習	1	1	
			機械設計製図Ⅰ	2	2	
専門教育科目	機械工学コース	必修	機械設計製図Ⅱ	2	2	
			機械設計演習	2	1	
			機械解剖学	2	2	
			材料力学Ⅰ	2	2	
			流体力学Ⅰ	2	2	
			熱力学Ⅰ	2	2	
			機械力学Ⅰ	2	2	
			制御工学Ⅰ	2	2	
			機械工学実験	3	1	
			創造設計演習Ⅰ	3	3	
			創造設計演習Ⅱ	3	3	
			創造設計工作実習	3	1	
			機械工学演習	4	2	
			卒業研究	4	6	

※1　グローバルリーダー教育プログラム履修生優先。人数制限あり

※2　グローバルリーダー教育プログラム履修生のみ履修可能。卒業条件およびすべての許可条件の単位に含まない。

※3　インターンシップの単位は卒業条件およびすべての許可条件の単位に含まない。

区分			科目名	開講年次	単位数 必修	単位数 選択
専門教育科目	機械工学コース	選択Ⅰ	材料力学Ⅱ	2		2
			流体力学Ⅱ	2		2
			熱力学Ⅱ	2		2
			機械材料学	2		2
			機械加工学	2		2
			機械設計Ⅰ	2		2
			機械設計Ⅱ	3		2
			機械力学Ⅱ	3		2
			制御工学Ⅱ	3		2
			電気電子工学概論	3		2
		選択Ⅱ	数値流体力学	3		2
			固体力学	3		2
			計測工学	3		2
			伝熱工学	3		2
			エネルギー変換工学	3		2
			マイクロテクノロジー	3		2
			メカトロニクス	3		2
			生産システム工学	3		2
			自動車工学	4		2
			ロボット工学	4		2
		材料基礎科目	基礎材料工学Ⅰ	2		2
			基礎材料工学Ⅱ	2		2
			基礎材料工学Ⅲ	2		2
			金属材料学Ⅰ	3		2
			金属材料学Ⅱ	3		2
	材料工学コース	必修	基礎材料工学Ⅰ	2	2	
			基礎材料工学Ⅱ	2	2	
			基礎材料工学Ⅲ	2	2	
			材料物理Ⅰ	2	2	
			材料物理Ⅱ	2	2	
			物理化学	2	2	
			材料強度安全工学	3	2	
			金属材料学Ⅰ	3	2	
			金属材料学Ⅱ	3	2	
			材料工学実験Ⅰ	2	2	
			材料工学実験Ⅱ	3	2	
			材料工学実験Ⅲ	3	2	
			科学英語	4	2	
			卒業研究	4	6	
		選択	微細加工工学	2		2
			物理化学Ⅱ	3		2
			電気反応化学	3		2
			エネルギー材料工学	3		2
			量子反応工学	3		2
			材料組織・粉体工学	3		2
			計算材料学	3		2
			材料計測制御工学	3		2
			バイオマイクロシステム工学	3		2
			金属材料工学	3		2
			電気化学	3		2
			加速器科学	3		2
			放射光科学	3		2
			生体材料計測工学	3		2
			プレゼンテーション演習	4		1
	機械基礎科目		材料力学Ⅰ	2		2
			熱力学Ⅰ	2		2
			機械力学Ⅰ	2		2
			機械加工学	2		2
			機械設計Ⅰ	2		2

機械・材料工学科　卒業条件及び卒業研究履修許可条件等　　(31年度入学生)

区分			卒業条件	卒業研究履修許可条件	２年次コース配属許可条件
全学共通科目	自主自律支援科目	基礎ゼミナール	2単位以上*2)	2単位以上*2)	30単位以上*1)*5)
		キャリアデザイン入門			
	グローバル化時代のアカデミックスキル科目	英語コア科目	8単位以上*3)	8単位以上*3)	
		選択英語			
		外国語			
		統計・情報			
	教養教育科目	人間性の基盤教育科目	14単位以上*4)	14単位以上*4)	
		ひょうご県大特色科目			
	小　計		28単位以上*5)	28単位以上*5)	
専門基礎科目	Ⅰ	必　修	8単位	8単位	
		選　択	8単位以上	8単位	
	Ⅱ	必　修	6単位	6単位	
		選　択	4単位以上	4単位	
	工学関連科目	必　修	5単位	5単位	
		選　択	4単位以上	4単位以上	
	実践基礎科目	必　修	6単位	6単位	
専門教育科目	機械工学コース	必　修	25単位*6.7)	23単位	－
		選 択 Ⅰ	10単位以上	8単位	
		選 択 Ⅱ	10単位以上	8単位	
		材料基礎科目	4単位以上	2単位	－
	材料工学コース	必　修	26単位*6.8)	22単位*9)	－
		選　択	19単位以上*10)	15単位以上*11)	
		機械基礎科目	4単位*10)	4単位*11)	－
	卒業研究		6単位	－	－
	合　計		124単位以上	110単位以上	－

備考

*1)　配属は希望と成績により決定する。全学共通の科目を最大28単位とし、30単位未満の単位修得学生にはコース履修を認めない。
*2)　基礎ゼミナールを修得していること。
*3)　英語コア科目、TOEIC総合1、TOEIC総合2、Intensive English 1及びIntensive English 2の中から6単位修得していること。
情報処理基礎を修得していること。
*4)　人間性の基盤教育科目については、人と文化の分野より2単位以上、人と社会の分野より2単位以上、人と自然の分野より2単位以上を含め、6単位以上を修得していること。
ひょうご県大特色科目については、地域課題探究、グローバル教育および防災教育の3分野のうち2分野以上から4単位以上を修得していること。
*5)　教職に関する科目は含めることができない。
*6)　卒業研究6単位は含まない。
*7)　卒業研究履修許可者のみ機械工学演習を履修できる。
*8)　卒業研究履修許可者のみ科学英語を履修できる。
*9)　材料工学実験Ⅰ、材料工学実験Ⅱ、材料工学実験Ⅲを含まなければならない。
*10)　ただし、機械基礎科目の取得が2単位の場合には、材料コースの選択科目を21単位以上取得していることをもって代えることができる。
*11)　ただし、機械基礎科目の取得が2単位の場合には、材料コースの選択科目を17単位以上取得していることをもって代えることができる。
○　1年間に履修登録できる単位数の上限を58単位とする。ただし、機械・材料工学概論、集中講義による授業科目および卒業所要単位数に算入されない授業科目は58単位には含めない。

別表第2　（第7条、第26条、第27条関係）　応用化学工学科　（31年度入学生）

区分		科目名	開講年次	単位数 必修	選択Ⅰ	選択Ⅱ	選択Ⅲ
専門基礎科目		代数学 Ⅰ	1	2			
		解析学 Ⅰ	1	2			
		力学 Ⅰ	1	2			
		電磁気学	1	2			
		応用化学概論 Ⅰ	1	2			
		応用化学概論 Ⅱ	1	2			
		化学工学概論 Ⅰ	1	2			
		化学工学概論 Ⅱ	1	2			
		化学実験	1	2			
		代数学 Ⅱ	1		2		
		解析学 Ⅱ	1		2		
		応用解析学 Ⅰ	1		2		
		量子論入門	1		2		
		力学 Ⅱ	2		2		
		工業経済学	2		2		
		電気電子工学概論	2		2		
		幾何学	2		2		
		地球システム科学	2		2		
		生命科学	2		2		
		工学倫理	2		2		
		グローバルエンジニアリング※2	2		2		
		英語論文作成※2	2		2		
		グローバル理・工海外実践※3	2		1		
		実験英語※3	3		2		
		知的財産権	4		2		
		科学・技術論	4		2		
		卒論英語※3	4		2		
		シンクロトロン放射光工学※1	3		2		
専門教育科目	学科共通科目	物理化学 Ⅰ	2	2			
		無機化学 Ⅰ	2	2			
		有機化学 Ⅰ	2	2			
		物理化学 Ⅱ	2	2			
		無機化学 Ⅱ	2	2			
		有機化学 Ⅱ	2	2			
		科学英語	4			2	
		卒業研究	4	6			
		インターンシップ※1	3			2	
		生物学実験※1	4			1	
		地学実験※1	4			1	

区分			科目名	開講年次	単位数 必修	選択Ⅰ	選択Ⅱ	選択Ⅲ
専門教育科目	コース別科目	応用化学コース	分析化学 Ⅰ	2	2			
			分析化学 Ⅱ	2	2			
			生物化学 Ⅰ	2	2			
			生物化学 Ⅱ	2	2			
			高分子化学 Ⅰ	2	2			
			高分子化学 Ⅱ	2	2			
			物理化学 Ⅲ	3				2
			無機化学 Ⅲ	3				2
			有機化学 Ⅲ	3				2
			有機分光学	3				2
			有機材料化学	3				2
			高分子材料化学	3				2
			光化学	3				2
			生物化学 Ⅲ	3				2
			生物工学 Ⅰ	3				2
			生物工学 Ⅱ	3				2
			量子化学	3				2
			無機材料化学(B)	3				2
			物質計測化学	3				2
			電気化学(B)	3				2
			学生実験 Ⅰ	2	2			
			学生実験 Ⅱ	2	2			
			学生実験 Ⅲ	3	4			
			学生実験 Ⅳ	3	4			
		化学工学コース	化学工学	2	2			
			反応化学工学	2	2			
			金属学	2	2			
			製図学	2	2			
			化学工学プログラミング	2	2			
			工業数学	2	2			
			化学熱力学	3	2			
			電気化学(A)	3	2			
			物質創成工学 Ⅰ	3	2			
			構造解析学	2				2
			材料・流体計測	2				2
			移動現象論	2				2
			物質創成工学 Ⅱ	3				2
			物質創成工学 Ⅲ	3				2
			固体表面科学	3				2
			無機材料化学(A)	3				2
			材料力学	3				2
			材料分離工学	3				2
			金属伝熱物理	3				2
			固体・粉体物性	3				2
			材料レオロジー工学	3				2
			高分子材料工学	3				2
			化学工学設計演習	3	2			
			物理学実験	2	2			
			化学工学実験	3	2			

※1 卒業条件およびすべての許可条件の単位に含まない。

※2 グローバルリーダー教育プログラム履修生優先。人数制限あり

※3 グローバルリーダー教育プログラム履修生のみ履修可能。卒業条件およびすべての許可条件の単位に含まない

応用化学工学科　　卒業条件及び卒業研究履修許可条件等　　（31年度入学生）

<table>
<tr><th colspan="3">区　　分</th><th>卒 業 条 件</th><th>卒業研究履修
許可条件</th><th>２年次コース配属
許可条件</th></tr>
<tr><td rowspan="8">全学共通科目</td><td rowspan="2">自主自律支援科目</td><td>基礎ゼミナール</td><td rowspan="2">2単位以上*2)</td><td rowspan="2">2単位以上*2)</td><td rowspan="10">30単位以上*1)*5)</td></tr>
<tr><td>キャリアデザイン入門</td></tr>
<tr><td rowspan="4">グローバル化時代のアカデミックスキル科目</td><td>英語コア科目</td><td rowspan="4">8単位以上*3)</td><td rowspan="4">8単位以上*3)</td></tr>
<tr><td>選択英語</td></tr>
<tr><td>外国語</td></tr>
<tr><td>統計・情報</td></tr>
<tr><td rowspan="2">教養教育科目</td><td>人間性の基盤教育科目</td><td rowspan="2">14単位以上*4)</td><td rowspan="2">14単位以上*4)</td></tr>
<tr><td>ひょうご県大特色科目</td></tr>
<tr><td colspan="2">小　計</td><td>28単位以上*5)</td><td>28単位以上*5)</td></tr>
<tr><td>専門基礎</td><td colspan="2">必　修</td><td>18単位</td><td>18単位</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">選　択Ⅰ</td><td>8単位以上</td><td>8単位以上</td></tr>
<tr><td rowspan="5">専門教育科目</td><td rowspan="2">学科共通科目</td><td>必　修</td><td>12単位*7)</td><td>10単位以上</td><td>－</td></tr>
<tr><td>選　択Ⅱ</td><td>2単位以上 *5)*6)</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td rowspan="2">コース別科目</td><td>必修</td><td>24単位</td><td>22単位以上</td><td>－</td></tr>
<tr><td>選　択Ⅲ</td><td>26単位以上*9)</td><td>24単位以上*8)</td><td>－</td></tr>
<tr><td colspan="2">卒業研究</td><td>6単位</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">合　　計</td><td>124単位以上</td><td>110単位以上</td><td>－</td></tr>
<tr><td>備考</td><td colspan="5">*1)　２年次コース配属は希望と成績により決定する。配属許可者のみが専門教育科目を履修できる。
*2)　基礎ゼミナールを修得していること。
*3)　英語コア科目、TOEIC総合１、TOEIC総合２、Intensive English１及びIntensive English２の中から６単位修得していること。
情報処理基礎を修得していること。
*4)　人間性の基盤教育科目については、人と文化の分野より２単位以上、人と社会の分野より２単位以上、人と自然の分野より２単位以上を含め、６単位以上を修得していること。
ひょうご県大特色科目については、地域課題探究、グローバル教育および防災教育の３分野のうち２分野以上から４単位以上を修得していること。
*5)　教職に関する科目は含めることができない。
*6)　卒業研究履修許可者のみ科学英語を履修できる。
*7)　卒業研究６単位は含まない。
*8)　所属コース科目を16単位以上修得すること。
*9)　所属コース科目を20単位以上修得すること。
○１年間に履修登録できる単位数の上限を５８単位とする。ただし、応用化学概論Ⅱ、化学工学概論Ⅱ、集中講義による授業科目および卒業所要単位数に算入されない授業科目は５８単位には含めない。</td></tr>
</table>

別表第３（第８条、第２８条関係）（令和 31 年度以降入学生）

１　基礎資格及び所要単位数
第 28 条第 2 項の免許状を取得するための所要資格は次のとおりである。

所要資格 ＼ 免許状の種類	基礎資格	最低必要単位					
		教科及び教科の指導法に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育実践に関する科目	大学が独自に設定する科目	教職に関する必修科目
中学校教諭一種免許状	学士の学位を有すること	数学 28単位 理科 28単位	10単位	10単位	7単位	4単位	合計 8単位 日本国憲法 2単位 体育 2単位 外国語コミュニケーション 2単位 情報機器の操作又は数理、データ活用及び人工知能に関する科目 2単位
高等学校教諭一種免許状	学士の学位を有すること	数学 24単位 理科 24単位 工業 24単位 情報 24単位	10単位	8単位	5単位	12単位	

2 教科及び教科の指導法に関する科目

電気電子情報工学科（令和6年度入学生）

いずれの免許を取得する場合も各科目区分から1単位以上を修得すること。

数学　中一種免　高一種免

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目	
	授業科目	単位数
代数学	○代数学Ⅰ	2
	○代数学Ⅱ	2
	離散数学	2
幾何学	○幾何学	2
	電磁気学Ⅱ	2
解析学	○解析学Ⅰ	2
	○解析学Ⅱ	2
	応用解析学Ⅰ	2
	応用解析学Ⅱ	2
	複素解析学	2
	電気系数学	2
「確率論、統計学」	○確率・統計	2
	情報理論	2
コンピュータ	○プログラミング論Ⅰ	2
	プログラミング論Ⅱ	2
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	○数学科指導法Ⅰ	2
	○数学科指導法Ⅱ	2
	●数学科指導法Ⅲ	2
	●数学科指導法Ⅳ	2

○印は、免許状を取得する場合の必修科目

●印は、中一種免のみ必修

工業　高一種免

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目	
	授業科目	単位数
工業の関係科目	○電気電子工学概論	2
	○機械・材料工学概論	2
	○化学工学概論Ⅰ	2
	○電気回路基礎	2
	○電気回路Ⅰ	2
	○電気回路演習	1
	電気回路Ⅱ	2
	電気回路Ⅲ	2
	○電磁気学基礎	2
	電磁気学Ⅰ	2
	○電磁気学演習	1
	○電気系基礎実験Ⅰ	2
	○電気系基礎実験Ⅱ	2
	電気工学思考型実験	2
	電気工学知識探求型実験	2
	電子工学実験	2
	情報工学実験	2
	計算機基礎	2
	プログラミング演習	1
	○コンピュータ実習1	1
	コンピュータ実習2	1
	熱・統計力学	2
	振動・波動論	2
	量子力学	2
	電力変換	2
	○基礎電気電子計測	2
	電気電子計測	2
	制御システムⅠ	2
	基礎電子物理	2
	電子回路Ⅰ	2
	情報回路	2
	情報通信工学	2
	工学倫理	2
	環境安全工学	2
職業指導	○職業指導	4
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	○工業科指導法Ⅰ	2
	○工業科指導法Ⅱ	2

○印は、免許状を取得する場合の必修科目

※ 注 数学科指導法の単位を理科、理科指導法の単位を数学の単位として算入することはできない。

※ 注 工業の免許を取得する場合、当分の間「教科の指導法に関する科目」、「教育の基礎的理解に関する科目」、「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」、「教育実践に関する科目」の全部または一部を「教科に関する科目」の修得をもって替えることができる。但し、工業科指導法はなるべく取得する方が望ましい。

機械・材料工学科（令和６年度入学生）

いずれの免許を取得する場合も各科目区分から１単位以上を修得すること。

数学　　中一種免　高一種免

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目	
	授 業 科 目	単位数
代数学	○代数学Ⅰ	2
	○代数学Ⅱ	2
幾何学	○幾何学	2
解析学	○解析学Ⅰ	2
	○解析学Ⅱ	2
	応用解析学Ⅰ	2
	応用解析学Ⅱ	2
	複素解析学	2
	数値解析	2
「確率論、統計学」	○確率・統計	2
コンピュータ	○制御工学Ⅰ	2
	制御工学Ⅱ	2
	計算材料学	2
	プレゼンテーション演習	1
	創造設計演習Ⅱ	3
	○プログラミング演習	1
各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	○数学科指導法Ⅰ	2
	○数学科指導法Ⅱ	2
	●数学科指導法Ⅲ	2
	●数学科指導法Ⅳ	2

○印は、免許状を取得する場合の必修科目

●印は、中一種免のみ必修

工業　　高一種免

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目	
	授 業 科 目	単位数
工業の関係科目	○機械・材料工学概論	2
	○化学工学概論Ⅰ	2
	○力学Ⅰ	2
	力学Ⅱ	2
	○振動・波動論	2
	○工学倫理	2
	○材料力学Ⅰ	2
	流体力学Ⅰ	2
	○熱力学Ⅰ	2
	○機械工作実習	1
	機械・材料工学実験	1
	○機械設計製図Ⅰ	2
	機械設計製図Ⅱ	2
	基礎化学Ⅰ	2
	基礎化学Ⅱ	2
	○電磁気学	2
	現代物理学	2
	材料強度学	2
	材料力学Ⅱ	2
	流体力学Ⅱ	2
	熱力学Ⅱ	2
	機械力学Ⅰ	2
	物理化学Ⅰ	2
	機械力学Ⅱ	2
	機械設計Ⅰ	2
	Ｘ線回折学	2
	機械設計Ⅱ	2
	機械加工学	2
	結晶塑性学	2
	○電気電子工学概論	2
	力学Ⅰ演習	1
	力学Ⅱ演習	1
	機械設計演習	1
	伝熱工学	2
	材料組織工学	2
	メカトロニクス	2
	創造設計演習Ⅰ	3
	物性物理Ⅰ	2
	物性物理Ⅱ	2
	○基礎材料工学Ⅰ	2
	基礎材料工学Ⅱ	2
	基礎材料工学Ⅲ	2
	○鉄鋼材料学	2
	材料工学実験Ⅰ	2
	材料工学実験Ⅱ	2
	材料工学実験Ⅲ	2
	非鉄金属材料学	2
	物性物理Ⅲ	2
	物理化学Ⅲ	2
	量子磁性材料	2
	半導体工学	2
	物理化学Ⅱ	2
	電気化学	2
	放射光科学	2
職業指導	○職業指導	4
各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	○工業科指導法Ⅰ	2
	○工業科指導法Ⅱ	2

○印は、免許状を取得する場合の必修科目

※ 注 数学科指導法の単位を理科、理科指導法の単位を数学の単位として算入することはできない。

※ 注 工業の免許を取得する場合、当分の間「教科の指導法に関する科目」、「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」、「教育実践に関する科目」の全部または一部を「教科に関する科目」の修得をもって替えることができる。但し、工業科指導法はなるべく取得する方が望ましい。

応用化学工学科 （令和6年度入学生）

免許を取得する場合は、各科目区分から1単位以上を修得すること。

理科　中一種免 高一種免

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目	
	授業科目	単位数
物理学	○基礎物理学Ⅰ	2
	基礎物理学Ⅲ	2
	○基礎物理学Ⅱ	2
	流体工学	2
	材料力学	2
	粘性流体力学	2
	粉粒体工学	2
	量子化学	2
	金属伝熱物理	2
化学	○応用化学概論Ⅰ	2
	○物理化学Ⅰ	2
	○物理化学Ⅱ	2
	物理化学Ⅲ	2
	○無機化学Ⅰ	2
	○無機化学Ⅱ	2
	無機化学Ⅲ	2
	○有機化学Ⅰ	2
	○有機化学Ⅱ	2
	有機化学Ⅲ	2
	電気化学(A)	2
	電気化学(B)	2
	有機分光学	2
	高分子材料化学	2
生物学	生物科学	2
	生命科学	2
	生物化学Ⅰ	2
	生物化学Ⅱ	2
	生物化学Ⅲ	2
	○生物工学	2
地学	○地球システム科学	2
物理学実験・化学実験・生物学実験・地学実験（注）	○学生実験 Ⅰ(応化)	2
	または	
	○物理学実験(化工)	2
	○化学実験（共通）	2
	学生実験 Ⅱ(応化)	2
	化学工学実験(化工)	2
	○生物学実験	1
	○地学実験	1
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	○理科指導法Ⅰ	2
	○理科指導法Ⅱ	2
	●理科指導法Ⅲ	2
	●理科指導法Ⅳ	2

工業　高一種免

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目	
	授業科目	単位数
工業の関係科目	○電気電子工学概論	2
	○機械・材料工学概論	2
	工学倫理	2
	○化学工学概論Ⅰ	2
	工業経済学	2
	知的財産権	2
	製図学	2
	分離工学	2
	金属学	2
	分析化学Ⅰ	2
	分析化学Ⅱ	2
	物質創成工学Ⅰ	2
	物質創成工学Ⅱ	2
	物質創成工学Ⅲ	2
	化学熱力学	2
	反応工学	2
	無機材料化学	2
	固体表面科学	2
	構造解析学	2
	有機材料化学	2
	光化学	2
	化学工学	2
	高分子材料工学	2
職業指導	○職業指導	4
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含	○工業科指導法Ⅰ	2
	○工業科指導法Ⅱ	2

○印は、免許状を取得する場合の必修科目

○印は、免許状を取得する場合の必修科目
●印は、中一種免のみ必修

※ 注 高校理科免許の場合は、物理学実験、化学実験、生物学実験、地学実験から1単位以上でよい。
中学理科免許の場合は、物理学実験、化学実験、生物学実験、地学実験それぞれ1単位以上必要である。
※ 注 数学科指導法の単位を理科、理科指導法の単位を数学の単位として算入することはできない。
※ 注 工業の免許を取得する場合、当分の間「教科の指導法に関する科目」、「教育の基礎的理解に関する科目」、「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」、「教育実践に関する科目」の全部または一部を「教科に関する科目」の修得をもって替えることができる。但し、工業科指導法はなるべく取得する方が望ましい。

電気電子情報工学科（令和5年度入学生）

いずれの免許を取得する場合も各科目区分から1単位以上を修得すること。

数学　中一種免　高一種免

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目	
	授業科目	単位数
代数学	○代数学Ⅰ	2
	○代数学Ⅱ	2
	離散数学	2
幾何学	○幾何学	2
	電磁気学Ⅱ	2
解析学	○解析学Ⅰ	2
	○解析学Ⅱ	2
	応用解析学Ⅰ	2
	応用解析学Ⅱ	2
	複素解析学	2
	電気系数学	2
「確率論、統計学」	○確率・統計	2
	情報理論	2
コンピュータ	○プログラミング論Ⅰ	2
	プログラミング論Ⅱ	2
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	○数学科指導法Ⅰ	2
	○数学科指導法Ⅱ	2
	●数学科指導法Ⅲ	2
	●数学科指導法Ⅳ	2

○印は、免許状を取得する場合の必修科目

●印は、中一種免のみ必修

工業　高一種免

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目	
	授業科目	単位数
工業の関係科目	○電気電子工学概論	2
	○機械・材料工学概論	2
	○化学工学概論Ⅰ	2
	○電気回路基礎	2
	○電気回路Ⅰ	2
	○電気回路演習	1
	電気回路Ⅱ	2
	電気回路Ⅲ	2
	○電磁気学基礎	2
	電磁気学Ⅰ	2
	○電磁気学演習	1
	○電気系基礎実験Ⅰ	2
	○電気系基礎実験Ⅱ	2
	電気工学思考型実験	2
	電気工学知識探求型実験	2
	電子工学実験	2
	情報工学実験	2
	計算機基礎	2
	プログラミング演習	1
	○コンピュータ実習1	1
	コンピュータ実習2	1
	熱・統計力学	2
	振動・波動論	2
	量子力学	2
	電力変換	2
	○基礎電気電子計測	2
	電気電子計測	2
	制御システムⅠ	2
	基礎電子物理	2
	電子回路Ⅰ	2
	情報回路	2
	情報通信工学	2
	工学倫理	2
	環境安全工学	2
職業指導	○職業指導	4
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	○工業科指導法Ⅰ	2
	○工業科指導法Ⅱ	2

○印は、免許状を取得する場合の必修科目

※ 注 数学科指導法の単位を理科、理科指導法の単位を数学の単位として算入することはできない。

※ 注 工業の免許を取得する場合、当分の間「教科の指導法に関する科目」、「教育の基礎的理解に関する科目」、「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」、「教育実践に関する科目」の全部または一部を「教科に関する科目」の修得をもって替えることができる。但し、工業科指導法はなるべく取得する方が望ましい。

機械・材料工学科（令和５年度入学生）

いずれの免許を取得する場合も各科目区分から１単位以上を修得すること。

数学　　中一種免　高一種免

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目	
	授 業 科 目	単位数
代数学	○代数学Ⅰ	2
	○代数学Ⅱ	2
幾何学	○幾何学	2
解析学	○解析学Ⅰ	2
	○解析学Ⅱ	2
	応用解析学Ⅰ	2
	応用解析学Ⅱ	2
	複素解析学	2
	数値解析	2
「確率論、統計学」	○確率・統計	2
コンピュータ	○制御工学Ⅰ	2
	制御工学Ⅱ	2
	計算材料学	2
	プレゼンテーション演習	1
	創造設計演習Ⅱ	3
	○プログラミング演習	1
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	○数学科指導法Ⅰ	2
	○数学科指導法Ⅱ	2
	●数学科指導法Ⅲ	2
	●数学科指導法Ⅳ	2

○印は、免許状を取得する場合の必修科目

●印は、中一種免のみ必修

工業　高一種免

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目	
	授 業 科 目	単位数
工業の関係科目	○機械・材料工学概論	2
	○化学工学概論Ⅰ	2
	○力学Ⅰ	2
	力学Ⅱ	2
	○振動・波動論	2
	○工学倫理	2
	○材料力学Ⅰ	2
	流体力学Ⅰ	2
	○熱力学Ⅰ	2
	○機械工作実習	1
	機械・材料工学実験	1
	○機械設計製図Ⅰ	2
	機械設計製図Ⅱ	2
	基礎化学Ⅰ	2
	基礎化学Ⅱ	2
	○電磁気学	2
	現代物理学	2
	材料強度学	2
	材料力学Ⅱ	2
	流体力学Ⅱ	2
	熱力学Ⅱ	2
	機械力学Ⅰ	2
	物理化学Ⅰ	2
	機械力学Ⅱ	2
	機械設計Ⅰ	2
	Ｘ線回析学	2
	機械設計Ⅱ	2
	機械加工学	2
	結晶塑性学	2
	○電気電子工学概論	2
	力学Ⅰ演習	1
	力学Ⅱ演習	1
	機械設計演習	1
	伝熱工学	2
	材料組織工学	2
	メカトロニクス	2
	創造設計演習Ⅰ	3
	物性物理Ⅰ	2
	物性物理Ⅱ	2
	○基礎材料工学Ⅰ	2
	基礎材料工学Ⅱ	2
	基礎材料工学Ⅲ	2
	○鉄鋼材料学	2
	材料工学実験Ⅰ	2
	材料工学実験Ⅱ	2
	材料工学実験Ⅲ	2
	非鉄金属材料学	2
	物性物理Ⅲ	2
	物理化学Ⅲ	2
	量子磁性材料	2
	半導体工学	2
	バイオマイクロシステム工学	2
	物理化学Ⅱ	2
	電気化学	2
	放射光科学	2
職業指導	○職業指導	4
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	○工業科指導法Ⅰ	2
	○工業科指導法Ⅱ	2

○印は、免許状を取得する場合の必修科目

※ 注 数学科指導法の単位を理科、理科指導法の単位を数学の単位として算入することはできない。

※ 注 工業の免許を取得する場合、当分の間「教科の指導法に関する科目」、「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」、「教育実践に関する科目」の全部または一部を「教科に関する科目」の修得をもって替えることができる。但し、工業科指導法はなるべく取得する方が望ましい。

応用化学工学科 （令和5年度入学生）

免許を取得する場合は、各科目区分から1単位以上を修得すること。
ただし、高校理科免許の場合は、物理学実験、化学実験、生物学実験、地学実験から1単位以上でよい。

理科　中一種免 高一種免

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目	
	授 業 科 目	単位数
物理学	○基礎物理学Ⅰ	2
	基礎物理学Ⅲ	2
	○基礎物理学Ⅱ	2
	流体工学	2
	材料力学	2
	粘性流体力学	2
	粉粒体工学	2
	量子化学	2
	金属伝熱物理	2
化学	○応用化学概論Ⅰ	2
	○物理化学Ⅰ	2
	○物理化学Ⅱ	2
	物理化学Ⅲ	2
	○無機化学Ⅰ	2
	○無機化学Ⅱ	2
	無機化学Ⅲ	2
	○有機化学Ⅰ	2
	○有機化学Ⅱ	2
	有機化学Ⅲ	2
	電気化学(A)	2
	電気化学(B)	2
	有機分光学	2
	高分子材料化学	2
生物学	生物科学	2
	生命科学	2
	生物化学Ⅰ	2
	生物化学Ⅱ	2
	生物化学Ⅲ	2
	○生物工学	2
地学	○地球システム科学	2
物理学実験(コンピュータ活用を含む)	○学生実験 Ⅰ(応化) または ○物理学実験(化工)	2 2
化学実験(コンピュータ活用を含む)	○化学実験（共通） 学生実験 Ⅱ(応化) 化学工学実験(化工)	2 2 2
生物学実験(コンピュータ活用を含む)	○生物学実験	1
地学実験(コンピュータ活用を含む)	○地学実験	1
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	○理科指導法Ⅰ	2
	○理科指導法Ⅱ	2
	●理科指導法Ⅲ	2
	●理科指導法Ⅳ	2

工業　高一種免

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目	
	授 業 科 目	単位数
工業の関係科目	○電気電子工学概論	2
	○機械・材料工学概論	2
	工学倫理	2
	○化学工学概論Ⅰ	2
	工業経済学	2
	知的財産権	2
	物質計測化学	2
	製図学	2
	分離工学	2
	金属学	2
	分析化学Ⅰ	2
	分析化学Ⅱ	2
	物質創成工学Ⅰ	2
	物質創成工学Ⅱ	2
	物質創成工学Ⅲ	2
	化学熱力学	2
	反応工学	2
	無機材料化学	2
	固体表面科学	2
	構造解析学	2
	有機材料化学	2
	光化学	2
	化学工学	2
	高分子材料工学	2
職業指導	○職業指導	4
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	○工業科指導法Ⅰ	2
	○工業科指導法Ⅱ	2

○印は、免許状を取得する場合の必修科目

○印は、免許状を取得する場合の必修科目
●印は、中一種免のみ必修

※ 注 高校理科免許の場合は、物理学実験、化学実験、生物学実験、地学実験から1単位以上でよい。
中学理科免許の場合は、物理学実験、化学実験、生物学実験、地学実験それぞれ1単位以上必要である。

※ 注 数学科指導法の単位を理科、理科指導法の単位を数学の単位として算入することはできない。

※ 注 工業の免許を取得する場合、当分の間「教科の指導法に関する科目」、「教育の基礎的理解に関する科目」、「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」、「教育実践に関する科目」の全部または一部を「教科に関する科目」の修得をもって替えることができる。但し、工業科指導法はなるべく取得する方が望ましい。

電気電子情報工学科（令和4年度入学生）

いずれの免許を取得する場合も各科目区分から1単位以上を修得すること。

数学　中一種免 高一種免

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目	
	授 業 科 目	単位数
代数学	○代数学Ⅰ	2
	○代数学Ⅱ	2
	離散数学	2
幾何学	○幾何学	2
	電磁気学Ⅱ	2
解析学	○解析学Ⅰ	2
	○解析学Ⅱ	2
	応用解析学Ⅰ	2
	応用解析学Ⅱ	2
	複素解析学	2
	電気系数学	2
「確率論、統計学」	○確率・統計	2
	情報理論	2
コンピュータ	○プログラミング論Ⅰ	2
	プログラミング論Ⅱ	2
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	○数学科指導法Ⅰ	2
	○数学科指導法Ⅱ	2
	●数学科指導法Ⅲ	2
	●数学科指導法Ⅳ	2

○印は、免許状を取得する場合の必修科目

●印は、中一種免のみ必修

工業　高一種免

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目	
	授 業 科 目	単位数
工業の関係科目	○電気電子工学概論	2
	○機械・材料工学概論	2
	○化学工学概論Ⅰ	2
	○電気回路基礎	2
	○電気回路Ⅰ	2
	○電気回路演習	1
	電気回路Ⅱ	2
	電気回路Ⅲ	2
	○電磁気学基礎	2
	電磁気学Ⅰ	2
	○電磁気学演習	1
	○電気系基礎実験Ⅰ	2
	○電気系基礎実験Ⅱ	2
	電気工学思考型実験	2
	電気工学知識探求型実験	2
	電子工学実験	2
	情報工学実験	2
	計算機基礎	2
	プログラミング演習	1
	○コンピュータ実習1	1
	コンピュータ実習2	1
	熱・統計力学	2
	振動・波動論	2
	量子力学	2
	電力変換	2
	○基礎電気電子計測	2
	電気電子計測	2
	制御システムⅠ	2
	基礎電子物理	2
	電子回路Ⅰ	2
	情報回路	2
	情報通信工学	2
	工学倫理	2
	環境安全工学	2
職業指導	○職業指導	4
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	○工業科指導法Ⅰ	2
	○工業科指導法Ⅱ	2

○印は、免許状を取得する場合の必修科目

※ 注 数学科指導法の単位を理科、理科指導法の単位を数学の単位として算入することはできない。

※ 注 工業の免許を取得する場合、当分の間「教科の指導法に関する科目」、「教育の基礎的理解に関する科目」、「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」、「教育実践に関する科目」の全部または一部を「教科に関する科目」の修得をもって替えることができる。但し、工業科指導法はなるべく取得する方が望ましい。

機械・材料工学科（令和４年度入学生）

いずれの免許を取得する場合も各科目区分から１単位以上を修得すること。

数学　　中一種免　高一種免

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目	
	授 業 科 目	単位数
代数学	○代数学Ⅰ	2
	○代数学Ⅱ	2
幾何学	○幾何学	2
解析学	○解析学Ⅰ	2
	○解析学Ⅱ	2
	応用解析学Ⅰ	2
	応用解析学Ⅱ	2
	複素解析学	2
	数値解析	2
「確率論、統計学」	○確率・統計	2
コンピュータ	○制御工学Ⅰ	2
	制御工学Ⅱ	2
	計算材料学	2
	プレゼンテーション演習	1
	創造設計演習Ⅱ	3
	○プログラミング演習	1
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	○数学科指導法Ⅰ	2
	○数学科指導法Ⅱ	2
	●数学科指導法Ⅲ	2
	●数学科指導法Ⅳ	2

○印は、免許状を取得する場合の必修科目

●印は、中一種免のみ必修

工業　高一種免

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目	
	授 業 科 目	単位数
工業の関係科目	○機械・材料工学概論	2
	○化学工学概論Ⅰ	2
	○力学Ⅰ	2
	力学Ⅱ	2
	○振動・波動論	2
	○工学倫理	2
	○材料力学Ⅰ	2
	流体力学Ⅰ	2
	○熱力学Ⅰ	2
	○機械工作実習	1
	機械・材料工学実験	1
	○機械設計製図Ⅰ	2
	機械設計製図Ⅱ	2
	基礎化学Ⅰ	2
	基礎化学Ⅱ	2
	○電磁気学	2
	現代物理学	2
	材料強度学	2
	材料力学Ⅱ	2
	流体力学Ⅱ	2
	熱力学Ⅱ	2
	機械力学Ⅰ	2
	物理化学Ⅰ	2
	機械力学Ⅱ	2
	機械設計Ⅰ	2
	Ｘ線回析学	2
	機械設計Ⅱ	2
	機械加工学	2
	結晶塑性学	2
	○電気電子工学概論	2
	力学Ⅰ演習	1
	力学Ⅱ演習	1
	機械設計演習	1
	伝熱工学	2
	材料組織工学	2
	メカトロニクス	2
	創造設計演習Ⅰ	3
	物性物理Ⅰ	2
	物性物理Ⅱ	2
	○基礎材料工学Ⅰ	2
	基礎材料工学Ⅱ	2
	基礎材料工学Ⅲ	2
	○鉄鋼材料学	2
	材料工学実験Ⅰ	2
	材料工学実験Ⅱ	2
	材料工学実験Ⅲ	2
	非鉄金属材料学	2
	物性物理Ⅲ	2
	物理化学Ⅲ	2
	量子磁性材料	2
	半導体工学	2
	バイオマイクロシステム工学	2
	物理化学Ⅱ	2
	電気化学	2
	放射光科学	2
職業指導	○職業指導	4
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	○工業科指導法Ⅰ	2
	○工業科指導法Ⅱ	2

○印は、免許状を取得する場合の必修科目

※ 注 数学科指導法の単位を理科、理科指導法の単位を数学の単位として算入することはできない。

※ 注 工業の免許を取得する場合、当分の間「教科の指導法に関する科目」、「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」、「教育実践に関する科目」の全部または一部を「教科に関する科目」の修得をもって替えることができる。但し、工業科指導法はなるべく取得する方が望ましい。

応用化学工学科 （令和4年度入学生）

免許を取得する場合は、各科目区分から1単位以上を修得すること。
ただし、高校理科免許の場合は、物理学実験、化学実験、生物学実験、地学実験から1単位以上でよい。

理科　中一種免 高一種免

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目	
	授業科目	単位数
物理学	○基礎物理学Ⅰ	2
	基礎物理学Ⅲ	2
	○基礎物理学Ⅱ	2
	流体工学	2
	材料力学	2
	粘性流体力学	2
	粉粒体工学	2
	量子化学	2
	金属伝熱物理	2
化学	○応用化学概論Ⅰ	2
	○物理化学Ⅰ	2
	○物理化学Ⅱ	2
	物理化学Ⅲ	2
	○無機化学Ⅰ	2
	○無機化学Ⅱ	2
	無機化学Ⅲ	2
	○有機化学Ⅰ	2
	○有機化学Ⅱ	2
	有機化学Ⅲ	2
	電気化学(A)	2
	電気化学(B)	2
	有機分光学	2
	高分子材料化学	2
生物学	生物科学	2
	生命科学	2
	生物化学Ⅰ	2
	生物化学Ⅱ	2
	生物化学Ⅲ	2
	○生物工学	2
地学	○地球システム科学	2
物理学実験(コンピュータ活用を含む)	○学生実験 Ⅰ(応化) または ○物理学実験(化工)	2 2
化学実験(コンピュータ活用を含む)	○化学実験 (共通) 学生実験 Ⅱ(応化) 化学工学実験(化工)	2 2 2
生物学実験(コンピュータ活用を含む)	○生物学実験	1
地学実験(コンピュータ活用を含む)	○地学実験	1
各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	○理科指導法Ⅰ	2
	○理科指導法Ⅱ	2
	●理科指導法Ⅲ	2
	●理科指導法Ⅳ	2

工業　高一種免

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目	
	授業科目	単位数
工業の関係科目	○電気電子工学概論	2
	○機械・材料工学概論	2
	工学倫理	2
	○化学工学概論Ⅰ	2
	工業経済学	2
	知的財産権	2
	物質計測化学	2
	製図学	2
	分離工学	2
	金属学	2
	分析化学Ⅰ	2
	分析化学Ⅱ	2
	物質創成工学Ⅰ	2
	物質創成工学Ⅱ	2
	物質創成工学Ⅲ	2
	化学熱力学	2
	反応工学	2
	無機材料化学	2
	固体表面科学	2
	構造解析学	2
	有機材料化学	2
	光化学	2
	化学工学	2
	高分子材料工学	2
職業指導	○職業指導	4
各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	○工業科指導法Ⅰ	2
	○工業科指導法Ⅱ	2

○印は、免許状を取得する場合の必修科目

○印は、免許状を取得する場合の必修科目
●印は、中一種免のみ必修

※ 注 高校理科免許の場合は、物理学実験、化学実験、生物学実験、地学実験から1単位以上でよい。
中学理科免許の場合は、物理学実験、化学実験、生物学実験、地学実験それぞれ1単位以上必要である。

※ 注 数学科指導法の単位を理科、理科指導法の単位を数学の単位として算入することはできない。
※ 注 工業の免許を取得する場合、当分の間「教科の指導法に関する科目」、「教育の基礎的理解に関する科目」、「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」、「教育実践に関する科目」の全部または一部を「教科に関する科目」の修得をもって替えることができる。但し、工業科指導法はなるべく取得する方が望ましい。

電気電子情報工学科（令和3年度入学生）

いずれの免許を取得する場合も各科目区分から1単位以上を修得すること。

数学　中一種免　高一種免

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目	
	授業科目	単位数
代数学	○代数学Ⅰ	2
	○代数学Ⅱ	2
	離散数学	2
幾何学	○幾何学	2
	電磁気学Ⅱ	2
解析学	○解析学Ⅰ	2
	○解析学Ⅱ	2
	応用解析学Ⅰ	2
	応用解析学Ⅱ	2
	複素解析学	2
	電気系数学	2
「確率論、統計学」	○確率・統計	2
	情報理論	2
コンピュータ	○プログラミング論Ⅰ	2
	プログラミング論Ⅱ	2
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	○数学科指導法Ⅰ	2
	○数学科指導法Ⅱ	2
	●数学科指導法Ⅲ	2
	●数学科指導法Ⅳ	2

○印は、免許状を取得する場合の必修科目

●印は、中一種免のみ必修

工業　高一種免

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目	
	授業科目	単位数
工業の関係科目	○電気電子工学概論	2
	○機械・材料工学概論	2
	○化学工学概論Ⅰ	2
	○電気回路基礎	2
	○電気回路Ⅰ	2
	○電気回路演習	1
	電気回路Ⅱ	2
	電気回路Ⅲ	2
	○電磁気学基礎	2
	電磁気学Ⅰ	2
	○電磁気学演習	1
	○電気系基礎実験Ⅰ	2
	○電気系基礎実験Ⅱ	2
	電気工学思考型実験	2
	電気工学知識探求型実験	2
	電子工学実験	2
	情報工学実験	2
	計算機基礎	2
	プログラミング演習	1
	○コンピュータ実習1	1
	コンピュータ実習2	1
	熱・統計力学	2
	振動・波動論	2
	量子力学	2
	電力変換	2
	○基礎電気電子計測	2
	電気電子計測	2
	制御システムⅠ	2
	基礎電子物理	2
	電子回路Ⅰ	2
	情報回路	2
	情報通信工学	2
	工学倫理	2
	環境安全工学	2
職業指導	○職業指導	4
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	○工業科指導法Ⅰ	2
	○工業科指導法Ⅱ	2

○印は、免許状を取得する場合の必修科目

※ 注 数学科指導法の単位を理科、理科指導法の単位を数学の単位として算入することはできない。

※ 注 工業の免許を取得する場合、当分の間「教科の指導法に関する科目」、「教育の基礎的理解に関する科目」、「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」、「教育実践に関する科目」の全部または一部を「教科に関する科目」の修得をもって替えることができる。但し、工業科指導法はなるべく取得する方が望ましい。

機械・材料工学科（令和３年度入学生）

いずれの免許を取得する場合も各科目区分から１単位以上を修得すること。

数学　　中一種免　高一種免

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目	
	授 業 科 目	単位数
代数学	○代数学Ⅰ	2
	○代数学Ⅱ	2
幾何学	○幾何学	2
解析学	○解析学Ⅰ	2
	○解析学Ⅱ	2
	応用解析学Ⅰ	2
	応用解析学Ⅱ	2
	複素解析学	2
	数値解析	2
「確率論、統計学」	○確率・統計	2
コンピュータ	○制御工学Ⅰ	2
	制御工学Ⅱ	2
	計算材料学	2
	プレゼンテーション演習	1
	創造設計演習Ⅱ	3
	○プログラミング演習	1
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	○数学科指導法Ⅰ	2
	○数学科指導法Ⅱ	2
	●数学科指導法Ⅲ	2
	●数学科指導法Ⅳ	2

○印は、免許状を取得する場合の必修科目

●印は、中一種免のみ必修

工業　高一種免

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目	
	授 業 科 目	単位数
工業の関係科目	○機械・材料工学概論	2
	○化学工学概論Ⅰ	2
	○力学Ⅰ	2
	力学Ⅱ	2
	○振動・波動論	2
	○工学倫理	2
	○材料力学Ⅰ	2
	流体力学Ⅰ	2
	○熱力学Ⅰ	2
	○機械工作実習	1
	機械・材料工学実験	1
	○機械設計製図Ⅰ	2
	機械設計製図Ⅱ	2
	基礎化学Ⅰ	2
	基礎化学Ⅱ	2
	○電磁気学	2
	現代物理学	2
	材料強度学	2
	材料力学Ⅱ	2
	流体力学Ⅱ	2
	熱力学Ⅱ	2
	機械力学Ⅰ	2
	物理化学Ⅰ	2
	機械力学Ⅱ	2
	機械設計Ⅰ	2
	Ｘ線回析学	2
	機械設計Ⅱ	2
	機械加工学	2
	結晶塑性学	2
	○電気電子工学概論	2
	力学Ⅰ演習	1
	力学Ⅱ演習	1
	機械設計演習	1
	伝熱工学	2
	材料組織工学	2
	メカトロニクス	2
	創造設計演習Ⅰ	3
	物性物理Ⅰ	2
	物性物理Ⅱ	2
	○基礎材料工学Ⅰ	2
	基礎材料工学Ⅱ	2
	基礎材料工学Ⅲ	2
	○鉄鋼材料学	2
	材料工学実験Ⅰ	2
	材料工学実験Ⅱ	2
	材料工学実験Ⅲ	2
	非鉄金属材料学	2
	物性物理Ⅲ	2
	物理化学Ⅲ	2
	量子磁性材料	2
	半導体工学	2
	バイオマイクロシステム工学	2
	物理化学Ⅱ	2
	電気化学	2
	放射光科学	2
職業指導	○職業指導	4
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	○工業科指導法Ⅰ	2
	○工業科指導法Ⅱ	2

○印は、免許状を取得する場合の必修科目

※ 注 数学科指導法の単位を理科、理科指導法の単位を数学の単位として算入することはできない。

※ 注 工業の免許を取得する場合、当分の間「教科の指導法に関する科目」、「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」、「教育実践に関する科目」の全部または一部を「教科に関する科目」の修得をもって替えることができる。但し、工業科指導法はなるべく取得する方が望ましい。

応用化学工学科 （令和3年度入学生）

免許を取得する場合は、各科目区分から1単位以上を修得すること。
ただし、高校理科免許の場合は、物理学実験、化学実験、生物学実験、地学実験から1単位以上でよい。

理科　中一種免 高一種免

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目	
	授業科目	単位数
物理学	○基礎物理学Ⅰ	2
	基礎物理学Ⅲ	2
	○基礎物理学Ⅱ	2
	流体工学	2
	材料力学	2
	粘性流体力学	2
	粉粒体工学	2
	量子化学	2
	金属伝熱物理	2
化学	○応用化学概論Ⅰ	2
	○物理化学Ⅰ	2
	○物理化学Ⅱ	2
	物理化学Ⅲ	2
	○無機化学Ⅰ	2
	○無機化学Ⅱ	2
	無機化学Ⅲ	2
	○有機化学Ⅰ	2
	○有機化学Ⅱ	2
	有機化学Ⅲ	2
	電気化学(A)	2
	電気化学(B)	2
	有機分光学	2
	高分子材料化学	2
生物学	生物科学	2
	生命科学	2
	生物化学Ⅰ	2
	生物化学Ⅱ	2
	生物化学Ⅲ	2
	○生物工学	2
地学	○地球システム科学	2
物理学実験(コンピュータ活用を含む)	○学生実験 Ⅰ(応化) または ○物理学実験(化工)	2 2
化学実験(コンピュータ活用を含む)	○化学実験（共通） 学生実験 Ⅱ(応化) 化学工学実験(化工)	2 2 2
生物学実験(コンピュータ活用を含む)	○生物学実験	1
地学実験(コンピュータ活用を含む)	○地学実験	1
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	○理科指導法Ⅰ	2
	○理科指導法Ⅱ	2
	●理科指導法Ⅲ	2
	●理科指導法Ⅳ	2

工業　高一種免

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目	
	授業科目	単位数
工業の関係科目	○電気電子工学概論	2
	○機械・材料工学概論	2
	工学倫理	2
	○化学工学概論Ⅰ	2
	工業経済学	2
	知的財産権	2
	物質計測化学	2
	製図学	2
	分離工学	2
	金属学	2
	分析化学Ⅰ	2
	分析化学Ⅱ	2
	物質創成工学Ⅰ	2
	物質創成工学Ⅱ	2
	物質創成工学Ⅲ	2
	化学熱力学	2
	反応工学	2
	無機材料化学(A)	2
	無機材料化学(B)	2
	固体表面科学	2
	構造解析学	2
	有機材料化学	2
	光化学	2
	化学工学	2
	高分子材料工学	2
職業指導	○職業指導	4
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	○工業科指導法Ⅰ	2
	○工業科指導法Ⅱ	2

○印は、免許状を取得する場合の必修科目

○印は、免許状を取得する場合の必修科目
●印は、中一種免のみ必修

※ 注 高校理科免許の場合は、物理学実験、化学実験、生物学実験、地学実験から1単位以上でよい。
中学理科免許の場合は、物理学実験、化学実験、生物学実験、地学実験それぞれ1単位以上必要である。

※ 注 数学科指導法の単位を理科、理科指導法の単位を数学の単位として算入することはできない。

※ 注 工業の免許を取得する場合、当分の間「教科の指導法に関する科目」、「教育の基礎的理解に関する科目」、「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」、「教育実践に関する科目」の全部または一部を「教科に関する科目」の修得をもって替えることができる。但し、工業科指導法はなるべく取得する方が望ましい。

電気電子情報工学科（令和2年度入学生）

いずれの免許を取得する場合も各科目区分から1単位以上を修得すること。

数学　中一種免　高一種免

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目	
	授業科目	単位数
代数学	○代数学Ⅰ	2
	○代数学Ⅱ	2
	離散数学	2
幾何学	○幾何学	2
	電磁気学Ⅱ	2
解析学	○解析学Ⅰ	2
	○解析学Ⅱ	2
	応用解析学Ⅰ	2
	応用解析学Ⅱ	2
	複素解析学	2
	電気系数学	2
「確率論、統計学」	○確率・統計	2
	情報理論	2
コンピュータ	○プログラミング論Ⅰ	2
	プログラミング論Ⅱ	2
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	○数学科指導法Ⅰ	2
	○数学科指導法Ⅱ	2
	●数学科指導法Ⅲ	2
	●数学科指導法Ⅳ	2

○印は、免許状を取得する場合の必修科目

●印は、中一種免のみ必修

工業　高一種免

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目	
	授業科目	単位数
工業の関係科目	○電気電子工学概論	2
	○機械・材料工学概論	2
	○化学工学概論Ⅰ	2
	○電気回路基礎	2
	○電気回路Ⅰ	2
	○電気回路演習	1
	電気回路Ⅱ	2
	電気回路Ⅲ	2
	○電磁気学基礎	2
	電磁気学Ⅰ	2
	○電磁気学演習	1
	○電気系基礎実験Ⅰ	2
	○電気系基礎実験Ⅱ	2
	電気工学思考型実験	2
	電気工学知識探求型実験	2
	電子工学実験	2
	情報工学実験	2
	計算機基礎	2
	プログラミング演習	1
	○コンピュータ実習1	1
	コンピュータ実習2	1
	熱・統計力学	2
	振動・波動論	2
	量子力学	2
	電力変換	2
	○基礎電気電子計測	2
	電気電子計測	2
	制御システムⅠ	2
	基礎電子物理	2
	電子回路Ⅰ	2
	情報回路	2
	情報通信工学	2
	工学倫理	2
	環境安全工学	2
職業指導	○職業指導	4
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	○工業科指導法Ⅰ	2
	○工業科指導法Ⅱ	2

○印は、免許状を取得する場合の必修科目

※ 注 数学科指導法の単位を理科、理科指導法の単位を数学の単位として算入することはできない。

※ 注 工業の免許を取得する場合、当分の間「教科の指導法に関する科目」、「教育の基礎的理解に関する科目」、「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」、「教育実践に関する科目」の全部または一部を「教科に関する科目」の修得をもって替えることができる。但し、工業科指導法はなるべく取得する方が望ましい。

機械・材料工学科（令和２年度入学生）

いずれの免許を取得する場合も各科目区分から１単位以上を修得すること。

数学　　中一種免　高一種免

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目	
	授 業 科 目	単位数
代数学	○代数学Ⅰ	2
	○代数学Ⅱ	2
幾何学	○幾何学	2
解析学	○解析学Ⅰ	2
	○解析学Ⅱ	2
	応用解析学Ⅰ	2
	応用解析学Ⅱ	2
	複素解析学	2
	数値解析	2
「確率論、統計学」	○確率・統計	2
コンピュータ	○制御工学Ⅰ	2
	制御工学Ⅱ	2
	計算材料学	2
	プレゼンテーション演習	1
	創造設計演習Ⅱ	3
	○プログラミング演習	1
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	○数学科指導法Ⅰ	2
	○数学科指導法Ⅱ	2
	●数学科指導法Ⅲ	2
	●数学科指導法Ⅳ	2

○印は、免許状を取得する場合の必修科目

●印は、中一種免のみ必修

工業　高一種免

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目	
	授 業 科 目	単位数
工業の関係科目	○機械・材料工学概論	2
	○化学工学概論Ⅰ	2
	○力学Ⅰ	2
	力学Ⅱ	2
	○振動・波動論	2
	○工学倫理	2
	○材料力学Ⅰ	2
	流体力学Ⅰ	2
	○熱力学Ⅰ	2
	○機械工作実習	1
	機械・材料工学実験	1
	○機械設計製図Ⅰ	2
	機械設計製図Ⅱ	2
	基礎化学Ⅰ	2
	基礎化学Ⅱ	2
	○電磁気学	2
	現代物理学	2
	材料強度学	2
	材料力学Ⅱ	2
	流体力学Ⅱ	2
	熱力学Ⅱ	2
	機械力学Ⅰ	2
	物理化学Ⅰ	2
	機械力学Ⅱ	2
	機械設計Ⅰ	2
	Ｘ線回析学	2
	機械設計Ⅱ	2
	機械加工学	2
	結晶塑性学	2
	○電気電子工学概論	2
	力学Ⅰ演習	1
	力学Ⅱ演習	1
	機械設計演習	1
	伝熱工学	2
	材料組織学	2
	メカトロニクス	2
	創造設計演習Ⅰ	3
	物性物理Ⅰ	2
	物性物理Ⅱ	2
	○基礎材料工学Ⅰ	2
	基礎材料工学Ⅱ	2
	基礎材料工学Ⅲ	2
	○鉄鋼材料学	2
	材料工学実験Ⅰ	2
	材料工学実験Ⅱ	2
	材料工学実験Ⅲ	2
	非鉄金属材料学	2
	物性物理Ⅲ	2
	物理化学Ⅲ	2
	量子磁性材料	2
	半導体工学	2
	バイオマイクロシステム工学	2
	物理化学Ⅱ	2
	電気化学	2
	放射光科学	2
職業指導	○職業指導	4
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	○工業科指導法Ⅰ	2
	○工業科指導法Ⅱ	2

○印は、免許状を取得する場合の必修科目

※ 注 数学科指導法の単位を理科、理科指導法の単位を数学の単位として算入することはできない。

※ 注 工業の免許を取得する場合、当分の間「教科の指導法に関する科目」、「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」、「教育実践に関する科目」の全部または一部を「教科に関する科目」の修得をもって替えることができる。但し、工業科指導法はなるべく取得する方が望ましい。

応用化学工学科 （令和2年度入学生）

免許を取得する場合は、各科目区分から1単位以上を修得すること。
ただし、高校理科免許の場合は、物理学実験、化学実験、生物学実験、地学実験から1単位以上でよい。

理科　中一種免 高一種免

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目	
	授 業 科 目	単位数
物理学	○基礎物理学Ⅰ	2
	基礎物理学Ⅲ	2
	○基礎物理学Ⅱ	2
	流体工学	2
	材料力学	2
	粘性流体力学	2
	粉流体工学	2
	量子化学	2
	金属伝熱物理	2
化学	○応用化学概論Ⅰ	2
	○物理化学Ⅰ	2
	○物理化学Ⅱ	2
	物理化学Ⅲ	2
	○無機化学Ⅰ	2
	○無機化学Ⅱ	2
	無機化学Ⅲ	2
	○有機化学Ⅰ	2
	○有機化学Ⅱ	2
	有機化学Ⅲ	2
	電気化学A	2
	電気化学 B	2
	有機分光学	2
	高分子材料化学	2
生物学	生物科学	2
	生命科学	2
	生物化学Ⅰ	2
	生物化学Ⅱ	2
	生物化学Ⅲ	2
	○生物工学	2
地学	○地球システム科学	2
物理学実験(コンピュータ活用を含む)	○学生実験 Ⅰ(応化) または ○物理学実験(化工)	2 2
化学実験(コンピュータ活用を含む)	○化学実験（共通） 学生実験 Ⅱ(応化) 化学工学実験(化工)	2 2 2
生物学実験(コンピュータ活用を含む)	○生物学実験	1
地学実験(コンピュータ活用を含む)	○地学実験	1
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	○理科指導法Ⅰ	2
	○理科指導法Ⅱ	2
	●理科指導法Ⅲ	2
	●理科指導法Ⅳ	2

工業　高一種免

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目	
	授 業 科 目	単位数
工業の関係科目	○電気電子工学概論	2
	○機械・材料工学概論	2
	工学倫理	2
	○化学工学概論Ⅰ	2
	工業経済学	2
	知的財産権	2
	物質計測化学	2
	製図学	2
	分離工学	2
	金属学	2
	分析化学Ⅰ	2
	分析化学Ⅱ	2
	物質創成工学Ⅰ	2
	物質創成工学Ⅱ	2
	物質創成工学Ⅲ	2
	化学熱力学	2
	反応工学	2
	無機材料化学A	2
	無機材料化学B	2
	固体表面科学	2
	構造解析学	2
	有機材料化学	2
	光化学	2
	化学工学	2
	高分子材料工学	2
職業指導	○職業指導	4
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	○工業科指導法Ⅰ	2
	○工業科指導法Ⅱ	2

○印は、免許状を取得する場合の必修科目

○印は、免許状を取得する場合の必修科目
●印は、中一種免のみ必修

※ 注 高校理科免許の場合は、物理学実験、化学実験、生物学実験、地学実験から1単位以上でよい。
中学理科免許の場合は、物理学実験、化学実験、生物学実験、地学実験それぞれ1単位以上必要である。

※ 注 数学科指導法の単位を理科、理科指導法の単位を数学の単位として算入することはできない。

※ 注 工業の免許を取得する場合、当分の間「教科の指導法に関する科目」、「教育の基礎的理解に関する科目」、「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」、「教育実践に関する科目」の全部または一部を「教科に関する科目」の修得をもって替えることができる。但し、工業科指導法はなるべく取得する方が望ましい。

電気電子情報工学科（平成31年度入学生）

いずれの免許を取得する場合も各科目区分から1単位以上を修得すること。

数学　中一種免 高一種免

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目	
	授業科目	単位数
代数学	○代数学Ⅰ	2
	○代数学Ⅱ	2
	論理数学	2
幾何学	○幾何学	2
	電磁気学Ⅱ	2
解析学	○解析学Ⅰ	2
	○解析学Ⅱ	2
	応用解析学Ⅰ	2
	応用解析学Ⅱ	2
	複素解析学	2
	電気系数学	2
「確率論、統計学」	○確率・統計	2
	情報理論	2
コンピュータ	○プログラミング論Ⅰ	2
	プログラミング論Ⅱ	2
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	○数学科指導法Ⅰ	2
	○数学科指導法Ⅱ	2
	●数学科指導法Ⅲ	2
	●数学科指導法Ⅳ	2

○印は、免許状を取得する場合の必修科目

●印は、中一種免のみ必修

工業　高一種免

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目	
	授業科目	単位数
工業の関係科目	○電気電子工学概論	2
	○機械・材料工学概論	2
	○化学工学概論Ⅰ	2
	○電気回路基礎	2
	○電気回路Ⅰ	2
	○電気回路演習	1
	電気回路Ⅱ	2
	電気回路Ⅲ	2
	○電磁気学基礎	2
	電磁気学Ⅰ	2
	○電磁気学演習	1
	○電気系基礎実験Ⅰ	2
	○電気系基礎実験Ⅱ	2
	電気工学思考型実験	2
	電気工学知識探求型実験	2
	電子工学実験	2
	情報工学実験	2
	計算機基礎	2
	プログラミング演習	1
	○コンピュータ実習1	1
	コンピュータ実習2	1
	熱・統計力学	2
	振動・波動論	2
	量子力学	2
	電力変換	2
	○基礎電気電子計測	2
	電気電子計測	2
	制御システムⅠ	2
	基礎電子物理	2
	電子回路Ⅰ	2
	情報回路	2
	情報通信工学	2
	工学倫理	2
	環境安全工学	2
職業指導	○職業指導	4
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	○工業科指導法Ⅰ	2
	○工業科指導法Ⅱ	2

○印は、免許状を取得する場合の必修科目

※ 注 数学科指導法の単位を理科、理科指導法の単位を数学の単位として算入することはできない。

※ 注 工業の免許を取得する場合、当分の間「教科の指導法に関する科目」、「教育の基礎的理解に関する科目」、「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」、「教育実践に関する科目」の全部または一部を「教科に関する科目」の修得をもって替えることができる。但し、工業科指導法はなるべく取得する方が望ましい。

機械・材料工学科（平成３１年度入学生）

いずれの免許を取得する場合も各科目区分から１単位以上を修得すること。

数学　　中一種免　高一種免

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目	
	授 業 科 目	単位数
代数学	○代数学Ⅰ	2
	○代数学Ⅱ	2
幾何学	○幾何学	2
解析学	○解析学Ⅰ	2
	○解析学Ⅱ	2
	応用解析学Ⅰ	2
	応用解析学Ⅱ	2
	複素解析学	2
	数値解析	2
「確率論、統計学」	○確率・統計	2
コンピュータ	○制御工学Ⅰ	2
	制御工学Ⅱ	2
	計算材料学	2
	プレゼンテーション演習	1
	創造設計演習Ⅱ	3
	○プログラミング演習	1
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	○数学科指導法Ⅰ	2
	○数学科指導法Ⅱ	2
	●数学科指導法Ⅲ	2
	●数学科指導法Ⅳ	2

○印は、免許状を取得する場合の必修科目

●印は、中一種免のみ必修

工業　高一種免

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目	
	授 業 科 目	単位数
工業の関係科目	○機械・材料工学概論	2
	○化学工学概論Ⅰ	2
	○力学Ⅰ	2
	力学Ⅱ	2
	○振動・波動論	2
	○工学倫理	2
	○材料力学Ⅰ	2
	流体力学Ⅰ	2
	○熱力学Ⅰ	2
	○機械工作実習	1
	機械・材料工学実験	1
	○機械設計製図Ⅰ	2
	機械設計製図Ⅱ	2
	基礎化学Ⅰ	2
	基礎化学Ⅱ	2
	○電磁気学	2
	現代物理学	2
	材料強度安全工学	2
	材料力学Ⅱ	2
	流体力学Ⅱ	2
	熱力学Ⅱ	2
	機械力学Ⅰ	2
	物理化学	2
	機械力学Ⅱ	2
	機械設計Ⅰ	2
	微細加工工学	2
	機械設計Ⅱ	2
	機械加工学	2
	金属材料工学	2
	○電気電子工学概論	2
	力学Ⅰ演習	1
	力学Ⅱ演習	1
	機械設計演習	1
	伝熱工学	2
	材料組織・粉体工学	2
	メカトロニクス	2
	創造設計演習Ⅰ	3
	材料物理Ⅰ	2
	材料物理Ⅱ	2
	○基礎材料工学Ⅰ	2
	基礎材料工学Ⅱ	2
	基礎材料工学Ⅲ	2
	○金属材料学Ⅰ	2
	材料工学実験Ⅰ	2
	材料工学実験Ⅱ	2
	材料工学実験Ⅲ	2
	金属材料学Ⅱ	2
	エネルギー材料工学	2
	電気反応化学	2
	量子反応工学	2
	材料計測制御工学	2
	バイオマイクロシステム工学	2
	物理化学Ⅱ	2
	電気化学	2
	放射光科学	2
職業指導	○職業指導	4
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	○工業科指導法Ⅰ	2
	○工業科指導法Ⅱ	2

○印は、免許状を取得する場合の必修科目

※ 注 数学科指導法の単位を理科、理科指導法の単位を数学の単位として算入することはできない。

※ 注 工業の免許を取得する場合、当分の間「教科の指導法に関する科目」、「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」、「教育実践に関する科目」の全部または一部を「教科に関する科目」の修得をもって替えることができる。但し、工業科指導法はなるべく取得する方が望ましい。

応用化学工学科 （平成31年度入学生）

免許を取得する場合は、各科目区分から1単位以上を修得すること。
ただし、高校理科免許の場合は、物理学実験、化学実験、生物学実験、地学実験から1単位以上でよい。

理科　中一種免 高一種免

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目	
	授業科目	単位数
物理学	○力学Ⅰ	2
	力学Ⅱ	2
	○電磁気学	2
	材料・流体計測	2
	材料力学	2
	材料レオロジー工学	2
	固体・粉体物性	2
	量子化学	2
	金属伝熱物理	2
化学	○応用化学概論Ⅰ	2
	○物理化学Ⅰ	2
	○物理化学Ⅱ	2
	物理化学Ⅲ	2
	○無機化学Ⅰ	2
	○無機化学Ⅱ	2
	無機化学Ⅲ	2
	○有機化学Ⅰ	2
	○有機化学Ⅱ	2
	有機化学Ⅲ	2
	電気化学A	2
	電気化学 B	2
	有機分光学	2
	高分子材料化学	2
生物学	生物科学	2
	生命科学	2
	生物化学Ⅰ	2
	生物化学Ⅱ	2
	生物化学Ⅲ	2
	○生物工学Ⅰ	2
地学	○地球システム科学	2
物理学実験(コンピュータ活用を含む)	○学生実験 Ⅰ(応化) または ○物理学実験(化工)	2 2
化学実験(コンピュータ活用を含む)	○化学実験（共通） 学生実験 Ⅱ(応化) 化学工学実験(化工)	2 2 2
生物学実験(コンピュータ活用を含む)	○生物学実験	1
地学実験(コンピュータ活用を含む)	○地学実験	1
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	○理科指導法Ⅰ	2
	○理科指導法Ⅱ	2
	●理科指導法Ⅲ	2
	●理科指導法Ⅳ	2

工業　高一種免

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目	
	授業科目	単位数
工業の関係科目	○電気電子工学概論	2
	○機械・材料工学概論	2
	工学倫理	2
	○化学工学概論Ⅰ	2
	工業経済学	2
	知的財産権	2
	物質計測化学	2
	製図学	2
	材料分離工学	2
	金属学	2
	分析化学Ⅰ	2
	分析化学Ⅱ	2
	物質創成工学Ⅰ	2
	物質創成工学Ⅱ	2
	物質創成工学Ⅲ	2
	化学熱力学	2
	反応化学工学	2
	無機材料化学A	2
	無機材料化学B	2
	固体表面科学	2
	構造解析学	2
	有機材料化学	2
	光化学	2
	化学工学	2
	高分子材料工学	2
職業指導	○職業指導	4
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	○工業科指導法Ⅰ	2
	○工業科指導法Ⅱ	2

○印は、免許状を取得する場合の必修科目

○印は、免許状を取得する場合の必修科目
●印は、中一種免のみ必修

※ 注 高校理科免許の場合は、物理学実験、化学実験、生物学実験、地学実験から1単位以上でよい。
中学理科免許の場合は、物理学実験、化学実験、生物学実験、地学実験それぞれ1単位以上必要である。

※ 注 数学科指導法の単位を理科、理科指導法の単位を数学の単位として算入することはできない。

※ 注 工業の免許を取得する場合、当分の間「教科の指導法に関する科目」、「教育の基礎的理解に関する科目」、「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」、「教育実践に関する科目」の全部または一部を「教科に関する科目」の修得をもって替えることができる。但し、工業科指導法はなるべく取得する方が望ましい。

3　教育の基礎的理解に関する科目

必修　中一種免１０単位　高一種免１０単位

免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目						備考
各科目に含める必要事項	最低必要単位数	授業科目	単位数				開講学年	
			中一種免		高一種免			
			必修	選択	必修	選択		
・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	１０	教育原論	２		２		２	R5 年度以前入学生
							１	R6 年度以降入学生
・教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教職論	２		２		１	
・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育制度論	２		２		２	
・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	２		２		２	
・特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育論	１		１		２	
・教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む）		教育課程論	１		１		２	

4　道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目

必修　中一種免１０単位　高一種免８単位

免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目						備考
各科目に含める必要事項	最低必要単位数	授業科目	単位数				開講学年	
			中一種免		高一種免			
			必修	選択	必修	選択		
・道徳の理論及び指導法	中１０ 高　８	道徳教育論	２			２ ※	２	中一種免必修 ※（R6 年度以前入学生）
・総合的な学習の時間の指導法		総合的な学習の指導法	１		１		２	
・特別活動の指導法		特別活動論	１		１		２	
【～R3 年度】 ・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。） 【R4 年度～】 ・教育の方法及び技術（情報通信技術を活用した教育の理論及び方法含む。）		教育方法・技術論	２		２		２	R2 年度以前入学生
		教育方法・情報通信技術活用論						R3 年度以降入学生 ※R3 年度入学生は科目名「教育方法・技術論」
・生徒指導の理論及び方法 ・進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		生徒指導論	２		２		３	
・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		教育相談	２		２		２	

５　教育実践に関する科目
必修　中一種免７単位　高一種免５単位

免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目						備考
各科目に含める必要事項	最低必要単位数	授業科目	単位数				開講学年	
			中一種免		高一種免			
			必修	選択	必修	選択		
・教育実習（学校インターンシップ（学校体験活動）を１単位まで含むことができる。）	中　５ 高　３	教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ	— ５	—	３ —	—	４ ４	中高両方の免許を取得する場合は教育実習Ⅱを必修とする
・教職実践演習	２	教職実践演習（中・高）	２		２		４	

（注）「教職実践演習」は、教育実習修了後の４回生以上の学生を対象とする。

６　大学が独自に設定する科目
必修　中一種免４単位　高一種免１２単位

授業科目	単位数	開講学年	備　考
介護等体験	２	３	中一種免のみ必修 （高一種免の単位としては認めない） （事前・事後指導を含む。）
教育実践体験	２	２	R5 年度以降入学生対象
道徳教育論	２	２	高一種免のみ （R7 年度以降入学生対象） （中一種免は「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」として算入）

（注）最低必要単位数を越えて修得した「教科及び教科の指導法に関する科目」、「教育の基礎的理解に関する科目」、「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」、「教育実践に関する科目」の単位を、当該科目の単位に算入することができる。（高一種免における介護等体験を除く）

７　教育職員免許法施行規則第 66 条の６に定める科目
必修８単位

免許法施行規則に定める科目及び単位数		左記に対応する開設授業科目		備　考
科　　目	単位数	授業科目	単位数	
日本国憲法	２	日本国憲法	２	
体育	２	健康・ｽﾎﾟｰﾂ科学演習 1 健康・ｽﾎﾟｰﾂ科学演習 2	1 1	
外国語コミュニケーション	２	Reading and Discussion 1 Reading and Discussion 2 Listening and Speaking 1 Listening and Speaking 2 Writing 1 Writing 2 TOEIC 総合 1 TOEIC 総合 2	1 1 1 1 1 1 1 1	（R6 年度以前入学生）
情報機器の操作又は数理、データ活用及び人工知能に関する科目	２	情報処理基礎	２	